建築デザイン科
前期シラバス

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	建築デザイン科　昼間部（２年制）	2025年度	１年次・前 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	造形演習	3	45	
教科書・教材等	プリント配布　参考作品			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
藤本　珠恵	有　／　美術教室講師		奥水　正明	

授業の特徴・テーマ

造形を通して、建築・インテリアデザインに必要な空間構成力を養う。

到達目標

空間への理解を深めるとともに、作品発表によって各自の伝達力を高める。

授業概要

テーマに沿って考え、手を動かし、感じながら作品を制作する。 また課題毎にプレゼンを行う。

成績評価方法　◆作文・課題　70%　◆定期試験　%　◆平常点　%　◆授業への参加姿勢　30%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	ガイダンス/小テスト	造形演習の目的を理解し、小テストで準備姿勢を整える。
2回	課題1　立方体分割	直線・曲線を使い2分割した立方体を制作する。 エスキース・模型作り
3回		分割のデザインについて考える。
4回		本制作
5回		完成後、作品を撮影。撮影方法（構図や陰影）を学ぶ。
6回		作品タイトル・写真・コンセプトを入れ、プレゼンボードを作成する。
7回		作品のプレゼンを行う。互いの作品を評価する。発表時の姿勢を身に付ける。
8回	課題2　四角形による構成	与えられた台紙上に、四角形のみで空間構成をする。
9回		四角形の大きさや配置を、バランス良く構成する。エスキース・模型作り
10回		本制作
11回		完成後、作品撮影・デッサンを行う。（デッサンはスケッチブックを使用する）
12回		同上
13回		作品タイトル・写真・コンセプトを入れ、プレゼンボードを作成する。
14回		作品のプレゼンを行う。互いの作品を評価する。発表時の姿勢を身に付ける。
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	建築デザイン科　昼間部（２年制）	2025年度	１年次・前 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	設計Ⅰ	6	90	
教科書・教材等	世界で一番やさしい建築入門（2回まで）			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
富永　哲史	有・建築設計事務所、大学講師			

授業の特徴・テーマ

建築の設計におけるデザインの重要性を理解するために最高峰の作品に触れて感覚をつかみ、自身でも建築空間を創造してみる。

到達目標

実際の建築、またその設計表現等を学び、今後の自身の創作の基礎とする。また自身の納得する成果品を妥協なく期限内に完成させる力を養う。

授業概要

建築空間や建築の展示会を見学し、課題に沿って実際に手を動かしながら創作し、表現する。

成績評価方法　◆作文・課題　80%　◆定期試験　%　◆平常点　%　◆授業への参加姿勢　20%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	はじめに	自己紹介レクチャー、建築設計におけるデザインについて、建築家、建築士とは、見学会に向けたレクチャー（代々木体育館、その他）
2回	見学会①	見学会事前レクチャー（代々木体育館、その他）、東京カテドラル見学、スケッチ
3回	建築とは	見学会スケッチ提出、「世界における巨匠たちの建築」（フランク・ロイド・ライト、ル・コルビュジェ、ミース・ファンデル・ローエ）、専門書籍紹介
4回	見学会②	代々木体育館見学、スケッチ、専門誌トレース
5回	課題1　単純モデル	スケッチ提出、課題1出題、スチレンボードの扱い方、模型の作り方等
6回	課題1　単純モデル	平面図、立面図、断面図描き方、提出、課題1出題
7回	見学会③	GAギャラリー「世界の住宅プロジェクト展」（案）　入場料：600円
8回	課題2　（自分の〇〇）	実測ラフ図持参→平面図、断面図の作成
9回	課題2	展開図、パースの作成
10回	課題2、課題3	課題2最終提出（パネル+模型1/30）及び講評　課題3出題
11回	課題3　（四角チューブ）	エスキース（平面、断面、ラフ模型提出1/50）
12回	課題3	課題3　中間提出　（模型1/50）エスキース（平面、断面、ラフ模型提出1/50）
13回	課題3	エスキース（平面、断面、ラフ模型提出1/30）
14回	課題3	課題3　最終提出提出（パネル+模型1/30）および講評
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	建築デザイン科　昼間部（ 2年制 ）	2025年度	1年次・前 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	CAD1	3	45	
教科書・教材等	「JWCAD」、「Photoshop」、「Illustrator」			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
廣木利昌	有り／スペースデザイン、展示会ブース		学科長　輿水　正明	

授業の特徴・テーマ

建築・インテリアの世界で求められる設計ツール及びデザインツールを学ぶ。CADソフト「JWCAD」、描画ソフト「Photoshop」と「Illustrator」の基本操作、活用方法を学習。具体的には、パソコン操作、データ構成などの基本知識から、商業チラシ、ポートフォリオの作成など、デジタルでの表現方法、コンセプト（方向性）の整理、作業工程の組立などの流れも学ぶ。

到達目標

「JWCAD」「Photoshop」「Illustrator」などの各種ツールをどのように使用するのか、自分の求める表現方法にどう活用したら良いのか、商業デザインなどの実際のデザインを参考に学ぶ。表現の幅を広げ、伝える相手への視覚的効果・影響について自ら考える。

授業概要

講義を聞き、実際に演習で体験し、課題を一人で完成させる授業サイクルを行う。課題は出来るだけプロと同じ条件で制作し、操作だけでなく活用方法（デザインの理由）も学習する。使う教材は出来るだけ後期授業とリンクをさせ、他教科との親和性も高めた授業にする。

成績評価方法　◆作文・課題 50%　◆定期試験 0%　◆平常点 20%　◆授業への参加姿勢 30%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	ガイダンス・コンピュータ概論	ネットワーク（インターネット、LAN、サーバ）など情報処理に関する知識とパソコンの基本操作など、コンピュータに関する基礎知識を学ぶ。
2回	Photoshop 基礎 ①	「Photoshop」の基本操作を学習、描画・製図ソフトに共通するレイヤーの概念を知る。 （配布教材を使ってレイヤー操作し、レイヤーを理解できているかプリントにて確認）
3回	Photoshop 基礎 ②	リビングルームのモデルデータを元に部屋に飾るインテリアのデータを加工し配置する。 （画像のトリミング、色調補正、反転加工などを学習し、完成データにて習熟度を確認）
4回	理想の空間 ①	一点透視で描かれた空間をベースに「Photoshop」を使って、理想の空間を表現する（前編）。 （理想の空間をレイアウトし、他者（クライアント）へ伝わる様にビジュアル化する）
5回	理想の空間 ②	一点透視で描かれた空間をベースに「Photoshop」を使って、理想の空間を表現する（後編）。 （理想の空間をレイアウトし、他者（クライアント）へ伝わる様にビジュアル化する）
6回	データ変換、画像処理	Adobe「Photoshop」と「Illustrator」を使ってビットマップデータとベクターデータを学習。 拡張子や保存形式の変更、プリントアウトなどもパソコンで実習しながら学ぶ。
7回	Illustrator 基礎 ①	「Illustrator」の基本操作、ツールなどを学習、アウトライン（ベジェ曲線）の概念を知る。 （機種依存文字やプリンタ解像度などについても実習、提出プリントにて習熟度を確認）
8回	Illustrator 基礎 ②	タイポグラフィを通じてグラフィックデザイン、RGB/CMYKなどのカラー構成を知る。 （配布された教材を使ってフォント・Q数・カラーの選択、文字の校正などを学習）
9回	Illustrator 基礎 ③	画像の張り込み、リンク、トリミング（切り抜き加工など）を学ぶ。 （配布教材をベースにアレンジを加え、デザインセンスを養う、提出データにて習熟度を確認）
10回	商業デザインとは	実際に使われた商業デザインを用いて、訴求力のあるデザインとは何か、デザインが完成するまでの工程を考えながら学ぶ。
11回	住宅チラシの作成 ①	住宅平面図を元に「Photoshop」と「Illustrator」を使って、住宅案内のチラシを作成（前編）。 （顧客に訴えるデザイン、カラー・デザインでの視覚的効果などを考える）
12回	住宅チラシの作成 ②	住宅平面図を元に「Photoshop」と「Illustrator」を使って、住宅案内のチラシを作成（後編）。 （顧客に訴えるデザイン、カラー・デザインでの視覚的効果などを考える）
13回	プレゼンテーション	作成した住宅チラシを使ったプレゼンテーションを実施
14回	CAD 基礎 ①	CADの概念、データ構成を知る。「JW CAD」のインストールから基本操作を学ぶ
15回	CAD 基礎 ②	「JW CAD」の基本操作から、描画、図形を描く。CADソフトを使った製図作成の為の基礎学習。

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	建築デザイン科　昼間部（２年制）	2025年度	1年次・前 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	カラーコーディネート	3	45	
教科書・教材等	色彩検定公式テキスト、色彩用具一式			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
福島圭子	有　カラーコンサルタント		輿水正明	

授業の特徴・テーマ

色の仕組み、色彩心理、配色調和を学び、室内外のカラーコーディネートを理論的に計画する。

到達目標

色彩学の基本を理解し、生活環境の色彩に応用できる力をつける。建築における室内外の色彩効果について知り、身につける。建築計画室内計画に応用する力を身につける。

授業概要

色彩心理や配色効果を知り、建築やインテリアの色彩計画を可能にする。色彩に関する教材（配色カード）の理解を養う。

成績評価方法　◆作文・課題　50%　◆定期試験　30%　◆平常点　10%　◆授業への参加姿勢　10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	ガイダンス　色の三属性1	オリエンテーション／カリキュラム説明　色彩検定案内　教材の使い方 色の働きについて　色の三属性　色の分類とPCCS
2回	色の三属性2	PCCSの色相　明度　彩度　色表示　色立体について学ぶ
3回	トーンの理解1	トーンの成り立ちと名称について学ぶ
4回	トーンの理解2	各トーンの特徴とイメージについて学ぶ
5回	色彩感情	寒暖　軽重　派手地味など色の感情効果について学ぶ
6回	色の連想と象徴 基礎テスト1	色から受けるイメージや連想について学ぶ ペーパーテストにより学習の習熟度を知り、学んだ知識を確認する
7回	色の視覚効果	対比と同化、色の面積効果について学ぶ
8回	配色調和1	配色調和の考え方について理解する　色相配色について学ぶ
9回	配色調和2	トーン配色並びに配色の基本的な技法（アクセントカラー、セパレーション、グラデーション）について学ぶ
10回	配色とイメージ	配色から受けるイメージについて理解し、イメージボードの作成を開始する
11回	色と光　目の構造	視覚現象の三要素（光　物体　眼）について学ぶ
12回	混色	加法混色　減法混色　中間混色について学ぶ
13回	プレゼンテーション 基礎テスト2	イメージボードのプレゼンテーション ペーパーテストにより学習の習熟度を知り、学んだ知識を確認する
14回	プレゼンテーション インテリアの色彩	イメージボードのプレゼンテーション インテリアにおける色彩の活用方法について学ぶ
15回	総合演習	総まとめ

町田デザイン＆建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	建築デザイン科　昼間部（２年制）	2025年度	１年次・前期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	一般構造　1	3	45	
教科書・教材等	建築資料ビジュアルハンドブック、 やさしい建築一般構造他、オリジナルプリント、ノート			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
輿水 正明	無		石黒　汐乃	

授業の特徴・テーマ

建築・インテリアの基礎知識を一般構造分野、より学習し、計画等の科目や設計作品へと連動出来るようにする。

到達目標

建築・インテリアに関する基礎知識を学び身に付ける。

授業概要

建物の構造や骨組みなどのしくみをはじめ建築物、インテリアに関する基礎知識を学ぶ。

成績評価方法　◆作文・課題10　%　◆定期試験　50%　◆平常点20%　◆授業への参加姿勢20%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	到達目標
1回	オリエンテーション	授業内容と目標等、建築構造の発展史
2回	木構造	基礎　独立基礎
3回		軸組　　土台　柱　桁　筋かい
4回		床組
5回		屋根の種類、小屋組
6回		ツーバイフォー構法、
7回	中間試験	まとめとして試験による内容理解度の確認。
8回	その他構造	丸太組構法、集成材構法概要
9回		鉄筋コンクリート構造、補強コンクリートブロック造、概要
10回		鉄骨構造、鉄骨鉄筋コンクリート構造概要
11回	構法と仕上げ	造作と造作材
12回		開口部　建具
13回		階段
14回	期末試験	まとめとして試験による内容理解度の確認。
15回	総合演習	まとめおよび理解復習。

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	建築デザイン科　昼間部（２年制）	2025年度	1年次・前 期	選択
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	課題研究1	3	45	
教科書・教材等	プリント配布			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
藤本珠恵	有り　／美術教室勤務		輿水正明	

授業の特徴・テーマ

建築・インテリアデザインに必須の、パースの知識と描写力を身に付ける

到達目標

手描きで空間描写ができるようになること

授業概要

基本形体（立方体・円柱・球）のデッサン、建築パースの作画

成績評価方法　◆作文・課題　70%　◆定期試験　%　◆平常点　%　◆授業への参加姿勢　30%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	ガイダンス・基本形体①	授業概要の説明　／　基本形体①「透視法」「陰影法」によって、立方体を描く。（講評会）
2回	基本形体②	基本形体②「透視法」「陰影法」によって、円柱を描く。（講評会）
3回	基本形体③	基本形体③　球のもつ陰影を理解し、立体的に描く。（講評会）
4回	インテリアパース①	室内一点透視図を描く　／パースに従い、造作・家具を描き込む。
5回		／トレペを使用し、床、生活雑貨等の細部描写。
6回		（講評会）
7回	建築パース①	二点透視で4階建てビルを描く　／資料配布
8回		／パースに従い、人物及び周辺を描き入れる
9回		（講評会）
10回	実践パース	1/30模型をもとにパースを作画する／「林の中の灯台」 関野裕樹設計　　模型撮影
11回		外観パースの作画／　写真を拡大プリントし、スケッチブックに転写
12回		屋根、壁等の細部描写。（講評会）
13回		内観パースの作画／　写真を拡大プリントし、スケッチブックに転写
14回		床、壁、生活雑貨等の細部描写。（講評会）
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	建築デザイン科　昼間部（２年制）	2025年度	1年次・前 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	建築計画	3	45	
教科書・教材等	建築入門・オリジナルプリント			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
宇賀持　理沙子	有・建築設計		輿水　正明	

授業の特徴・テーマ

建物を計画する為の基本的な知識を学習しながら、建築計画の楽しさを知り発想力を高める。

到達目標

建築計画に関する知識を学び、思い描いた発想を形に表現し、提案力を身に付ける。

授業概要

求められる課題に対応した計画を行うスキルを身に付ける、講義及び演習課題を行う。

成績評価方法　◆作文・課題　60%　◆定期試験　%　◆平常点　20%　◆授業への参加姿勢　20%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	建築計画①	・オリエンテーション　・計画に必要な全体の流れを知る　・モジュール
2回	建築計画②	・敷地、道路、用途地域 ・面積について（建築面積・床面積・建蔽率・容積率・小屋裏・車庫等）・計算演習
3回	計画演習①	・住宅の基本計画（敷地を復元　三斜　座標）　配置図検討
4回	計画演習②	・住宅の基本計画（プランニング　平面図）
5回	建築計画③	・住宅の基本計画（立面図）
6回	計画演習③	・住宅の基本計画（断面図・矩計図）
7回	計画演習④	・住宅の基本計画（展開図・内観パース）
8回	計画演習⑤	・住宅の基本計画（展開図・内観パース）
9回	建築計画③	・建築法規（北側斜線・隣地斜線・道路斜線・採光計算）
10回	計画演習⑥	・プレゼンボート作成
11回	計画演習⑦	・模型製作
12回	計画演習⑧	・模型製作
13回	計画演習⑨	・パワーポイントでプレゼン資料を製作
14回	総合演習①	・プレゼンテーション
15回	総合演習②	・プレゼンテーション

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	建築デザイン科　昼間部（２年制）	2025年度	1年次・前 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	建築史	3	45	
教科書・教材等	テキスト【コンパクト版 建築史　日本・西洋】・筆記用具			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
友添成実	有り　　スタイリスト		学科長　輿水　正明	

授業の特徴・テーマ

テキストを用い建築史全般を学ぶ。単なる知識としてではなく、各自の設計・ﾃﾞｻﾞｲﾝの基礎知識として活用できるようにする。

西洋及び日本の建築史を学び、現代に繋がる建築の潮流の理解につなげることで、課題に応用できる知識の習得を目指す。

授業概要

建築の歴史を学ぶことで知識の幅を広げ、今後のデザインの基礎知識とする。

成績評価方法　◆作文・課題　10%　◆定期試験　40%　◆平常点　30%　◆授業への参加姿勢　20%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	ガイダンス 日本建築史01	④ 授業スケジュール(授業スケジュール表の配布)、授業内容説明＆講師談話 ⑤ 日史Ⅰ・Ⅱ　⑥ 日史Ⅲ・Ⅳ
2回	日本建築史02	④ 日史Ⅴ・Ⅵ　⑤ 日史Ⅶ・Ⅷ　⑥ 日史Ⅸ・Ⅹ
3回	日本建築史03 日本近代建築史01	④ 日史Ⅺ・Ⅻ　⑤ 日史Ⅰ～Ⅻ:テスト1回目　⑥ 日近史Ⅰ・Ⅱ
4回	日本近代建築史02	④ 日近史Ⅲ・Ⅳ　⑤ 日近史Ⅴ　⑥ 日近史Ⅵ・Ⅶ
5回	日本近代建築史03	④ 日近史Ⅷ・Ⅸ　⑤ 日本のモダニズム・ポストモダニズムをネットで調べる(建築家・建築物) ⑥ 日近史Ⅰ～Ⅸ:テスト2回目
6回	西洋建築史01	④ 西史Ⅰ・Ⅱ　⑤ 西史Ⅲ・Ⅳ　⑥ 西史Ⅴ・Ⅵ
7回	西洋建築史02	④ 西史Ⅶ・Ⅷ　⑤ 西史Ⅸ/ゴシック建築をネットで調べる　⑥ 西史Ⅹ・Ⅺ
8回	西洋建築史03 西洋近代建築史01	④ 西史Ⅻ・13　⑤ 西史Ⅰ～13:テスト3回目　⑥ 西近史Ⅰ・Ⅱ
9回	西洋近代建築史02	④ 西近史Ⅲ・Ⅳ　⑤ 西近史Ⅴ・Ⅵ　⑥ 西近史Ⅶ・Ⅷ
10回	西洋近代建築史03	④ 西近史Ⅸ/ディスティルをネットで調べる　⑤ 西近史Ⅹ-1(バウハウス・グロピウス) ⑥ 西近史Ⅹ-2(ミース ファン デル ローエ)
11回	西洋近代建築史04	④ 西近史Ⅹ-3(ル コルビジェ)　⑤ 西近史Ⅹ-4(フランク ロイド ライト)　⑥ 西近史Ⅺ
12回	西洋近代建築史05	④ 西近史Ⅻ　⑤ 西近史13　⑥ 西近史Ⅰ～13:テスト4回目
13回	現代の建築家01	④ 日本＆西洋の知っておきたい建築家紹介　⑤ 日本＆西洋の建築家の作品合せ調べる ⑥ レポートにして提出
14回	現代の建築とインテリア	④⑤⑥現代の建築とインテリアの実例を、講師の実例スライドで紹介、歴史との繋がりを解説
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	建築デザイン科　昼間部（２年制）	2025年度	1年次・前 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	建築製図	3	45	
教科書・教材等	初めての建築製図、プリント、製図道具一式			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
田中 春菜	有/建築意匠設計		学科長　奥水 正明	

授業の特徴・テーマ

製図道具に慣れるところからはじめ、手足のように使いこなせるようにする。制作のスピードよりも丁寧な作図と手で作り上げる喜びを知ってほしい。線一本の大切さを知ることで、ものづくりの原点としたい。

到達目標

二級建築士2次試験レベルの作図力を身につける。平面図・配置図・立面図・断面図・かなばかり図・詳細図の作図を通じ、木造住宅の構成とRC造の構成、作図を理解する。

授業概要

製図道具の使い方、平面図や断面図等の作図及び室内の詳細寸法を通し、正確かつ迅速な作図法を学ぶ。

成績評価方法　◆作文・課題　70%　◆定期試験　%　◆平常点　10%　◆授業への参加姿勢　20%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	オリエンテーション	製図規約　/　課題1　線の練習（縦・横線、実線・点線・一点鎖線）
2回	製図基礎	課題2　線・製図文字の練習
3回	〃	課題3　64角形の対角線
4回	〃	〃
5回	インテリア製図	課題4　平面レイアウト図・天井伏図　S＝1/50
6回	〃	〃
7回	インテリア製図	課題5　展開図　S＝1/50・アイソメトリックパース　S＝1/30
8回	〃	〃
9回	建築製図	課題6　配置図兼1階平面図、2階平面図　S=1/100
10回	〃	〃
11回	〃	〃
12回	建築製図	課題7　立面図・断面図　S=1/100
13回	〃	〃
14回	〃	〃
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	建築デザイン科　昼間部（２年制）	2025年度	２年次・前 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	表現技法２	3	45	
教科書・教材等	配布プリント			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
関野裕樹	有・建築設計職		輿水正明	

授業の特徴・テーマ

木造住宅を題材に設計の考え方、進め方、まとめ方、見せ方を学ぶ。

到達目標

卒業制作の前哨戦と位置づけ、木造住宅における発案から設計、プレゼン、発表までの一連の考え方や技術を身につける。

授業概要

実例を用いて講義を行う。計画案に対しては、クリニックを繰り返し行い作品を磨き上げる。

成績評価方法　◆作文・課題　80 %　◆定期試験　0 %　◆平常点　10%　◆授業への参加姿勢　10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	ガイダンス・木造軸組工法を知る1（4/17）	テキスト制作、授業スケジュール・授業内容説明、S=1/50軸組模型制作①
2回	木造軸組工法を知る2（4/24）	S=1/50軸組模型制作②
3回	課題発表（5/1）	課題ガイダンス（求められる設計・敷地説明・提出物・スケジュール等）、即日設計課題 即日（5/1）提出 設計心得①＜敷地を有効に利用する＞ プレゼンテーションテクニック①＜手描き図面＞
4回	クリニック①（5/8）	1stプラン提出（配置平面図）、エスキース 設計心得②＜設計の手掛かり＞
5回	クリニック②（5/22）	2ndプラン提出（配置平面図・断面図）、エスキース 設計心得③＜利他的な建築＞
6回	クリニック③（5/29）	3rdプラン提出or修正プラン1提出（配置平面図・断面図）、エスキース 設計心得④＜シンプルな構造＞ プレゼンテーションテクニック②＜ダイヤグラム＞
7回	クリニック④（6/5）	4thプラン提出or修正プラン2提出（配置平面図・断面図）、柱位置・基礎伏図の決め方、軸組模型について プレゼンテーションテクニック③＜ボリューム模型・軸組模型＞ 設計心得⑤＜普遍性を求めて＞
8回	設計計画確定確認（6/12）	確定プラン提出（配置平面図・断面図・ボリューム模型）⇒※確定者のみ制作を許可、CAD図面作成① 設計心得⑥＜継続＞
9回	プレゼンテーション演習1（6/19）	CAD図面作成②、軸組模型制作① プレゼンテーションテクニック④＜パース表現＞
10回	プレゼン・模型について（6/26）	軸組模型制作②、模型・プレゼンボード・プレゼンテーション・配布図面サンプル紹介 プレゼンテーションテクニック⑤＜プレゼン模型＞
11回	中間チェック（7/3）	中間成果物（図面・CADデータ・ボリューム模型・軸組模型・パース等）のチェック、プレゼンCAD図面への編集 プレゼンテーションテクニック⑥＜プレゼンテーション＞
12回	成果物提出（7/10）	成果物（中間チェックの修正成果物）提出チェック、プレゼン模型制作①
13回	最終チェック（7/17）	すべての成果物を提出・最終修正指示、プレゼン模型制作② PowerPointプレゼンデータ制作
14回	最終チェック（7/24）	クラス講評会
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	建築デザイン科　昼間部（２年制）	2025年度	２年次・前 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	BIM1	3	45	
教科書・教材等	PDFテキスト（授業ごとにロード）			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
石黒 汐乃			輿水　正明	

授業の特徴・テーマ

大手建設業界で全面BIM化が推進されている現代で活躍するために、3Dモデリングで作図を楽しみながら基礎知識を身につける。

到達目標

BIMを学ぶことでゼネコンなど大手への就職の幅を広げ、将来的な視野を広く持てるようにする。
授業を通して卒業制作での建築計画などに役立てられるようになる。

授業概要

Building Information Modeling／モデリングを通して楽しみながらRevitを学び、モデリングだけではなくプロジェクトに情報を組み込むことで
BIMとしてのシステムの理解を深める。

成績評価方法　◆作文・課題　60%　◆定期試験　0%　◆平常点　30%　◆授業への参加姿勢　10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	BIM概要 ソフトのインストール作業	BIMとは？現代におけるBIMの重要性について Revitのインストール作業
2回	画面構成・基本操作	基本操作・マウス操作・インターフェース
3回	作図の基本・マテリアル ファミリについて	要素の選択・作成・修正、プロジェクトの保存、マテリアルの作成 ファミリの構成
4回	復習	課題の指示書を参考に作図してみよう！
5回	外構を作成	プロジェクトの新規作成、CAD読み込み、方位設定、敷地境界線・地盤面・サブ領域作成、舗装
6回	レベルと通り芯 建築プランの作成①	レベル、参照面、通り芯 柱・壁・カーテンウォールの作成
7回	建築プランの作成②③	床・天井・ドア・窓の作成 コンポーネントの配置・部屋
8回	建築プランの作成④	階段、グループ化、レベル間の複写、屋根の作成
9回	集計表と図面の作成①	ビューの名前、集計表／数量、寸法
10回	集計表と図面の作成②	カラー凡例、断面図、シート(図枠)作成、印刷設定
11回	レンダリング 補足資料	レンダリング、外観パース作成
12回	住宅モデル作成課題①	テキストを元に各自2階建てを作成
13回	住宅モデル作成課題②	テキストを元に各自2階建てを作成
14回	住宅モデル作成課題提出	テキストを元に各自2階建てを提出
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	建築デザイン科　昼間部（２年制）	2025年度	１年次・前 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	一般構造Ⅱ	3	45	
教科書・教材等	改定版やさしい建築一般構造			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
富永 哲史	有・建築設計事務所、大学講師			

授業の特徴・テーマ

建築の骨格である構造について、一般的な構造形式を中心にして、その仕組み・特徴などの基本的事項を学習する。

到達目標

建築構造の特徴を理解し、知識を取得する。また建築士の学科試験対策としての発展的理解へと繋げることを目標とする。

授業概要

鉄骨造や鉄筋コンクリート造に重点を置き、現代建築に用いられる各部の構造について、映像や図と写真などを活用し、要点を整理しながら容易に一般構造の理解を深め、さらに建築士の試験問題に関連づけて講義する。

成績評価方法　◆作文・課題　0%　◆定期試験　60%　◆平常点　20%　◆授業への参加姿勢　20%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	はじめに、木構造	全体説明、建築に働く力、地震対策、構造計画、木材の特徴、木質材料
2回	木構造	木造構造の特徴、構造形式
3回	木構造	在来工法における基礎・地業、軸組、柱頭・柱脚金物の設置基準
4回	木構造	在来工法における耐力壁（壁料計算）、小屋組、階段、接合部　　枠組壁工法
5回	鉄骨造	鋼材の特徴、鋼材の形状、鉄骨造の特徴、構造形式
6回	鉄骨造	鉄骨構造接合、部材の設計、各部の構造、床板、階段、耐火被覆
7回	中間テスト	中間テストの実施、及び問題の解説とふりかえり
8回	鉄筋コンクリート	コンクリートと鉄筋の特徴、鉄筋コンクリート造の特徴と原理、構造形式
9回	鉄筋コンクリート	鉄筋の配筋計画、各部の構造、壁式鉄筋コンクリート造、壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造
10回	その他の構造、基礎	鉄骨鉄筋コンクリート造（SRC）、補強コンクリートブロック造、プレキャストコンクリート造、基礎
11回	基礎、下地と仕上げ	地盤、防水、壁、床、天井
12回	下地と仕上げ	開口部、階段、和室
13回	期末テスト	期末テスト
14回	解説と復習	テストの返却と問題の解説
15回	まとめ	総合演習

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	建築デザイン科　昼間部（2年制）	2025年度	2年次・前 期	選択
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	課題研究3	3	45	
教科書・教材等	配布プリント			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
関野裕樹	有・建築設計職		輿水正明	

授業の特徴・テーマ

木造住宅を題材に基本図面の作図及びデータ構成を学ぶ。

到達目標

CAD操作を習得し、卒業制作・就職後に活かす。

授業概要

定められたデータ構成による木造住宅の基本図（求積表・配置図・平面図・立面図・断面図）の作図法をマスターする。
後半は分科課題の演習を行う。

成績評価方法　◆作文・課題　80 %　◆定期試験　0 %　◆平常点　10%　◆授業への参加姿勢　10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	ガイダンス（4/17）	課題配布、環境設定ファイルの導入
2回	1階平面図①（4/24）	グループ・レイヤーの説明、作図
3回	1階平面図②（5/1）	作図
4回	1階平面図③（5/8）	作図
5回	2階平面図①（5/22）	作図
6回	2階平面図②（5/29）	作図
7回	予備（6/5）	予備
8回	立面図（6/12）	作図
9回	断面図・求積図（6/19）	作図
10回	配置図（6/26）	作図
11回	予備（7/3）	予備
12回	分科課題（7/10）	分科課題：設計Ⅲ課題作図
13回	分科課題（7/17）	分科課題：設計Ⅲ課題作図
14回	分科課題（7/24）	分科課題：設計Ⅲ課題作図
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	建築デザイン科　昼間部（２年制）	2025年度	２年次・前 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	建築材料2	1	15	
教科書・教材等	インテリアコーディネーターハンドブック			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
石黒　汐乃	無		奥水　正明	

授業の特徴・テーマ

建築計画において関わりの深い、建築材料の特性について学ぶ。

到達目標

1年時に学んだ基礎的知識をもとに、より応用的かつ実務的（二級建築士レベル）な知識の習得を目指す。

授業概要

講義形式を基本とし、必要に応じてビジュアル及び実例をもとに理解を深められる工夫を行い授業を進める。また、授業内容に応じて、習得した内容の確認・習得を目標に小テスト、演習等を行い、実務で活用できるよう理解を深めることを目指す。

成績評価方法　◆作文・課題　%　◆定期試験　60%　◆平常点　30%　◆授業への参加姿勢　10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	ガイダンス、木材・木質材料①	・建築材料の役割について把握する。・樹種・製材・構造、含水率、欠点、強度、弾性係数について理解する。
2回	木材・木質材料②	・クリープ、使用適当樹種について理解する。・木質材料（合板、集成材、OSB、パーティクルボード、ファイバーボード、LVL、CLT）についての特性を理解する。
3回	木材・木質材料③	・木質材料（合板、集成材、OSB、パーティクルボード、ファイバーボード、LVL、CLT）についての特性を理解する。・木材・木質材料に関する理解を深めるため、基本演習を行う。
4回	金属	・鉄・鉄鋼の特性を理解する。・非鉄金属の特性を理解する。
5回	セメント・コンクリート①	・セメントの製造、ポルトランドセメントの特性を理解する。
6回	セメント・コンクリート②	・ポルトランドセメントの特性を理解する。・コンクリートの構成・製造について理解する。
7回	セメント・コンクリート③	・打設と養生、硬化コンクリート、コンクリート製品についての理解を深める。（実例紹介: 新青森県総合運動公園陸上競技場、松本等）
8回	石材	・前回までのコンクリート分野の理解のため、基本演習を行い、習熟度を高める。・分類、物理的性質、仕上げ・加工、石材の使われ方（使用例）について理解する。
9回	ガラス系材料	・製造、種類、物理的性質、構法について理解する。
10回	プラスチック・塗料	・プラスチックの定義、種類、環境関連について理解する。・塗料の特性、適合性について理解する。
11回	接着剤・左官材料	・接着剤の種類、適用工事、接着の仕組みについて理解する。・左官材料の種類、使われ方、仕上げについて理解する。
12回	焼成材料	・焼成材料の分類（瓦、煉瓦、タイル）、各特性について理解する。
13回	エコ材料・リサイクル材料・機能性材料	・各材料特性を理解する。
14回	考査試験	建築材料の習熟度を確認する。期末考査試験（ペーパーテスト）により、各生徒の習熟度を確認する。
15回	総合演習	

町田デザイン＆建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	建築デザイン科　昼間部（２年制）	2025年度	2年次・前期	選択
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	建築士講座	3	45	
教科書・教材等	前年度2級建築士試験問題			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
非対面 / 輿水正明	無し		石黒　汐乃	

授業の特徴・テーマ

実際の試験問題を使い、学生自身が難易度を体感する

到達目標

二級建築士学科合格のレベルの学力取得

授業概要

前年度2級建築士試験問題を実際に解き、解説を行う

成績評価方法　◆作文・課題　80%　◆定期試験　　%　◆平常点　　%　◆授業への参加姿勢　20%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	到達目標
1回	構造　（1～6）	力学の理解
2回	構造（17～19）	一般構造の理解
3回	構造　（20～25）	材料の理解
4回	計画　（1～10）	環境の理解
5回	計画　（11～18）	建築計画の理解
6回	計画　（16～25）	設備の理解
7回	施工　（1～7）	仮設の理解
8回	施工　（8～16）	一般l施工の理解
9回	施工　（17～25）	融合問題
10回	法規　（1～10）	単体規定の理解
11回	法規（11～19）	集団規定の理解
12回	法規　（20～25）	融合問題
13回	期末試験	内容確認テスト
14回	解説	内容確認テストの解説
15回	総評	本試験の難易度と現在の実力の再確認

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	建築デザイン科　昼間部（２年制）	2025年度	２年次・前 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	建築施工２	3	45	
教科書・教材等	改訂版やさしい建築施工、建築資料ビジュアルハンドブック			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
山本　響	有　意匠設計、建築審査、断熱材料開発、プラント設計		輿水 正明	

授業の特徴・テーマ

施工に必要な基礎知識及び二級建築士レベルの基礎知識の習得

到達目標

建築士として必要な建築施工の基礎知識を、施工計画、仮設工事や躯体工事、仕上げ・設備工事と実務の流れに即して教科書を通して身につける。

授業概要

建築施工の基本知識を教科書・教材を通して解説していくとともに、知識の定着を図る。
スクーリングでは、中間試験、単位認定試験を通じて建築施工の基本的な知識の定着度を確認していく。

成績評価方法　◆作文・課題　0%　◆定期試験　60%　◆平常点　20%　◆授業への参加姿勢　20%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	ガイダンス・施工概論・工事契約・積算	建築施工の概要を理解するとともに工事契約、積算について基礎知識の習得
2回	施工計画、施工管理、地盤調査	施工計画、施工管理、地盤調査について基礎知識の習得
3回	測量、仮設工事、土工事	測量、仮設工事、土工事について基礎知識の習得
4回	基礎地業工事・鉄筋コンクリート工事（コンクリート材）	基礎地業工事、鉄筋コンクリート工事について基礎知識の習得
5回	鉄筋コンクリート工事（鉄筋・型枠工事）	鉄筋コンクリート工事について基礎知識の習得
6回	鉄筋コンクリート工事（コンクリート工事・打設）	鉄筋コンクリート工事について基礎知識の習得
7回	中間テスト	中間テスト
8回	鉄骨工事	鉄骨工事について基礎知識の習得
9回	コンクリートブロック工事、木工事	コンクリートブロック工事、木工事について基礎知識の習得
10回	防水工事、屋根工事、左官工事	防水工事、屋根工事、左官工事について基礎知識の習得
11回	タイル工事、張り石工事、塗装工事	タイル工事、張り石工事、塗装工事について基礎知識の習得
12回	建具工事、ガラス工事、内装断熱工事、ユニットその他工事	建具工事、ガラス工事、内装断熱工事、ユニットその他工事について基礎知識の習得
13回	外装工事、設備工事、施工機械、維持管理	外装工事、設備工事、施工機械、維持管理について基礎知識の習得
14回	期末テスト	期末テスト
15回	総合演習	総まとめとして復習確認。

町田デザイン＆建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	建築デザイン科　昼間部（２年制）	2025年度	２年次・前期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	建築設備	3	45	
教科書・教材等	インテリアコーディネーターハンドブック下巻、オリジナルスライド・ノート等			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
輿水 正明	無し		石黒　汐乃	

授業の特徴・テーマ

建築物内部における、生活に必要な機器装置の役割やしくみについて、快適な空間づくりへの目的と合わせて学習する。

到達目標

建築物・都市計画におけるライフラインとも呼べる設備環境、電気、ガス、水道の設計施工の知識を習得する。エコロジー的観点から物事を捕らえられる人材の育成を図る

授業概要

テキストとノートでの講義授業。できる限りの実際の写真やデータを活用し、実社会との接点も多く取り授業導入する。

成績評価方法　◆作文・課題10　％　◆定期試験　50%　◆平常点20%　◆授業への参加姿勢20%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	到達目標
1回	ガイダンス	授業概要、説明
2回	給水設備	給水過程、方式、水栓金具種類
3回	給湯設備	給湯方式、浴室の設備機器
4回	排水設備	排水方式、トラップの種類
5回	衛生設備	衛生器具、洗浄方式　、し尿浄化槽
6回	ガス設備	種類としくみ、供給方式について
7回	暖房設備、空気調和設備	種類、特徴、供給方式について
8回	中間試験	
9回	換気設備	換気の種類、必要換気量、必要換気回数について
10回	電気設備	供給方式について、電線、スイッチ、コンセントについて
11回	消火設備、　防犯設備	種類、特徴としくみ
12回	搬送、避難設備	種類、特徴としくみ
13回	エコロジー環境について	汚染状況これからの生活環境について
14回	期末試験	
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	建築デザイン科　昼間部（ 2年制 ）	2025年度	2年次・前 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	建築法規2	3	45	
教科書・教材等	テキスト(やさしい建築法規)・法令集			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
菊池　康弘	有り/一級建築士		学科長　奥水 正明	

授業の特徴・テーマ

法令集を使いこなせるように学習し　建築基準法　及び付随する関係法令を理解する。

到達目標

法令用語の意味を理解し、その用語の意味・意図を理解させる。また、練習問題を通して　法令の使い方・解釈を理解させる。

授業概要

建築基準法・建築基準法施行令の中でも　重要な箇所・2級建築士学科試験に多く出題される部分の理解力向上を主目標とする。

成績評価方法　◆作文・課題　%　◆定期試験　60%　◆平常点　20%　◆授業への参加姿勢　20%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	法令集のインデックス貼り	各自に配布したインデックスを指定のページ・位置に貼り付ける
2回	建築基準法の大系	法令の形式　章・条・項・号・イロハの区別　及び、法律・政令・省令・条例・規則についての違いを理解する。
3回	建築基準法の基本定義	建築物・建築設備・居室・主要構造部・構造耐力上主要な部分・特殊建築物・指定工作物等の定義を理解する。
4回	建築基準法に関する手続き	確認申請手続き・確認申請を必要とする建築物等・用途変更等の定義を理解する。
5回	敷地・面積・高さ等	用途上不可分な関係の建築物・法42条第2項道路・建築面積・床面積の各算定方法を理解する。
6回	採光に関する基準	居室における採光の算定方法と採光面積の特例について理解を深める。
7回	構造に関する基準(居室の天井高さ・階段等)	換気に関する基準・居室の天井高さ算定・居室の床の高さ・長屋等の界壁について理解を深める。
8回	面積の制限(容積率)	敷地面積に対する床面積の割合・用途地域による容積率の違いについて理解を深める。
9回	面積の制限(建蔽率)	敷地面積に対する建築面積の割合・用途地域による建蔽率の違いについて理解を深める。
10回	道路斜線	用途地域別の道路斜線勾配・斜線緩和・用途地域が跨る場合の検討等の計算方法を理解する。
11回	隣地斜線	用途地域別の隣地斜線勾配・斜線緩和・用途地域が跨る場合の検討等の計算方法を理解する。
12回	隣地斜線	用途地域別の北側斜線勾配・ペントハウスの高さ非算入・前面に道路がある場合の計算方法を理解する。
13回	防火地域・準防火地域・その他法令	防火地域・準防火地域・耐火構造・準耐火構造・防火構造等　近似用語の違いを主に理解する。
14回	前期期末試験	1回～13回までの講義の集大成として、法令集持ち込み可として　前期期末試験を行う。
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	建築デザイン科　昼間部（２年制）	2025年度	２年次・前 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	構造力学2	3	45	
教科書・教材等	初めての構造力学、建築資料ビジュアルハンドブック、インテリアコーディネーターハンドブック他、オリジナルプリント、定規、電卓、ノート			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
山本　響	有　　意匠設計、建築審査、断熱材料開発、プラント設計		輿水 正明	

授業の特徴・テーマ

構造力学の基礎知識、静定ばり、静定ラーメン等を学習し、計画等の科目や設計作品へと連動出来るようにする。

到達目標

地震国日本にとって重要といえる構造、その中でも構造力学は重要である。構造力学の基礎知識を学び、身に付ける。

授業概要

構造計算の基礎知識や建築物の構造に関する基礎知識を学ぶ。

成績評価方法　◆作文・課題　0　%　◆定期試験　60%　◆平常点20%　◆授業への参加姿勢20%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	オリエンテーション・反力	授業内容と目標　片持ち梁、単純ばり反力計算復習
2回	応力	部材に作用する応力の理解（片持ち梁・単純梁・ラーメン構造）
3回	応力	部材に作用する応力の理解（片持ち梁・単純梁・ラーメン構造）
4回	応力	応力の算定（矢印法・面積法）
5回	トラス	節点法　図解法の理解
6回	トラス	切断法の理解
7回	中間試験	試験による内容理解度の確認。
8回	断面に関する数量	断面一次モーメント、断面二次モーメントの理解
9回	断面に関する数量	断面係数の理解
10回	応力度	軸応力度・せん断応力度・曲げ応力度の理解
11回	応力度	軸応力度・せん断応力度・曲げ応力度の理解
12回	応力度	軸応力度・せん断応力度・曲げ応力度の理解
13回	座屈・たわみ	座屈・たわみの理解
14回	期末試験	試験による内容理解度の確認。
15回	まとめ	総まとめとして復習確認。

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	建築デザイン科　昼間部（２年制）	2025年度	1年次・前 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	実学実習1	3	45	
教科書・教材等	やさしい建築施工・オリジナルプリント			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
宇賀持　理沙子	有・建築設計		輿水　正明	

授業の特徴・テーマ

建築施工の基礎知識を、実学実習を行う中で施工管理の流れ（提案、工程表、積算、見積）を学ぶ。

到達目標

図面作成、積算、工程を理解し整合性の取れた提案力を身に付ける。

授業概要

求められる課題に対応した提案を行うスキルを身に付ける、講義及び演習課題を行う。

成績評価方法　◆作文・課題　60%　◆定期試験　%　◆平常点　20%　◆授業への参加姿勢　20%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	施工計画①	・施工管理の役割　・課題説明（リフォーム）
2回	施工演習②	・リフォームの基本計画
3回	施工演習③	・リフォームの基本計画（プランニング）
4回	施工演習④	・リフォームの基本計画（プランニング　平面図）
5回	施工演習⑤	・リフォームの基本計画（立面図　断面図）
6回	施工演習⑥	・リフォームの基本計画（展開図・内観パース）
7回	施工演習⑦	・積算
8回	施工演習⑧	・積算
9回	施工演習⑨	・見積書作成(WindowsPC使用)
10回	施工演習⑩	・工程表作成(WindowsPC使用)
11回	施工演習⑪	・工程表作成(WindowsPC使用)
12回	施工演習⑫	・プレゼンボート作成(WindowsPC使用)
13回	施工演習①	・パワーポイント(WindowsPC使用)でプレゼン資料を製作
14回	総合演習①	・プレゼンテーション
15回	総合演習②	・プレゼンテーション

町田デザイン＆建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	建築デザイン科　昼間部（２年制）	2025年度	2年次・前期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	就職指導	1	15	
教科書・教材等	内定獲得ブック			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
井比　敏紀			奥水　正明	

授業の特徴・テーマ

就職活動の準備をし、学生一人一人が円滑に就職活動を行えるよう、講義と個別2Wayでの指導

到達目標

希望職種での内定獲得

授業概要

就職活動を行いながら、社会人になるための準備をする

成績評価方法　◆作文・課題　0%　◆定期試験　0%　◆平常点　30%　◆授業への参加姿勢　70%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	オリエンテーション	就職活動に向けたキックオフ
2回	個別面談①	希望分野・業種・職種の決定
3回	個別面談②	希望分野・業種・職種の決定
4回	個別企業説明会Ⅰ	各学科にて個別企業説明会　※企業見学及び選考企業の決定
5回	個別企業説明会Ⅱ	各学科にて個別企業説明会　※企業見学及び選考企業の決定
6回	個別企業説明会Ⅲ	各学科にて個別企業説明会　※企業見学及び選考企業の決定
7回	個別企業説明会Ⅳ	各学科にて個別企業説明会　※企業見学及び選考企業の決定
8回	個別指導❶	模擬面接・履歴書作成の再確認　※学生一人ひとりが面接や履歴書に対して自信を持つ
9回	個別指導❷	模擬面接・履歴書作成の再確認　※学生一人ひとりが面接や履歴書に対して自信を持つ
10回	個別面談③	就職活動状況及び進路状況の確認　※学生一人ひとりが考えや思いを明確にする
11回	個別面談④	就職活動状況及び進路状況の確認　※学生一人ひとりが考えや思いを明確にする
12回	個別指導❸	最終的な就職活動状況(内定者と進路未決定者)確認と最終決定をする
13回	個別指導❹	最終的な就職活動状況(内定者と進路未決定者)確認と最終決定をする
14回	まとめ	就職指導授業の振り返りと社会人になる前の心得について学ぶ
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	建築デザイン科　昼間部（２年制）	2025年度	２年次・前 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	設計３	3	45	
教科書・教材等	配布プリント			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
関野裕樹	有・建築設計職		輿水正明	

授業の特徴・テーマ

木造住宅を題材に設計の考え方、進め方、まとめ方、見せ方を学ぶ。

到達目標

卒業制作の前哨戦と位置づけ、木造住宅における発案から設計、プレゼン、発表までの一連の考え方や技術を身につける。

授業概要

実例を用いて講義を行う。計画案に対しては、クリニックを繰り返し行い作品を磨き上げる。

成績評価方法　◆作文・課題 80 %　◆定期試験 0 %　◆平常点 10%　◆授業への参加姿勢 10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	ガイダンス・木造軸組工法を知る1（4/17）	テキスト制作、授業スケジュール・授業内容説明、S=1/50軸組模型制作①
2回	木造軸組工法を知る2（4/24）	S=1/50軸組模型制作②
3回	課題発表（5/1）	課題ガイダンス（求められる設計・敷地説明・提出物・スケジュール等）、即日設計課題 即日（5/1）提出 設計心得①＜敷地を有効に利用する＞ プレゼンテーションテクニック①＜手描き図面＞
4回	クリニック①（5/8）	1stプラン提出（配置平面図）、エスキース 設計心得②＜設計の手掛かり＞
5回	クリニック②（5/22）	2ndプラン提出（配置平面図・断面図）、エスキース 設計心得③＜利他的な建築＞
6回	クリニック③（5/29）	3rdプラン提出or修正プラン1提出（配置平面図・断面図）、エスキース 設計心得④＜シンプルな構造＞ プレゼンテーションテクニック②＜ダイヤグラム＞
7回	クリニック④（6/5）	4thプラン提出or修正プラン2提出（配置平面図・断面図）、柱位置・基礎伏図の決め方、軸組模型について プレゼンテーションテクニック③＜ボリューム模型・軸組模型＞ 設計心得⑤＜普遍性を求めて＞
8回	設計計画確定確認（6/12）	確定プラン提出（配置平面図・断面図・ボリューム模型）⇒※確定者のみ制作を許可、CAD図面作成① 設計心得⑥＜継続＞
9回	プレゼンテーション演習1（6/19）	CAD図面作成②、軸組模型制作① プレゼンテーションテクニック④＜パース表現＞
10回	プレゼン・模型について（6/26）	軸組模型制作②、模型・プレゼンボード・プレゼンテーション・配布図面サンプル紹介 プレゼンテーションテクニック⑤＜プレゼン模型＞
11回	中間チェック（7/3）	中間成果物（図面・CADデータ・ボリューム模型・軸組模型・パース等）のチェック、プレゼンCAD図面への編集 プレゼンテーションテクニック⑥＜プレゼンテーション＞
12回	成果物提出（7/10）	成果物（中間チェックの修正成果物）提出チェック、プレゼン模型制作①
13回	最終チェック（7/17）	すべての成果物を提出・最終修正指示、プレゼン模型制作② PowerPointプレゼンデータ制作
14回	最終チェック（7/24）	クラス講評会
15回	総合演習	

建築デザイン科
後期シラバス

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	建築デザイン科　昼間部（２年制）	2025年度	1年次・後 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	表現技法1	3	45	
教科書・教材等	色彩検定公式テキスト　配布プリント			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
福島圭子	有　カラーコンサルタント		輿水正明	

授業の特徴・テーマ

色の理論を踏まえた上で、色鉛筆・マーカー・パステルを使ったインテリア空間及び樹木等の着彩表現方法を、実習を通して習得する

到達目標

色材の特徴を活かした着彩方法を習得し、スケッチパースに着彩を施し、イメージ通りの空間表現を実現する

授業概要

色材の特徴や使い方をマスターし、それぞれを組み合わせることによって表現の奥行きや幅を広げる

成績評価方法　◆作文・課題　50%　◆定期試験　30%　◆平常点　10%　◆授業への参加姿勢　10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	オリエンテーション　色材	カリキュラムについて　色材確認 色鉛筆チャート表の作成　　色鉛筆の使い方を学ぶ
2回	マーカーの使い方	コピック一覧表の作成 コピックの基本的な使い方を学ぶ
3回	パステルの使い方	パステルの使い方を学ぶ　色彩の特徴と効果的な使い方を学ぶ 7種類のブラウンを三属性で分類する
4回	インテリア家具の着彩	確認テストで習熟度を知る インテリア家具を色鉛筆とコピックで着彩する
5回	樹木　床面の着彩	床面の着彩方法、樹木の着彩方法について学ぶ オフニュートラルカラーを三属性で分類する
6回	インテリア空間の配色1	配色技法をインテリア空間に活用する～アクセントカラー、セパレーション、グラデーション
7回	模様の種類と分類	模様・柄の種類と分類の方法を学び、オリジナルを作成、着彩する
8回	インテリア空間の配色2	確認テストで習熟度を知る 配色技法をインテリア空間に活用する～ナチュラルハーモニー、コンプレックスハーモニー
9回	インテリア空間の着彩	インテリア3カット（ベッドルーム　キッチン　リビング）をコピックで着彩する
10回	インテリア空間のイメージ	配色イメージと素材、デザインの関係について学ぶ
11回	インテリア空間のイメージ	配色イメージと素材、デザインの関係について学ぶ　２
12回	リビングルームの着彩	確認テストで習熟度を知る リビングルームの着彩課題説明とコンセプト、色彩計画を組み立てる
13回	リビングルームの着彩	リビングルームの着彩課題説明とコンセプト、色彩計画を組み立てる レイアウトの基礎を学ぶ
14回	作品講評	リビングルームの着彩についての作品講評をする
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	建築デザイン科　昼間部（２年制）	2025年度	１年次・後 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	CAD Ⅱ	3	45	
教科書・教材等	プリント配布			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
田中 春菜	有/建築意匠設計		学科長　輿水　正明	

授業の特徴・テーマ

CADの基本操作から応用操作を学び、作図力を身につける。

到達目標

・図面作成のためのCAD基本操作の習得。　・CAD検定3級受験

授業概要

1人1台パソコンを準備し、JwCADを用いて授業を行う。後半はCAD検定試験の過去問を実施し試験に備える。

成績評価方法　◆作文・課題　80%　◆定期試験　%　◆平常点　10%　◆授業への参加姿勢　10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	ガイダンス・基本操作	CAD Ⅰ 授業の進め方、JwCAdインストール、基本操作
2回	基本操作	【演習1】線分、円・円弧、消去、中心線、2線
3回	〃	【演習2】伸縮、複線、部分消去、面取り
4回	〃	【演習3】コーナー、包絡、中心線、分割、ハッチング
5回	作図応用	【演習4】水回り平面図
6回	〃	【演習5】洋室平面図
7回	〃	【演習6】LDK平面図
8回	試験対策	CAD検定試験ガイダンス。4級過去問題実施
9回	〃	CAD検定3級練習問題
10回	〃	CAD検定4級練習問題
11回	〃	CAD検定5級練習問題
12回	〃	CAD検定6級練習問題
13回	検定試験	CAD検定試験3級受験
14回		CAD検定試験解説
15回	総合演習	

町田デザイン＆建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	建築デザイン科　昼間部（2年制）	2025年度	1年次・後期	必修
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	プレゼン演習	3	45	
教科書・教材等	プリント配布・参考作品			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
藤本珠恵	有り／美術教室勤務		輿水正明	

授業の特徴・テーマ

建築・インテリアパースの基本と応用を学ぶ。

到達目標

パースの成り立ちを理解し、作画法を学ぶことで、自在な空間描写力を身に付ける。

授業概要

建築模型をもとにパースを作画する。

成績評価方法　◆作文・課題 70 %　◆定期試験　 %　◆平常点　 %　◆授業への参加姿勢 30 %

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	模型撮影	自作のボリューム模型を、各自の端末で撮影する（正面・俯瞰アングル）
2回	外観パース（正面）	画像をA4プリントし、ガイドラインをトレース／パースに従い外装（屋根・壁等）周辺の描き込み
3回		着彩仕上げ（水彩）　（講評会）
4回	外観パース（俯瞰）	画像をA4プリントし、ガイドラインをトレース／パースに従い外装（屋根・壁等）周辺の描き込み
5回		着彩仕上げ（水彩）　（講評会）
6回	内観パース（富士見の家）	富士見の家（関野裕樹設計）平面図から、室内パースを描き起こす　※プリント配布
7回		トレペを重ね、パースに沿って床、家具、雑貨等の描写
8回		
9回		着彩仕上げ（水彩）　（講評会）
10回	模型撮影	前半の手順同様、自作のボリューム模型撮影を撮影（見上げ・俯瞰アングル）
11回	外観パース②（見上げ）	画像をA4プリントし、ガイドラインをトレース／パースに従い外装（屋根・壁等）周辺の描き込み
12回		着彩仕上げ（水彩）　（講評会）
13回	外観パース②（俯瞰）	画像をA4プリントし、ガイドラインをトレース／パースに従い外装（屋根・壁等）周辺の描き込み
14回		※周辺の描き入れ　着彩仕上げ（水彩・色鉛筆）　（講評会）
15回	総合演習	

町田デザイン＆建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	建築デザイン科　昼間部（２年制）	2025年度	1年次・後期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	一般教養	1	15	
教科書・教材等	内定獲得ブック			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
井比　敏紀			輿水　正明	

授業の特徴・テーマ

次年度の就職活動に向けて、基礎的な知識や心構え、書類の書き方、面接・試験対策など学び、内定を獲得するための講義とする

到達目標

学生一人一人が就職活動に必要なスキルを身につけ、希望職種でのを内定獲得を目指す

授業概要

就職意義と目的を理解し、基礎から学びながら就活の流れを把握して、必要な知識と力を身につける

成績評価方法　◆作文・課題　0%　◆定期試験　0%　◆平常点　30%　◆授業への参加姿勢　70%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	就職する意義・目的	就職する意義と目的をきちんと認識し、就職意識を高める
2回	会社・業種・職種について	会社・業種・職種の違いについて理解する
3回	求人票について ※求人の探し方について	求人票の見方、求人検索のコツについて理解する
4回	自己分析(過去・現在・未来)の自分史について	自分自身と向き合い、自分史を作成する
5回	自己分析(成長できたこと) ※肯定的な自己分析	自分史を元に肯定的な自己分析をする
6回	自己PRについて	履歴書・面接時に有利な自己PRを作成する
7回	志望動機について① ※自己PR返却	志望動機について理解する
8回	志望動機について②	志望動機の書き方をマスターし作成する
9回	履歴書の書き方	履歴書の書き方をマスターし作成する
10回	求める人物像(具体的に)と人間力について	企業が求める人物像を理解し、必要な人間力を学ぶ
11回	面接に臨む姿勢・心得 ※動画視聴含む	面接試験の種類や流れを知り、面接試験時の姿勢や心得を学ぶ
12回	模擬面接①	実践的な模擬面接を行い、面接におけるスキルを身につける
13回	模擬面接②	実践的な模擬面接を行い、面接におけるスキルを身につける
14回	まとめ	本格的な就職活動に向けての最終確認をする
15回	総合演習	

町田デザイン＆建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	建築デザイン科　昼間部（２年制）	2025年度	１年次・後期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	環境工学1	1	15	
教科書・教材等	世界で一番やさしい建築入門、 他、オリジナルプリント、定規、電卓、ノート			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
輿水 正明	無		石黒　汐乃	

授業の特徴・テーマ

建築・インテリアの基礎知識を環境工学分野より学習し、計画等の科目や設計作品へと連動出来るようにする。

到達目標

建築・インテリアに関する基礎知識、計算を学び身に付ける。

授業概要

建物の日常環境との関係の基礎知識をはじめ建築物、インテリアに関する基礎知識を学ぶ。

成績評価方法　◆作文・課題10　%　◆定期試験　50%　◆平常点20%　◆授業への参加姿勢20%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	到達目標
1回	オリエンテーション	授業内容と予定　建築環境の概要
2回	屋外環境	各地気候、特色
3回	室内環境	有効温度読み取り
4回		熱の性質　熱伝達　熱伝導　熱貫流のしくみ
5回		熱貫流率、熱貫流量の計算
6回		湿度　結露のしくみ理解　湿り空気線図の読み取り
7回	中間試験	まとめとして試験による内容理解度の確認。
8回		前半復習　環境工学後半スケジュール
9回	日影曲線図の理解、時間日影図の作成	日照、真太陽・標準時 日影曲線図
10回	日射量比較・隣棟間隔計算	日射、日射量・隣棟間隔
11回	採光、照明方法理解	採光、　昼光率　採光方式　照明方式、照度基準
12回	音の性質理解、	音響　吸音　遮音　反響、残響時間
13回	騒音	騒音振動　　対策
14回	試験・まとめ	まとめとして試験による内容理解度の確認。
15回	総合演習	まとめおよび理解復習。

町田・デザイン専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	建築デザイン科　昼間部（２年制）	2025年度	１年次・後期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	建築インテリア製図１	3	45	
教科書・教材等	オリジナルテキスト、一級建築士設計製図試験 直前対策と課題演習。製図道具			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
石黒 汐乃			学科長　輿水　正明	

授業の特徴・テーマ

空間構成と立体構成を表現する力を身につける。建築士として、より専門的な知識とテクニックを知る。

到達目標

二級建築士2次試験レベルの作図力を身につける。平面図・配置図・立面図・断面図・かなばかり図・詳細図の作図を通じ、木造住宅の構成とRC造の構成、作図を理解する。

授業概要

建築士2次試験を意識し、より作図スピードや正確さのレベルアップを図る。後期では立面図・断面図・かなばかり図・詳細図の作図を通じ、木造住宅の構成とRC造の構成、作図を理解する。

成績評価方法　◆作文・課題70%　◆定期試験　　%　◆平常点10%　◆授業への参加姿勢20%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	到達目標
1回	課題１	木造住宅 立面図・断面図の作図　S＝1/100
2回	課題１	木造住宅 立面図・断面図の作図　S＝1/100　　次週授業初めに提出
3回	課題２	かなばかり図　S＝1/30
4回	課題２	かなばかり図　S＝1/30
5回	課題２	かなばかり図　S＝1/30
6回	課題２	かなばかり図　S＝1/30
7回	課題２	かなばかり図　S＝1/30　　授業終わり提出
8回	課題３	鉄筋コンクリート造事務所 課題説明　配置図・平面図の作成
9回	課題３	鉄筋コンクリート造事務所　配置図・平面図の作成
10回	課題３	鉄筋コンクリート造事務所　立面図・断面図の作成
11回	課題３	鉄筋コンクリート造事務所　立面図・断面図の作成
12回	課題３	鉄筋コンクリート造事務所　かなばかり図の作成
13回	課題３	鉄筋コンクリート造事務所　かなばかり図の作成
14回	課題３	鉄筋コンクリート造事務所　かなばかり図の作成
15回	課題３	課題3提出

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	建築デザイン科　昼間部(2年制)	2025年度	1年次・後期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	建築計画	3	45	
教科書・教材等	オリジナルプリント			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
輿水　正明	無し、		学科長　石黒　汐乃	

授業の特徴・テーマ

建物の計画を行う為の基本的な知識を学習し、建物を計画するというスキルを身につける事。また臨機応変に計画を変化させる事や多数の仲間との共同設計を行う調整力を学習する。

到達目標

2又は3階建ての住宅の設計が、自分の表現したい形で計画が出来る事、また次学年での大きい建物の空間設計に繋がる知識の獲得。

授業概要

演習形式を基本として、課題を少しずつレベルUPさせ、対応力を向上を図る。 また最終課題では、そのスキルを使用し、共同設計という課題で、共同作業を行う。 次学年での公共建築設計に繋げる。

成績評価方法　◆作文・課題　70　%　◆定期試験　　%　◆平常点　10　%　◆授業への参加姿勢　20　%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	建築の概論①	建物の考え方 （ｽｹｰﾙ感、モジュール　木造、RC、エスキス）
2回	建築の概論②	建築細部（階段・畳納まり等） 実習
3回	建築の概論③	機能図の考え方,ゾーニングの考え方　　実習
4回	木造建築物課題①	木造建築物のエスキス（演習、講義）
5回	木造建築物課題②	木造建築物のエスキス（演習、講義）
6回	木造建築物課題③	木造建築物のエスキス（演習、講義）
7回	木造建築物課題④	木造建築物のエスキス（演習、講義）
8回	共同設計課題①	公共建築物の共同設計（演習・講義）
9回	共同設計課題②	公共建築物の共同設計（演習・講義）
10回	共同設計課題③	公共建築物の共同設計（演習・講義）
11回	共同設計課題④	公共建築物の共同設計（演習・講義）
12回	共同設計課題⑤	公共建築物の共同設計（演習・講義）
13回	共同設計課題⑥	公共建築物の共同設計（演習・講義）
14回	共同設計課題⑦	共同設計課題のプレゼンテーション
15回	総合演習	

町田デザイン＆建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	建築デザイン科　昼間部（2年制）	2025年度	1年次・後期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	建築材料1	1	15	
教科書・教材等	世界で一番やさしい建築入門			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
宇賀持　理沙子	有・建築設計		学科長　奥水 正明	

授業の特徴・テーマ

建築材料の概要を学習する。

到達目標

建築に関わる建築材料とはどんなものがあるのか、名称や用語の意味を理解する。

授業概要

講義形式を基本とし、必要に応じてビジュアル及び実例をもとに理解を深められる工夫を行い授業を進める。

成績評価方法　◆作文・課題10　%　◆定期試験　60%　◆平常点20%　◆授業への参加姿勢10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	到達目標
1回	ガイダンス、建築材料の概要	・ガイダンス・建築材料のとは
2回	組積材と煉瓦	・組積材の種類、特徴の解説
3回	ガラス	・ガラスの種類、物性を解説
4回	木材	・木材の特質について解説
5回	樹脂材	・樹脂材の種類と特徴について解説
6回	コンクリート	・コンクリートの性質、品質管理について解説
7回	左官材	・水硬性左官材、気硬性左官材について解説
8回	タイル	・タイルの特性と工法について解説
9回	鋼材・アルミニウム材	・鋼材の物性、種類について解説
10回	塗装材	・塗料の構成、種類について解説
11回	接着剤	・接着剤の特性、種類について解説
12回	防水材建築とマテリアル	・防水材の役割、種類について解説・材料の選定と意匠性について解説
13回	免震材、制振材建築再生材	・免震工法、制振工法について解説・再生材とは、その種類と特徴を解説
14回	考査試験	建築材料Ⅰの習熟度を確認する。期末考査試験（ペーパーテスト）により、各生徒の習熟度を確認する。
15回	総合演習	

町田デザイン＆建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	建築デザイン科　昼間部（２年制）	2025年度	１年次・後期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	建築法規1	1	15	
教科書・教材等	世界で一番やさしい建築入門			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
宇賀持　理沙子	有・建築設計		輿水 正明	

授業の特徴・テーマ

建築法規の概要を学習する。

到達目標

建築における法規とは何か、概要を把握する。

授業概要

講義形式を基本とし、必要に応じてビジュアル及び実例をもとに理解を深められる工夫を行い授業を進める。

成績評価方法　◆作文・課題10　％　◆定期試験　60%　◆平常点20%　◆授業への参加姿勢10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	到達目標
1回	ガイダンス、建築法規	・ガイダンス・建築に関わる法規の概要について解説
2回	建築基準法の変遷	・建築基準法の歴史について解説
3回	単体規定と集団規定	・それぞれの意味と目的について解説
4回	建築確認申請	・確認申請とは、申請対象となる建築物について解説
5回	設計者の資格である建築士法	・一級建築士、二級建築士、木造建築士について解説
6回	品確法	・その目的について解説
7回	耐震改修促進法	・対象建築物、罰則規定について
8回	省エネ法	・省エネ法とは、説明義務制度等について解説
9回	消防法	・消防法の意義、目的について解説
10回	用語の定義、面積、高さ等	・敷地、特殊建築物、面積、建築物の高さ、階数等を解説
11回	単体規定（採光・換気・防火）	・各概要を説明
12回	単体規定（避難・構造・建築設備）	・各概要を説明
13回	集団規定（道路・用途・容積率・建蔽率・高さ制限）	・各概要を説明
14回	考査試験	建築施工Ｉの習熟度を確認する。期末考査試験（ペーパーテスト）により、各生徒の習熟度を確認する。
15回	総合演習	

町田デザイン＆建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	建築デザイン科　昼間部（２年制）	2025年度	１年次・後期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	構造力学1	2	30	
教科書・教材等	オリジナルプリント、定規、電卓、ノート			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
輿水 正明	無		石黒　汐乃	

授業の特徴・テーマ

建築・インテリアの基礎知識を学習し、計画等の科目や設計作品へと連動出来るようにする。

到達目標

構造力学分野の基礎知識を学び、身に付ける。

授業概要

構造計算の基礎知識や建築物の構造に関する基礎知識を学ぶ。

成績評価方法　◆作文・課題10　%　◆定期試験　50%　◆平常点20%　◆授業への参加姿勢20%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	到達目標
1回	オリエンテーション	授業内容と目標等。構造計画、構造設計、荷重の種類、
2回	力の基礎	力の三要素、単位
3回	力の基礎2	力のモーメント
4回	力の合成	合力　力の平行四辺形
5回	力の合成	力の三角形、多角形
6回	力の分解	分力　図式解法　　算式解法
7回	試験・まとめ	中間試験
8回	力のつり合い	つり合いとは
9回	支点、節点、骨組構造物の種類	荷重の図示、安定・不安定、静定・不静定について
10回	片持ちばりの反力	反力仮定　反力計算
11回	等分布荷重の反力	反力仮定　反力計算
12回	単純ばりの反力	反力仮定　反力計算
13回	等変分布荷重の反力	反力仮定　反力計算
14回	試験・まとめ	まとめとして試験による内容理解度の確認。
15回	総合演習	

町田・デザイン専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	建築デザイン科　昼間部（２年制）	2025年度	１年次・後 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	設計Ⅱ	3	45	
教科書・教材等	配布プリント			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
関野裕樹	有・建築設計職		学科長　奥水　正明	

授業の特徴・テーマ

木造住宅を題材に設計の考え方、まとめ方、見せ方を学ぶ。

到達目標

木造住宅における発案から設計、プレゼン、発表までの一連の考え方や技術を身につける。

授業概要

実例を用いて講義を行う。計画案に対しては、クリニックを繰り返し行い作品を磨き上げる。

成績評価方法　◆作文・課題　80%　◆定期試験　0%　◆平常点　10%　◆授業への参加姿勢　10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	ガイダンス（9/21）	授業スケジュール・内容説明 【即日課題】手描きプラン作成・提出
2回	木造軸組工法を知る（9/28）	モジュール（m・尺・間）、単位空間寸法、階段寸法、屋根の架け方を知る 木造軸組工法の基礎知識（構造材名称・部材寸法）
3回	断面構成を知る（10/5）	木造軸組工法テスト 【即日課題】断面図作成・提出
4回	課題発表（10/12）	課題ガイダンス（求められる設計・敷地説明・提出物・スケジュール等） エスキース
5回	クリニック①（10/19）	ゾーニングからプランニングへ エスキースチェック
6回	クリニック①（10/26）	ボリューム（敷地利用）を意識して エスキースチェック
7回	クリニック②（11/2）	構造（軸組・断面）を意識して エスキースチェック
8回	クリニック③（11/9）	ボリューム模型演習 エスキースチェック
9回	クリニック④（11/30）	外観パース演習・プレゼン模型について エスキースチェック
10回	設計計画確定確認（12/7）	確定プラン提出（配置平面図・断面図・外観パース）⇒※確定者のみ制作を許可 プレゼン模型制作
11回	プレゼン模型制作（12/14）	プレゼン模型制作・冬期休暇中について （再）確定プラン提出（配置平面図・断面図・外観パース）⇒※確定者のみ制作を許可
12回	中間チェック（12/21）	中間成果物（図面・ボリューム模型・軸組模型・パース等）の確認 プレゼンボードについて
13回	プレゼンボード制作（1/11）	中間成果物の修正・プレゼンボード・レジメ制作
14回	最終チェック（1/28）	成果物（中間チェックの修正成果物及びプレゼン模型・プレゼンボード・レジメ）提出 プレプレゼンによる内容チェック、最終修正指示
15回	合評会（1/**）	授業外教員及び1年生、ゲスト等を対象に作品発表

町田デザイン＆建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	建築設計科　昼間部（２年制）	2025年度	2 年次・後期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	卒業制作	3	45	
教科書・教材等	特になし			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
関野　裕樹	有・建築設計職		学科長　奥水　正明	

授業の特徴・テーマ

『暮らしとデザインのかかわりを考える』というテーマのもと、自分の考えを建築という世界から表現を試みる

到達目標

2年間の学習の総まとめとして力が発揮された作品を作る。

授業概要

複数人の先生による卒業制作指導を行う。（担当制）

成績評価方法　◆作文・課題　80%　◆定期試験　　%　◆平常点　　%　◆授業への参加姿勢　20%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	到達目標
1回	卒業制作テーマ選定	学生の調査書を使用し、ヒアリング、適正を確認する
2回	卒業制作テーマ選定	学生の調査書を使用し、ヒアリング、適正を確認する
3回	卒業制作テーマ決定	学生の調査書2を使用し、ヒアリング、適正を確認する
4回	卒業制作テーマ決定	学生の調査書2を使用し、ヒアリング、適正を確認する
5回	制作	各テーマに沿って作品制作
6回	制作	各テーマに沿って作品制作
7回	制作	各テーマに沿って作品制作
8回	制作	各テーマに沿って作品制作
9回	制作	各テーマに沿って作品制作
10回	中間審査	作品の進捗状況を確認する為、作品の概形等説明を聞き、内容不十分であれば別の課題に変
11回	制作	各テーマに沿って作品制作
12回	制作	各テーマに沿って作品制作
13回	制作	各テーマに沿って作品制作
14回	提出	作品提出
15回	プレゼンテーション	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	建築デザイン科　昼間部（２年制）	2025年度	２年次・後 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	ランドスケープ	3	45	
教科書・教材等				
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
杉浦幸二	有り・造園設計、施工、管理		輿水正明	

授業の特徴・テーマ

外構計画・造園計画ならびにランドスケープについて学ぶ。

到達目標

個人邸から大規模な公園などの空間を幅広くデザインできる。

授業概要

講義形式の授業スタイルを基本とし、必要に応じて演習スタイルを取り入れる。事例などの資料は分りやすく映像等を利用し行う。

成績評価方法　◆作文・課題　%　◆定期試験　%　◆平常点50%　◆授業への参加姿勢　50%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	ガイダンス・ランドスケープと	植物の生態を理解し環境対策に対する必要性を理解する。
2回	植物材料（樹木）	樹高・葉張り・樹形・花期などそれぞれの樹木の特徴を説明し、利用法などを理解する。（平面図の書き方）
3回	植物材料（特殊樹種）	竹類やヤシ類などの特徴を説明し、利用法などを理解する。（平面図の書き方）
4回	植物材料（地被その他）	日本芝・西洋芝の違いや蔓植物の説明をし、利用法などを理解する。（平面図の書き方）
5回	植物材料（小テスト）	植物材料の習熟度の確認。
6回	個人邸造園計画①	立地条件・施主の要望に添った計画を行う。
7回	個人邸造園計画②	〃
8回	個人邸造園計画③	〃
9回	個人邸造園計画④	〃
10回	屋上緑化・壁面緑化	様々な建築物に対応する工法を学び理解する。
11回	大規模造園計画①	公園などの造園計画を行う。
12回	大規模造園計画②	〃
13回	大規模造園計画③	〃
14回	大規模造園計画④	〃
15回	大規模造園計画⑤	〃

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	建築設計科　昼間部（２年制）	2025年度	２年次・後 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	建築　インテリア製図Ⅱ	3	45	
教科書・教材等	建築製図用具一式・電子計算機(スマホ・携帯での計算不可)・筆記用具一式			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
菊池　康弘	一級建築士・一級建築施工管理技士・ﾗｲﾌｽﾀｲﾙﾌﾟﾗﾝﾅｰ		学科長　輿水　正明	

授業の特徴・テーマ

2級建築士二次試験レベルの作図テクニックを身につけ、手書きでの表現方法を習得する。また、試験に合格するための作図方法も同時に学習する。

到達目標

2級建築士二次試験合格できる為のプランニング力・作図能力及び、表現力を身に付ける。また、作図スピードの向上を目指す。

授業概要

課題に沿って各自プランニングを考え、図面化すると同時に　耐震・耐風に必要な壁量の大まかな概要を掴めるようにする。

成績評価方法　◆作文・課題　60%　◆定期試験　0%　◆平常点　20%　◆授業への参加姿勢　20%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	ガイダンス:流れ・目的・方法	課題の記載されている内容で　何を重視するか、設計者目線で課題に取り組む意識を持たせる
2回	プランニング①	ラフスケッチにより、各室の配置　及び、適正な広さを身に付ける
3回	プランニング②	上記のラフスケッチを手直ししつつ、各室出入口・開口部・家具の設置を考える
4回	プランニング③	プランニング②を基に　適切な柱位置を身に付け　採光や外部からの視線を考慮して手直しをする。
5回	プランニング④	プランニングを完成させ、担当教員より最終チェックを受ける。
6回	平面図兼配置図作成①	配置図に建物位置を記載し、隣地離れや駐車場に支障ないか留意しながら　仮線にて作図をする。
7回	平面図兼配置図作成②	上記の続き
8回	平面図兼配置図作成③	仮線の作図を完成させ、細線・太線にて　図面完成に向けて作図をする。
9回	平面図兼配置図作成③	建物外部　及び、名称・寸法・家具等を書き込み　平面図兼配置図を完成させる。
10回	立面図作成①	上記完成平面図を基に　屋根形状を考えながら　仮線による作図をする。
11回	立面図作成②	上記の仮線を完成させ、細線・太線にて　立面図を完成させる。
12回	断面図作成	立面図を基に　断面図を作成し、床高・天井高さ・最高軒高・最高高さ等を記載する。
13回	面積表作成	完成平面図・立面図を基に　面積表を完成させ、最終見直しを図る。
14回	学生同士による総評	各自が作図した図面で、その設計趣旨　考慮した箇所等の発表の機会とする。
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	建築デザイン科　昼間部（ 2年制 ）	2025年度	2年次・後 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	建築法規3	3	45	
教科書・教材等	テキスト（やさしい建築法規）・法令集			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
山本　響	有　意匠設計、建築審査、断熱材料開発、プラント設計		輿水 正明	

授業の特徴・テーマ

法令集を使いこなせるように学習し、建築基準法及び付随する関係法令を理解する。

到達目標

法令用語の意味を理解し、その用語の意味・意図を理解させる。また、練習問題を通して法令の使い方・解釈を理解させる。

授業概要

建築基準法・建築基準法施行令の中でも重要な箇所・二級建築士学科試験に多く出題される部分の理解力向上を主目標とする。

成績評価方法　◆作文・課題　%　◆定期試験　60%　◆平常点　20%　◆授業への参加姿勢　20%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	防火制限	用語・耐火建築物等にしなければならない特殊建築物を理解する
2回	防火制限	用語・耐火建築物等にしなければならない特殊建築物を理解する
3回	防火制限	防火地域・準防火地域の建築制限を理解する
4回	防火制限	防火区画を理解する
5回	避難施設	内装制限を理解する
6回	避難施設	避難施設（階段・排煙設備・非常用の照明・非常用進入口・非常用EV）を理解する。
7回	避難施設	避難施設（階段・排煙設備・非常用の照明・非常用進入口・非常用EV）を理解する。
8回	中間試験	1～6回目の内容にて試験実施（法令集・ノート持ち込み可）
9回	構造計算・規定	構造計算・構造規定を理解する。
10回	構造計算・規定	構造計算・構造規定を理解する。
11回	構造計算・規定	構造計算・構造規定を理解する。
12回	その他・規定	建築士法・建設業法・消防法・都市計画法・品確法・バリアフリー法・耐震改修促進法・省エネ法
13回	その他・規定	建築士法・建設業法・消防法・都市計画法・品確法・バリアフリー法・耐震改修促進法・省エネ法
14回	期末試験	7～14回目の内容にて試験実施（法令集・ノート持ち込み可）
15回	総合演習	総まとめとして復習確認。

町田デザイン＆建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	建築デザイン科　昼間部（２年制）	2025年度	２年次・後 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	施工管理	3	45	
教科書・教材等	ゼロからはじめる建築知識 木造の工事、初めての建築施工、工事各種資料・写真			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
宇賀持　理沙子	有・建築設計		学科長　輿水　正明	

授業の特徴・テーマ

木造、RC、鉄骨工事について木造を中心に施工及び施工管理について工程表作成、積算、見積り出しを身につける。

到達目標

建築施工の基礎知識を、実際の現場資料や施工図・見積書を基に施工計画、見積のスキルを身につける。

授業概要

工事例を通して、建築物が作り出される過程、施工上のポイントについて、具体的に解説し、そこから積算、見積方法を教授する。

成績評価方法　◆作文・課題　65%　◆定期試験　0%　◆平常点　15%　◆授業への参加姿勢　20%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	施工計画・工法・管理	用語・施工現場のあらまし　躯体施工、部分施工及び材料の商流について学ぶ
2回	表計算ソフト理解	見積に使用する表計算ソフト（Excel）の使用方法について学ぶ
3回	表計算ソフト活用	商品の価格や仕入れ、掛け率に知識を学び、表計算ソフトを活用し、雛形を作成する
4回	木造工事内装/外装工事	木造における内外装施工管理の方法・手法について学ぶ
5回	木造工事内装/外装工事	木造建物における外装施工について積算の方法について学ぶ
6回	木造外装工事積算演習①	木造建物における外装施工について積算し、材料の拾い出しについて学ぶ
7回	木造外装工事積算演習①	木造建物における外装屋根施工について積算し、材料を拾い出し、見積書を作成する
8回	木造内装工事プレゼン	木造建物における施工について、材料を拾い出し、プレゼン作成を学ぶ
9回	工事工程表	木造住宅工事における着工から引渡しまでの流れを理解する
10回	工事工程表演習	プレゼン作成した現場の着工から引渡しまでの工程表の作成を学ぶ
11回	木造外装工事積算演習②	木造建物における外壁施工について積算し、材料を拾い出し、見積書を作成する
12回	木造外装工事積算演習②	木造建物における外壁施工について積算し、材料を拾い出し、見積書を作成する
13回	木造外装工事積算演習まとめ	木造外装工事における図面書き換え～プレゼン～積算～材料拾い出し～見積書・工程表を作成する
14回	木造外装工事積算演習まとめ	木造外装工事における図面書き換え～プレゼン～積算～材料拾い出し～見積書・工程表を作成する
15回	総合演習	

インテリア
デザイン科
前期シラバス

町田デザイン＆建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	インテリアデザイン科　昼間部（２年制）	2025年度	１年次・前期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	一般構造　Ⅰ	3	45	
教科書・教材等	建築資料ビジュアルハンドブック、 やさしい建築一般構造他、オリジナルプリント、ノート			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
輿水 正明	無		石黒　汐乃	

授業の特徴・テーマ

建築・インテリアの基礎知識を一般構造分野、より学習し、計画等の科目や設計作品へと連動出来るようにする。

到達目標

建築・インテリアに関する基礎知識を学び身に付ける。

授業概要

建物の構造や骨組みなどのしくみをはじめ建築物、インテリアに関する基礎知識を学ぶ。

成績評価方法　◆作文・課題10　%　◆定期試験　50%　◆平常点20%　◆授業への参加姿勢20%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	到達目標
1回	オリエンテーション	授業内容と目標等、建築構造の発展史
2回	木構造	基礎　独立基礎
3回		軸組　　土台　柱　桁　筋かい
4回		床組
5回		屋根の種類、小屋組
6回		ツーバイフォー構法、
7回	中間試験	まとめとして試験による内容理解度の確認。
8回	その他構造	丸太組構法、集成材構法概要
9回		鉄筋コンクリート構造、補強コンクリートブロック造、概要
10回		鉄骨構造、鉄骨鉄筋コンクリート構造概要
11回	構法と仕上げ	造作と造作材
12回		開口部　建具
13回		階段
14回	期末試験	まとめとして試験による内容理解度の確認。
15回	総合演習	まとめおよび理解復習。

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	インテリアデザイン科　昼間部（２年制）	2025年度	1年次・前 期	選択
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	課題研究1	3	45	
教科書・教材等	プリント配布			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
藤本珠恵	有り　／美術教室勤務		輿水正明	

授業の特徴・テーマ

建築・インテリアデザインに必須の、パースの知識と描写力を身に付ける

到達目標

手描きで空間描写ができるようになること

授業概要

基本形体（立方体・円柱・球）のデッサン、建築パースの作画

成績評価方法　◆作文・課題　70%　◆定期試験　%　◆平常点　%　◆授業への参加姿勢　30%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	ガイダンス・基本形体①	授業概要の説明　／　基本形体①　「透視法」「陰影法」によって、立方体を描く。（講評会）
2回	基本形体②	基本形体②　「透視法」「陰影法」によって、円柱を描く。（講評会）
3回	基本形体③	基本形体③　　球のもつ陰影を理解し、立体的に描く。（講評会）
4回	インテリアパース①	室内一点透視図を描く　／パースに従い、造作・家具を描き込む。
5回		／トレペを使用し、床、生活雑貨等の細部描写。
6回		（講評会）
7回	建築パース①	二点透視で4階建てビルを描く　／資料配布
8回		／パースに従い、人物及び周辺を描き入れる
9回		（講評会）
10回	実践パース	1/30模型をもとにパースを作画する／「林の中の灯台」 関野裕樹設計　　模型撮影
11回		外観パースの作画／　写真を拡大プリントし、スケッチブックに転写
12回		屋根、壁等の細部描写。（講評会）
13回		内観パースの作画／　写真を拡大プリントし、スケッチブックに転写
14回		床、壁、生活雑貨等の細部描写。（講評会）
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	インテリアデザイン科　昼間部（２年制）	2025年度	１年次・前 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	建築計画	3	45	
教科書・教材等	建築入門・オリジナルプリント			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
宇賀持　理沙子	有・建築設計		輿水　正明	

授業の特徴・テーマ

建物を計画する為の基本的な知識を学習しながら、建築計画の楽しさを知り発想力を高める。

到達目標

建築計画に関する知識を学び、思い描いた発想を形に表現し、提案力を身に付ける。

授業概要

求められる課題に対応した計画を行うスキルを身に付ける、講義及び演習課題を行う。

成績評価方法　◆作文・課題　60%　◆定期試験　%　◆平常点　20%　◆授業への参加姿勢　20%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	建築計画①	・オリエンテーション　・計画に必要な全体の流れを知る　・モジュール
2回	建築計画②	・敷地、道路、用途地域 ・面積について（建築面積・床面積・建蔽率・容積率・小屋裏・車庫等）・計算演習
3回	計画演習①	・住宅の基本計画（敷地を復元　三斜　座標）　配置図検討
4回	計画演習②	・住宅の基本計画（プランニング　平面図）
5回	建築計画③	・住宅の基本計画（立面図）
6回	計画演習③	・住宅の基本計画（断面図・矩計図）
7回	計画演習④	・住宅の基本計画（展開図・内観パース）
8回	計画演習⑤	・住宅の基本計画（展開図・内観パース）
9回	建築計画③	・建築法規（北側斜線・隣地斜線・道路斜線・採光計算）
10回	計画演習⑥	・プレゼンボート作成
11回	計画演習⑦	・模型製作
12回	計画演習⑧	・模型製作
13回	計画演習⑨	・パワーポイントでプレゼン資料を製作
14回	総合演習①	・プレゼンテーション
15回	総合演習②	・プレゼンテーション

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	インテリアデザイン科　昼間部（２年制）	2025年度	1年次・前 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	建築史	3	45	
教科書・教材等	テキスト【コンパクト版 建築史　日本・西洋】・筆記用具			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
友添成実	有り　　スタイリスト		学科長　石黒　汐乃	

授業の特徴・テーマ

テキストを用い建築史全般を学ぶ。単なる知識としてではなく、各自の設計・ﾃﾞｻﾞｲﾝの基礎知識として活用できるようにする。

西洋及び日本の建築史を学び、現代に繋がる建築の潮流の理解につなげることで、課題に応用できる知識の習得を目指す。

授業概要

建築の歴史を学ぶことで知識の幅を広げ、今後のデザインの基礎知識とする。

成績評価方法　◆作文・課題　10%　◆定期試験　40%　◆平常点　30%　◆授業への参加姿勢　20%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	ガイダンス 日本建築史01	④ 授業スケジュール(授業スケジュール表の配布)、授業内容説明＆講師談話 ⑤ 日史Ⅰ・Ⅱ　⑥ 日史Ⅲ・Ⅳ
2回	日本建築史02	④ 日史Ⅴ・Ⅵ　⑤ 日史Ⅶ・Ⅷ　⑥ 日史Ⅸ・Ⅹ
3回	日本建築史03 日本近代建築史01	④ 日史Ⅺ・Ⅻ　⑤ 日史Ⅰ～Ⅻ:テスト1回目　⑥ 日近史Ⅰ・Ⅱ
4回	日本近代建築史02	④ 日近史Ⅲ・Ⅳ　⑤ 日近史Ⅴ　⑥ 日近史Ⅵ・Ⅶ
5回	日本近代建築史03	④ 日近史Ⅷ・Ⅸ　⑤ 日本のモダニズム・ポストモダニズムをネットで調べる(建築家・建築物) ⑥ 日近史Ⅰ～Ⅸ:テスト2回目
6回	西洋建築史01	④ 西史Ⅰ・Ⅱ　⑤ 西史Ⅲ・Ⅳ　⑥ 西史Ⅴ・Ⅵ
7回	西洋建築史02	④ 西史Ⅶ・Ⅷ　⑤ 西史Ⅸ/ゴシック建築をネットで調べる　⑥ 西史Ⅹ・Ⅺ
8回	西洋建築史03 西洋近代建築史01	④ 西史Ⅻ・13　⑤ 西史Ⅰ～13:テスト3回目　⑥ 西近史Ⅰ・Ⅱ
9回	西洋近代建築史02	④ 西近史Ⅲ・Ⅳ　⑤ 西近史Ⅴ・Ⅵ　⑥ 西近史Ⅶ・Ⅷ
10回	西洋近代建築史03	④ 西近史Ⅸ/ディスティルをネットで調べる　⑤ 西近史Ⅹ-1(バウハウス・グロピウス) ⑥ 西近史Ⅹ-2(ミース ファン デル ローエ)
11回	西洋近代建築史04	④ 西近史Ⅹ-3(ル コルビジェ)　⑤ 西近史Ⅹ-4(フランク ロイド ライト)　⑥ 西近史Ⅺ
12回	西洋近代建築史05	④ 西近史Ⅻ　⑤ 西近史13　⑥ 西近史Ⅰ～13:テスト4回目
13回	現代の建築家01	④ 日本＆西洋の知っておきたい建築家紹介　⑤ 日本＆西洋の建築家の作品合せ調べる ⑥ レポートにして提出
14回	現代の建築とインテリア	④⑤⑥現代の建築とインテリアの実例を、講師の実例スライドで紹介、歴史との繋がりを解説
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	インテリアデザイン科　昼間部（２年制）	2025年度	1年次・前 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	建築製図	3	45	
教科書・教材等	初めての建築製図、プリント、製図道具一式			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
田中 春菜	有/建築意匠設計		学科長　奥水 正明	

授業の特徴・テーマ

製図道具に慣れるところからはじめ、手足のように使いこなせるようにする。制作のスピードよりも丁寧な作図と手で作り上げる喜びを知ってほしい。線一本の大切さを知ることで、ものづくりの原点としたい。

到達目標

二級建築士2次試験レベルの作図力を身につける。平面図・配置図・立面図・断面図・かなばかり図・詳細図の作図を通じ、木造住宅の構成とRC造の構成、作図を理解する。

授業概要

製図道具の使い方、平面図や断面図等の作図及び室内の詳細寸法を通し、正確かつ迅速な作図法を学ぶ。

成績評価方法　◆作文・課題　70%　◆定期試験　%　◆平常点　10%　◆授業への参加姿勢　20%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	オリエンテーション	製図規約　/　課題1　線の練習（縦・横線、実線・点線・一点鎖線）
2回	製図基礎	課題2　線・製図文字の練習
3回	〃	課題3　64角形の対角線
4回	〃	〃
5回	インテリア製図	課題4　平面レイアウト図・天井伏図　S＝1/50
6回	〃	〃
7回	インテリア製図	課題5　展開図　S＝1/50・アイソメトリックパース　S＝1/30
8回	〃	〃
9回	建築製図	課題6　配置図兼1階平面図、2階平面図　S=1/100
10回	〃	〃
11回	〃	〃
12回	建築製図	課題7　立面図・断面図　S=1/100
13回	〃	〃
14回	〃	〃
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	インテリアデザイン科　昼間部（２年制）	2025年度	1年次・前 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	造形演習	3	45	
教科書・教材等	プリント配布　参考作品			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
藤本　珠恵	有　／　美術教室講師		奥水　正明	

授業の特徴・テーマ

造形を通して、建築・インテリアデザインに必要な空間構成力を養う。

到達目標

空間への理解を深めるとともに、作品発表によって各自の伝達力を高める。

授業概要

テーマに沿って考え、手を動かし、感じながら作品を制作する。 また課題毎にプレゼンを行う。

成績評価方法　◆作文・課題　70%　◆定期試験　%　◆平常点　%　◆授業への参加姿勢　30%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	ガイダンス/小テスト	造形演習の目的を理解し、小テストで準備姿勢を整える。
2回	課題1　立方体分割	直線・曲線を使い2分割した立方体を制作する。 エスキース・模型作り
3回		分割のデザインについて考える。
4回		本制作
5回		完成後、作品を撮影。撮影方法（構図や陰影）を学ぶ。
6回		作品タイトル・写真・コンセプトを入れ、プレゼンボードを作成する。
7回		作品のプレゼンを行う。互いの作品を評価する。発表時の姿勢を身に付ける。
8回	課題2　四角形による構成	与えられた台紙上に、四角形のみで空間構成をする。
9回		四角形の大きさや配置を、バランス良く構成する。エスキース・模型作り
10回		本制作
11回		完成後、作品撮影・デッサンを行う。（デッサンはスケッチブックを使用する）
12回		同上
13回		作品タイトル・写真・コンセプトを入れ、プレゼンボードを作成する。
14回		作品のプレゼンを行う。互いの作品を評価する。発表時の姿勢を身に付ける。
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	インテリアデザイン科　昼間部（２年制）	2025年度	1年次・前 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	CAD1	3	45	
教科書・教材等	「JWCAD」、「Photoshop」、「Illustrator」			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
廣木利昌	有り／スペースデザイン、展示会ブース		学科長　石黒　汐乃	

授業の特徴・テーマ

建築・インテリアの世界で求められる設計ツール及びデザインツールを学ぶ。CADソフト「JWCAD」、描画ソフト「Photoshop」と「Illustrator」の基本操作、活用方法を学習。具体的には、パソコン操作、データ構成などの基本知識から、商業チラシ、ポートフォリオの作成など、デジタルでの表現方法、コンセプト（方向性）の整理、作業工程の組立などの流れも学ぶ。

到達目標

「JWCAD」「Photoshop」「Illustrator」などの各種ツールをどのように使用するのか、自分の求める表現方法にどう活用したら良いのか、商業デザインなどの実際のデザインを参考に学ぶ。表現の幅を広げ、伝える相手への視覚的効果・影響について自ら考える。

授業概要

講義を聞き、実際に演習で体験し、課題を一人で完成させる授業サイクルを行う。課題は出来るだけプロと同じ条件で制作し、操作だけでなく活用方法（デザインの理由）も学習する。使う教材は出来るだけ後期授業とリンクをさせ、他教科との親和性も高めた授業にする。

成績評価方法　◆作文・課題 50%　◆定期試験 0%　◆平常点 20%　◆授業への参加姿勢 30%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	ガイダンス・コンピュータ概論	ネットワーク（インターネット、LAN、サーバ）など情報処理に関する知識とパソコンの基本操作など、コンピュータに関する基礎知識を学ぶ。
2回	Photoshop 基礎 ①	「Photoshop」の基本操作を学習、描画・製図ソフトに共通するレイヤーの概念を知る。 （配布教材を使ってレイヤー操作し、レイヤーを理解できているかプリントにて確認）
3回	Photoshop 基礎 ②	リビングルームのモデルデータを元に部屋に飾るインテリアのデータを加工し配置する。 （画像のトリミング、色調補正、反転加工などを学習し、完成データにて習熟度を確認）
4回	理想の空間 ①	一点透視で描かれた空間をベースに「Photoshop」を使って、理想の空間を表現する（前編）。 （理想の空間をレイアウトし、他者（クライアント）へ伝わる様にビジュアル化する）
5回	理想の空間 ②	一点透視で描かれた空間をベースに「Photoshop」を使って、理想の空間を表現する（後編）。 （理想の空間をレイアウトし、他者（クライアント）へ伝わる様にビジュアル化する）
6回	データ変換、画像処理	Adobe「Photoshop」と「Illustrator」を使ってビットマップデータとベクターデータを学習。 拡張子や保存形式の変更、プリントアウトなどもパソコンで実習しながら学ぶ。
7回	Illustrator 基礎 ①	「Illustrator」の基本操作、ツールなどを学習、アウトライン（ベジェ曲線）の概念を知る。 （機種依存文字やプリンタ解像度などについても実習、提出プリントにて習熟度を確認）
8回	Illustrator 基礎 ②	タイポグラフィを通じてグラフィックデザイン、RGB/CMYKなどのカラー構成を知る。 （配布された教材を使ってフォント・Q数・カラーの選択、文字の校正などを学習）
9回	Illustrator 基礎 ③	画像の張り込み、リンク、トリミング（切り抜き加工など）を学ぶ。 （配布教材をベースにアレンジを加え、デザインセンスを養う、提出データにて習熟度を確認）
10回	商業デザインとは	実際に使われた商業デザインを用いて、訴求力のあるデザインとは何か、デザインが完成するまでの工程を考えながら学ぶ。
11回	住宅チラシの作成 ①	住宅平面図を元に「Photoshop」と「Illustrator」を使って、住宅案内のチラシを作成（前編）。 （顧客に訴えるデザイン、カラー・デザインでの視覚的効果などを考える）
12回	住宅チラシの作成 ②	住宅平面図を元に「Photoshop」と「Illustrator」を使って、住宅案内のチラシを作成（後編）。 （顧客に訴えるデザイン、カラー・デザインでの視覚的効果などを考える）
13回	プレゼンテーション	作成した住宅チラシを使ったプレゼンテーションを実施
14回	CAD 基礎 ①	CADの概念、データ構成を知る。「JW CAD」のインストールから基本操作を学ぶ
15回	CAD 基礎 ②	「JW CAD」の基本操作から、描画、図形を描く。CADソフトを使った製図作成の為の基礎学習。

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	インテリアデザイン科　昼間部（２年制）	2025年度	1年次・前 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	カラーコーディネート	3	45	
教科書・教材等	色彩検定公式テキスト、色彩用具一式			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
福島圭子	有　カラーコンサルタント		輿水正明	

授業の特徴・テーマ

色の仕組み、色彩心理、配色調和を学び、室内外のカラーコーディネートを理論的に計画する。

到達目標

色彩学の基本を理解し、生活環境の色彩に応用できる力をつける。建築における室内外の色彩効果について知り、身につける。建築計画室内計画に応用する力を身につける。

授業概要

色彩心理や配色効果を知り、建築やインテリアの色彩計画を可能にする。色彩に関する教材（配色カード）の理解を養う。

成績評価方法　◆作文・課題　50%　◆定期試験　30%　◆平常点　10%　◆授業への参加姿勢　10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	ガイダンス　色の三属性1	オリエンテーション／カリキュラム説明　色彩検定案内　教材の使い方 色の働きについて　色の三属性　色の分類とPCCS
2回	色の三属性2	PCCSの色相　明度　彩度　色表示　色立体について学ぶ
3回	トーンの理解1	トーンの成り立ちと名称について学ぶ
4回	トーンの理解2	各トーンの特徴とイメージについて学ぶ
5回	色彩感情	寒暖　軽重　派手地味など色の感情効果について学ぶ
6回	色の連想と象徴 基礎テスト1	色から受けるイメージや連想について学ぶ ペーパーテストにより学習の習熟度を知り、学んだ知識を確認する
7回	色の視覚効果	対比と同化、色の面積効果について学ぶ
8回	配色調和1	配色調和の考え方について理解する　色相配色について学ぶ
9回	配色調和2	トーン配色並びに配色の基本的な技法（アクセントカラー、セパレーション、グラデーション）について学ぶ
10回	配色とイメージ	配色から受けるイメージについて理解し、イメージボードの作成を開始する
11回	色と光　目の構造	視覚現象の三要素（光　物体　眼）について学ぶ
12回	混色	加法混色　減法混色　中間混色について学ぶ
13回	プレゼンテーション 基礎テスト2	イメージボードのプレゼンテーション ペーパーテストにより学習の習熟度を知り、学んだ知識を確認する
14回	プレゼンテーション インテリアの色彩	イメージボードのプレゼンテーション インテリアにおける色彩の活用方法について学ぶ
15回	総合演習	総まとめ

町田デザイン＆建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	インテリアデザイン科　昼間部（２年制）	2025年度	2年次・前期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	就職指導	1	15	
教科書・教材等	内定獲得ブック			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
井比　敏紀			奥水　正明	

授業の特徴・テーマ

就職活動の準備をし、学生一人一人が円滑に就職活動を行えるよう、講義と個別2Wayでの指導

到達目標

希望職種での内定獲得

授業概要

就職活動を行いながら、社会人になるための準備をする

成績評価方法　◆作文・課題　0%　◆定期試験　0%　◆平常点　30%　◆授業への参加姿勢　70%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	オリエンテーション	就職活動に向けたキックオフ
2回	個別面談①	希望分野・業種・職種の決定
3回	個別面談②	希望分野・業種・職種の決定
4回	個別企業説明会Ⅰ	各学科にて個別企業説明会　※企業見学及び選考企業の決定
5回	個別企業説明会Ⅱ	各学科にて個別企業説明会　※企業見学及び選考企業の決定
6回	個別企業説明会Ⅲ	各学科にて個別企業説明会　※企業見学及び選考企業の決定
7回	個別企業説明会Ⅳ	各学科にて個別企業説明会　※企業見学及び選考企業の決定
8回	個別指導❶	模擬面接・履歴書作成の再確認　※学生一人ひとりが面接や履歴書に対して自信を持つ
9回	個別指導❷	模擬面接・履歴書作成の再確認　※学生一人ひとりが面接や履歴書に対して自信を持つ
10回	個別面談③	就職活動状況及び進路状況の確認　※学生一人ひとりが考えや思いを明確にする
11回	個別面談④	就職活動状況及び進路状況の確認　※学生一人ひとりが考えや思いを明確にする
12回	個別指導❸	最終的な就職活動状況(内定者と進路未決定者)確認と最終決定をする
13回	個別指導❹	最終的な就職活動状況(内定者と進路未決定者)確認と最終決定をする
14回	まとめ	就職指導授業の振り返りと社会人になる前の心得について学ぶ
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	インテリアデザイン科　昼間部（２年制）	2025年度	２年次・前 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	BIM1	3	45	
教科書・教材等	PDFテキスト（授業ごとにロード）			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
石黒 汐乃			輿水　正明	

授業の特徴・テーマ

大手建設業界で全面BIM化が推進されている現代で活躍するために、3Dモデリングで作図を楽しみながら基礎知識を身につける。

到達目標

BIMを学ぶことでゼネコンなど大手への就職の幅を広げ、将来的な視野を広く持てるようにする。
授業を通して卒業制作での建築計画などに役立てられるようになる。

授業概要

Building Information Modeling／モデリングを通して楽しみながらRevitを学び、モデリングだけではなくプロジェクトに情報を組み込むことで
BIMとしてのシステムの理解を深める。

成績評価方法　◆作文・課題　60%　◆定期試験　0%　◆平常点　30%　◆授業への参加姿勢　10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	BIM概要 ソフトのインストール作業	BIMとは？現代におけるBIMの重要性について Revitのインストール作業
2回	画面構成・基本操作	基本操作・マウス操作・インターフェース
3回	作図の基本・マテリアル ファミリについて	要素の選択・作成・修正、プロジェクトの保存、マテリアルの作成 ファミリの構成
4回	復習	課題の指示書を参考に作図してみよう！
5回	外構を作成	プロジェクトの新規作成、CAD読み込み、方位設定、敷地境界線・地盤面・サブ領域作成、舗装
6回	レベルと通り芯 建築プランの作成①	レベル、参照面、通り芯 柱・壁・カーテンウォールの作成
7回	建築プランの作成②③	床・天井・ドア・窓の作成 コンポーネントの配置・部屋
8回	建築プランの作成④	階段、グループ化、レベル間の複写、屋根の作成
9回	集計表と図面の作成①	ビューの名前、集計表／数量、寸法
10回	集計表と図面の作成②	カラー凡例、断面図、シート(図枠)作成、印刷設定
11回	レンダリング 補足資料	レンダリング、外観パース作成
12回	住宅モデル作成課題①	テキストを元に各自2階建てを作成
13回	住宅モデル作成課題②	テキストを元に各自2階建てを作成
14回	住宅モデル作成課題提出	テキストを元に各自2階建てを提出
15回	総合演習	

町田デザイン＆建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	インテリアデザイン科　昼間部（２年制）	2025年度	２年次・前期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	インテリア実習	3	45	
教科書・教材等	工具一式			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
中光　彩来			学科長　石黒　汐乃	

授業の特徴・テーマ

自由な発想とデザインを実物を作って表現する。

到達目標

完成品の制作過程までの大切さを知り、個性を出した作品をつくる。

授業概要

学生とのデザインチェックのコミュニケーションを経て、自分らしい作品を制作をしてもらう。

成績評価方法　◆作文・課題　60%　◆定期試験　　%　◆平常点　　%　◆授業への参加姿勢　40%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	オリエンテーション、課題説明	これから物作りをする意義、注意点、確認事項などの認識、デザインスケッチ
2回	照明のデザイン	デザインスケッチ、デザインチェック、材料買い出し
3回	照明の作成	材料加工
4回	照明の作成	材料加工
5回	照明の作成、プレゼンボード作成	材料加工、プレゼンボードをデザイン
6回	照明の完成	照明、プレゼンボード　完成　披露
7回	課題説明、木の家具デザイン	課題の説明、デザインスケッチ
8回	木の家具デザイン、作成	デザインスケッチ、デザインチェック、材料買い出し
9回	木の家具作成	材料加工
10回	木の家具作成	材料加工
11回	木の家具作成	材料加工
12回	木の家具作成	材料加工
13回	木の家具作成、プレゼンボード作成	材料加工、プレゼンボードをデザイン
14回	木の家具完成	材料加工、プレゼンボード　完成
15回	木の家具発表	木の家具をプレゼンテーション

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	インテリアデザイン科　昼間部（２年制）	2025年度	２年次・前 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	デザイン思考	3	45	
教科書・教材等				
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
廣木　利昌	有り／スペースデザイン、展示会ブース		学科長　石黒 汐乃	

授業の特徴・テーマ

新しいデザイン計画で様々な発想を広げ、多様な可能性を追求するデザインの思考方法を実習を通して探求する。

到達目標

学生の最初のデザインアイデアから次の異なるデザインを導き出す。

授業概要

身近なテーマで実感を重視して学ぶ各自の好みを明確にし、そこから思考する事で発想の多様なデザインを引き出す。また、卒業制作に向けてIllustrator、Photoshopを駆使し作品のプレゼンボードの完成度を高める(表現力を高める)。

成績評価方法　◆作文・課題　30%　◆定期試験　%　◆平常点　30%　◆授業への参加姿勢　40%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	ガイダンス観察力判断力を高め	思考の基礎、見る力、考える力、発想を広げる
2回	〃	発想、思考の動機付け、好きなものを形にする
3回	スケッチ制作	好みを明確にしてデザインを楽しむ
4回	〃	楽しみを広げるデザイン
5回	空間・モノ・人の関係を考えてデザイン	空間に配されるアイテム選定とデザイン
6回	〃	印象を重視した空間計画、ストーリーづくり
7回	〃	イメージを明確にした導入部のデザインを考える
8回	〃	多様性とトータルデザイン、デザイン思考訓練
9回	身につけるアイテム	思考を身近にする日常の必要性のデザイン
10回	〃	手で考える実物大のデザイン
11回	言葉で伝える	プレゼンテーションの計画
12回	〃	〃
13回	言葉で伝える	プレゼンテーション発表会
14回	魅力的な美意識	様式美を思考する実体験
15回	総合演習	まとめ

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	インテリア設計科　昼間部（２年制）	2025年度	２年次・前 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	リフォーム1	3	45	
教科書・教材等				
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
奥水 正明	無し		石黒　汐乃	

授業の特徴・テーマ

住環境の中でリフォームに関わる、商品知識、基礎的な道工具の使用、方法について学習する

到達目標

身につけた、リフォームに関する知識や技術をもとに、自身でも簡単な補修、修繕ができることを目標とする

授業概要

実習を中心とする

成績評価方法　◆作文・課題　40%　◆定期試験　0%　◆平常点　20%　◆授業への参加姿勢　40%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	ガイダンス	授業予定など
2回	ツールテクニック①	測定工具の説明・使用
3回	〃	測定、墨付け演習
4回	ツールテクニック②	塗装について　塗料の種類　用具　養生　下地調整
5回	〃	塗装演習
6回	〃	塗装演習②　用具の後処理
7回	ツールテクニック③	電動工具の説明・使用
8回	〃	電動工具の説明・使用②
9回	〃	加工演習
10回	〃	加工演習　後処理
11回	水回りについて	水栓のしくみ　水漏れ補修方法
12回	〃	トイレロータンクのしくみ　修理方法
13回	建具について	網戸の種類、張り替え方法　演習
14回	〃	ガラスフィルムの貼り替え演習　　ウィンドウトリートメントの取付方法
15回		まとめ

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	インテリアデザイン科　昼間部（2年制）	2025年度	2年次・前 期	選択
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	課題研究3	3	45	
教科書・教材等	配布プリント			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
関野裕樹	有・建築設計職		輿水正明	

授業の特徴・テーマ

木造住宅を題材に基本図面の作図及びデータ構成を学ぶ。

到達目標

CAD操作を習得し、卒業制作・就職後に活かす。

授業概要

定められたデータ構成による木造住宅の基本図（求積表・配置図・平面図・立面図・断面図）の作図法をマスターする。
後半は分科課題の演習を行う。

成績評価方法　◆作文・課題　80 %　◆定期試験　0 %　◆平常点　10%　◆授業への参加姿勢　10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	ガイダンス（4/17）	課題配布、環境設定ファイルの導入
2回	1階平面図①（4/24）	グループ・レイヤーの説明、作図
3回	1階平面図②（5/1）	作図
4回	1階平面図③（5/8）	作図
5回	2階平面図①（5/22）	作図
6回	2階平面図②（5/29）	作図
7回	予備（6/5）	予備
8回	立面図（6/12）	作図
9回	断面図・求積図（6/19）	作図
10回	配置図（6/26）	作図
11回	予備（7/3）	予備
12回	分科課題（7/10）	分科課題：設計Ⅲ課題作図
13回	分科課題（7/17）	分科課題：設計Ⅲ課題作図
14回	分科課題（7/24）	分科課題：設計Ⅲ課題作図
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	インテリアデザイン科　昼間部（２年制）	2025年度	２年次・前 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	建築施工２	3	45	
教科書・教材等	改訂版やさしい建築施工、建築資料ビジュアルハンドブック			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
山本　響	有　意匠設計、建築審査、断熱材料開発、プラント設計		輿水 正明	

授業の特徴・テーマ

施工に必要な基礎知識及び二級建築士レベルの基礎知識の習得

到達目標

建築士として必要な建築施工の基礎知識を、施工計画、仮設工事や躯体工事、仕上げ・設備工事と実務の流れに即して教科書を通して身につける。

授業概要

建築施工の基本知識を教科書・教材を通して解説していくとともに、知識の定着を図る。
スクーリングでは、中間試験、単位認定試験を通じて建築施工の基本的な知識の定着度を確認していく。

成績評価方法　◆作文・課題　0%　◆定期試験　60%　◆平常点　20%　◆授業への参加姿勢　20%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	ガイダンス・施工概論・工事契約・積算	建築施工の概要を理解するとともに工事契約、積算について基礎知識の習得
2回	施工計画、施工管理、地盤調査	施工計画、施工管理、地盤調査について基礎知識の習得
3回	測量、仮設工事、土工事	測量、仮設工事、土工事について基礎知識の習得
4回	基礎地業工事・鉄筋コンクリート工事（コンクリート材）	基礎地業工事、鉄筋コンクリート工事について基礎知識の習得
5回	鉄筋コンクリート工事（鉄筋・型枠工事）	鉄筋コンクリート工事について基礎知識の習得
6回	鉄筋コンクリート工事（コンクリート工事・打設）	鉄筋コンクリート工事について基礎知識の習得
7回	中間テスト	中間テスト
8回	鉄骨工事	鉄骨工事について基礎知識の習得
9回	コンクリートブロック工事、木工事	コンクリートブロック工事、木工事について基礎知識の習得
10回	防水工事、屋根工事、左官工事	防水工事、屋根工事、左官工事について基礎知識の習得
11回	タイル工事、張り石工事、塗装工事	タイル工事、張り石工事、塗装工事について基礎知識の習得
12回	建具工事、ガラス工事、内装断熱工事、ユニットその他工事	建具工事、ガラス工事、内装断熱工事、ユニットその他工事について基礎知識の習得
13回	外装工事、設備工事、施工機械、維持管理	外装工事、設備工事、施工機械、維持管理について基礎知識の習得
14回	期末テスト	期末テスト
15回	総合演習	総まとめとして復習確認。

町田デザイン＆建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	インテリアデザイン科　昼間部（２年制）	2025年度	２年次・前期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	建築設備	3	45	
教科書・教材等	インテリアコーディネーターハンドブック下巻、オリジナルスライド・ノート等			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
奥水 正明	無し		石黒　汐乃	

授業の特徴・テーマ

建築物内部における、生活に必要な機器装置の役割やしくみについて、快適な空間づくりへの目的と合わせて学習する。

到達目標

建築物・都市計画におけるライフラインとも呼べる設備環境、電気、ガス、水道の設計施工の知識を習得する。エコロジー的観点から物事を捕らえられる人材の育成を図る

授業概要

テキストとノートでの講義授業。できる限りの実際の写真やデータを活用し、実社会との接点も多く取り授業導入する。

成績評価方法　◆作文・課題10　％　◆定期試験　50%　◆平常点20%　◆授業への参加姿勢20%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	到達目標
1回	ガイダンス	授業概要、説明
2回	給水設備	給水過程、方式、水栓金具種類
3回	給湯設備	給湯方式、浴室の設備機器
4回	排水設備	排水方式、トラップの種類
5回	衛生設備	衛生器具、洗浄方式　、し尿浄化槽
6回	ガス設備	種類としくみ、供給方式について
7回	暖房設備、空気調和設備	種類、特徴、供給方式について
8回	中間試験	
9回	換気設備	換気の種類、必要換気量、必要換気回数について
10回	電気設備	供給方式について、電線、スイッチ、コンセントについて
11回	消火設備、　防犯設備	種類、特徴としくみ
12回	搬送、避難設備	種類、特徴としくみ
13回	エコロジー環境について	汚染状況これからの生活環境について
14回	期末試験	
15回	総合演習	

町田・デザイン＆建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	インテリアデザイン科　昼間部（２年制）	2025年度	2年次・前期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	構造力学2	3	45	
教科書・教材等	初めての構造力学他、オリジナルプリント、定規、電卓、ノート			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
輿水　正明	無		石黒　汐乃	

授業の特徴・テーマ

構造力学の基礎知識、静定ばり、静定ラーメン等を学習し、計画等の科目や設計作品へと連動出来るようにする。

到達目標

地震国日本にとって重要といえる構造、その中でも構造力学は重要である。構造力学の基礎知識を学び、身に付ける。

授業概要

構造計算の基礎知識や建築物の構造に関する基礎知識を学ぶ。

成績評価方法　◆作文・課題10　%　◆定期試験　50%　◆平常点20%　◆授業への参加姿勢20%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	到達目標
1回	オリエンテーション	授業内容と目標　片持ち梁、単純ばり反力計算復習
2回	片持ちばりの反力、等分布荷重の反力	斜めの荷重の反力　モーメント荷重
3回	静定骨組の応力	応力の種類、片持ちばりの応力
4回	静定骨組の応力	単純ばりの応力
5回	静定骨組の応力	等分布荷重、等変分布荷重の応力
6回	静定骨組の反力:ラーメン	片持ち梁系　単純梁系　3ヒンジ　反力計算
7回	静定骨組の応力:ラーメン	軸方向力、せん断力、曲げモーメントの理解、応力図の作図
8回	中間試験	試験による内容理解度の確認。
9回	トラス	反力計算、節点法　切断法
10回	トラス	反力計算、切断法
11回	応力度とひずみ度	断面の性質　引張・圧縮、せん断、曲げ応力度の理解
12回	応力度とひずみ度	断面１次モーメント、断面2次モーメント計算
13回	応力度とひずみ度	断面係数計算、許容応力度
14回	期末試験	試験による内容理解度の確認。
15回	まとめ	総まとめとして復習確認。

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	インテリアデザイン科　昼間部（２年制）	2025年度	1年次・前 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	実学実習1	3	45	
教科書・教材等	店舗の企画・設計とデザイン（オーム社）			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
堀江　篤史	有り　／　店舗デザイン設計		奥水　正明	

授業の特徴・テーマ

基本的な知識を学んだ上で、実習を通してコンセプト立案から設計・デザインまで提案的な店舗計画を行う。

到達目標

物品販売業態の店舗計画、及びデザインを行う。
プレゼンテーションボード制作・プレゼンテーション模型制作。

授業概要

店舗の基本的な構成を学び、その効果を考え店舗計画を行い、技能と知識を学ぶ。またその表現方法と空間を構成する力をつける。

成績評価方法　◆作文・課題　50%　◆定期試験　%　◆平常点　25%　◆授業への参加姿勢　25%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	授業概論	物販店舗計画 概論解説 インショップ計画 コンセプト立案 ファサードイメージ出し
2回	物販店舗計画 1	MD計画概論・導入部分解説・サイン計画　/ ファサードデザイン・スタディ模型製作
3回	物販店舗計画 2	施設設備・店舗内構成解説・近年の物販店動向　/ 平面構成・エスキース
4回	物販店舗計画 3	店舗内構成解説・仕上エレメント概論/「インショップ（物販）」平面構成・作図
5回	物販店舗計画 4	VMD計画概論　「インショップ（物販）」平面図作図
6回	物販店舗計画 5	「インショップ（物販）」立面図・展開図作図・イメージパース作図
7回	物販店舗計画 6	「インショップ（物販）」立面図・展開図作図・イメージパース作図・模型製作
8回	物販店舗計画 7	「インショップ（物販）」模型製作
9回	物販店舗計画 8	「インショップ（物販）」模型製作・パネルワーク
10回	物販店舗計画 9	「インショップ（物販）」模型製作・パネルワーク
11回	物販店舗計画 10	「インショップ（物販）」作品提出・採点
12回	飲食店舗計画 11	「インショップ（物販）」プレゼンテーション
13回	飲食店舗計画 1	飲食店舗計画　概論解説　導入部分解説・サイン計画/ファサードイメージ出し
14回	飲食店舗計画 2	施設設備・店舗内構成解説/サイン計画・ファサードデザイン・白模型製作
15回	総合演習	

インテリア
デザイン科
後期シラバス

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	インテリアデザイン科　昼間部（２年制）	2025年度	1年次・後 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	表現技法1	3	45	
教科書・教材等	色彩検定公式テキスト　配布プリント			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
福島圭子	有　カラーコンサルタント		輿水正明	

授業の特徴・テーマ

色の理論を踏まえた上で、色鉛筆・マーカー・パステルを使ったインテリア空間及び樹木等の着彩表現方法を、実習を通して習得する

到達目標

色材の特徴を活かした着彩方法を習得し、スケッチパースに着彩を施し、イメージ通りの空間表現を実現する

授業概要

色材の特徴や使い方をマスターし、それぞれを組み合わせることによって表現の奥行きや幅を広げる

成績評価方法　◆作文・課題　50%　◆定期試験　30%　◆平常点　10%　◆授業への参加姿勢　10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	オリエンテーション　色材	カリキュラムについて　色材確認 色鉛筆チャート表の作成　　色鉛筆の使い方を学ぶ
2回	マーカーの使い方	コピック一覧表の作成 コピックの基本的な使い方を学ぶ
3回	パステルの使い方	パステルの使い方を学ぶ　色彩の特徴と効果的な使い方を学ぶ 7種類のブラウンを三属性で分類する
4回	インテリア家具の着彩	確認テストで習熟度を知る インテリア家具を色鉛筆とコピックで着彩する
5回	樹木　床面の着彩	床面の着彩方法、樹木の着彩方法について学ぶ オフニュートラルカラーを三属性で分類する
6回	インテリア空間の配色1	配色技法をインテリア空間に活用する～アクセントカラー、セパレーション、グラデーション
7回	模様の種類と分類	模様・柄の種類と分類の方法を学び、オリジナルを作成、着彩する
8回	インテリア空間の配色2	確認テストで習熟度を知る 配色技法をインテリア空間に活用する～ナチュラルハーモニー、コンプレックスハーモニー
9回	インテリア空間の着彩	インテリア3カット（ベッドルーム　キッチン　リビング）をコピックで着彩する
10回	インテリア空間のイメージ	配色イメージと素材、デザインの関係について学ぶ
11回	インテリア空間のイメージ	配色イメージと素材、デザインの関係について学ぶ　2
12回	リビングルームの着彩	確認テストで習熟度を知る リビングルームの着彩課題説明とコンセプト、色彩計画を組み立てる
13回	リビングルームの着彩	リビングルームの着彩課題説明とコンセプト、色彩計画を組み立てる レイアウトの基礎を学ぶ
14回	作品講評	リビングルームの着彩についての作品講評をする
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	インテリアデザイン科　昼間部（２年制）	2025年度	1年次・後 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	CAD2	3	45	
教科書・教材等	プリント配布			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
田中 春菜	有/建築意匠設計		学科長　輿水　正明	

授業の特徴・テーマ

CADの基本操作から応用操作を学び、作図力を身につける。

到達目標

・図面作成のためのCAD基本操作の習得。 ・CAD検定3級受験

授業概要

1人1台パソコンを準備し、JwCADを用いて授業を行う。後半はCAD検定試験の過去問を実施し試験に備える。

成績評価方法　◆作文・課題　80%　◆定期試験　%　◆平常点　10%　◆授業への参加姿勢　10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	ガイダンス・基本操作	CAD Ｉ 授業の進め方、JwCAdインストール、基本操作
2回	基本操作	【演習1】線分、円・円弧、消去、中心線、2線
3回	〃	【演習2】伸縮、複線、部分消去、面取り
4回	〃	【演習3】コーナー、包絡、中心線、分割、ハッチング
5回	作図応用	【演習4】水回り平面図
6回	〃	【演習5】洋室平面図
7回	〃	【演習6】LDK平面図
8回	試験対策	CAD検定試験ガイダンス。4級過去問題実施
9回	〃	CAD検定3級練習問題
10回	〃	CAD検定4級練習問題
11回	〃	CAD検定5級練習問題
12回	〃	CAD検定6級練習問題
13回	検定試験	CAD検定試験3級受験
14回		CAD検定試験解説
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	インテリアデザイン科　昼間部（２年制）	2025年度	１年次・後 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	コミュニケーション演習	3	45	
教科書・教材等				
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
友添　成美	あり　／　スタイリスト、ピア・カウンセラー		学科長　石黒　汐乃	

授業の特徴・テーマ

自己分析で自分を知り、プレゼンテーションに生かす方法を学ぶ。チームビルディングゲームを使い、多様な価値観を認め、自分らしさを表現する。商品知識を持ち、顧客のニーズにこたえられる人になる。

到達目標

インテリアコーディネーター、インテリア・雑貨のアドバイザーとしての商品知識を得る。顧客に対応できる魅力的な人材となる。

授業概要

講義とレポート、分析シートなどの演習。毎回の”1分間自己紹介”で、伝える力を身につける。フィードバック回で、プレゼンテーションを実施。

成績評価方法　◆作文・課題　60 %　◆定期試験　0 %　◆平常点　0 %　◆授業への参加姿勢　40 %

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	オリエンテーション	自己紹介　／　キャッチフレーズ作り…印象的な自己アピールを10秒以内にまとめる
2回	チームビルディングゲーム	自分史ワーク…自分の歴史を時系列でまとめる　／　自己プロデュース
3回	コミュニケーション	ファッションとコミュニケーションの関係
4回	チームビルディングゲーム	2つの真実、1つの嘘…真実味をもって話すことが印象に残りやすい
5回	コミュニケーション	1分で話せる自己紹介を、最低5パターン考えて発表
6回	コミュニケーション	テキスト・コミュニケーション…メール、手紙、チャットのコミュニケーション
7回	チームビルディングゲーム	セールスゲーム…アイディアを売るためのマーケティング計画、ロゴなどを考える
8回	コミュニケーション	バーバルコミュニケーションとノンバーバルコミュニケーション
9回	チームビルディングゲーム	地図作りゲーム…情報に従いチームで地図を作る　情報処理と分析
10回	コミュニケーション	ワールドカフェ…テーマを決めてグループディスカッション　傾聴スキルを磨く
11回	チームビルディングゲーム	チームフラグ…グループでシンボルを作る　デザインを作り上げるコミュニケーション
12回	コミュニケーション	自己プロデュース
13回	チームビルディングゲーム	ショー＆テル…自分が誇りに思うものやことを発表　チームの絆を深める
14回	フィードバック	まとめ
15回	総合演習	

町田デザイン＆建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	インテリアデザイン科　昼間部（２年制）	2025年度	1年次・後期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	一般教養	1	15	
教科書・教材等	内定獲得ブック			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
井比　敏紀			輿水　正明	

授業の特徴・テーマ

次年度の就職活動に向けて、基礎的な知識や心構え、書類の書き方、面接・試験対策など学び、内定を獲得するための講義とする

到達目標

学生一人一人が就職活動に必要なスキルを身につけ、希望職種でのを内定獲得を目指す

授業概要

就職意義と目的を理解し、基礎から学びながら就活の流れを把握して、必要な知識と力を身につける

成績評価方法　◆作文・課題　0%　◆定期試験　0%　◆平常点　30%　◆授業への参加姿勢　70%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	就職する意義・目的	就職する意義と目的をきちんと認識し、就職意識を高める
2回	会社・業種・職種について	会社・業種・職種の違いについて理解する
3回	求人票について ※求人の探し方について	求人票の見方、求人検索のコツについて理解する
4回	自己分析(過去・現在・未来)の自分史について	自分自身と向き合い、自分史を作成する
5回	自己分析(成長できたこと) ※肯定的な自己分析	自分史を元に肯定的な自己分析をする
6回	自己PRについて	履歴書・面接時に有利な自己PRを作成する
7回	志望動機について① ※自己PR返却	志望動機について理解する
8回	志望動機について②	志望動機の書き方をマスターし作成する
9回	履歴書の書き方	履歴書の書き方をマスターし作成する
10回	求める人物像(具体的に)と人間力について	企業が求める人物像を理解し、必要な人間力を学ぶ
11回	面接に臨む姿勢・心得 ※動画視聴含む	面接試験の種類や流れを知り、面接試験時の姿勢や心得を学ぶ
12回	模擬面接①	実践的な模擬面接を行い、面接におけるスキルを身につける
13回	模擬面接②	実践的な模擬面接を行い、面接におけるスキルを身につける
14回	まとめ	本格的な就職活動に向けての最終確認をする
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	インテリアデザイン科　昼間部（２年制）	2025年度	1年次・後 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	課題研究2	3	45	
教科書・教材等	店舗の企画・設計とデザイン（オーム社）			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
堀江　篤史	有り　／　店舗デザイン設計		石黒　汐乃	

授業の特徴・テーマ

各自設定した研究課題に対して、しっかりとしたコインセプトワークができる様、研究・制作を行いコンペ等に応募していく。

到達目標

コンペ作品を制作・応募し、受賞を目指す。資格（商業施設士補の取得）を目指す

授業概要

店舗の基礎、マーケティング基礎を学び、作品に落とし込む思考力と表現技能を習得する。

成績評価方法　◆作文・課題　50%　◆定期試験　%　◆平常点　25%　◆授業への参加姿勢　25%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	授業概論	店舗基本概論Ⅰ
2回	物販店舗計画 1	店舗基本概論Ⅱ
3回	物販店舗計画 2	マーケティングⅠ　/　グループワーク：主張する「みせ」コンペ作品コンセプトワーク
4回	物販店舗計画 3	マーケティングⅡ　/　グループワーク：主張する「みせ」コンペ作品コンセプトワーク
5回	物販店舗計画 4	グループワーク：主張する「みせ」コンペ作品コンセプトワーク　/　商業施設士補講習
6回	物販店舗計画 5	グループワーク：主張する「みせ」コンペ作品制作　/　商業施設士補講習
7回	物販店舗計画 6	グループワーク：主張する「みせ」コンペ作品制作
8回	物販店舗計画 7	グループワーク：主張する「みせ」コンペ作品制作
9回	物販店舗計画 8	グループワーク：主張する「みせ」コンペ　作品発送
10回	物販店舗計画 9	コンペ作品制作：JIDF学生文化デザイン賞（予定）
11回	物販店舗計画 10	コンペ作品制作：JIDF学生文化デザイン賞（予定）
12回	飲食店舗計画 11	コンペ作品制作：JIDF学生文化デザイン賞（予定）
13回	飲食店舗計画 1	コンペ作品制作：JIDF学生文化デザイン賞（予定）
14回	飲食店舗計画 2	合評会作品制作
15回	総合演習	

町田デザイン＆建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	インテリアデザイン科　昼間部（２年制）	2025年度	１年次・後期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	環境工学1	1	15	
教科書・教材等	世界で一番やさしい建築入門、 他、オリジナルプリント、定規、電卓、ノート			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
輿水 正明	無		石黒　汐乃	

授業の特徴・テーマ

建築・インテリアの基礎知識を環境工学分野より学習し、計画等の科目や設計作品へと連動出来るようにする。

到達目標

建築・インテリアに関する基礎知識、計算を学び身に付ける。

授業概要

建物の日常環境との関係の基礎知識をはじめ建築物、インテリアに関する基礎知識を学ぶ。

成績評価方法　◆作文・課題10　%　◆定期試験　50%　◆平常点20%　◆授業への参加姿勢20%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	到達目標
1回	オリエンテーション	授業内容と予定　建築環境の概要
2回	屋外環境	各地気候、特色
3回	室内環境	有効温度読み取り
4回		熱の性質　熱伝達　熱伝導　熱貫流のしくみ
5回		熱貫流率、熱貫流量の計算
6回		湿度　結露のしくみ理解　湿り空気線図の読み取り
7回	中間試験	まとめとして試験による内容理解度の確認。
8回		前半復習　環境工学後半スケジュール
9回	日影曲線図の理解、時間日影図の作成	日照、真太陽・標準時 日影曲線図
10回	日射量比較・隣棟間隔計算	日射、日射量・隣棟間隔
11回	採光、照明方法理解	採光、　昼光率　採光方式　照明方式、照度基準
12回	音の性質理解、	音響　吸音　遮音　反響、残響時間
13回	騒音	騒音振動　　対策
14回	試験・まとめ	まとめとして試験による内容理解度の確認。
15回	総合演習	まとめおよび理解復習。

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	インテリアデザイン科　昼間部(2年制)	2025年度	1年次・後期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	建築　インテリア製図　Ⅰ	3	45	
教科書・教材等	プリント、製図道具			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
奥水 正明	無し		学科長　石黒　汐乃	

授業の特徴・テーマ

基礎製図力をもとに開口部、壁面等の詳細図の描き方、表現を理解する。

到達目標

独自のデザインした空間スケッチを、清書し詳細図まで作成できる能力を養う。

授業概要

平面詳細図、展開図、室内設計図の作図を行う。

成績評価方法　◆作文・課題　70%　◆定期試験　%　◆平常点　10%　◆授業への参加姿勢　20%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	オリエンテーション	線と文字の表現復習確認。
2回	木造詳細	大壁、真壁、アルミサッシュの表現理解。
3回	木造詳細 2	ドア、和室開口部の表現理解。
4回	スケッチの製図化	木造平面詳細図の表現理解。
5回	スケッチの製図化 2	RC造平面詳細図の表現理解。
6回	スケッチの製図化 3	断面図の表現理解。
7回	スケッチの製図化 4	立面図の表現理解。
8回	週末住宅	平面図1階作図
9回	週末住宅 2	平面図2階作図
10回	週末住宅 3	断面図2面作図
11回	週末住宅 4	立面図2面作図
12回	週末住宅 5	展開図　(居間、食事室、キッチン)作図
13回	週末住宅 6	展開図2(寝室、階段室)作図
14回	週末住宅 7	配置図作図　外観透視図、外部、内部仕上げ表作図
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	インテリアデザイン科　昼間部(2年制)	2025年度	1年次 ・後期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	建築計画	3	45	
教科書・教材等	オリジナルプリント			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
奥水　正明	無し		学科長　石黒　汐乃	

授業の特徴・テーマ

建物の計画を行う為の基本的な知識を学習し、建物を計画するというスキルを身につける事。また臨機応変に計画を変化させる事や多数の仲間との共同設計を行う調整力を学習する。

到達目標

2又は3階建ての住宅の設計が、自分の表現したい形で計画が出来る事、また次学年での大きい建物の空間設計に繋がる知識の獲得。

授業概要

演習形式を基本として、課題を少しずつレベルUPさせ、対応力を向上を図る。 また最終課題では、そのスキルを使用し、共同設計という課題で、共同作業を行う。 次学年での公共建築設計に繋げる。

成績評価方法　◆作文・課題　70　%　◆定期試験　　%　◆平常点　10　%　◆授業への参加姿勢　20　%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	建築の概論①	建物の考え方 （ｽｹｰﾙ感、モジュール　木造、RC、エスキス）
2回	建築の概論②	建築細部（階段・畳納まり等） 実習
3回	建築の概論③	機能図の考え方,ゾーニングの考え方　　実習
4回	木造建築物課題①	木造建築物のエスキス（演習、講義）
5回	木造建築物課題②	木造建築物のエスキス（演習、講義）
6回	木造建築物課題③	木造建築物のエスキス（演習、講義）
7回	木造建築物課題④	木造建築物のエスキス（演習、講義）
8回	共同設計課題①	公共建築物の共同設計（演習・講義）
9回	共同設計課題②	公共建築物の共同設計（演習・講義）
10回	共同設計課題③	公共建築物の共同設計（演習・講義）
11回	共同設計課題④	公共建築物の共同設計（演習・講義）
12回	共同設計課題⑤	公共建築物の共同設計（演習・講義）
13回	共同設計課題⑥	公共建築物の共同設計（演習・講義）
14回	共同設計課題⑦	共同設計課題のプレゼンテーション
15回	総合演習	

町田デザイン＆建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	インテリアデザイン科　昼間部（2年制）	2025年度	1年次・後期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	建築材料1	1	15	
教科書・教材等	世界で一番やさしい建築入門			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
宇賀持　理沙子	有・建築設計		学科長　石黒　汐乃	

授業の特徴・テーマ

建築材料の概要を学習する。

到達目標

建築に関わる建築材料とはどんなものがあるのか、名称や用語の意味を理解する。

授業概要

講義形式を基本とし、必要に応じてビジュアル及び実例をもとに理解を深められる工夫を行い授業を進める。

成績評価方法　◆作文・課題10　%　◆定期試験　60%　◆平常点20%　◆授業への参加姿勢10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	到達目標
1回	ガイダンス、建築材料の概要	・ガイダンス・建築材料のとは
2回	組積材と煉瓦	・組積材の種類、特徴の解説
3回	ガラス	・ガラスの種類、物性を解説
4回	木材	・木材の特質について解説
5回	樹脂材	・樹脂材の種類と特徴について解説
6回	コンクリート	・コンクリートの性質、品質管理について解説
7回	左官材	・水硬性左官材、気硬性左官材について解説
8回	タイル	・タイルの特性と工法について解説
9回	鋼材・アルミニウム材	・鋼材の物性、種類について解説
10回	塗装材	・塗料の構成、種類について解説
11回	接着剤	・接着剤の特性、種類について解説
12回	防水材建築とマテリアル	・防水材の役割、種類について解説・材料の選定と意匠性について解説
13回	免震材、制振材建築再生材	・免震工法、制振工法について解説・再生材とは、その種類と特徴を解説
14回	考査試験	建築材料Ⅰの習熟度を確認する。期末考査試験（ペーパーテスト）により、各生徒の習熟度を確認する。
15回	総合演習	

町田デザイン＆建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	インテリアデザイン科　昼間部（２年制）	2025年度	１年次・後期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	建築法規1	1	15	
教科書・教材等	世界で一番やさしい建築入門			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
宇賀持　理沙子	有・建築設計		輿水 正明	

授業の特徴・テーマ

建築法規の概要を学習する。

到達目標

建築における法規とは何か、概要を把握する。

授業概要

講義形式を基本とし、必要に応じてビジュアル及び実例をもとに理解を深められる工夫を行い授業を進める。

成績評価方法　◆作文・課題10　％　◆定期試験　60%　◆平常点20%　◆授業への参加姿勢10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	到達目標
1回	ガイダンス、建築法規	・ガイダンス・建築に関わる法規の概要について解説
2回	建築基準法の変遷	・建築基準法の歴史について解説
3回	単体規定と集団規定	・それぞれの意味と目的について解説
4回	建築確認申請	・確認申請とは、申請対象となる建築物について解説
5回	設計者の資格である建築士法	・一級建築士、二級建築士、木造建築士について解説
6回	品確法	・その目的について解説
7回	耐震改修促進法	・対象建築物、罰則規定について
8回	省エネ法	・省エネ法とは、説明義務制度等について解説
9回	消防法	・消防法の意義、目的について解説
10回	用語の定義、面積、高さ等	・敷地、特殊建築物、面積、建築物の高さ、階数等を解説
11回	単体規定（採光・換気・防火）	・各概要を説明
12回	単体規定（避難・構造・建築設備）	・各概要を説明
13回	集団規定（道路・用途・容積率・建蔽率・高さ制限）	・各概要を説明
14回	考査試験	建築施工Ｉの習熟度を確認する。期末考査試験（ペーパーテスト）により、各生徒の習熟度を確認する。
15回	総合演習	

町田デザイン＆建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	インテリアデザイン科　昼間部（２年制）	2025年度	１年次・後期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	構造力学1	2	30	
教科書・教材等	オリジナルプリント、定規、電卓、ノート			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
輿水 正明	無		石黒　汐乃	

授業の特徴・テーマ

建築・インテリアの基礎知識を学習し、計画等の科目や設計作品へと連動出来るようにする。

到達目標

構造力学分野の基礎知識を学び、身に付ける。

授業概要

構造計算の基礎知識や建築物の構造に関する基礎知識を学ぶ。

成績評価方法　◆作文・課題10　%　◆定期試験　50%　◆平常点20%　◆授業への参加姿勢20%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	到達目標
1回	オリエンテーション	授業内容と目標等。構造計画、構造設計、荷重の種類、
2回	力の基礎	力の三要素、単位
3回	力の基礎2	力のモーメント
4回	力の合成	合力　力の平行四辺形
5回	力の合成	力の三角形、多角形
6回	力の分解	分力　図式解法　　算式解法
7回	試験・まとめ	中間試験
8回	力のつり合い	つり合いとは
9回	支点、節点、骨組構造物の種類	荷重の図示、安定・不安定、静定・不静定について
10回	片持ちばりの反力	反力仮定　反力計算
11回	等分布荷重の反力	反力仮定　反力計算
12回	単純ばりの反力	反力仮定　反力計算
13回	等変分布荷重の反力	反力仮定　反力計算
14回	試験・まとめ	まとめとして試験による内容理解度の確認。
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	インテリアデザイン科　昼間部（２年制）	2025年度	1年次・後 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	設計2	3	45	
教科書・教材等				
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
戸田晃	有/建築設計職		石黒　汐乃	

授業の特徴・テーマ

想像したものを形にできるかの確認と伝える為の手段の模索

到達目標

スケール感をもって平面上に表現できる、設計図書への流れを学ぶ。

授業概要

それぞれの縮尺にて作図をしてスケール感の習得。小さなスケールから徐々に大きいものとして体感。さらに用途・目的を付加し計画力を身に付ける。具体的には、12㎡から始まり70㎡の住宅系について、計画の整理、プロセス、設計図書への流れを学ぶ。

成績評価方法　◆作文・課題 50%　◆定期試験　%　◆平常点 30%　◆授業への参加姿勢 20%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	設計Ⅰ・課題❷−5	セカンドハウスの設計❺（模型❷−1）
2回	設計Ⅰ・課題❷−6	セカンドハウスの設計❻（模型❷−2）
3回	設計Ⅰ・課題❷−7	プレゼンテーション（伝える事を意識する）レジメの作成（プレゼンテーション❷）
4回	ガイダンス（課題❸説明）	異業種店舗の設計・課題説明
5回	設計Ⅰ・課題❸−1	現地調査
6回	設計Ⅰ・課題❸−2	・建築計画を理解し、計画に必要な全体像をつかむ。・敷地のとらえ方、建築可能範囲を知る。
7回	設計Ⅰ・課題❸−3	敷地の建築可能範囲から建築ゾーニング・ボリューム計画を行う
8回	設計Ⅰ・課題❸−4	平面計画、断面計画を行う。動線計画、チェックを行う。（スタディーモデル）（模型❸）
9回	設計Ⅰ・課題❸−5	敷地条件に合わせた平面計画の考え方、求められる機能、広さ、ゾーニングについて身に付け
10回	設計Ⅰ・課題❸−6	模型をもって7手を動かしながら空間を感じる事、
11回	設計Ⅰ・課題❸−7	模型製作
12回	設計Ⅰ・課題❸−8	模型製作
13回	設計Ⅰ・課題❸−9	プレゼンテーション（伝える事を意識する）レジメの作成（プレゼンテーション❸）
14回	設計Ⅰ・課題❸−10	プレゼンテーション（プレゼンテーション❸）最終製作・提出
15回	総合演習	

町田デザイン＆建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	インテリアデザイン科　昼間部（2年制）	2025年度	2 年次・後 期	必修
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	表現技法2	3	45	
教科書・教材等	プリント配布・参考作品			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
藤本珠恵	有り／美術教室勤務		輿水正明	

授業の特徴・テーマ

建築・インテリアパースの応用を学ぶ。

到達目標

パースの実践的な作画法により、自在な空間描写力を身に付ける。

授業概要

建築模型をもとにパースを作画する。

成績評価方法　◆作文・課題 70 %　◆定期試験　　%　◆平常点　　%　◆授業への参加姿勢 30 %

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	模型撮影	模型（林の中の灯台/関野裕樹設計）を、各自の端末で撮影する
2回	外観パース	見取り図をA4プリントし、ガイドラインをトレース／パースに従い外装（屋根・壁等）の描き込み
3回		着彩仕上げ　（講評会）
4回	内観パース	内観画像のガイドラインをトレース／パースに従い床・造作等の描き込み　※プリント配布
5回		
6回		着彩仕上げ　（講評会）
7回	内観パース②	自作模型を、各自の端末で撮影する（全体×1・部分×2）
8回	俯瞰（全体）	前半の手順で、自作の俯瞰パース（全体）を描く
9回		
10回		着彩仕上げ　（講評会）
11回	室内（部分）	自作の室内パース（部分）を描く
12回		着彩仕上げ　（講評会）
13回		自作の室内パース（部分②）を描く
14回		着彩仕上げ　（講評会）
15回	総合演習	

町田デザイン＆建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
専門課程	インテリアデザイン科　昼間部（２年制）	2025年度	２年次・後期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	スペースデザイン	3	45	
教科書・教材等	コンベックス・セクションペーパー・製図道具			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
中光　彩来	無		学科長　石黒　汐乃	

授業の特徴・テーマ

省スペース、限られた空間を発想力でいかに楽しい空間にできるか。またそれを他人に伝えることができるかを到達目標にする。学校イベント産学ネットワーク展において実際に制作しピア教育を育む。

到達目標

自身のデザインアイデア、発想力を身につける。表現力を身につける。デザインセンスを磨く。

授業概要

身の回りにあるいつもの日常をちょっとしたアイデアで創意工夫しながらいい空間に仕立てる。押入れ・収納・イートインスペースなどを題材とする。

成績評価方法　◆作文・課題　50%　◆定期試験　0%　◆平常点　20%　◆授業への参加姿勢　30%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	到達目標
1回	授業オリエンテーション スペースデザインとは	ボリュームをとらえる。でアインアイデア発想力を身につける。
2回	書斎の計画	課題内容を理解し、狭い空間を快適に過ごせる空間に提案する。
3回	書斎の計画	課題内容を理解し、狭い空間を快適に過ごせる空間に提案する。
4回	書斎の計画	他の人と交流して自身を伝える相手を理解する。
5回	書斎の計画	他の人と交流して自身を伝える相手を理解する。
6回	書斎の計画　発表	発表を通して、他者に自分のデザイン・アイデアの魅力的を伝達する。
7回	隙間収納計画	課題内容を理解し、玄関収納をデザインする。実際の寸法の判断力を身につける。
8回	隙間収納計画	課題内容を理解し、玄関収納をデザインする。実際の寸法の判断力を身につける。
9回	隙間収納計画	他の人と交流して自身を伝える相手を理解する。
10回	隙間収納計画　発表	発表を通して、他者に自分のデザイン・アイデアの魅力的を伝達する。
11回	イートインデザイン	バス停イートスペースのアイデアデザインとプレゼンテーション力を培う。
12回	イートインデザイン	バス停イートスペースのアイデアデザインとプレゼンテーション力を培う。
13回	イートインデザイン	他の人と交流して自身を伝える相手を理解する。
14回	イートインデザイン発表	発表を通して、他者に自分のデザイン・アイデアの魅力的を伝達する。
15回		

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	インテリアデザイン科　昼間部（２年制）	2025年度	２年次・後 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	デザイン思考	3	45	
教科書・教材等	オリジナルプリント等			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
廣木　利昌	有り／スペースデザイン、展示会ブース		学科長　石黒　汐乃	

授業の特徴・テーマ

デザインに関わるアイデア展開、問題解決を基本となる発想法や展開方法を実技により体験する。

到達目標

様々な視点からデザインに関わる発想を広げ、多様な課題を解決する可能性あるデザイン思考を習得する。

授業概要

実技授業とし、課題によりグループワークを行う。デザインに伴うスケッチをおこなう。パソコンを使い調査分析で現代の動きを学ぶ。

成績評価方法　◆作文・課題　40%　◆定期試験　%　◆平常点　20%　◆授業への参加姿勢　40%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	捉える	デザインにおける発想、思考に役立つ幾つものスケッチを習得する。
2回	伝える	デザインワークにおける他者へ伝えるスケッチを習得する。
3回	発想を広げる	デザインワークにおける発想を広げる手法を習得する。
4回	逆に考える	デザインワークにおけるアイデア展開の手法を習得する。
5回	意味を考える	デザイン、設計の意味を捉え言葉にする。
6回	置き換えてみる	他の物に置き換え、発想を広げる。
7回	調査分析	デザイン設計された物を調査分析をする。
8回	自分を知る	各自の趣味嗜好を表し、コラージュと言葉にする。
9回	昔を知る	歴史的なデザイナー、建築家を知る。
10回	今を知る	今の著名なデザイナー、建築家を知る。
11回	作って考える	簡易模型を作り、あらめて深く考える。
12回	作り込む	細部を模型で表現することによりあためて深く考える。
13回	モノを作る	実際に使える道具を作ってみる。
14回	〃	〃
15回	総合演習	まとめ

建築工学科
前期シラバス

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	建築工学科　昼間部（３年制）	2025年度	1年次・前 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	造形演習	3	45	
教科書・教材等	プリント配布　参考作品			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
藤本　珠恵	有　／　美術教室講師		奥水　正明	

授業の特徴・テーマ

造形を通して、建築・インテリアデザインに必要な空間構成力を養う。

到達目標

空間への理解を深めるとともに、作品発表によって各自の伝達力を高める。

授業概要

テーマに沿って考え、手を動かし、感じながら作品を制作する。 また課題毎にプレゼンを行う。

成績評価方法　◆作文・課題　70%　◆定期試験　%　◆平常点　%　◆授業への参加姿勢　30%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	ガイダンス/小テスト	造形演習の目的を理解し、小テストで準備姿勢を整える。
2回	課題1　立方体分割	直線・曲線を使い2分割した立方体を制作する。 エスキース・模型作り
3回	〃	分割のデザインについて考える。
4回	〃	本制作
5回	〃	完成後、作品を撮影。撮影方法（構図や陰影）を学ぶ。
6回	〃	作品タイトル・写真・コンセプトを入れ、プレゼンボードを作成する。
7回	〃	作品のプレゼンを行う。互いの作品を評価する。発表時の姿勢を身に付ける。
8回	課題2　四角形による構成	与えられた台紙上に、四角形のみで空間構成をする。
9回	〃	四角形の大きさや配置を、バランス良く構成する。エスキース・模型作り
10回	〃	本制作
11回	〃	完成後、作品撮影・デッサンを行う。（デッサンはスケッチブックを使用する）
12回	〃	同上
13回	〃	作品タイトル・写真・コンセプトを入れ、プレゼンボードを作成する。
14回	〃	作品のプレゼンを行う。互いの作品を評価する。発表時の姿勢を身に付ける。
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	建築工学科　昼間部（ 3年制 ）	2025年度	1年次・前 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	CAD1	3	45	
教科書・教材等	「JWCAD」、「Photoshop」、「Illustrator」			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
廣木利昌	有り／スペースデザイン、展示会ブース		学科長　輿水　正明	

授業の特徴・テーマ

建築・インテリアの世界で求められる設計ツール及びデザインツールを学ぶ。CADソフト「JWCAD」、描画ソフト「Photoshop」と「Illustrator」の基本操作、活用方法を学習。具体的には、パソコン操作、データ構成などの基本知識から、商業チラシ、ポートフォリオの作成など、デジタルでの表現方法、コンセプト（方向性）の整理、作業工程の組立などの流れも学ぶ。

到達目標

「JWCAD」「Photoshop」「Illustrator」などの各種ツールをどのように使用するのか、自分の求める表現方法にどう活用したら良いのか、商業デザインなどの実際のデザインを参考に学ぶ。表現の幅を広げ、伝える相手への視覚的効果・影響について自ら考える。

授業概要

講義を聞き、実際に演習で体験し、課題を一人で完成させる授業サイクルを行う。課題は出来るだけプロと同じ条件で制作し、操作だけでなく活用方法（デザインの理由）も学習する。使う教材は出来るだけ後期授業とリンクをさせ、他教科との親和性も高めた授業にする。

成績評価方法　◆作文・課題 50%　◆定期試験 0%　◆平常点 20%　◆授業への参加姿勢 30%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	ガイダンス・コンピュータ概論	ネットワーク（インターネット、LAN、サーバ）など情報処理に関する知識とパソコンの基本操作など、コンピュータに関する基礎知識を学ぶ。
2回	Photoshop 基礎 ①	「Photoshop」の基本操作を学習、描画・製図ソフトに共通するレイヤーの概念を知る。 （配布教材を使ってレイヤー操作し、レイヤーを理解できているかプリントにて確認）
3回	Photoshop 基礎 ②	リビングルームのモデルデータを元に部屋に飾るインテリアのデータを加工し配置する。 （画像のトリミング、色調補正、反転加工などを学習し、完成データにて習熟度を確認）
4回	理想の空間 ①	一点透視で描かれた空間をベースに「Photoshop」を使って、理想の空間を表現する（前編）。 （理想の空間をレイアウトし、他者（クライアント）へ伝わる様にビジュアル化する）
5回	理想の空間 ②	一点透視で描かれた空間をベースに「Photoshop」を使って、理想の空間を表現する（後編）。 （理想の空間をレイアウトし、他者（クライアント）へ伝わる様にビジュアル化する）
6回	データ変換、画像処理	Adobe「Photoshop」と「Illustrator」を使ってビットマップデータとベクターデータを学習。 拡張子や保存形式の変更、プリントアウトなどもパソコンで実習しながら学ぶ。
7回	Illustrator 基礎 ①	「Illustrator」の基本操作、ツールなどを学習、アウトライン（ベジェ曲線）の概念を知る。 （機種依存文字やプリンタ解像度などについても実習、提出プリントにて習熟度を確認）
8回	Illustrator 基礎 ②	タイポグラフィを通じてグラフィックデザイン、RGB/CMYKなどのカラー構成を知る。 （配布された教材を使ってフォント・Q数・カラーの選択、文字の校正などを学習）
9回	Illustrator 基礎 ③	画像の張り込み、リンク、トリミング（切り抜き加工など）を学ぶ。 （配布教材をベースにアレンジを加え、デザインセンスを養う、提出データにて習熟度を確認）
10回	商業デザインとは	実際に使われた商業デザインを用いて、訴求力のあるデザインとは何か、デザインが完成するまでの工程を考えながら学ぶ。
11回	住宅チラシの作成 ①	住宅平面図を元に「Photoshop」と「Illustrator」を使って、住宅案内のチラシを作成（前編）。 （顧客に訴えるデザイン、カラー・デザインでの視覚的効果などを考える）
12回	住宅チラシの作成 ②	住宅平面図を元に「Photoshop」と「Illustrator」を使って、住宅案内のチラシを作成（後編）。 （顧客に訴えるデザイン、カラー・デザインでの視覚的効果などを考える）
13回	プレゼンテーション	作成した住宅チラシを使ったプレゼンテーションを実施
14回	CAD 基礎 ①	CADの概念、データ構成を知る。「JW CAD」のインストールから基本操作を学ぶ
15回	CAD 基礎 ②	「JW CAD」の基本操作から、描画、図形を描く。CADソフトを使った製図作成の為の基礎学習。

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	建築工学科　昼間部（３年制）	2025年度	1年次・前 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	カラーコーディネート	3	45	
教科書・教材等	色彩検定公式テキスト、色彩用具一式			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
福島圭子	有　カラーコンサルタント		輿水正明	

授業の特徴・テーマ

色の仕組み、色彩心理、配色調和を学び、室内外のカラーコーディネートを理論的に計画する。

到達目標

色彩学の基本を理解し、生活環境の色彩に応用できる力をつける。建築における室内外の色彩効果について知り、身につける。建築計画室内計画に応用する力を身につける。

授業概要

色彩心理や配色効果を知り、建築やインテリアの色彩計画を可能にする。色彩に関する教材（配色カード）の理解を養う。

成績評価方法　◆作文・課題　50%　◆定期試験　30%　◆平常点　10%　◆授業への参加姿勢　10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	ガイダンス　色の三属性1	オリエンテーション／カリキュラム説明　色彩検定案内　教材の使い方 色の働きについて　色の三属性　色の分類とPCCS
2回	色の三属性2	PCCSの色相　明度　彩度　色表示　色立体について学ぶ
3回	トーンの理解1	トーンの成り立ちと名称について学ぶ
4回	トーンの理解2	各トーンの特徴とイメージについて学ぶ
5回	色彩感情	寒暖　軽重　派手地味など色の感情効果について学ぶ
6回	色の連想と象徴 基礎テスト1	色から受けるイメージや連想について学ぶ ペーパーテストにより学習の習熟度を知り、学んだ知識を確認する
7回	色の視覚効果	対比と同化、色の面積効果について学ぶ
8回	配色調和1	配色調和の考え方について理解する　色相配色について学ぶ
9回	配色調和2	トーン配色並びに配色の基本的な技法（アクセントカラー、セパレーション、グラデーション）について学ぶ
10回	配色とイメージ	配色から受けるイメージについて理解し、イメージボードの作成を開始する
11回	色と光　目の構造	視覚現象の三要素（光　物体　眼）について学ぶ
12回	混色	加法混色　減法混色　中間混色について学ぶ
13回	プレゼンテーション 基礎テスト2	イメージボードのプレゼンテーション ペーパーテストにより学習の習熟度を知り、学んだ知識を確認する
14回	プレゼンテーション インテリアの色彩	イメージボードのプレゼンテーション インテリアにおける色彩の活用方法について学ぶ
15回	総合演習	総まとめ

町田デザイン＆建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	建築工学科　昼間部（3年制）	2025年度	1年次・前期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	一般構造　Ⅰ	3	45	
教科書・教材等	建築資料ビジュアルハンドブック、 やさしい建築一般構造他、オリジナルプリント、ノート			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
石黒　汐乃	無		輿水正明	

授業の特徴・テーマ

建築・インテリアの基礎知識を一般構造分野、より学習し、計画等の科目や設計作品へと連動出来るようにする。

到達目標

建築・インテリアに関する基礎知識を学び身に付ける。

授業概要

建物の構造や骨組みなどのしくみをはじめ建築物、インテリアに関する基礎知識を学ぶ。

成績評価方法　◆作文・課題10　%　◆定期試験　50%　◆平常点20%　◆授業への参加姿勢20%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	到達目標
1回	オリエンテーション	授業内容と目標等、建築構造の発展史
2回	木構造	基礎　独立基礎
3回		軸組　　土台　柱　桁　筋かい
4回		床組
5回		屋根の種類、小屋組
6回		ツーバイフォー構法、
7回	中間試験	まとめとして試験による内容理解度の確認。
8回	その他構造	丸太組構法、集成材構法概要
9回		鉄筋コンクリート構造、補強コンクリートブロック造、概要
10回		鉄骨構造、鉄骨鉄筋コンクリート構造概要
11回	構法と仕上げ	造作と造作材
12回		開口部　建具
13回		階段
14回	期末試験	まとめとして試験による内容理解度の確認。
15回	総合演習	まとめおよび理解復習。

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	建築工学科　昼間部（３年制）	2025年度	1年次・前 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	建築計画	3	45	
教科書・教材等	建築入門・オリジナルプリント			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
宇賀持　理沙子	有・建築設計		輿水　正明	

授業の特徴・テーマ

建物を計画する為の基本的な知識を学習しながら、建築計画の楽しさを知り発想力を高める。

到達目標

建築計画に関する知識を学び、思い描いた発想を形に表現し、提案力を身に付ける。

授業概要

求められる課題に対応した計画を行うスキルを身に付ける、講義及び演習課題を行う。

成績評価方法　◆作文・課題　60%　◆定期試験　%　◆平常点　20%　◆授業への参加姿勢　20%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	建築計画①	・オリエンテーション　・計画に必要な全体の流れを知る　・モジュール
2回	建築計画②	・敷地、道路、用途地域 ・面積について（建築面積・床面積・建蔽率・容積率・小屋裏・車庫等）・計算演習
3回	計画演習①	・住宅の基本計画（敷地を復元　三斜　座標）　配置図検討
4回	計画演習②	・住宅の基本計画（プランニング　平面図）
5回	建築計画③	・住宅の基本計画（立面図）
6回	計画演習③	・住宅の基本計画（断面図・矩計図）
7回	計画演習④	・住宅の基本計画（展開図・内観パース）
8回	計画演習⑤	・住宅の基本計画（展開図・内観パース）
9回	建築計画③	・建築法規（北側斜線・隣地斜線・道路斜線・採光計算）
10回	計画演習⑥	・プレゼンボート作成
11回	計画演習⑦	・模型製作
12回	計画演習⑧	・模型製作
13回	計画演習⑨	・パワーポイントでプレゼン資料を製作
14回	総合演習①	・プレゼンテーション
15回	総合演習②	・プレゼンテーション

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	建築工学科　昼間部（３年制）	2025年度	1年次・前 期	選択
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	建築工学研究1	3	45	
教科書・教材等	プリント配布			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
藤本珠恵	有り　／美術教室勤務		輿水正明	

授業の特徴・テーマ

建築・インテリアデザインに必須の、パースの知識と描写力を身に付ける

到達目標

手描きで空間描写ができるようになること

授業概要

基本形体（立方体・円柱・球）のデッサン、建築パースの作画

成績評価方法　◆作文・課題　70%　◆定期試験　%　◆平常点　%　◆授業への参加姿勢　30%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	ガイダンス・基本形体①	授業概要の説明　／　基本形体①「透視法」「陰影法」によって、立方体を描く。（講評会）
2回	基本形体②	基本形体②「透視法」「陰影法」によって、円柱を描く。（講評会）
3回	基本形体③	基本形体③　球のもつ陰影を理解し、立体的に描く。（講評会）
4回	インテリアパース①	室内一点透視図を描く　／パースに従い、造作・家具を描き込む。
5回		／トレペを使用し、床、生活雑貨等の細部描写。
6回		（講評会）
7回	建築パース①	二点透視で4階建てビルを描く　／資料配布
8回		／パースに従い、人物及び周辺を描き入れる
9回		（講評会）
10回	実践パース	1/30模型をもとにパースを作画する／「林の中の灯台」 関野裕樹設計　　模型撮影
11回		外観パースの作画／　写真を拡大プリントし、スケッチブックに転写
12回		屋根、壁等の細部描写。（講評会）
13回		内観パースの作画／　写真を拡大プリントし、スケッチブックに転写
14回		床、壁、生活雑貨等の細部描写。（講評会）
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	建築工学科　昼間部（３年制）	2025年度	1年次・前 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	建築史	3	45	
教科書・教材等	テキスト【コンパクト版 建築史　日本・西洋】・筆記用具			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
輿水　正明	無し		学科長　石黒　汐乃	

授業の特徴・テーマ

テキストを用い建築史全般を学ぶ。単なる知識としてではなく、各自の設計・ﾃﾞｻﾞｲﾝの基礎知識として活用できるようにする。

西洋及び日本の建築史を学び、現代に繋がる建築の潮流の理解につなげることで、課題に応用できる知識の習得を目指す。

授業概要

建築の歴史を学ぶことで知識の幅を広げ、今後のデザインの基礎知識とする。

成績評価方法　◆作文・課題　10%　◆定期試験　40%　◆平常点　30%　◆授業への参加姿勢　20%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	ガイダンス 日本建築史01	④ 授業スケジュール(授業スケジュール表の配布)、授業内容説明＆講師談話 ⑤ 日史Ⅰ・Ⅱ　⑥ 日史Ⅲ・Ⅳ
2回	日本建築史02	④ 日史Ⅴ・Ⅵ　⑤ 日史Ⅶ・Ⅷ　⑥ 日史Ⅸ・Ⅹ
3回	日本建築史03 日本近代建築史01	④ 日史Ⅺ・Ⅻ　⑤ 日史Ⅰ～Ⅻ:テスト1回目　⑥ 日近史Ⅰ・Ⅱ
4回	日本近代建築史02	④ 日近史Ⅲ・Ⅳ　⑤ 日近史Ⅴ　⑥ 日近史Ⅵ・Ⅶ
5回	日本近代建築史03	④ 日近史Ⅷ・Ⅸ　⑤ 日本のモダニズム・ポストモダニズムをネットで調べる(建築家・建築物) ⑥ 日近史Ⅰ～Ⅸ:テスト2回目
6回	西洋建築史01	④ 西史Ⅰ・Ⅱ　⑤ 西史Ⅲ・Ⅳ　⑥ 西史Ⅴ・Ⅵ
7回	西洋建築史02	④ 西史Ⅶ・Ⅷ　⑤ 西史Ⅸ/ゴシック建築をネットで調べる　⑥ 西史Ⅹ・Ⅺ
8回	西洋建築史03 西洋近代建築史01	④ 西史Ⅻ・13　⑤ 西史Ⅰ～13:テスト3回目　⑥ 西近史Ⅰ・Ⅱ
9回	西洋近代建築史02	④ 西近史Ⅲ・Ⅳ　⑤ 西近史Ⅴ・Ⅵ　⑥ 西近史Ⅶ・Ⅷ
10回	西洋近代建築史03	④ 西近史Ⅸ/ディスティルをネットで調べる　⑤ 西近史Ⅹ-1(バウハウス・グロピウス) ⑥ 西近史Ⅹ-2(ミース ファン デル ローエ)
11回	西洋近代建築史04	④ 西近史Ⅹ-3(ル コルビジェ)　⑤ 西近史Ⅹ-4(フランク ロイド ライト)　⑥ 西近史Ⅺ
12回	西洋近代建築史05	④ 西近史Ⅻ　⑤ 西近史13　⑥ 西近史Ⅰ～13:テスト4回目
13回	現代の建築家01	④ 日本＆西洋の知っておきたい建築家紹介　⑤ 日本＆西洋の建築家の作品合せ調べる ⑥ レポートにして提出
14回	現代の建築とインテリア	④⑤⑥現代の建築とインテリアの実例を、講師の実例スライドで紹介、歴史との繋がりを解説
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	建築工学科　昼間部（３年制）	2025年度	1年次・前 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	建築製図	3	45	
教科書・教材等	初めての建築製図、プリント、製図道具一式			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
石黒　汐乃			学科長　奥水 正明	

授業の特徴・テーマ

製図道具に慣れるところからはじめ、手足のように使いこなせるようにする。制作のスピードよりも丁寧な作図と手で作り上げる喜びを知ってほしい。線一本の大切さを知ることで、ものづくりの原点としたい。

到達目標

二級建築士2次試験レベルの作図力を身につける。平面図・配置図・立面図・断面図・かなばかり図・詳細図の作図を通じ、木造住宅の構成とRC造の構成、作図を理解する。

授業概要

製図道具の使い方、平面図や断面図等の作図及び室内の詳細寸法を通し、正確かつ迅速な作図法を学ぶ。

成績評価方法　◆作文・課題　70%　◆定期試験　%　◆平常点　10%　◆授業への参加姿勢　20%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	オリエンテーション	製図規約　/　課題1　線の練習（縦・横線、実線・点線・一点鎖線）
2回	製図基礎	課題2　線・製図文字の練習
3回	〃	課題3　64角形の対角線
4回	〃	〃
5回	インテリア製図	課題4　平面レイアウト図・天井伏図　S＝1/50
6回	〃	〃
7回	インテリア製図	課題5　展開図　S＝1/50・アイソメトリックパース　S＝1/30
8回	〃	〃
9回	建築製図	課題6　配置図兼1階平面図、2階平面図　S=1/100
10回	〃	〃
11回	〃	〃
12回	建築製図	課題7　立面図・断面図　S=1/100
13回	〃	〃
14回	〃	〃
15回	総合演習	

町田デザイン＆建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築 専門課程	建築工学科　昼間部(3年制)	2025年度	2 年次・ 前 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	表現技法2	3	45	
教科書・教材等	オリジナルプリント			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
輿水　正明			石黒　汐乃	

授業の特徴・テーマ

基本図面から立体空間を製作することで、図面の理解度を高め、立体表現のテクニックを習得する。

到達目標

実習を通して、内観パース、模型製作の基本テクニックを身につける。図面を理解し立体空間が把握できるようにする。

授業概要

公共建築をスチレンボード等を用いて製作。

成績評価方法　◆作文・課題　30%　◆定期試験　0%　◆平常点　30%　◆授業への参加姿勢　40%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	到達目標
1回	ガイダンス:授業内容説明	立体における表現技法の概要と試作をすることにより身近に感じるようにする。
2回	道具、素材、加工について	道具、素材の種類と加工方法について学ぶ。
3回	内観パース	内観画像のガイドラインをトレース
4回	内観パース	パースに従い床・造作等の描き込み
5回	内観パース	着彩
6回	内観パース	仕上げ
7回	スケールモデル製作	建築外観模型製作
8回	スケールモデル製作	建築外観模型製作
9回	スケールモデル製作	建築外観模型製作
10回	スケールモデル製作	建築外観模型製作
11回	スケールモデル製作	建築外観模型製作
12回	スケールモデル製作	建築外観模型製作
13回	スケールモデル製作	建築外観模型製作
14回	総合演習	
15回	総合演習	

町田デザイン＆建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	建築工学科　昼間部（３年制）	2025年度	2年次・前期	選択
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	建築士講座	3	45	
教科書・教材等	前年度2級建築士試験問題			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
非対面 / 輿水正明	無し		石黒　汐乃	

授業の特徴・テーマ

実際の試験問題を使い、学生自身が難易度を体感する

到達目標

二級建築士学科合格のレベルの学力取得

授業概要

前年度2級建築士試験問題を実際に解き、解説を行う

成績評価方法　◆作文・課題　80%　◆定期試験　　%　◆平常点　　%　◆授業への参加姿勢　20%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	到達目標
1回	構造　（1～6）	力学の理解
2回	構造（17～19）	一般構造の理解
3回	構造　（20～25）	材料の理解
4回	計画　（1～10）	環境の理解
5回	計画　（11～18）	建築計画の理解
6回	計画　（16～25）	設備の理解
7回	施工　（1～7）	仮設の理解
8回	施工　（8～16）	一般l施工の理解
9回	施工　（17～25）	融合問題
10回	法規　（1～10）	単体規定の理解
11回	法規（11～19）	集団規定の理解
12回	法規　（20～25）	融合問題
13回	期末試験	内容確認テスト
14回	解説	内容確認テストの解説
15回	総評	本試験の難易度と現在の実力の再確認

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	建築設計科　昼間部（３年制）	2025年度	２年次・前 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	BIM1	3	45	
教科書・教材等	PDFテキスト（授業ごとにロード）			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
石黒 汐乃			輿水　正明	

授業の特徴・テーマ

大手建設業界で全面BIM化が推進されている現代で活躍するために、3Dモデリングで作図を楽しみながら基礎知識を身につける。

到達目標

BIMを学ぶことでゼネコンなど大手への就職の幅を広げ、将来的な視野を広く持てるようにする。
授業を通して卒業制作での建築計画などに役立てられるようになる。

授業概要

Building Information Modeling／モデリングを通して楽しみながらRevitを学び、モデリングだけではなくプロジェクトに情報を組み込むことで
BIMとしてのシステムの理解を深める。

成績評価方法　◆作文・課題　60%　◆定期試験　0%　◆平常点　30%　◆授業への参加姿勢　10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	BIM概要 ソフトのインストール作業	BIMとは？現代におけるBIMの重要性について Revitのインストール作業
2回	画面構成・基本操作	基本操作・マウス操作・インターフェース
3回	作図の基本・マテリアル ファミリについて	要素の選択・作成・修正、プロジェクトの保存、マテリアルの作成 ファミリの構成
4回	復習	課題の指示書を参考に作図してみよう！
5回	外構を作成	プロジェクトの新規作成、CAD読み込み、方位設定、敷地境界線・地盤面・サブ領域作成、舗装
6回	レベルと通り芯 建築プランの作成①	レベル、参照面、通り芯 柱・壁・カーテンウォールの作成
7回	建築プランの作成②③	床・天井・ドア・窓の作成 コンポーネントの配置・部屋
8回	建築プランの作成④	階段、グループ化、レベル間の複写、屋根の作成
9回	集計表と図面の作成①	ビューの名前、集計表／数量、寸法
10回	集計表と図面の作成②	カラー凡例、断面図、シート(図枠)作成、印刷設定
11回	レンダリング 補足資料	レンダリング、外観パース作成
12回	住宅モデル作成課題①	テキストを元に各自2階建てを作成
13回	住宅モデル作成課題②	テキストを元に各自2階建てを作成
14回	住宅モデル作成課題提出	テキストを元に各自2階建てを提出
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	建築工学科　昼間部（３年制）	2025年度	2年次・前期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義	一般構造　2	3	45	
教科書・教材等	改訂版やさしい建築一般構造、適宜工事中各種写真等配布資料			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
輿水　正明	無し		石黒　汐乃	

授業の特徴・テーマ

建築の骨格である構造について、一般的な構造形式を中心にして、その仕組み・特徴などの基本的事項を学習する。

到達目標

建築構造の特徴を理解し、建築構造の知識を習得する。また、建築士の学科試験対策として発展的理解へと繋げることを目標とする。

授業概要

鉄筋コンクリート構造や鉄骨構造を重点に置き、現代建築に用いられる各部の構造について、映像や図と写真など活用し、要点を整理しながら容易に一般構造の理解を深め、さらに建築士の試験問題に関連づけて講義する。

成績評価方法　◆作文・課題　0%　◆定期試験　60%　◆平常点　20%　◆授業への参加姿勢　20%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	到達目標
1回	9/28	全体説明、建築の仕組み、材料と構法
2回	建物に働く力	長期荷重と短期荷重、応力と許容応力、固定荷重、積載荷重、積雪荷重、風圧力、地震力
3回	構造計画	建築構造の分類と構造計画骨組み、面で構成、トラス、組積
4回	鋼材の特徴と形状	鋼材の分類、性質、応力度とひずみ度、構造用鋼材の強度
5回	構造形式	ラーメン構造、トラス構造、その他の構造　長方形･山形ラーメン構造、平面･屋根型･立体トラス構造、軽量鉄骨構造、鋼管構造
6回	鉄骨構造	接合(リベット･ボルト･溶接)、部材の設計(圧縮力、引張力、座屈)、各部の構造(梁･柱･筋交･柱脚)
7回	中間テスト	中間テストの実施、および、問題の解説とふりかえり
8回	コンクリート	コンクリートの材料、強度、硬化前・硬化後の性質、鉄筋の特徴セメント、水、骨材、混和材料、圧縮強度、設計基準強度、許容応力度、強度に影響を与える要素
9回	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造の原理構造計画、材料の特徴、鉄筋コンクリート造のしくみ(荷重･耐久性･災害･鉄筋の付着･破壊形状)
10回	鉄筋コンクリート造	構造計画、原理とそのしくみや耐久性について。構造形式（ラーメン･壁式･PC･フラットスラブ･シェル構造）配筋計画、フック、定着長さ、重ね継手、かぶり厚さ
11回	ラーメン構造	鉄筋コンクリート造における配筋計画、各部の構造(梁･柱･スラブ･耐力壁)梁の構造、主筋、あばら筋、柱の構造、帯筋、スラブの構造、耐力壁の構造
12回	壁式構造他	壁式構造の特徴と各部の構造プレキャスト鉄筋コンクリート造の特徴と各部の構造
13回	期末テスト	期末テスト
14回	解説と復習	テストの返却と問題の解説、DVD視聴
15回	まとめ	総合演習

町田デザイン＆建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	建築工学科　昼間部（３年制）	2025年度	２年次・前期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	建築設備	3	45	
教科書・教材等	インテリアコーディネーターハンドブック下巻、オリジナルスライド・ノート等			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
奥水 正明	無し		石黒　汐乃	

授業の特徴・テーマ

建築物内部における、生活に必要な機器装置の役割やしくみについて、快適な空間づくりへの目的と合わせて学習する。

到達目標

建築物・都市計画におけるライフラインとも呼べる設備環境、電気、ガス、水道の設計施工の知識を習得する。エコロジー的観点から物事を捕らえられる人材の育成を図る

授業概要

テキストとノートでの講義授業。できる限りの実際の写真やデータを活用し、実社会との接点も多く取り授業導入する。

成績評価方法　◆作文・課題10　％　◆定期試験　50%　◆平常点20%　◆授業への参加姿勢20%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	到達目標
1回	ガイダンス	授業概要、説明
2回	給水設備	給水過程、方式、水栓金具種類
3回	給湯設備	給湯方式、浴室の設備機器
4回	排水設備	排水方式、トラップの種類
5回	衛生設備	衛生器具、洗浄方式　、し尿浄化槽
6回	ガス設備	種類としくみ、供給方式について
7回	暖房設備、空気調和設備	種類、特徴、供給方式について
8回	中間試験	
9回	換気設備	換気の種類、必要換気量、必要換気回数について
10回	電気設備	供給方式について、電線、スイッチ、コンセントについて
11回	消火設備、　防犯設備	種類、特徴としくみ
12回	搬送、避難設備	種類、特徴としくみ
13回	エコロジー環境について	汚染状況これからの生活環境について
14回	期末試験	
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	建築工学科　昼間部（３年制）	2025年度	２年次・前 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	建築施工２	3	45	
教科書・教材等	改訂版やさしい建築施工、建築資料ビジュアルハンドブック			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
山本　響	有　意匠設計、建築審査、断熱材料開発、プラント設計		輿水 正明	

授業の特徴・テーマ

施工に必要な基礎知識及び二級建築士レベルの基礎知識の習得

到達目標

建築士として必要な建築施工の基礎知識を、施工計画、仮設工事や躯体工事、仕上げ・設備工事と実務の流れに即して教科書を通して身につける。

授業概要

建築施工の基本知識を教科書・教材を通して解説していくとともに、知識の定着を図る。
スクーリングでは、中間試験、単位認定試験を通じて建築施工の基本的な知識の定着度を確認していく。

成績評価方法　◆作文・課題　0%　◆定期試験　60%　◆平常点　20%　◆授業への参加姿勢　20%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	ガイダンス・施工概論・工事契約・積算	建築施工の概要を理解するとともに工事契約、積算について基礎知識の習得
2回	施工計画、施工管理、地盤調査	施工計画、施工管理、地盤調査について基礎知識の習得
3回	測量、仮設工事、土工事	測量、仮設工事、土工事について基礎知識の習得
4回	基礎地業工事・鉄筋コンクリート工事（コンクリート材）	基礎地業工事、鉄筋コンクリート工事について基礎知識の習得
5回	鉄筋コンクリート工事（鉄筋・型枠工事）	鉄筋コンクリート工事について基礎知識の習得
6回	鉄筋コンクリート工事（コンクリート工事・打設）	鉄筋コンクリート工事について基礎知識の習得
7回	中間テスト	中間テスト
8回	鉄骨工事	鉄骨工事について基礎知識の習得
9回	コンクリートブロック工事、木工事	コンクリートブロック工事、木工事について基礎知識の習得
10回	防水工事、屋根工事、左官工事	防水工事、屋根工事、左官工事について基礎知識の習得
11回	タイル工事、張り石工事、塗装工事	タイル工事、張り石工事、塗装工事について基礎知識の習得
12回	建具工事、ガラス工事、内装断熱工事、ユニットその他工事	建具工事、ガラス工事、内装断熱工事、ユニットその他工事について基礎知識の習得
13回	外装工事、設備工事、施工機械、維持管理	外装工事、設備工事、施工機械、維持管理について基礎知識の習得
14回	期末テスト	期末テスト
15回	総合演習	総まとめとして復習確認。

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	建築工学科　昼間部（3年制）	2025年度	2年次・前 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	建築材料2	1	15	
教科書・教材等	インテリアコーディネーターハンドブック			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
石黒　汐乃	無		奥水　正明	

授業の特徴・テーマ

建築計画において関わりの深い、建築材料の特性について学ぶ。

到達目標

1年時に学んだ基礎的知識をもとに、より応用的かつ実務的（二級建築士レベル）な知識の習得を目指す。

授業概要

講義形式を基本とし、必要に応じてビジュアル及び実例をもとに理解を深められる工夫を行い授業を進める。また、授業内容に応じて、習得した内容の確認・習得を目標に小テスト、演習等を行い、実務で活用できるよう理解を深めることを目指す。

成績評価方法　◆作文・課題　%　◆定期試験　60%　◆平常点　30%　◆授業への参加姿勢　10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	ガイダンス、木材・木質材料①	・建築材料の役割について把握する。・樹種・製材・構造、含水率、欠点、強度、弾性係数について理解する。
2回	木材・木質材料②	・クリープ、使用適当樹種について理解する。・木質材料（合板、集成材、OSB、パーティクルボード、ファイバーボード、LVL、CLT）についての特性を理解する。
3回	木材・木質材料③	・木質材料（合板、集成材、OSB、パーティクルボード、ファイバーボード、LVL、CLT）についての特性を理解する。・木材・木質材料に関する理解を深めるため、基本演習を行う。
4回	金属	・鉄・鉄鋼の特性を理解する。・非鉄金属の特性を理解する。
5回	セメント・コンクリート①	・セメントの製造、ポルトランドセメントの特性を理解する。
6回	セメント・コンクリート②	・ポルトランドセメントの特性を理解する。・コンクリートの構成・製造について理解する。
7回	セメント・コンクリート③	・打設と養生、硬化コンクリート、コンクリート製品についての理解を深める。（実例紹介: 新青森県総合運動公園陸上競技場、松本等）
8回	石材	・前回までのコンクリート分野の理解のため、基本演習を行い、習熟度を高める。・分類、物理的性質、仕上げ・加工、石材の使われ方（使用例）について理解する。
9回	ガラス系材料	・製造、種類、物理的性質、構法について理解する。
10回	プラスチック・塗料	・プラスチックの定義、種類、環境関連について理解する。・塗料の特性、適合性について理解する。
11回	接着剤・左官材料	・接着剤の種類、適用工事、接着の仕組みについて理解する。・左官材料の種類、使われ方、仕上げについて理解する。
12回	焼成材料	・焼成材料の分類（瓦、煉瓦、タイル）、各特性について理解する。
13回	エコ材料・リサイクル材料・機能性材料	・各材料特性を理解する。
14回	考査試験	建築材料の習熟度を確認する。期末考査試験（ペーパーテスト）により、各生徒の習熟度を確認する。
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	建築工学科　昼間部（３年制）	2025年度	２年次・前 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	建築法規2	3	45	
教科書・教材等	テキスト(やさしい建築法規)・法令集			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
菊池　康弘	有り/一級建築士		学科長　奥水 正明	

授業の特徴・テーマ

法令集を使いこなせるように学習し　建築基準法　及び付随する関係法令を理解する。

到達目標

法令用語の意味を理解し、その用語の意味・意図を理解させる。また、練習問題を通して　法令の使い方・解釈を理解させる。

授業概要

建築基準法・建築基準法施行令の中でも　重要な箇所・2級建築士学科試験に多く出題される部分の理解力向上を主目標とする。

成績評価方法　◆作文・課題　%　◆定期試験　60%　◆平常点　20%　◆授業への参加姿勢　20%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	法令集のインデックス貼り	各自に配布したインデックスを指定のページ・位置に貼り付ける
2回	建築基準法の大系	法令の形式　章・条・項・号・イロハの区別　及び、法律・政令・省令・条例・規則についての違いを理解する。
3回	建築基準法の基本定義	建築物・建築設備・居室・主要構造部・構造耐力上主要な部分・特殊建築物・指定工作物等の定義を理解する。
4回	建築基準法に関する手続き	確認申請手続き・確認申請を必要とする建築物等・用途変更等の定義を理解する。
5回	敷地・面積・高さ等	用途上不可分な関係の建築物・法42条第2項道路・建築面積・床面積の各算定方法を理解する。
6回	採光に関する基準	居室における採光の算定方法と採光面積の特例について理解を深める。
7回	構造に関する基準(居室の天井高さ・階段等)	換気に関する基準・居室の天井高さ算定・居室の床の高さ・長屋等の界壁について理解を深める。
8回	面積の制限(容積率)	敷地面積に対する床面積の割合・用途地域による容積率の違いについて理解を深める。
9回	面積の制限(建蔽率)	敷地面積に対する建築面積の割合・用途地域による建蔽率の違いについて理解を深める。
10回	道路斜線	用途地域別の道路斜線勾配・斜線緩和・用途地域が跨る場合の検討等の計算方法を理解する。
11回	隣地斜線	用途地域別の隣地斜線勾配・斜線緩和・用途地域が跨る場合の検討等の計算方法を理解する。
12回	隣地斜線	用途地域別の北側斜線勾配・ペントハウスの高さ非算入・前面に道路がある場合の計算方法を理解する。
13回	防火地域・準防火地域・その他法令	防火地域・準防火地域・耐火構造・準耐火構造・防火構造等　近似用語の違いを主に理解する。
14回	前期期末試験	1回～13回までの講義の集大成として、法令集持ち込み可として　前期期末試験を行う。
15回	総合演習	

町田・デザイン＆建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	建築工学科　昼間部（３年制）	2025年度	2年次・前期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	構造力学Ⅱ	3	45	
教科書・教材等	初めての構造力学他、オリジナルプリント、定規、電卓、ノート			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
輿水　正明	無		石黒　汐乃	

授業の特徴・テーマ

構造力学の基礎知識、静定ばり、静定ラーメン等を学習し、計画等の科目や設計作品へと連動出来るようにする。

到達目標

地震国日本にとって重要といえる構造、その中でも構造力学は重要である。構造力学の基礎知識を学び、身に付ける。

授業概要

構造計算の基礎知識や建築物の構造に関する基礎知識を学ぶ。

成績評価方法　◆作文・課題10　%　◆定期試験　50%　◆平常点20%　◆授業への参加姿勢20%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	到達目標
1回	オリエンテーション	授業内容と目標　片持ち梁、単純ばり反力計算復習
2回	片持ちばりの反力、等分布荷重の反力	斜めの荷重の反力　モーメント荷重
3回	静定骨組の応力	応力の種類、片持ちばりの応力
4回	静定骨組の応力	単純ばりの応力
5回	静定骨組の応力	等分布荷重、等変分布荷重の応力
6回	静定骨組の反力:ラーメン	片持ち梁系　単純梁系　3ヒンジ　反力計算
7回	静定骨組の応力:ラーメン	軸方向力、せん断力、曲げモーメントの理解、応力図の作図
8回	中間試験	試験による内容理解度の確認。
9回	トラス	反力計算、節点法　切断法
10回	トラス	反力計算、切断法
11回	応力度とひずみ度	断面の性質　引張・圧縮、せん断、曲げ応力度の理解
12回	応力度とひずみ度	断面１次モーメント、断面2次モーメント計算
13回	応力度とひずみ度	断面係数計算、許容応力度
14回	期末試験	試験による内容理解度の確認。
15回	まとめ	総まとめとして復習確認。

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	建築工学科　昼間部（３年制）	2025年度	1年次・前 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	実学実習1	3	45	
教科書・教材等	やさしい建築施工・オリジナルプリント			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
宇賀持　理沙子	有・建築設計		輿水　正明	

授業の特徴・テーマ

建築施工の基礎知識を、実学実習を行う中で施工管理の流れ（提案、工程表、積算、見積）を学ぶ。

到達目標

図面作成、積算、工程を理解し整合性の取れた提案力を身に付ける。

授業概要

求められる課題に対応した提案を行うスキルを身に付ける、講義及び演習課題を行う。

成績評価方法　◆作文・課題　60%　◆定期試験　%　◆平常点　20%　◆授業への参加姿勢　20%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	施工計画①	・施工管理の役割　・課題説明（リフォーム）
2回	施工演習②	・リフォームの基本計画
3回	施工演習③	・リフォームの基本計画（プランニング）
4回	施工演習④	・リフォームの基本計画（プランニング　平面図）
5回	施工演習⑤	・リフォームの基本計画（立面図　断面図）
6回	施工演習⑥	・リフォームの基本計画（展開図・内観パース）
7回	施工演習⑦	・積算
8回	施工演習⑧	・積算
9回	施工演習⑨	・見積書作成
10回	施工演習⑩	・工程表作成
11回	施工演習⑪	・工程表作成
12回	施工演習⑫	・プレゼンボート作成
13回	施工演習①	・パワーポイントでプレゼン資料を製作
14回	総合演習①	・プレゼンテーション
15回	総合演習②	・プレゼンテーション

町田デザイン＆建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	建築工学科　昼間部（３年制）	2025年度	2年次・前期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	設計3	6	90	
教科書・教材等	オリジナル資料			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
石黒　汐乃	無		学科長　奥水　正明	

授業の特徴・テーマ

基本構想からプランニング・建築デザイン・設計までのプロセスを学び、個人テーマに基づき表現しプレゼンテーションを行う。

到達目標

RCラーメン構造における構成要素、詳細寸法を学習する。

授業概要

実習形式の授業スタイルで行う。その都度手を動かして理解を含める。

成績評価方法　◆作文・課題　80%　◆定期試験　　%　◆平常点　　%　◆授業への参加姿勢　20%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	到達目標
1回	自由設計 （記念館設計）	イメージ作り
2回	自由設計 （記念館設計）	エスキス
3回	自由設計 （記念館設計）	図面作成　平面
4回	自由設計 （記念館設計）	図面作成　平面　配置
5回	自由設計 （記念館設計）	図面作成　断面
6回	自由設計 （記念館設計）	図面作成　立面
7回	自由設計 （記念館設計）	図面作成　コンセプト　面積表ほか
8回	自由設計 （記念館設計）	パース作成　展示室
9回	自由設計 （記念館設計）	パース作成
10回	自由設計 （記念館設計）	パース作成　着色
11回	自由設計 （記念館設計）	模型作成　外観
12回	自由設計 （記念館設計）	模型作成
13回	自由設計 （記念館設計）	模型作成
14回	自由設計 （記念館設計）	模型作成
15回	自由設計 （記念館設計）	仕上げ

建築工学科
後期シラバス

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	建築工学科　昼間部（３年制）	2025年度	1年次・後 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	表現技法1	3	45	
教科書・教材等	色彩検定公式テキスト　配布プリント			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
福島圭子	有　カラーコンサルタント		輿水正明	

授業の特徴・テーマ

色の理論を踏まえた上で、色鉛筆・マーカー・パステルを使ったインテリア空間及び樹木等の着彩表現方法を、実習を通して習得する

到達目標

色材の特徴を活かした着彩方法を習得し、スケッチパースに着彩を施し、イメージ通りの空間表現を実現する

授業概要

色材の特徴や使い方をマスターし、それぞれを組み合わせることによって表現の奥行きや幅を広げる

成績評価方法　◆作文・課題　50%　◆定期試験　30%　◆平常点　10%　◆授業への参加姿勢　10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	オリエンテーション　色材	カリキュラムについて　色材確認 色鉛筆チャート表の作成　　色鉛筆の使い方を学ぶ
2回	マーカーの使い方	コピック一覧表の作成 コピックの基本的な使い方を学ぶ
3回	パステルの使い方	パステルの使い方を学ぶ　色彩の特徴と効果的な使い方を学ぶ 7種類のブラウンを三属性で分類する
4回	インテリア家具の着彩	確認テストで習熟度を知る インテリア家具を色鉛筆とコピックで着彩する
5回	樹木　床面の着彩	床面の着彩方法、樹木の着彩方法について学ぶ オフニュートラルカラーを三属性で分類する
6回	インテリア空間の配色1	配色技法をインテリア空間に活用する～アクセントカラー、セパレーション、グラデーション
7回	模様の種類と分類	模様・柄の種類と分類の方法を学び、オリジナルを作成、着彩する
8回	インテリア空間の配色2	確認テストで習熟度を知る 配色技法をインテリア空間に活用する～ナチュラルハーモニー、コンプレックスハーモニー
9回	インテリア空間の着彩	インテリア3カット（ベッドルーム　キッチン　リビング）をコピックで着彩する
10回	インテリア空間のイメージ	配色イメージと素材、デザインの関係について学ぶ
11回	インテリア空間のイメージ	配色イメージと素材、デザインの関係について学ぶ　2
12回	リビングルームの着彩	確認テストで習熟度を知る リビングルームの着彩課題説明とコンセプト、色彩計画を組み立てる
13回	リビングルームの着彩	リビングルームの着彩課題説明とコンセプト、色彩計画を組み立てる レイアウトの基礎を学ぶ
14回	作品講評	リビングルームの着彩についての作品講評をする
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	建築工学科　昼間部（３年制）	2025年度	１年次・後 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	CAD2	3	45	
教科書・教材等	プリント配布			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
田中 春菜	有/建築意匠設計		学科長　輿水　正明	

授業の特徴・テーマ

CADの基本操作から応用操作を学び、作図力を身につける。

到達目標

・図面作成のためのCAD基本操作の習得。　・CAD検定3級受験

授業概要

1人1台パソコンを準備し、JwCADを用いて授業を行う。後半はCAD検定試験の過去問を実施し試験に備える。

成績評価方法　◆作文・課題　80%　◆定期試験　%　◆平常点　10%　◆授業への参加姿勢　10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	ガイダンス・基本操作	CAD Ｉ 授業の進め方、JwCAdインストール、基本操作
2回	基本操作	【演習1】線分、円・円弧、消去、中心線、2線
3回	〃	【演習2】伸縮、複線、部分消去、面取り
4回	〃	【演習3】コーナー、包絡、中心線、分割、ハッチング
5回	作図応用	【演習4】水回り平面図
6回	〃	【演習5】洋室平面図
7回	〃	【演習6】LDK平面図
8回	試験対策	CAD検定試験ガイダンス。4級過去問題実施
9回	〃	CAD検定3級練習問題
10回	〃	CAD検定4級練習問題
11回	〃	CAD検定5級練習問題
12回	〃	CAD検定6級練習問題
13回	検定試験	CAD検定試験3級受験
14回		CAD検定試験解説
15回	総合演習	

町田デザイン＆建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	建築工学科　昼間部（3年制）	2025年度	1年次・後期	必修
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	プレゼン演習	3	45	
教科書・教材等	プリント配布・参考作品			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
藤本珠恵	有り／美術教室勤務		輿水正明	

授業の特徴・テーマ

建築・インテリアパースの基本と応用を学ぶ。

到達目標

パースの成り立ちを理解し、作画法を学ぶことで、自在な空間描写力を身に付ける。

授業概要

建築模型をもとにパースを作画する。

成績評価方法　◆作文・課題 70 %　◆定期試験　 %　◆平常点　 %　◆授業への参加姿勢 30 %

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	模型撮影	自作のボリューム模型を、各自の端末で撮影する（正面・俯瞰アングル）
2回	外観パース（正面）	画像をA4プリントし、ガイドラインをトレース／パースに従い外装（屋根・壁等）周辺の描き込み
3回	〃	着彩仕上げ（水彩）　（講評会）
4回	外観パース（俯瞰）	画像をA4プリントし、ガイドラインをトレース／パースに従い外装（屋根・壁等）周辺の描き込み
5回	〃	着彩仕上げ（水彩）　（講評会）
6回	内観パース（富士見の家）	富士見の家（関野裕樹設計）平面図から、室内パースを描き起こす　※プリント配布
7回	〃	トレペを重ね、パースに沿って床、家具、雑貨等の描写
8回	〃	〃
9回	〃	着彩仕上げ（水彩）　（講評会）
10回	模型撮影	前半の手順同様、自作のボリューム模型撮影を撮影（見上げ・俯瞰アングル）
11回	外観パース②（見上げ）	画像をA4プリントし、ガイドラインをトレース／パースに従い外装（屋根・壁等）周辺の描き込み
12回	〃	着彩仕上げ（水彩）　（講評会）
13回	外観パース②（俯瞰）	画像をA4プリントし、ガイドラインをトレース／パースに従い外装（屋根・壁等）周辺の描き込み
14回	〃	※周辺の描き入れ　着彩仕上げ（水彩・色鉛筆）　（講評会）
15回	総合演習	

町田デザイン＆建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	建築工学科　昼間部（３年制）	2025年度	１年次・後期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	環境工学1	1	15	
教科書・教材等	世界で一番やさしい建築入門、 他、オリジナルプリント、定規、電卓、ノート			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
輿水 正明	無		石黒　汐乃	

授業の特徴・テーマ

建築・インテリアの基礎知識を環境工学分野より学習し、計画等の科目や設計作品へと連動出来るようにする。

到達目標

建築・インテリアに関する基礎知識、計算を学び身に付ける。

授業概要

建物の日常環境との関係の基礎知識をはじめ建築物、インテリアに関する基礎知識を学ぶ。

成績評価方法　◆作文・課題10　%　◆定期試験　50%　◆平常点20%　◆授業への参加姿勢20%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	到達目標
1回	オリエンテーション	授業内容と予定　建築環境の概要
2回	屋外環境	各地気候、特色
3回	室内環境	有効温度読み取り
4回		熱の性質　熱伝達　熱伝導　熱貫流のしくみ
5回		熱貫流率、熱貫流量の計算
6回		湿度　結露のしくみ理解　湿り空気線図の読み取り
7回	中間試験	まとめとして試験による内容理解度の確認。
8回		前半復習　環境工学後半スケジュール
9回	日影曲線図の理解、時間日影図の作成	日照、真太陽・標準時 日影曲線図
10回	日射量比較・隣棟間隔計算	日射、日射量・隣棟間隔
11回	採光、照明方法理解	採光、　昼光率　採光方式　照明方式、照度基準
12回	音の性質理解、	音響　吸音　遮音　反響、残響時間
13回	騒音	騒音振動　　対策
14回	試験・まとめ	まとめとして試験による内容理解度の確認。
15回	総合演習	まとめおよび理解復習。

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	建築工学科　昼間部(3年制)	2025年度	1年次 ・後期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	建築計画	3	45	
教科書・教材等	オリジナルプリント			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
奥水　正明	無し		学科長　石黒　汐乃	

授業の特徴・テーマ

建物の計画を行う為の基本的な知識を学習し、建物を計画するというスキルを身につける事。また臨機応変に計画を変化させる事や多数の仲間との共同設計を行う調整力を学習する。

到達目標

2又は3階建ての住宅の設計が、自分の表現したい形で計画が出来る事、また次学年での大きい建物の空間設計に繋がる知識の獲得。

授業概要

演習形式を基本として、課題を少しずつレベルUPさせ、対応力を向上を図る。 また最終課題では、そのスキルを使用し、共同設計という課題で、共同作業を行う。 次学年での公共建築設計に繋げる。

成績評価方法　◆作文・課題　70　%　◆定期試験　　%　◆平常点　10　%　◆授業への参加姿勢　20　%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	建築の概論①	建物の考え方 （ｽｹｰﾙ感、モジュール　木造、RC、エスキス）
2回	建築の概論②	建築細部（階段・畳納まり等） 実習
3回	建築の概論③	機能図の考え方,ゾーニングの考え方　　実習
4回	木造建築物課題①	木造建築物のエスキス（演習、講義）
5回	木造建築物課題②	木造建築物のエスキス（演習、講義）
6回	木造建築物課題③	木造建築物のエスキス（演習、講義）
7回	木造建築物課題④	木造建築物のエスキス（演習、講義）
8回	共同設計課題①	公共建築物の共同設計（演習・講義）
9回	共同設計課題②	公共建築物の共同設計（演習・講義）
10回	共同設計課題③	公共建築物の共同設計（演習・講義）
11回	共同設計課題④	公共建築物の共同設計（演習・講義）
12回	共同設計課題⑤	公共建築物の共同設計（演習・講義）
13回	共同設計課題⑥	公共建築物の共同設計（演習・講義）
14回	共同設計課題⑦	共同設計課題のプレゼンテーション
15回	総合演習	

町田デザイン＆建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	建築工学科　昼間部（3年制）	2025年度	1年次・後期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	建築材料1	1	15	
教科書・教材等	世界で一番やさしい建築入門			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
宇賀持　理沙子	有・建築設計		学科長　奥水 正明	

授業の特徴・テーマ

建築材料の概要を学習する。

到達目標

建築に関わる建築材料とはどんなものがあるのか、名称や用語の意味を理解する。

授業概要

講義形式を基本とし、必要に応じてビジュアル及び実例をもとに理解を深められる工夫を行い授業を進める。

成績評価方法　◆作文・課題10　%　◆定期試験　60%　◆平常点20%　◆授業への参加姿勢10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	到達目標
1回	ガイダンス、建築材料の概要	・ガイダンス・建築材料のとは
2回	組積材と煉瓦	・組積材の種類、特徴の解説
3回	ガラス	・ガラスの種類、物性を解説
4回	木材	・木材の特質について解説
5回	樹脂材	・樹脂材の種類と特徴について解説
6回	コンクリート	・コンクリートの性質、品質管理について解説
7回	左官材	・水硬性左官材、気硬性左官材について解説
8回	タイル	・タイルの特性と工法について解説
9回	鋼材・アルミニウム材	・鋼材の物性、種類について解説
10回	塗装材	・塗料の構成、種類について解説
11回	接着剤	・接着剤の特性、種類について解説
12回	防水材建築とマテリアル	・防水材の役割、種類について解説・材料の選定と意匠性について解説
13回	免震材、制振材建築再生材	・免震工法、制振工法について解説・再生材とは、その種類と特徴を解説
14回	考査試験	建築材料Ⅰの習熟度を確認する。期末考査試験（ペーパーテスト）により、各生徒の習熟度を確認する。
15回	総合演習	

町田デザイン＆建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	建築工学科　昼間部（３年制）	2025年度	１年次・後期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	建築法規1	1	15	
教科書・教材等	世界で一番やさしい建築入門			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
宇賀持　理沙子	有・建築設計		輿水 正明	

授業の特徴・テーマ

建築法規の概要を学習する。

到達目標

建築における法規とは何か、概要を把握する。

授業概要

講義形式を基本とし、必要に応じてビジュアル及び実例をもとに理解を深められる工夫を行い授業を進める。

成績評価方法　◆作文・課題10　%　◆定期試験　60%　◆平常点20%　◆授業への参加姿勢10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	到達目標
1回	ガイダンス、建築法規	・ガイダンス・建築に関わる法規の概要について解説
2回	建築基準法の変遷	・建築基準法の歴史について解説
3回	単体規定と集団規定	・それぞれの意味と目的について解説
4回	建築確認申請	・確認申請とは、申請対象となる建築物について解説
5回	設計者の資格である建築士法	・一級建築士、二級建築士、木造建築士について解説
6回	品確法	・その目的について解説
7回	耐震改修促進法	・対象建築物、罰則規定について
8回	省エネ法	・省エネ法とは、説明義務制度等について解説
9回	消防法	・消防法の意義、目的について解説
10回	用語の定義、面積、高さ等	・敷地、特殊建築物、面積、建築物の高さ、階数等を解説
11回	単体規定（採光・換気・防火）	・各概要を説明
12回	単体規定（避難・構造・建築設備）	・各概要を説明
13回	集団規定（道路・用途・容積率・建蔽率・高さ制限）	・各概要を説明
14回	考査試験	建築施工Ｉの習熟度を確認する。期末考査試験（ペーパーテスト）により、各生徒の習熟度を確認する。
15回	総合演習	

町田デザイン＆建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	建築工学科　昼間部（３年制）	2025年度	１年次・後期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	構造力学1	2	30	
教科書・教材等	オリジナルプリント、定規、電卓、ノート			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
輿水 正明	無		石黒　汐乃	

授業の特徴・テーマ

建築・インテリアの基礎知識を学習し、計画等の科目や設計作品へと連動出来るようにする。

到達目標

構造力学分野の基礎知識を学び、身に付ける。

授業概要

構造計算の基礎知識や建築物の構造に関する基礎知識を学ぶ。

成績評価方法　◆作文・課題10　%　◆定期試験　50%　◆平常点20%　◆授業への参加姿勢20%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	到達目標
1回	オリエンテーション	授業内容と目標等。構造計画、構造設計、荷重の種類、
2回	力の基礎	力の三要素、単位
3回	力の基礎2	力のモーメント
4回	力の合成	合力　力の平行四辺形
5回	力の合成	力の三角形、多角形
6回	力の分解	分力　図式解法　　算式解法
7回	試験・まとめ	中間試験
8回	力のつり合い	つり合いとは
9回	支点、節点、骨組構造物の種類	荷重の図示、安定・不安定、静定・不静定について
10回	片持ちばりの反力	反力仮定　反力計算
11回	等分布荷重の反力	反力仮定　反力計算
12回	単純ばりの反力	反力仮定　反力計算
13回	等変分布荷重の反力	反力仮定　反力計算
14回	試験・まとめ	まとめとして試験による内容理解度の確認。
15回	総合演習	

町田デザイン＆建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	建築工学科　昼間部（３年制）	2025年度	２年次・後 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	施工管理	3	45	
教科書・教材等	ゼロからはじめる建築知識 木造の工事、初めての建築施工、工事各種資料・写真			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
宇賀持　理沙子	有・建築設計		学科長　輿水　正明	

授業の特徴・テーマ

木造、RC、鉄骨工事について木造を中心に施工及び施工管理について工程表作成、積算、見積り出しを身につける。

到達目標

建築施工の基礎知識を、実際の現場資料や施工図・見積書を基に施工計画、見積のスキルを身につける。

授業概要

工事例を通して、建築物が作り出される過程、施工上のポイントについて、具体的に解説し、そこから積算、見積方法を教授する。

成績評価方法　◆作文・課題　65%　◆定期試験　0%　◆平常点　15%　◆授業への参加姿勢　20%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	施工計画・工法・管理	用語・施工現場のあらまし　躯体施工、部分施工及び材料の商流について学ぶ
2回	表計算ソフト理解	見積に使用する表計算ソフト（Excel）の使用方法について学ぶ
3回	表計算ソフト活用	商品の価格や仕入れ、掛け率に知識を学び、表計算ソフトを活用し、雛形を作成する
4回	木造工事内装/外装工事	木造における内外装施工管理の方法・手法について学ぶ
5回	木造工事内装/外装工事	木造建物における外装施工について積算の方法について学ぶ
6回	木造外装工事積算演習①	木造建物における外装施工について積算し、材料の拾い出しについて学ぶ
7回	木造外装工事積算演習①	木造建物における外装屋根施工について積算し、材料を拾い出し、見積書を作成する
8回	木造内装工事プレゼン	木造建物における施工について、材料を拾い出し、プレゼン作成を学ぶ
9回	工事工程表	木造住宅工事における着工から引渡しまでの流れを理解する
10回	工事工程表演習	プレゼン作成した現場の着工から引渡しまでの工程表の作成を学ぶ
11回	木造外装工事積算演習②	木造建物における外壁施工について積算し、材料を拾い出し、見積書を作成する
12回	木造外装工事積算演習②	木造建物における外壁施工について積算し、材料を拾い出し、見積書を作成する
13回	木造外装工事積算演習まとめ	木造外装工事における図面書き換え～プレゼン～積算～材料拾い出し～見積書・工程表を作成する
14回	木造外装工事積算演習まとめ	木造外装工事における図面書き換え～プレゼン～積算～材料拾い出し～見積書・工程表を作成する
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	建築工学科　昼間部（３年制）	2025年度	２年次・後 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	ランドスケープ	3	45	
教科書・教材等				
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
杉浦幸二	有り・造園設計、施工、管理		輿水正明	

授業の特徴・テーマ

外構計画・造園計画ならびにランドスケープについて学ぶ。

到達目標

個人邸から大規模な公園などの空間を幅広くデザインできる。

授業概要

講義形式の授業スタイルを基本とし、必要に応じて演習スタイルを取り入れる。事例などの資料は分りやすく映像等を利用し行う。

成績評価方法　◆作文・課題　%　◆定期試験　%　◆平常点50%　◆授業への参加姿勢　50%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	ガイダンス・ランドスケープと	植物の生態を理解し環境対策に対する必要性を理解する。
2回	植物材料（樹木）	樹高・葉張り・樹形・花期などそれぞれの樹木の特徴を説明し、利用法などを理解する。（平面図の書き方）
3回	植物材料（特殊樹種）	竹類やヤシ類などの特徴を説明し、利用法などを理解する。（平面図の書き方）
4回	植物材料（地被その他）	日本芝・西洋芝の違いや蔓植物の説明をし、利用法などを理解する。（平面図の書き方）
5回	植物材料（小テスト）	植物材料の習熟度の確認。
6回	個人邸造園計画①	立地条件・施主の要望に添った計画を行う。
7回	個人邸造園計画②	〃
8回	個人邸造園計画③	〃
9回	個人邸造園計画④	〃
10回	屋上緑化・壁面緑化	様々な建築物に対応する工法を学び理解する。
11回	大規模造園計画①	公園などの造園計画を行う。
12回	大規模造園計画②	〃
13回	大規模造園計画③	〃
14回	大規模造園計画④	〃
15回	大規模造園計画⑤	〃

グラフィック
デザイン科
前期シラバス

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	グラフィックデザイン科　昼間部（3年制）	2025年度	1年次 ・前期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	文字とデザイン	3	45	
教科書・教材等	講師作成の資料・課題			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
久保田　瞳	有り （グラフィックデザイナー）		河村 一孝	

授業の特徴・テーマ

グラフィックデザインの構成要素になる「文字」「文字組」のデザインを学ぶ。

到達目標

修了時には書体・文字組に関する基礎的な知識を理解し、Illustratorでの書体選択、文字の各設定、段落の各設定を理解し操作ができる。

授業概要

座学と実習を並行し学ぶ。書体の歴史や時代背景を知る。実際に多くの媒体をみて書体ひとつで印象が大きく変わるなど、
文字組みにおける視覚処理全般も習得できるよう指導する。

成績評価方法　◆作文・課題　60%　◆定期試験 0%　◆平常点 0%　◆授業への参加姿勢　40%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	講義・オリエンテーション 書体の種類と歴史	書体の種類（セリフ体・サンセリフ体）の説明と歴史。Adobeフォント、モリサワフォントなど。 伝えたいイメージによって書体が大きく関わることを認識してもらう。
2回	講義 文字組の役割	デザインにおけるタイポグラフィーの役割を学ぶ。フォントのアクティベート方法。 文字組の基本（活字の規格（ポイント・Q数など）、名称など
3回	文字組の基本	組方向・字詰め・行間・段数・段間による見やすさなどの構成を学ぶ。 イラストレーターの文字パネルに関する習得と実践。
4回	文字パネルの使い方	イラスレーターにて書式系パネル・ツールの説明。カーニング・行送り・禁則処理・行揃え　など
5回	フォントイメージ クイズ形式のフォント選定	イメージにあったフォントの選定・振り分け→虫食いクイズ実施。 色々な媒体のターゲットやデザインのイメージにどの書体が合うか選択し、選んだ理由を発表。
6回	文字組・見出しの表現	組方向・級数・字詰め・行間・段数・段間による見やすさなどの構成を学ぶ 文字スタイル・段落スタイルの活用説明・登録
7回	練習　欧文	欧文　見本と同様の文字組の制作　など
8回	練習　和文	和文　見本と同様の文字組の制作　など
9回	課題	用意した見出しと文章を内容から読み取り、組んでいく
10回	課題	用意した見出しと文章を内容から読み取り、組んでいく
11回	タイトルロゴ制作	自分を表すタイトルロゴを制作
12回	自己紹介カード制作	制作したタイトルロゴを用いた自己紹介カードを制作（ポストカードサイズ）
13回	自己紹介カード制作	個別にチェック
14回	自己紹介カード制作	個別にチェック・提出・発表
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	グラフィックデザイン科　昼間部（3年制）	2025年度	1年次 ・前期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	Illustrator基礎	3	45	
教科書・教材等	講師作成の資料・課題			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
河村　一孝	有り（グラフィックデザイナー・チーフデザイナー）		河村　一孝	

授業の特徴・テーマ

初めてIllustratorを使う学生を前提に、操作や機能の基礎を演習を通して学ぶ。

到達目標

修了時にはデザインに関するIllustratorの基本操作を身に付ける。

授業概要

演習課題を基本とし、実際にアプリケーションを使用しながら基本と応用を身につけていく。簡単な演習からより実践的な演習へとレベルを上げていき、最終的には基本的なデザイン作業を滞りなくできるようにする。

成績評価方法　◆作文・課題　90%　◆定期試験 0%　◆平常点 0%　◆授業への参加姿勢　10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	オリエンテーション／Illustratorを使ってみよう	授業内容とアプリケーションの説明。ベクター画像、ベジェ曲線とは？どんなアプリケーションなのかを理解するための簡単な演習をする。（ファイル操作、オブジェクトベース、ツールとパレット）
2回	演習課題①	ペンツールでベジェ曲線（直線・曲線など簡単な図形）を描画してみる。（ペンツール、カラーパレット、スウォッチ）
3回	演習課題②	図形ツールとパスファインダーの演習。（移動、コピー、変形、レイヤー、アートボード、重ね順）
4回	演習課題②	図形ツールとパスファインダーの演習。（移動、コピー、変形、レイヤー、アートボード、重ね順）
5回	演習課題③	書式系ツールの演習。（文字入力、文字設定、段落設定）
6回	演習課題④	文字組デザイン演習。（見本と同様の文字組を作成してみる）
7回	演習課題⑤	ベジェ曲線によるイラスト作成演習。（シェイプ形成ツール、ライブペイント）
8回	演習課題⑤	ベジェ曲線によるイラスト作成演習。（シェイプ形成ツール、ライブペイント）
9回	演習課題⑥	カラー設定、パターン作成と設定演習（カラー、スウォッチ、パターン）
10回	演習課題⑥	オリジナルのパターン作成演習。
11回	演習課題⑦	描画系ツールの演習。（鉛筆ツール、スムーズツール、連結ツール、アートブラシ、パターンブラシ）
12回	演習課題⑧	図形と文字の組みデザイン演習。図形と文字を使った簡単なデザイン作成。
13回	前期最終課題	オリジナルのピクトグラム制作。
14回	前期最終課題	オリジナルのピクトグラム制作。
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	グラフィックデザイン科　昼間部（3年制）	2025年度	1年次 ・前期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	Photoshop基礎	3	45	
教科書・教材等	講師作成の資料・課題			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
河村　一孝	有り（グラフィックデザイナー・チーフデザイナー）		河村　一孝	

授業の特徴・テーマ

初めてPhotoshopを使う学生を前提に、操作や機能の基礎を演習を通して学ぶ。

到達目標

修了時にはデザインに関するPhotoshopの基本操作を身に付ける。

授業概要

演習課題を基本とし、実際にアプリケーションを使用しながら基本と応用を身につけていく。簡単な演習からより実践的な演習へとレベルを上げていき、最終的には基本的なデザイン作業を滞りなくできるようにする。

成績評価方法　◆作文・課題　90%　◆定期試験 0%　◆平常点 0%　◆授業への参加姿勢　10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	オリエンテーション／基本知識の説明／演習課題①	アプリケーションとデジタルデータについて。Photoshopでできること。
2回	演習課題②	ファイル操作、移動とコピー、変形、色調補正。（ツール、レイヤー、アートボード、移動ツール、自由変形、色調補正）
3回	演習課題③	演習②で覚えた機能を使用し、簡単なコラージュ演習。
4回	演習課題④	画像合成の演習。（様々な選択範囲作成、レイヤーマスク、描画モード）
5回	演習課題④	画像合成の演習。（様々な選択範囲作成、レイヤーマスク、描画モード）
6回	演習課題⑤	風景画像の要らないものの消去、人物の肌の補正の演習。（修復系ツール、スマートオブジェクト）
7回	演習課題⑥	画像で四季を表現する。（これまでの機能を使用してオリジナルの画像作品を作成）
8回	演習課題⑥	画像で四季を表現する。（これまでの機能を使用してオリジナルの画像作品を作成）
9回	演習課題⑦	トレースと切り抜きと図形描画の演習。（図形ツール、ペンツール、レイヤースタイル）
10回	演習課題⑧	ペイント系ツールを使用した色の差し替え、画像加工、ブラシツールでの描画演習。
11回	演習課題⑨	文字の加工演習。（書式系ツールとパレット、Web上のチュートリアルの活用）
12回	演習課題⑨	文字の加工演習。（書式系ツールとパレット、Web上のチュートリアルの活用）
13回	前期最終課題	オリジナルのコラージュポスターの制作。
14回	前期最終課題	オリジナルのコラージュポスターの制作。
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	グラフィックデザイン科　昼間部(3年制)	2025年度	1年次 ・前期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	グラフィックデザイン論	3	45	
教科書・教材等	講師作成の資料・課題			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
河村　一孝	有り(グラフィックデザイナー・チーフデザイナー)		河村 一孝	

授業の特徴・テーマ

グラフィックデザインの成り立ちから、基礎的な考え方や知識までを学ぶ

到達目標

修了時にはデザインに関する基礎的な知識・考え方を理解している

授業概要

グラフィックデザインの歴史・名作・現代のデザイナーと作品などの紹介を通して、グラフィックデザインの考え方や知識を講義と演習で学んでいく。
講義だけではなく、実際に自分でやってみる体験も行うことでより深い理解を目指す。

成績評価方法　◆作文・課題　50%　◆定期試験 40%　◆平常点 0%　◆授業への参加姿勢　10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	オリエンテーション	授業内容とアプリケーションの説明。グラフィックデザインとは。
2回	講義①	グラフィックデザインの見方と考え方、レポート作成。
3回	講義②	グラフィックデザインの歴史①
4回	講義③	グラフィックデザインの歴史②
5回	小テスト①	グラフィックデザインとは、歴史テスト
6回	講義④	グラフィックデザインの要素と考え方①
7回	講義⑤	グラフィックデザインの要素と考え方②
8回	講義⑥	グラフィックデザインの要素と考え方③
9回	講義⑦	グラフィックデザインの要素と考え方④
10回	小テスト②	グラフィックデザインの要素についてテスト
11回	講義と演習①	代表的なグラフィックデザインの紹介と模写
12回	講義と演習①	代表的なグラフィックデザインの紹介と模写
13回	講義と演習②	代表的なグラフィックデザインの紹介と自分なりのアレンジ作品制作
14回	講義と演習②	代表的なグラフィックデザインの紹介と自分なりのアレンジ作品制作
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	グラフィックデザイン科　昼間部（3年制）	2025年度	1年次 ・前期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	クリエイティブヒント	3	45	
教科書・教材等	講師作成の資料・課題			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
仲谷　みづき	有り（グラフィックデザイナー・チーフデザイナー）		河村 一孝	

授業の特徴・テーマ

街に溢れているデザインを見に行き、収集・研究することにより、アイディアを出すためのヒントを課題を通して習得していく。デザインするためのアイディアの引き出しを増やす。前期授業を通して一人一冊アイディアノートを作り、後期からの課題制作へと役立てていく

到達目標

グラフィックデザインに関する表現や制作のアイデア出しに必要な技術やコツ・考え方を身につけ、デザイン制作に活用することができる。

授業概要

課題制作を主に行う。たくさんのデザインに触れ、見て、考え、デザインの引き出しを増やせるよう指導する。

成績評価方法　◆作文・課題　50%　◆定期試験 0%　◆平常点0%　◆授業への参加姿勢　50%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	オリエンテーション	講師紹介/授業概要の説明/自己紹介シートの記入/課題①の説明
2回	課題1　自己紹介	課題①自己紹介を140文字で表現する（その際、他者からの視点を必ず入れること）　発表
3回	課題2　何に見える？	課題②街中・学校にあるもので、そのもの以外に見えるものを探してくる（例：車→人の顔　など）
4回	課題2	課題②プレゼン・講評
5回	課題3　ロゴ	課題③ロゴマーク50個探して撮影してくる→うち数個コンセプトを検索/発表
6回	課題3	課題③ロゴマーク50個探して撮影してくる→うち数個コンセプトを検索/発表　プレゼン・講評
7回	課題4　新しい矢印	課題④あたらしい矢印を100個考える/制作
8回	課題4	課題④あたらしい矢印を100個考える/制作
9回	課題4	課題④発表/講評
10回	課題5　自分のマーク	自分のマークを作成（自分で思う自分の印象＋他の人から見た自分の印象） クラス内で自分の印象アンケートをとりそれに基づいてマークを作る
11回	課題5	自分のマークを作成（自分で思う自分の印象＋他の人から見た自分の印象）
12回	課題5	課題④発表/講評
13回	校外実習	美術展見学などの校外実習（美術展開催のスケジュールにより、変動）
14回	ブレスト	課題7　ブレスト アイディアの出し方/ブレストを通して自分ひとりだけの考えではなく、 他の人のアイディアも取り入れ派生させていく
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	グラフィックデザイン科　昼間部（3年制）	2025年度	2年次前期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	Illustrator	3	45	
教科書・教材等	Adobe illustrator Adobe Photoshop			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
三宅和歌子	有り ビジュアルデザイン DTP 商品企画 臨床美術士		河村一孝	

授業の特徴・テーマ

Adobe illustrator をマスターすること。規格サイズの印刷物の制作をすることで、各自のイラストと、文字のレイアウトを考え、作品のクオリティーをあげると共に、デザインレイアウトを理解する。

到達目標

DTPの基礎を習得する。デザインを見る目を養う事で、自らの作品（イラスト）と文字とのバランスを美しく表現できる力を習得する。各自の長所・短所を自覚し、自信を持って自分をアピールできる作品を作り上げること。

授業概要

イラストを実際にページレイアウトすることで、商業イラストの意識や仕上がりイメージを持たせる。
ユーザーや投稿先のニーズに対応する制作を指導。

成績評価方法　◆作文・課題　40 %◆定期試験　0%◆平常点　30%◆授業への参加姿勢　30%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	授業概要	前期課題説明 illustratorとPhotoshop の違い イラレのツール練習 選択 図形 パス 等
2回	課題1.ポスターの制作	用紙の大きさ、種類、用途、T目Y目　等。名刺に使う各自のロゴとロゴタイプのラフ。
3回	カラー　ロゴロゴタイプのカラーの設定	cmyk デジタルカラーチャート配布と説明。 ロゴを名刺に使用し、デザインレイアウトラフ。
4回	デザインとレイアウト	課題.1名刺制作 名刺の成り立ち。 デザインとレイアウトの説明 ロゴとロゴタイプの説明。佐藤可士和 水野学
5回	キャッチコピーとリード	グリーティングカード成り立ち。コピーライティングの説明。2～3人のグループでコミニュケーションワークショップ。
6回	著作権　ブランデイング	著作権の説明。五島列島のロゴロゴタイプを用いてブランデイングの理解。ストーリーと五感。
7回	印刷について	オフセット印刷　オンデマンド印刷
8回	フォントとタイポグラフィー	課題.2グリーティングカード制作 モリサワ リョービ 写研 等のフォント説明 タイポグラフィー説明
9回	イラレ基本操作1	トンボ　ガイド　地色　名刺のサイズ　ポストカードのサイズ
10回	解像度と拡張子	フォトストック　フリー素材　解像度　拡張子　画像の配置　イラストや写真の配置
11回	文字組練習1	イラレので文字組練習　詰め　禁則処理　等
12回	デザインレイアウトのコツ	マージン　ジャンプ率　ホワイトスペース　等
13回	名刺とグリーティングカード	個別にデータチェック
14回	名刺とグリーティングカード	名刺とグリーティングカード　課題1.　課題2.　プリントアウト　切って貼ってカードに仕立て、提出
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	グラフィックデザイン科　昼間部（３年制）	2025年度	1年次・前 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	デッサンと画面構成	3	45	
教科書・教材等	筆記用具、各種画材			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
勝亦　勇	有り（グラフィックデザイナー・イラストレーター）		河村　一孝	

授業の特徴・テーマ

素描および描画を伴いながらグラフィックデザインの基本要素である画面構成を中心に学ぶ。

到達目標

モチーフへの観察力、理解力を養い、画面に対する構成力・バランス感覚を磨く。

授業概要

素描で形を丁寧に捉えることから始め、二次元の画面上に構成していくことを身につける。
また、様々な形の機能を理解し、便化などを活用してグラフィックデザインに応用する。

成績評価方法　◆作文・課題　40%　◆定期試験　20%　◆平常点　20%　◆授業への参加姿勢　20%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	オリエンテーション	授業オリエンテーションと道具の解説。その他講義。
2回	ドローイング	様々なドローイング方法を用いたトレーニング。
3回	形を知る	主線的輪郭と錯視に関する講義と実習。
4回	形を知る	透視図法の講義と実習。
5回	デッサン（1）	鉛筆デッサンによる描画実習。
6回	デッサン（1）	鉛筆デッサンによる描画実習。
7回	デッサン（2）	鉛筆デッサンによる描画実習。
8回	デッサン（2）	鉛筆デッサンによる描画実習。
9回	デッサン（3）	鉛筆デッサンによる描画実習。
10回	デッサン（3）	鉛筆デッサンによる描画実習。
11回	形をつくる	様々な形を便化する。
12回	形をつくる	様々な形を便化する。
13回	形をつくる	様々な形を便化する。
14回	小レポート	期末の授業内レポート。
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	グラフィックデザイン科　昼間部（３年制）	2025年度	１年次・前 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	撮影技術	3	45	
教科書・教材等	講師作成資料、カメラ			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
海保竜平	有・フォトグラファー		河村 一孝	

授業の特徴・テーマ

カメラの構造への理解　使いこなすための撮影実習　好奇心と観察力を養う

到達目標

カメラを使えるようになる　光源と陰影の理解　イメージした構図を写真に落とし込む　組み写真の作成

授業概要

カメラへの理解　フォトグラファーの目線・デザイナーの目線でみる被写体の捉え方

成績評価方法　◆作文・課題　%　◆定期試験　%　◆平常点　%　◆授業への参加姿勢　%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	オリエンテーション	講師紹介　カメラについて（フィルムとデジタル）　カメラの構造　写真の読み方
2回	撮影基礎　1	撮影感度　F値（絞り）とシャッタースピード　グループ撮影
3回	撮影基礎　2	レンズについて　構図の作り方　グループ撮影
4回	撮影基礎　3	商品（ブツ）の見方　レンズの選択　撮り方
5回	撮影基礎　4	ライティングについて　ストロボや光源の種類　Lightroom
6回	撮影実習　1	フード撮影
7回	撮影実習　2	写真集持参（講師）写真の歴史やジャンル　様々な写真集から写真家を知ってもらう
8回	撮影実習　3	最終課題テーマ決め　ラフ作成
9回	撮影実習　4	ポートレート撮影
10回	撮影実習　5	ブツ撮影
11回	撮影実習　6	最終課題撮影（テーマ決め）
12回	撮影実習　7	最終課題撮影
13回	撮影実習　8	最終課題撮影
14回	最終課題好評	最終課題撮影　提出
15回	総合演習	各自課題発表

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	グラフィックデザイン科　昼間部（３年制）	2025年度	1年次・前 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	色彩平面構成	3	45	
教科書・教材等	講師のオリジナル資料及びカラーについての教科書　配色カード　アクリル絵の具			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
杉原幸子	有り　／　グラフィックデザイナー		河村 一孝	

授業の特徴・テーマ

色・デザインの基礎を身につけ、他の教科でも応用できるよう指導

到達目標

色についての基礎知識と応用・バランス感覚を身につけ、状況にあったイメージで色構成ができること

授業概要

色彩の理解と表現技法を平面の造形力として実習で学ぶ、仕上がりの綺麗さ、プレゼンの上達、バランス感覚も合わせて習得する

成績評価方法　◆作文・課題　60%　◆定期試験　20%　◆平常点　10%　◆授業への参加姿勢　10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	色についての基礎知識1	授業内容及び画材の使い方、色について(色の三属性)
2回	色の三属性/色相①	色の属性・12色相環・色の3原色を説明　ケント紙を使用しアクリル絵の具でアナログ再現
3回	色の三属性/色相②	色の属性・12色相環・色の3原色を説明　ケント紙を使用しアクリル絵の具でアナログ再現
4回	色の仕組み	色の3原色(2色.3色)で混色し無彩色、有彩色をつくる
5回	色の三属性/明度	グレイスケールの理解　白黒のみで表現　ケント紙を使用しアクリル絵の具でアナログ再現
6回	色の三属性/彩度①	講義～補色同士で制作・表現　ケント紙を使用しアクリル絵の具でアナログ再現
7回	色の三属性/彩度②	講義～補色同士で制作・表現　ケント紙を使用しアクリル絵の具でアナログ再現
8回	色についての基礎知識2	講義～角度配色・トーン配色　配色技法
9回	平面構成/幾何構成①	面の構成(四角の組み合わせ)　角度配色の同系色でベース色.アソート色で表現
10回	平面構成/幾何構成②	制作準備～制作作業
11回	平面構成/幾何構成③	制作作業～カラーコピー
12回	平面構成/幾何構成④	同系色で構成した画面にアクセント色を入れる
13回	平面構成/面の構成⑤	プレゼン～提出
14回	平面構成/ストライプ①	ストライプ模様のデザインを角度配色・トーン配色で表現　ラフスケッチ　配色カード使用
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	グラフィックデザイン科　昼間部(3年制)	2025年度	1年次 ・前期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	素材表現	3	45	
教科書・教材等	講師作成の資料・課題			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
高須 大地	無・グラフィックデザイン		河村 一孝	

授業の特徴・テーマ

楽しみながら様々な画材を用いて、それをグラフィックデザインの要素として取り入れる。

到達目標

様々な素材の特性や特徴を理解し、それらを使ったデザイン表現のアイデアを考え、作品を効果的にする手段として利用できるようになる。

授業概要

2度ほどIllustratorを用いるが、基本的にはアナログ素材を使用する。

成績評価方法

◆作文・課題　60%　◆定期試験 0%　◆平常点 10%　◆授業への参加姿勢　30%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	色鉛筆	好きな果物をリアルに描く
2回	色鉛筆	好きな動物をリアルに描く
3回	水彩画	好きな動物をリアルに描く
4回	アクリル絵具	好きな動物をリアルに描く
5回	Illustrator	フィルターの効果
6回	Illustrator	アピアランスの解説
7回	消しゴムハンコ	簡易的な版画制作
8回	石に絵を描く	絵が描ける大きさの石を拾ってきてもらい、デフォルメの動物を描く
9回	粘土	テーマ「人間と共存するクリーチャー」アナログでデザインを起こし、針金やアルミホイルなどで骨組み
10回	粘土	テーマ「人間と共存するクリーチャー」粘土で成形
11回	粘土	テーマ「人間と共存するクリーチャー」絵具で色付け
12回	コラージュ	古い雑誌の写真を切り貼りしてストーリー性のあるものを作る
13回	チョークアート	お題を決めて作成1
14回	チョークアート	お題を決めて作成2
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	グラフィックデザイン科　昼間部（３年制）	2024年度	２年次・前 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	実学実習２	1	15	
教科書・教材等				
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
河村　一孝	有り（グラフィックデザイナー・チーフデザイナー）		河村　一孝	

授業の特徴・テーマ

企業研修における制作物を作成する

到達目標

企業研修課題に対して高いレベルで制作物を提出できる

授業概要

制作物に対するアドバイス、サポートを行う

成績評価方法　◆作文・課題　90%　◆定期試験　%　◆平常点　%　◆授業への参加姿勢　10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	オリエンテーション	授業内容と目標を説明。
2回	制作予定	制作予定を検討する。
3回	作品制作	制作
4回	作品制作	制作
5回	作品完成	作品提出
6回		
7回		
8回		
9回		
10回		
11回		
12回		
13回		
14回		
15回		

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	グラフィックデザイン科　昼間部(3年制)	2025年度	2年次・　前期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	ＣＩ/VI・ブランディング	3	45	
教科書・教材等				
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
船山幸夫	有り・デザイン		河村　一孝	

授業の特徴・テーマ

CI・VI・ブランディングの目的を理解し、コンセプトをビジュアルでわかりやすく表現することを学ぶ。

到達目標

コンセプトをビジュアル化して、分かりやすく伝える方法を学ぶ。ロゴデザインとブランディングに関するさまざまなツールを制作する。

授業概要

実習によりロゴデザインとブランディングに関するさまざまなツールのデザインを学ぶ。

成績評価方法　◆作文・課題　80%　◆定期試験　%　◆平常点　5%　◆授業への参加姿勢　15 %

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	CI・VI・ブランディングとは	CI・VI・ブランディングについて解説。
2回	ロゴマークをデザインする	ロゴデザイン制作。同じ企業のロゴを3パターン制作する。ラフだし。
3回	ロゴマークをデザインする	ロゴデザイン。デザインチェックまで。
4回	ロゴマークをデザインする	発表～講評
5回	農林水産業の ブランディングデザイン	「岩泉ファーム」を例題に一次産業のブランディングをデザインする。 アイデア出し～ラフスケッチ
6回	農林水産業の ブランディングデザイン	ラフデザイン作成～デザイン作成～現物サンプルの出力チェック
7回	農林水産業の ブランディングデザイン	ラフデザイン作成～デザイン作成～現物サンプルの出力チェック
8回	農林水産業の ブランディングデザイン	デザインフィニッシュ
9回	農林水産業の ブランディングデザイン	発表～講評
10回	全国へ広く展開する企業の ブランディングデザイン	メーカーやチェーン店化して事業を全国または世界へ展開している企業のブランディング。同じイメージを伝えるためのデザインを出す。アイデア出し～ラフスケッチ
11回	全国へ広く展開する企業の ブランディングデザイン	ラフデザイン作成～デザイン作成～現物サンプルの出力チェック
12回	全国へ広く展開する企業の ブランディングデザイン	ラフデザイン作成～デザイン作成～現物サンプルの出力チェック
13回	全国へ広く展開する企業の ブランディングデザイン	デザインフィニッシュ
14回	全国へ広く展開する企業の ブランディングデザイン	発表～講評
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	グラフィックデザイン科　昼間部(3年制)	2025年度	2年次・　前期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	ＣＩ/VI・ブランディング	3	45	
教科書・教材等				
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
船山幸夫	有り・デザイン		河村　一孝	

授業の特徴・テーマ

CI・VI・ブランディングの目的を理解し、コンセプトをビジュアルでわかりやすく表現することを学ぶ。

到達目標

コンセプトをビジュアル化して、分かりやすく伝える方法を学ぶ。ロゴデザインとブランディングに関するさまざまなツールを制作する。

授業概要

実習によりロゴデザインとブランディングに関するさまざまなツールのデザインを学ぶ。

成績評価方法　◆作文・課題　80%　◆定期試験　%　◆平常点　5%　◆授業への参加姿勢　15 %

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	CI・VI・ブランディングとは	CI・VI・ブランディングについて解説。
2回	ロゴマークをデザインする	ロゴデザイン制作。同じ企業のロゴを3パターン制作する。ラフだし。
3回	ロゴマークをデザインする	ロゴデザイン。デザインチェックまで。
4回	ロゴマークをデザインする	発表～講評
5回	農林水産業の ブランディングデザイン	「岩泉ファーム」を例題に一次産業のブランディングをデザインする。 アイデア出し～ラフスケッチ
6回	農林水産業の ブランディングデザイン	ラフデザイン作成～デザイン作成～現物サンプルの出力チェック
7回	農林水産業の ブランディングデザイン	ラフデザイン作成～デザイン作成～現物サンプルの出力チェック
8回	農林水産業の ブランディングデザイン	デザインフィニッシュ
9回	農林水産業の ブランディングデザイン	発表～講評
10回	全国へ広く展開する企業の ブランディングデザイン	メーカーやチェーン店化して事業を全国または世界へ展開している企業のブランディング。同じイメージを伝えるためのデザインを出す。アイデア出し～ラフスケッチ
11回	全国へ広く展開する企業の ブランディングデザイン	ラフデザイン作成～デザイン作成～現物サンプルの出力チェック
12回	全国へ広く展開する企業の ブランディングデザイン	ラフデザイン作成～デザイン作成～現物サンプルの出力チェック
13回	全国へ広く展開する企業の ブランディングデザイン	デザインフィニッシュ
14回	全国へ広く展開する企業の ブランディングデザイン	発表～講評
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン 専門課程	グラフィックデザイン科　昼間部(3年制)	2025年度	2年次・ 前期	必須
講義形態	授業科目名	単位数	時間数	
講義・実習	Webデザイン2	3	45	
教科書・教材等	mac book			
担当教員／作成者	実務経験の有無・職種		確認者	
粉奈　里衣	有 / グラフィック・WEB制作		河村 一孝	

授業の特徴・テーマ

今のWEBサイトのベースとなるレスポンシブWEBデザインの構造の知識と、基本的なマーケティングの知識、WEBデザイナーとして必要な基本的なデザインスキルを学ぶ。

到達目標

バナー制作などの基本スキル、デザインからHTML・CSSのコーディングまでの基礎知識を学ぶ。

授業概要

WEBデザイナーの基本的なスキルを年間を通して体験し、デザインに必要なマーケティングの知識も得ながら、自ら興味を持てるようなきっかけを与える授業。

成績評価方法	◆作文・課題60% ◆定期試験 % ◆平常点10% ◆授業への参加姿勢40%
	＊平常点には小テスト等を含む 上記の割合に基づき総合的に評価する。 ＊原則として年間85

	授業内容	授業計画
1回	講義・実習	レスポンシブWEBデザインの基本構造・トレース（スマートフォンサイト）
2回	実習	トレース
3回	課題	LPのデザイン・ワイヤーフレーム
4回	課題	LPのデザイン
5回	課題	LPのデザイン
6回	講義・実習	講評・コーポレートサイトデザイン
7回	実習	コーポレートサイトデザイン
8回	実習	コーポレートサイトデザイン
9回	実習	コーポレートサイトデザイン
10回	講義・実習	講評
11回	実習	サービスサイトデザイン
12回	実習	サービスサイトデザイン
13回	実習	サービスサイトデザイン
14回	実習	サービスサイトデザイン
15回	総合演習	講評

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	グラフィックデザイン科　昼間部(3年制)	2025年度	2年次・前期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	アドバタイジング1	3	45	
教科書・教材等	講師作成の資料・課題			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
黒川 栄治	広告会社にて30年の実務経験、クリエイティブディレクター		学科長:河村 一孝	

授業の特徴・テーマ

GD2年次は、グラフィックデザインの応用編を学習する。アドバタイジング・広告の構造からターゲット・媒体(メディア)・タッチポイントなどを理解し、今の社会に届く広告表現の考え方、デザイン技法を学習、習得する。

到達目標

伝えるべき情報を整理して、伝えるべきターゲットに、注目されるビジュアルとキャッチコピーで表現する、広告デザインの基礎を学習する。

授業概要

マス広告・ネット広告・セールスプロモーション広告などさまざまな広告の役割理解から、いまの時代や社会を意識した表現を自分で考え、創造するように指導する。

成績評価方法　◆出席　30%　◆課題提出 30%　◆課題作品　20%　◆授業への参加姿勢　20%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	オリエンテーション・講義	授業の趣旨、アドバタイジングの定義、役割を講義, 評価基準を説明。評価基準を説明、 課題①のオリエンテーション
2回	講義・課題①：広告の歴史	日本のアートディレクターの広告表現の考え方、伝え方、技法を学習、資料検索
3回	課題①：広告の歴史	日本のアートディレクターの広告表現の考え方、伝え方、技法を学習、ワークシート制作
4回	課題①：広告の歴史	日本のアートディレクターの広告表現の考え方、伝え方、技法を学習、ワークシート提出
5回	講義・課題②：広告表現	新聞広告制作：広告の構造、役割を学習、課題②のオリエンテーション、コンセプトを学習
6回	課題②：広告表現、制作	新聞広告制作：与えられた課題②から新聞広告を制作、コンセプトを考える、ビジュアルを考え創る
7回	課題②：広告表現、制作	新聞広告制作：与えられた課題②から新聞広告を制作、ビジュアル、コピーを考え創る
8回	課題②：広告表現、制作	新聞広告制作：与えられた課題②の新聞広告を完成して、期限内に提出
9回	講義・課題③：広告表現	OOH広告制作：OOH広告の構造、役割を学習、課題③のオリエンテーション、広告コンセプトを考える
10回	課題③：広告表現、制作	OOH広告制作：与えられた課題③からOOH広告を制作、コンセプトを考える、ビジュアルを考え創る
11回	課題③：広告表現、制作	OOH広告制作：与えられた課題③からOOH広告を制作、ビジュアルコピーを考え創る
12回	課題③：広告表現、制作	OOH広告制作：与えられた課題③からOOH広告を完成して、期限内に提出
13回	講義・課題④：広告表現	ポスター制作：ポスター広告の構造、役割を学習、課題④のオリエンテーション、 広告コンセプトを考える
14回	課題④：広告表現、制作	ポスター制作：与えられた課題④からポスターを完成して、期限内に提出。夏季研修の課題説明へ
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	グラフィックデザイン科　昼間部(3年制)	2025年度	2年次 ・前期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	エディトリアル2	3	45	
教科書・教材等				
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
吉永昌生	有・グラフィックデザイナー／イラストレーター		河村一孝	

授業の特徴・テーマ

エディトリアルデザインの基礎知識と基礎テクニックを身につける。整理整頓されたレイアウトの基本を意識して、ページデザインを行う。

到達目標

インデザインを使用したページデザインの基礎から応用まで

授業概要

全14回にて、インデザインを使用した
エディトリアルデザインの基礎知識と組版を学ぶ

成績評価方法　◆作文・課題80%　◆定期試験10%　◆平常点　　%　◆授業への参加姿勢10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	講義	エディトリアルデザインの基礎知識
2回	講義・実習	インデザインのツールの基本的な付き合い方
3回	講義・実習	課題:テーマ自由、5ページ程度のデザイン
4回	講義・実習	授業中に課題を進めつつ、質疑応答
5回	講義・実習	課題提出及びプレゼン
6回	講義・実習	写真やイラストと文字のバランスを意識したページデザインを学ぶ
7回	講義・実習	課題:テーマ自由、7ページ程度のデザイン・前回よりクオリティの高いものを目指す
8回	講義・実習	授業中に課題を進めつつ、質疑応答
9回	講義・実習	授業中に課題を進めつつ、質疑応答
10回	講義・実習	課題提出及びプレゼン・組版をする上で、より早くよりキレイな技術を学ぶ
11回	講義・実習	課題:テーマ自由、8～12ページのデザイン・表紙も作り本格的な冊子デザイン
12回	講義・実習	授業中に課題を進めつつ、質疑応答
13回	講義・実習	授業中に課題を進めつつ、質疑応答
14回	講義・実習	課題提出及びプレゼン・前期学んだことの総括
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	グラフィックデザイン科　昼間部(3年制)	2025年度	2年次・前期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	セールスプロモーション	3	45	
教科書・教材等	ノート型パソコン＋講師オリジナル教材(classroomにて公開)			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
近藤　忠	実務経験:有り　職種:アートディレクター・グラフィックデザイナー		河村　一孝	

授業の特徴・テーマ

特徴:作品制作中心　テーマ:発想力とデザイン力を身につける

到達目標

マーケティングの基本概念を踏まえながら、セールスプロモーションの企画・デザイン提案ができる

授業概要

●モノを売るための表現作法を実習と講評で身につける　●企画書制作　●短い座学も開講

成績評価方法

◆作文・課題　60 %◆定期試験　0%◆平常点　0%◆授業への参加姿勢　40%

＊平常点には小テスト等を含む
上記の割合に基づき総合的に評価する。
＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	課題① :「キャッチフレーズとビジュアル」	オリエン／ショート講義／課題説明
2回	課題①:「キャッチフレーズとビジュアル」	制作/提出
3回	課題①:「キャッチフレーズとビジュアル」	講評
4回	課題②:「食品のプロモーション」	課題説明/制作
5回	課題②:「食品のプロモーション」	企画書・ラフ提出
6回	課題②:「食品のプロモーション」	企画書・ラフ講評
7回	課題②:「食品のプロモーション」	制作/提出
8回	課題②:「食品のプロモーション」	プレゼン/講評
9回	課題③:「映画のプロモーション」	課題説明/制作
10回	課題③:「映画のプロモーション」	企画書・ラフ提出
11回	課題③:「映画のプロモーション」	企画書・ラフ講評
12回	課題③:「映画のプロモーション」	制作/提出
13回	課題③:「映画のプロモーション」	プレゼン/講評
14回	「セールスプロモーション」総括	講評予備日か座学日
15回	総合演習	

町田デザイン＆建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	グラフィックデザイン科　昼間部（3年制）	2025年度	2年次・前期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	デザインコンペ2	**3**	**45**	
教科書・教材等	**オリジナル教材、各種画材**			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
河村　一孝	有り（グラフィックデザイナー・チーフデザイナー）		河村　一孝	

授業の特徴・テーマ

デザイン系のコンペティションに応募する体験により、テーマに沿ったアイデア出しや制作、スケジュールマネージメントを学ぶ。

到達目標

指定数のコンペティションに参加し、受賞を目指す。

授業概要

今後のポートフォリオ制作や就職活動に備えて、自主制作作品を増やすことが目的。

成績評価方法　◆作文・課題 70%　◆定期試験 0%　◆平常点 20%　◆授業への参加姿勢 10%

＊平常点には小テスト等を含む
上記の割合に基づき総合的に評価する。

	授業内容	
1回	オリエンテーション	授業の概要・方針の説明、作品紹介などを行い授業内容の理解を深める。
2回	コンペティション選定	各自が参加したいコンペティションを探す
3回	制作	各自で制作。必要に応じて講師に相談、資料収集などしながら進める。
4回		
5回		
6回	チェック	進捗状況を個別面談でチェックし、随時アドバイスや意見を出す。
7回	制作	各自で制作。必要に応じて講師に相談、資料収集などしながら進める。
8回		
9回		
10回	チェック	進捗状況を個別面談でチェックし、随時アドバイスや意見を出す。
11回	制作	各自で制作。必要に応じて講師に相談、資料収集などしながら進める。
12回		
13回		
14回	チェック	進捗状況を個別面談でチェックし、随時アドバイスや意見を出す。
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	グラフィックデザイン科　昼間部（３年制）	2025年度	２年次・前 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	撮影編集基礎	3	45	
教科書・教材等	講師作成資料、カメラ			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
海保竜平	有・フォトグラファー		河村 一孝	

授業の特徴・テーマ

1年次で学んだカメラ構造の復習　スチルとムービーの違い　カメラでの動画撮影をベースに編集を学ぶ

到達目標

スチル及び動画撮影技術と編集　ショートムービー制作

授業概要

デジタルカメラ及びレンズへの理解度の復習　実際に動画撮影をして編集までのプロセスを理解

成績評価方法　◆作文・課題　%　◆定期試験　%　◆平常点　%　◆授業への参加姿勢　%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	オリエンテーション	デジタルカメラ及びレンズの復習　好きな動画作品
2回	映像編集1	撮影した素材の編集　スチルによるフォトコラージュ制作1
3回	映像編集2	動画撮影と編集　1　イメージの作り方　ラフ・コンテ
4回	映像編集3	動画撮影と編集　2　屋外での撮影
5回	映像編集4	動画撮影と編集　3　室内でのブツ撮影
6回	映像編集5	動画撮影と編集　4　屋外・室内での人物撮影
7回	映像編集６	動画撮影と編集　5　作品編集後に作品鑑賞
8回	映像編集7	最終発表に向けての課題発表　取り組み方
9回	映像編集6	動画撮影と編集　6
10回	映像編集7	動画撮影と編集　7
11回	映像編集8	動画撮影と編集　8
12回	映像編集9	動画撮影と編集　9
13回	映像編集10	動画撮影と編集　10
14回	映像編集11	動画撮影と編集　11
15回	総合演習	各自課題発表

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	グラフィックデザイン科　昼間部（３年制）	2024年度	２年次・前 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	実学実習２	1	15	
教科書・教材等				
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
河村　一孝	有り（グラフィックデザイナー・チーフデザイナー）		河村　一孝	

授業の特徴・テーマ

企業研修における制作物を作成する

到達目標

企業研修課題に対して高いレベルで制作物を提出できる

授業概要

制作物に対するアドバイス、サポートを行う

成績評価方法　◆作文・課題　90%　◆定期試験　%　◆平常点　%　◆授業への参加姿勢　10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	オリエンテーション	授業内容と目標を説明。
2回	制作予定	制作予定を検討する。
3回	作品制作	制作
4回	作品制作	制作
5回	作品完成	作品提出
6回		
7回		
8回		
9回		
10回		
11回		
12回		
13回		
14回		

15回		

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	グラフィックデザイン科　昼間部(3年制)	2025年度	3年次・前期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	文字とレイアウトの応用	3	45	
教科書・教材等	ノート型パソコン＋講師オリジナル教材(classroomにて公開)			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
近藤　忠	実務経験:有り　職種:アートディレクター・グラフィックデザイナー		河村　一孝	

授業の特徴・テーマ

●特徴:作品制作中心　●テーマ:文字力とレイアウト力を身につける

到達目標

課題をとおして、今後のデザインに生かす

授業概要

●3年生対象の基本課題から応用課題へと進む授業構成　●短い座学も開講

成績評価方法

◆作文・課題　60 %◆定期試験　0%◆平常点　0%◆授業への参加姿勢　40%

＊平常点には小テスト等を含む
上記の割合に基づき総合的に評価する。
＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	課題①:基本形態の構成(アルファベットの構成)	オリエン／ショート講義／課題説明
2回	課題①:基本形態の構成(アルファベットの構成)	★講義/制作
3回	課題①:基本形態の構成(アルファベットの構成)	提出/講評
4回	課題②:視覚調整	課題説明/制作
5回	課題②:視覚調整	★講義/制作
6回	課題②:視覚調整	提出/講評
7回	課題③:コンクリート・ポエトリーA(聴覚視)	課題説明/制作
8回	課題③:コンクリート・ポエトリーA(聴覚視)	制作
9回	課題③:コンクリート・ポエトリーA(聴覚視)	進捗報告
10回	課題③:コンクリート・ポエトリーA(聴覚視)	提出/講評
11回	課題④:コンクリート・ポエトリーB(視覚詩)	課題説明/制作
12回	課題④:コンクリート・ポエトリーB(視覚詩)	制作
13回	課題④:コンクリート・ポエトリーB(視覚詩)	進捗報告
14回	課題④:コンクリート・ポエトリーB(視覚詩)	課題説明/制作
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	グラフィックデザイン科　昼間部 （ 3年制 ）	2025年度	3年次 ・ 前期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	Webデザイン3	3	45	
教科書・教材等	MacBook			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
粉奈　里衣	有 / グラフィック・WEB制作		河村 一孝	

授業の特徴・テーマ

Wordpressの機能理解、操作方法・外観制作までを習得する

到達目標

Wordpressの構造理解・インストール・管理画面の操作～外観の作成の一通りのスキルを身につける

授業概要

全授業でWEB制作の流れを学びながら、デザインからWordpressでの構築、管理画面の操作など通りのスキルを身につける

成績評価方法　◆作文・課題40%　◆定期試験　%　◆平常点10%　◆授業への参加姿勢50%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	オリエンテーション	担当講師の自己紹介｜WEBのトレンド｜WEB制作の流れ
2回	講義・実習	CMSとは｜複雑なWEBサイトのサイトマップを考える
3回	実習	芹ヶ谷公園のサイトを企画する｜コンセプト・ターゲット・サイト構造を考える
4回	フィールドワーク	芹ヶ谷公園へ現地調査｜クライアント先へ現場訪問の大切さを学ぶ
5回	講義・実習	Wordpressのローカル環境構築｜Wordpressの基本操作を学ぶ
6回	実習課題:ワイヤーフレーム	ワイヤーフレーム制作
7回	実習課題:ワイヤーフレーム	デザインに入る前のチェックとアドバイス｜各ページのデザイン（Illustrator、Photoshop等）
8回	実習課題:デザイン	各ページのデザイン（Illustrator、Photoshop等）｜各自アドバイスやプチ講義
9回	実習課題:デザイン	各ページのデザイン（Illustrator、Photoshop等）
10回	実習課題:デザイン	各ページのデザイン（Illustrator、Photoshop等）
11回	実習課題:構築	Wordpressのローカル環境構築にて構築｜各自アドバイスやプチ講義
12回	実習課題:構築	Wordpressのローカル環境構築にて構築
13回	実習課題:構築	Wordpressのローカル環境構築にて構築
14回	実習課題:構築	Wordpressのローカル環境構築にて構築 （※芹ヶ谷公園の関係者へのプレゼンになる可能性もあり）
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	グラフィックデザイン科　昼間部(3年制)	2025年度	3年次・後期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	アドバタイジング 2(3年次)	3	45	
教科書・教材等	講師作成の資料・課題			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
黒川 栄治	広告会社にて30年の実務経験。クリエイティブディレクター		学科長:河村一孝	

授業の特徴・テーマ

就職活動に向けて、デザイン表現の幅や引き出しが広がる考え方や伝え方、およびアートディレクションの基礎を学習

到達目標

いまの時代や社会を意識した広告表現、実践的な「伝わる」デザイン制作と、アートディレクション基礎の習得が目標

授業概要

さまざまなアートディレクションの考え方、技法から、自分自身で考え創造するアドバタイジング・デザインを指導、各人のポートフォリオ掲載を目的に完成度を高めた作品を制作指導

成績評価方法

◆出席　30%　◆課題提出 30%　◆課題作品　20%　◆授業への参加姿勢　20%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	オリエンテーション および課題①：広告表現	授業の趣旨、3年次のアドバタイジングの意味、役割を説明。課題①「パッケージから広告へ」の オリエンテーション
2回	課題①：広告表現・制作	課題①「パッケージから広告へ」、資料検索からコンセプト、デザインを考える
3回	課題①：広告表現・制作	「パッケージから広告へ」、コンセプト、デザインからビジュアルとコピーを考え制作
4回	課題①：広告表現・制作	「パッケージから広告へ」、デザイン、レイアウトを整理して、課題提出へ
5回	課題②：オリエン・ 広告表現	課題②「パッケージから広告へ」新聞広告制作。オリエンテーション、ブランディングを意識して コンセプトを考える
6回	課題②：広告表現・制作	「パッケージから広告へ」新聞広告制作。ブランディングを意識してコンセプト、デザインを考え創る
7回	課題②：広告表現・制作	「パッケージから広告へ」新聞広告制作。ブランディングを意識してビジュアル、コピーを考え創る
8回	課題②：広告表現・制作	「パッケージから広告へ」新聞広告制作。ブランディングを意識してていねいに制作。課題提出
9回	課題③：オリエン・ 広告表現	課題③ HPトップページとリーフレット制作。オリエンテーション、ブランディングを意識して コンセプトを考える
10回	課題③：広告表現・制作	HPトップページとリーフレット制作。ブランディングを意識してコンセプト、デザインを考え創る
11回	課題③：広告表現・制作	HPトップページとリーフレット制作。ブランディングを意識してビジュアル、コピーを考え創る
12回	課題③ 広告表現・制作	HPトップページとリーフレット制作。ブランディング、クロスメディアを意識して制作。課題提出
13回	課題④：オリエン・ 広告表現	課題④ ブックレット制作。オリエンテーション、きちんと伝えること意識してコンセプトを考える
14回	課題④：広告表現・制作	「推しブック」ブックレット制作。オリエンテーション、伝えること意識してデザインを考える。 夏期研修課題を説明
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	グラフィックデザイン科　昼間部(3年制)	2025年度	3年次 ・前期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	グラフィック表現2	3	45	
教科書・教材等	講師作成の資料・課題			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
武川　健司	グラフィックデザイナー・Webデザイナー		河村 一孝	

授業の特徴・テーマ

1・2年で培ってきたグラフィック表現を総合し、主体的にテーマを決めグラフィック表現を行う、学生1人ずつが異なるテーマとなり、完成する媒体やゴールラインが変わる

到達目標

デザイナーとしての思考を持ちつつアートディレクター的な企画立案・提案・進行を自らが行える考え方を持てる人材になる

授業概要

販売促進や企業イメージ展開など、自らが伸ばしたい部分にスポットを当てテーマを選出し、広告・編集・CI/VI・ブランディング・WEBなどの手法を使い、講師へ提案できる作品制作を行う

成績評価方法　◆作文・課題　0%　◆定期試験 0%　◆平常点 0%　◆授業への参加姿勢　0%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	オリエンテーション:クロスメディア・マーケティング	グラフィック表現の趣旨・授業評価基準などを徹底。 講義:就職について
2回	課題テーマ1:情報収集	学生自身が自らのテーマを決める(例〇〇〇に関する販売促進についてのデザインを行う)
3回	課題テーマ1:情報収集	決定したテーマに基づき、情報収集・リサーチを行い、講師とどのような表現をしていくかを決定する
4回	課題テーマ1:ラフ・制作	アイデアスケッチ・リサーチ資料をもとに媒体へ落とし込みを行う
5回	課題テーマ1:ラフ・制作	アイデアスケッチ・リサーチ資料をもとに媒体へ落とし込みを行う
6回	課題テーマ2:情報収集	学生自身が自らのテーマを決める(例〇〇〇に関する販売促進についてのデザインを行う)
7回	課題テーマ2:情報収集	決定したテーマに基づき、情報収集・リサーチを行い、講師とどのような表現をしていくかを決定する
8回	課題テーマ2:ラフ・制作	アイデアスケッチ・リサーチ資料をもとに媒体へ落とし込みを行う
9回	課題テーマ2:ラフ・制作	アイデアスケッチ・リサーチ資料をもとに媒体へ落とし込みを行う
10回	課題テーマ3:情報収集	学生自身が自らのテーマを決める(例〇〇〇に関する販売促進についてのデザインを行う)
11回	課題テーマ3:情報収集	決定したテーマに基づき、情報収集・リサーチを行い、講師とどのような表現をしていくかを決定する
12回	課題テーマ3:ラフ・制作	アイデアスケッチ・リサーチ資料をもとに媒体へ落とし込みを行う
13回	課題テーマ3:ラフ・制作	アイデアスケッチ・リサーチ資料をもとに媒体へ落とし込みを行う
14回	課題テーマ:プレゼン	課題テーマ1~3の中から1つを選択しプレゼンテーションを行う
15回	総合演習	

町田デザイン＆建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	グラフィックデザイン科　昼間部（3年制）	2025年度	3年次・前期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	デザインコンペ2	1	15	
教科書・教材等	**オリジナル教材、各種画材**			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
河村　一孝	有り（グラフィックデザイナー・チーフデザイナー）		河村　一孝	

授業の特徴・テーマ

デザイン系のコンペティションに応募する体験により、テーマに沿ったアイデア出しや制作、スケジュールマネージメントを学ぶ。

到達目標

指定数のコンペティションに参加し、受賞を目指す。

授業概要

今後のポートフォリオ制作や就職活動に備えて、自主制作作品を増やすことが目的。

成績評価方法　◆作文・課題 70%　◆定期試験 0%　◆平常点 20%　◆授業への参加姿勢 10%

＊平常点には小テスト等を含む
上記の割合に基づき総合的に評価する。

	授業内容	
1回	オリエンテーション	授業の概要・方針の説明、作品紹介などを行い授業内容の理解を深める。
2回	コンペティション選定	各自が参加したいコンペティションを探す
3回	制作	各自で制作。必要に応じて講師に相談、資料収集などしながら進める。
4回		
5回		
6回	チェック	進捗状況を個別面談でチェックし、随時アドバイスや意見を出す。
7回	制作	各自で制作。必要に応じて講師に相談、資料収集などしながら進める。
8回		
9回		
10回	チェック	進捗状況を個別面談でチェックし、随時アドバイスや意見を出す。
11回	制作	各自で制作。必要に応じて講師に相談、資料収集などしながら進める。
12回		
13回		
14回	チェック	進捗状況を個別面談でチェックし、随時アドバイスや意見を出す。
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン　専門課程	グラフィックデザイン科　昼間部(3年制)	2025年度	3年次・　前期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	ディレクション	3	45	
教科書・教材等				
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
船山幸夫	有り・デザイン		河村 一孝	

授業の特徴・テーマ

さまざまな仕事でのディレクションのポジションと、その内容について学び、コンセプトを分析して方向性を決めることを学ぶ

到達目標

コンセプトを分析し、企業の課題発見し、それをさまざまなツールを作って分かりやすく伝える。

授業概要

企業やブランドの分析と課題を確認し、デザインにより課題が解決されているかを意識して制作することを学ぶ。

成績評価方法　◆作文・課題　80%　◆定期試験　%　◆平常点　5%　◆授業への参加姿勢　15 %

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	ディレクションとは	さまざまなディレクションについて解説。パン屋のアイドルの企画立案。 グループで一つの課題をブレストしてアイデアを出す。
2回	アイドルの企画	パン屋のアイドルの企画立案。グループで役割を決めて制作をする。
3回	アイドルの企画	デザインワーク
4回	アイドルの企画	発表～講評
5回	デザインを身近に感じるイベントのディレクション	デザインを身近に感じるイベントのディレクション。グループでラフだし。発表。
6回	デザインを身近に感じるイベントのディレクション	企画立案。グループで役割を決めて制作をする。
7回	デザインを身近に感じるイベントのディレクション	デザインワーク
8回	デザインを身近に感じるイベントのディレクション	デザインフィニッシュ
9回	デザインを身近に感じるイベントのディレクション	発表～講評
10回	アピールするツールの制作ディレクション	ファッション誌やコスメグッズ等の多くの人に告知するツールの制作とデレクション （グループワークによるアイデア出し）
11回	アピールするツールの制作ディレクション	ラフデザイン作成～デザイン作成
12回	アピールするツールの制作ディレクション	ラフデザイン作成～デザイン作成、デザインチェック
13回	アピールするツールの制作ディレクション	デザインフィニッシュ
14回	アピールするツールの制作ディレクション	発表～講評
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	グラフィックデザイン科　昼間部（ 3年制 ）	2025年度	3年次 ・前期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	プレゼン指導	3	45	
教科書・教材等	講師のオリジナル資料・教材			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
箕輪吉修／箕輪吉修	システムエンジニア・プログラマー		河村 一孝	

授業の特徴・テーマ

プレゼンテーションを行う前段階のプロセス、リサーチ・取材の重要性を学び、主観的な考え方から客観的視点で他人への物事を伝えられる機会を与える

到達目標

プレゼンテーションを行うための考え方・準備・話し方・順序などを考え、他人にわかりやすく発表できるようにする

授業概要

自らが希望する職種に対して SWOT分析を行い自己分析した上で、人に伝えることの順序・見せ方などを学ぶ
※テーマ選出に関しては担当講師の判断により決定可能

成績評価方法　◆作文・課題 70% ◆定期試験 0% ◆平常点 20% ◆授業への参加姿勢 10%

＊平常点には小テスト等を含む
上記の割合に基づき総合的に評価する。
＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	授業説明SWOT分析	授業概要説明、SWOT分析
2回	第1課題制作	アイデア出し、資料収集、構成作成、練習
3回	第1課題制作	アイデア出し、資料収集、構成作成、練習
4回	第1課題制作	アイデア出し、資料収集、構成作成、練習
5回	第1課題発表	プレゼンテーション実施、アンケート回収、フィードバックの整理、改善点の洗い出し
6回	第2課題制作	テーマ選定、アイデア出し、資料収集、構成作成、練習
7回	第2課題制作	アイデア出し、資料収集、構成作成、練習
8回	第2課題発表	プレゼンテーション実施、アンケート回収、フィードバックの整理、改善点の洗い出し
9回	第3課題制作	テーマ選定、アイデア出し、資料収集、構成作成、練習
10回	第3課題制作	アイデア出し、資料収集、構成作成、練習
11回	第3課題発表	プレゼンテーション実施、アンケート回収、フィードバックの整理、改善点の洗い出し
12回	第4課題制作	テーマ選定、アイデア出し、資料収集、構成作成、練習
13回	第4課題制作	アイデア出し、資料収集、構成作成、練習
14回	第4課題発表	プレゼンテーション実施、アンケート回収、フィードバックの整理、改善点の洗い出し
15回	総合演習	

町田デザイン＆建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	グラフィックデザイン科　昼間部（ 3年制）	2025年度	3年次・前期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	ポートフォリオ指導2	3	45	
教科書・教材等				
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
河村　一孝	有り（グラフィックデザイナー・チーフデザイナー	河村　一孝		

授業の特徴・テーマ

就職活動へ実践的なポートフォリオに仕上げていく

到達目標

グラフィックデザイン系企業の中で、さらに個人の希望職種にあっている企業へのアプローチができる作品を揃えられるポートフォリオ制作を目指す

授業概要

自己表現を大切にしつつ、編集物としての基本的なバランスを徹底したポートフォリオ制作を学ぶ

成績評価方法　◆作文・課題　70%　◆定期試験　0%　◆平常点　10%　◆授業への参加姿勢　20%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	オリエンテーション	ポートフォリオ制作の趣旨・授業評価基準などを徹底。　講義：ポートフォリオとは再
2回	面談・指導	ポートフォリオの仕上げ、企業ごとのアレンジなどを相談・指導していく
3回	面談・指導	ポートフォリオの仕上げ、企業ごとのアレンジなどを相談・指導していく
4回	面談・指導	ポートフォリオの仕上げ、企業ごとのアレンジなどを相談・指導していく
5回	面談・指導	ポートフォリオの仕上げ、企業ごとのアレンジなどを相談・指導していく
6回	面談・指導	ポートフォリオの仕上げ、企業ごとのアレンジなどを相談・指導していく
7回	面談・指導	ポートフォリオの仕上げ、企業ごとのアレンジなどを相談・指導していく
8回	面談・指導	ポートフォリオの仕上げ、企業ごとのアレンジなどを相談・指導していく
9回	面談・指導	ポートフォリオの仕上げ、企業ごとのアレンジなどを相談・指導していく
10回	面談・指導	ポートフォリオの仕上げ、企業ごとのアレンジなどを相談・指導していく
11回	面談・指導	ポートフォリオの仕上げ、企業ごとのアレンジなどを相談・指導していく
12回	面談・指導	ポートフォリオの仕上げ、企業ごとのアレンジなどを相談・指導していく
13回	面談・指導	ポートフォリオの仕上げ、企業ごとのアレンジなどを相談・指導していく
14回	面談・指導	ポートフォリオの仕上げ、企業ごとのアレンジなどを相談・指導していく
15回	総合学習	

町田デザイン＆建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	グラフィックデザイン科　昼間部（ 3年制）	2025年度	3年次・前期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	ポートフォリオ制作	6	90	
教科書・教材等				
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
河村　一孝	有り（グラフィックデザイナー・チーフデザイナー）		河村　一孝	

授業の特徴・テーマ

2年次に作成したポートフォリオの見直しを行い、就職活動で実際に使用できる作品集として完成させる。
自己表現という部分と企業評価を意識したポートフォリオ制作の理解とグラフィックデザイン系企業のジャンルを見極め行きたい企業に合っているポートフォリを作成できるようにする

到達目標

グラフィックデザイン系企業の中で、さらに個人の希望職種にあっている企業へのアプローチができる作品を揃えられるポートフォリオ制作を目指す

授業概要

自己表現を大切にしつつ、編集物としての基本的なバランスを徹底したポートフォリオ制作を学ぶ

成績評価方法　◆作文・課題　70%　◆定期試験　0%　◆平常点　10%　◆授業への参加姿勢　20%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	オリエンテーション	ポートフォリオ制作の趣旨・授業評価基準などを徹底。　講義：ポートフォリオとは
2回	講義：ポートフォリオの考え方・就活への活用	ポートフォリオの表現方法・考え方～企業側目線でのポートフォリオとは
3回	ポートフォリオの見直し・再企画	ポートフォリオをどう表現したいかを自由な視点でアイデア出しを行う・テーマなどを抽出する
4回	ポートフォリオページ制作	ポートフォリオの台割など具体的な設計計画を練る：後日自らのデザインをプレゼン
5回	ポートフォリオ制作①	ファイル・紙質などポートフォリオに必要な材料を揃え具体的な制作に入る
6回	ポートフォリオ制作②	課題・自主制作作品などポートフォリオに入れるための作品を選定
7回	ポートフォリオ制作③	課題・自主制作作品などポートフォリオに入れるための作品を選定
8回	中間チェック	ポートフォリオの企画及び選定作品を講師とチェック
9回	ポートフォリオ制作④-1	ポートフォリオとして閲覧できる状態に完成させる
10回	ポートフォリオ制作④-2	ポートフォリオとして閲覧できる状態に完成させる
11回	ポートフォリオプレゼンテーション	完成したポートフォリオをプレゼンテーションする
12回	ポートフォリオ修正①	プレゼンの結果の反省点や修正箇所を確認し修正する
13回	ポートフォリオ修正②	プレゼンの結果の反省点や修正箇所を確認し修正する
14回	ポートフォリオ修正③	プレゼンの結果の反省点や修正箇所を確認し修正する
15回	最終チェック・提出	ポートフォリオ完成版の提出

町田デザイン＆建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	グラフィックデザイン科　昼間部（ 3年制）	2025年度	3年次・前期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	就職総合ワーク	3	45	
教科書・教材等				
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
河村　一孝	有り（グラフィックデザイナー・チーフデザイナー）	河村　一孝		

授業の特徴・テーマ

就職活動の報告・指導・クラス運営の時間とする

到達目標

目標の就職へ向けての準備を進め、内定獲得する。

授業概要

個人ごとの志向や思いを大切にしながら、目標の企業の内定獲得すべく指導をしていく

成績評価方法　◆作文・課題　0%　◆定期試験　0%　◆平常点　30%　◆授業への参加姿勢　70%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	オリエンテーション	授業内容の説明と就職活動について
2回	面談・指導	就職活動の経過・ポートフォリオの制作進行の共有をし、指導していく。
3回	面談・指導	就職活動の経過・ポートフォリオの制作進行の共有をし、指導していく。
4回	面談・指導	就職活動の経過・ポートフォリオの制作進行の共有をし、指導していく。
5回	面談・指導	就職活動の経過・ポートフォリオの制作進行の共有をし、指導していく。
6回	面談・指導	就職活動の経過・ポートフォリオの制作進行の共有をし、指導していく。
7回	面談・指導	就職活動の経過・ポートフォリオの制作進行の共有をし、指導していく。
8回	面談・指導	就職活動の経過・ポートフォリオの制作進行の共有をし、指導していく。
9回	面談・指導	就職活動の経過・ポートフォリオの制作進行の共有をし、指導していく。
10回	面談・指導	就職活動の経過・ポートフォリオの制作進行の共有をし、指導していく。
11回	面談・指導	就職活動の経過・ポートフォリオの制作進行の共有をし、指導していく。
12回	面談・指導	就職活動の経過・ポートフォリオの制作進行の共有をし、指導していく。
13回	面談・指導	就職活動の経過・ポートフォリオの制作進行の共有をし、指導していく。
14回	面談・指導	就職活動の経過・ポートフォリオの制作進行の共有をし、指導していく。
15回	総合学習	

グラフィック
デザイン科
後期シラバス

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	グラフィックデザイン科　昼間部（３年制）	2025年度	1年次・後 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	色彩平面構成	3	45	
教科書・教材等	講師のオリジナル資料及びカラーについての教科書　配色カード　アクリル絵の具			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
杉原幸子	有り　／　グラフィックデザイナー		河村　一孝	

授業の特徴・テーマ

色・デザインの基礎を身につけ、他の教科でも応用できるよう指導

到達目標

色についての基礎知識と応用・バランス感覚を身につけ、状況にあったイメージで色構成ができること

授業概要

色彩の理解と表現技法を平面の造形力として実習で学ぶ、仕上がりの綺麗さ、プレゼンの上達、バランス感覚も合わせて習得する

成績評価方法　◆作文・課題　60%　◆定期試験　20%　◆平常点　10%　◆授業への参加姿勢　10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	平面構成/ストライプ②	ストライプ模様の制作準備～制作　配色カード使用
2回	平面構成/ストライプ③	制作～仕上げ
3回	平面構成/ストライプ④	黒ケント紙にレイアウト(作品.タイトル.キャプション）プレゼン～提出
4回	イメージ配色①	言葉からのイメージ(SOFT/HARD/WARM/COOL)講義　配色ガード使用
5回	イメージ配色②	言葉からのイメージ(SOFT/HARD/WARM/COOL)講義　配色ガード使用
6回	色についての基礎知識3	筆記試験、実習
7回	平面構成/イメージ構成①	言葉のイメージをテーマ設定し素材の色で表現(モチーフ、模様、オリジナルイラスト)
8回	平面構成/イメージ構成②	ラフデザイン～色構成、資料収集、素材収集(紙類、布類、他)
9回	平面構成/イメージ構成③	ラフデザイン～色構成、資料収集、素材収集(紙類、布類、他)
10回	平面構成/イメージ構成④	制作準備～制作作業
11回	平面構成/イメージ構成⑤	制作作業　文字原稿含む(タイトル、キャプション、コンセプト)
12回	平面構成/イメージ構成⑥	制作作業　文字原稿含む(タイトル、キャプション、コンセプト)
13回	平面構成/イメージ構成⑦	制作作業～仕上げ　黒ケント紙にレイアウト(作品、文字原稿)
14回	平面構成/イメージ構成⑧	プレゼン～提出
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	グラフィックデザイン科　昼間部（3年制）	2025年度	1年次・後期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	PS&IL	3	45	
教科書・教材等	講師作成の資料・課題			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
河村　一孝	有り（グラフィックデザイナー・チーフデザイナー）		河村　一孝	

授業の特徴・テーマ

前期で学んだPhotoshopとIllustratorの基礎から発展し、両アプリケーションを連携させたより実践的なデザイン演習課題を進める。アプリケーションの知識・技能をより深めると同時に、デザイン制作の基本的な考え方、スキルも学ぶ。

到達目標

修了時には両アプリケーションを自分のデザイン制作に存分に活かすことができる

授業概要

演習課題を基本とし、実際にアプリケーションを使用しながら操作の応用とデザイン制作の進め方を身につけていく。簡単な演習からより実践的な演習へとレベルを上げていき、最終的には実践的なデザイン作業を滞りなくできるようにする。

成績評価方法　◆作文・課題 90%　◆定期試験 0%　◆平常点 0%　◆授業への参加姿勢 10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	オリエンテーション	授業内容と目標を説明。前期の総括。演習課題①の説明と準備。
2回	演習課題①	Photoshopで宇宙空間を作ってみる。作成した宇宙空間を使った広告デザイン制作。
3回	演習課題①	Photoshopで宇宙空間を作ってみる。作成した宇宙空間を使った広告デザイン制作。
4回	演習課題①	Photoshopで宇宙空間を作ってみる。作成した宇宙空間を使った広告デザイン制作。
5回	演習課題②	Illustratorでオリジナルのパターン作成。Photoshopで用意した画像とコラージュデザイン制作。
6回	演習課題②	Illustratorでオリジナルのパターン作成。Photoshopで用意した画像とコラージュデザイン制作。
7回	演習課題②	Illustratorでオリジナルのパターン作成。Photoshopで用意した画像とコラージュデザイン制作。
8回	演習課題⑤	ベジェ曲線でのオリジナルイラストの制作。作成したイラストを使ったポストカードデザイン制作。
9回	演習課題⑥	ベジェ曲線でのオリジナルイラストの制作。作成したイラストを使ったポストカードデザイン制作。
10回	演習課題⑥	素材画像をイラスト風に加工。イラストをTシャツデザインにアレンジする。
11回	演習課題⑦	素材画像をイラスト風に加工。イラストをTシャツデザインにアレンジする。
12回	演習課題⑧	自分の好きな物、人、ことなどを広告するポスター制作。
13回	前期最終課題	自分の好きな物、人、ことなどを広告するポスター制作。
14回	前期最終課題	自分の好きな物、人、ことなどを広告するポスター制作。
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	グラフィックデザイン科　昼間部 （ 3年制 ）	2025年度	1年次 ・ 後 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	Webデザイン	3	45	
教科書・教材等	MacBook			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
粉奈　里衣	有 / グラフィック・WEB制作		**河村 一孝**	

授業の特徴・テーマ

WEBデザイナーとして必要な基本的なスキルを学ぶ。

到達目標

バナー制作などの基本スキル、デザインからHTML・CSSのコーディングまでの基礎知識を学ぶ。

授業概要

WEBデザイナーの基本的なスキルを年間を通して体験し、WEBの分野への可能性を感じ取り、自ら興味を持てるようなきっ

成績評価方法　◆作文・課題60% ◆定期試験 % ◆平常点 % ◆授業への参加姿勢40%

＊平常点には小テスト等を含む 上記の割合に基づき総合的に評価する。 ＊原則として年間850時間以上出席

	授業内容	授業計画
1回	オリエンテーション	担当講師の自己紹介｜WEBの歴史と現在のトレンド
2回	講義・実習	Illustratprでリンクボタンを作る｜バナー制作の講義１｜Photoshopでバナーを作る
3回	実習・課題	バナー制作の講義２｜Photoshopでバナーを作る｜２つのテーマから自由に選択してバナー
4回	実習・課題	4回目バナー制作の添削｜WEB制作の流れ｜WEBデザインのコツ
5回	講義・実習	HTMLの基本
6回	実習	HTMLの基本
7回	講義・実習	CSSの基本
8回	実習	CSSの基本
9回	講義・実習	WEBデザイン（1ページ）｜ワイヤーフレームを学ぶ｜基本キットの配布
10回	講義・実習	WEBデザイン（1ページ）
11回	実習・課題	WEBデザイン（1ページ）
12回	実習・課題	WEBデザイン｜６～９回目でコーディングしたページのデザインを下層ページとして追加
13回	実習・課題	コーディング｜基本キットの配布
14回	実習・課題	コーディング｜基本キットの配布
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	グラフィックデザイン科　昼間部(3年制)	2025年度	1年次・前期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	エディトリアル基礎	3	45	
教科書・教材等				
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
吉永昌生	有・グラフィックデザイナー／イラストレーター		河村　一孝	

授業の特徴・テーマ

エディトリアルデザインの基礎知識と基礎テクニックを身につける。整理整頓されたレイアウトの基本を意識して、ページデザインを行う。

到達目標

エディトリアルデザインの基本的な考え方を理解し、インデザインを使用したページデザインの基礎

授業概要

全14回にて、インデザインを使用した
エディトリアルデザインの基礎知識と組版を学ぶ

成績評価方法　◆作文・課題80%　◆定期試験10%　◆平常点　　%　◆授業への参加姿勢10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	講義	エディトリアルデザインの基礎知識
2回	講義・実習	インデザインのツールの基本的な付き合い方
3回	講義・実習	課題：テーマ自由、5ページ程度のデザイン
4回	講義・実習	授業中に課題を進めつつ、質疑応答
5回	講義・実習	課題提出及びプレゼン
6回	講義・実習	写真やイラストと文字のバランスを意識したページデザインを学ぶ
7回	講義・実習	課題：テーマ自由、7ページ程度のデザイン・前回よりクオリティの高いものを目指す
8回	講義・実習	授業中に課題を進めつつ、質疑応答
9回	講義・実習	授業中に課題を進めつつ、質疑応答
10回	講義・実習	課題提出及びプレゼン・組版をする上で、より早くよりキレイな 技術を学ぶ
11回	講義・実習	課題：テーマ自由、8～12ページのデザイン・表紙も作り本格的な冊子デザイン
12回	講義・実習	授業中に課題を進めつつ、質疑応答
13回	講義・実習	授業中に課題を進めつつ、質疑応答
14回	講義・実習	課題提出及びプレゼン・前期学んだことの総括
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	グラフィックデザイン科　昼間部(3年制)	2025年度	1年次 ・後期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	デザインコンペ1	3	45	
教科書・教材等	講師作成の資料・課題			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
久保田　瞳	有り　(グラフィックデザイナー)		河村 一孝	

授業の特徴・テーマ

コンペティション参加の進め方や大切なことを学びながら、受賞を目指す

到達目標

一般、学生向けのグラフィックデザイン系公募コンペティションに参加することで、クライアントワーク(受賞・採用にむけて)の考え方、アイデア出し、スケジュール管理などができ、質が高い応募作品を制作することができる。

授業概要

参加するコンペティションのスケジューリング、アイデア出し、制作、応募の流れを学びながら、テーマに対していかに提案していくかを学ぶ。

成績評価方法　◆作文・課題　0%　◆定期試験 0%　◆平常点 0%　◆授業への参加姿勢　0%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	講義	スケジューリング(コンペへ応募する流れ) 著作権・肖像権など権利の侵害、法令や公序良俗の説明　など
2回	ラフ制作	用意した公募から課題を明確にし、ラフの制作
3回	ラフ制作②	ラフ制作
4回	制作	ラフを都度確認後、制作に取り掛かる
5回	制作	制作を進める
6回	初稿チェック	ラフから制作した初稿を個人確認
7回	仕上がり	初稿チェックから仕上がりまで個人確認。質疑応答
8回	入稿	プレゼン。入稿(応募)
9回	ラフ制作	用意した公募から課題を明確にし、ラフの制作
10回	ラフ制作②	ラフ制作
11回	制作	ラフを都度確認後、制作に取り掛かる
12回	初稿チェック	ラフから制作した初稿を個人確認
13回	仕上がり	初稿チェックから仕上がりまで個人確認。質疑応答
14回	入稿	プレゼン。入稿(応募)
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	グラフィックデザイン科　昼間部（3年制）	2025年度	1年次・後期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	デザイン基礎とDTP	3	45	
教科書・教材等	mac book デザイナーズハンドブック			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
三宅和歌子	有り ビジュアルデザイン DTP 商品企画 臨床美術士		河村一孝	

授業の特徴・テーマ

ビジュアルデザインの基礎を習得する。

到達目標

ビジュアルデザインの基本、観る事と伝える事を考えた上で、情報の視覚化とコミニュケーション能力を高める。また、DTPに関する基礎知識と技術を習得し、デザインデータ作成に困らないようになる。

授業概要

座学と課題制作を並行して行う。実践的な学びにより、知識と技術が身につくように指導する。

成績評価方法　◆作文・課題　40 %◆定期試験　0%◆平常点　30%◆授業への参加姿勢　30%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	ポストカードの体裁	課題.3イベント案内のポストカード　ラフの提出
2回	課題3.制作	個別に ラフチェック　データチェック
3回	文字組練習2	各自が使用する文章を使って、文字組練習　縦書き横書き　文字の大きさ　行送り　段落設定　ジャスティファイ　詰め　等
4回	イラレ基本操作2	個別にデータチェック トレース台　定規　カッター　ペーパーセメント　ソルベント　使い方説明
5回	課題3.提出	プリントアウト　切って貼ってカードに仕立て提出
6回	広告の体裁	キャッチコピー リード ボディーコピー キャプション等 体裁名称　課題4.ポスターの制作　ラフ制作
7回	雑誌の体裁	版面 段間 行間 タイトル サブタイトル リード ノド 小口等　ポスターの制作のラフチェック
8回	ポスターの制作	個別にデータチェック
9回	ポスターの制作	個別にデータチェック
10回	ポスターの初稿提出	データ提出
11回	ポスターの再校提出	プリントアウト提出
12回	ポスターの制作	個別にデータチェック
13回	課題4.ポスターの校了	個別にデータチェック
14回	ポスターの提出	プリントアウトして提出
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	グラフィックデザイン科　昼間部（３年制）	2025年度	1年次・後 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	デッサンと画面構成	3	45	
教科書・教材等	筆記用具、各種画材			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
勝亦　勇	有り（グラフィックデザイナー・イラストレーター）		河村　一孝	

授業の特徴・テーマ

素描および描画を伴いながらグラフィックデザインの基本要素である画面構成を中心に学ぶ。

到達目標

モチーフへの観察力、理解力を養い、画面に対する構成力・バランス感覚を磨く。

授業概要

形の再構築を中心に描画の実習・実践をおこなう。モチーフの観察・調査を通じて新しい視点を見つけるとともに、形の構造の理解を深めながら課題制作に取り組む。

成績評価方法　◆作文・課題　40%　◆定期試験　20%　◆平常点　20%　◆授業への参加姿勢　20%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	色々な角度から描く	用意したモチーフを様々な視点から観察と描画。
2回	色々な角度から描く	用意したモチーフを様々な視点から観察と描画、着彩まで。
3回	形の再構築(1)	用意したモチーフの形を分解、図案として再構築。
4回	形の再構築(1)	用意したモチーフの形を分解、図案として再構築。
5回	形の再構築(1)	用意したモチーフの形を分解、図案として再構築。
6回	形の再構築(2)	用意したモチーフの形を分解、図案として再構築。
7回	形の再構築(2)	用意したモチーフの形を分解、図案として再構築。
8回	形の再構築(2)	用意したモチーフの形を分解、図案として再構築。
9回	課題制作	課題制作における導線・グリッド・黄金比など構図の実習。
10回	課題制作	課題のエスキース制作と経過確認。
11回	課題制作	課題制作の下絵制作を目安に実践。
12回	課題制作	課題制作の着彩から完成を目安に実践。
13回	小レポート	期末の授業内レポート。
14回	講評会	後期最終課題の全体講評会。
15回	総合演習	

町田デザイン＆建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	グラフィックデザイン科　昼間部（3年制）	2025年度	1年次・後期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	トライコンペティション	**3**	**45**	
教科書・教材等	**各種画材**			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
河村　一孝	有り（グラフィックデザイナー・チーフデザイナー）		河村　一孝	

授業の特徴・テーマ

自身の作品を他者に見せることを意識する。手を休めることのないよう、常に何らかのコンペティションに向けて作品制作に取り組む。

到達目標

入選・落選を繰り返し体験する事で喜びや悔しさを感じ、忍耐力・粘り強さをを身に付けると共に
自身の作品を他者に見せることへの抵抗感を無くす。

授業概要

各自の実力を知る手だてとして公募展へ応募し、作品を発表する習慣を身に付ける。
修正を繰り返しベストな状態で出品出来るようにする。

成績評価方法　◆作文・課題 70%　◆定期試験 0%　◆平常点 20%　◆授業への参加姿勢 10%

＊平常点には小テスト等を含む
上記の割合に基づき総合的に評価する。

	授業内容	
1回	コンペ④選定・企画	複数のコンペティションの中から取り組む物を決め、アイディアの企画に入る。
2回	コンペ④企画・制作①	ラフスケッチを多く制作し、講師と相談しながら作品の方向性を定めながら制作する。
3回	コンペ④制作・追求①	ラフスケッチを元に制作。少しでも作品のクオリティを上げることを意識する。
4回	コンペ④制作・追求②	最後まで作品のクオリティを追求し、各自応募する。
5回	連携コンペ・概要	グラフィックデザイン科との連携コンペ（グラフィックデザイン科からのイラスト依頼）に取り組む。
6回	連携コンペ・企画①	依頼内容を把握し、アイディア企画を開始する。（グラフィックデザイン科と相談可）
7回	連携コンペ・企画②	ラフスケッチを多く制作し、グラフィックデザイン科に提出。赤字修正を貰う。
8回	連携コンペ・制作①	赤字修正内容を踏まえて制作を開始する。必要であれば複数バリエーションを用意する。
9回	連携コンペ・制作②	作品のクオリティを上げ、ベストな状態で提出。グラフィックデザイン科による選定を待つ。
10回	連携コンペ・選定・講評	選定後、完成された作品の講評会を合同で行う。
11回	企業連携コンペ②・探究	秋に行われる企業連携コンペに向けて、作品の方向性などを各自探究する。
12回	企業連携コンペ②・企画①	講師と相談しながら作品アイディアを複数企画。ラフスケッチを多く制作する。
13回	企業連携コンペ②・企画②	徐々にアイディアを絞り洗練させる。制作スケジュールなども各自計画する。
14回	企業連携コンペ②・制作①	各自画材などを準備し、制作を開始する。デジタル、アナログどちらでも可。
15回	企業連携コンペ②・制作②	スケジュール通りに制作を進め、制作期間を守り提出する。

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	グラフィックデザイン科　昼間部(3年制)	2025年度	1年次・　後期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	パッケージデザイン	3	45	
教科書・教材等				
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
船山幸夫	有り・デザイン		河村　一孝	

授業の特徴・テーマ

パッケージデザインの基礎を学ぶ。特色、CMYK等の印刷色や用紙や素材による発色や触覚などの違いを学ぶ。

到達目標

テーマに合わせたパッケージ表現を、実物を制作品がら学ぶ。

授業概要

テーマやコンセ部とを分析し、より効果的に消費者へ伝えることを目標において、現物に近いパッケージを制作する。

成績評価方法　◆作文・課題　70%　◆定期試験　%　◆平常点　10%　◆授業への参加姿勢　20%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	パケージとは何か？	パッケージとは何か？例題を用いて解説。 現物のパッケージを分析し、真似をして制作する。
2回	身近なパッケージを作る	お菓子などの身近なパッケージの制作。 アイデア出し～ラフ制作
3回	身近なパッケージを作る	お菓子などの身近なパッケージの制作。デザイン制作。 JANコード、リサイクルマークの解説。
4回	身近なパッケージを作る	お菓子などの身近なパッケージの制作。デザイン制作。
5回	身近なパッケージを作る	講評
6回	日本の地域限定の 商品パッケージを作る	地域特産の商品を考えて仮想の商品企画～パッケージを制作する。 アイデア出し
7回	日本の地域限定の 商品パッケージを作る	地域特産の商品を考えて仮想の商品企画～パッケージを制作する。 デザイン制作。
8回	日本の地域限定の 商品パッケージを作る	地域特産の商品を考えて仮想の商品企画～パッケージを制作する。 デザイン制作。
9回	日本の地域限定の 商品パッケージを作る	講評・他の作品への投票。
10回	冬の暖かシリーズの 商品パッケージを作る	冬に販売する暖かいものを企画し、パッケージを制作する。シリーズ感を持たせて複数を作成する。アイデア出し
11回	冬の暖かシリーズの 商品パッケージを作る	冬に販売する暖かいものを企画し、パッケージを制作する。 デザイン制作。
12回	冬の暖かシリーズの 商品パッケージを作る	冬に販売する暖かいものを企画し、パッケージを制作する。 デザイン制作。
13回	冬の暖かシリーズの 商品パッケージを作る	冬に販売する暖かいものを企画し、パッケージを制作する。 デザイン制作。
14回	冬の暖かシリーズの 商品パッケージを作る	講評・他の作品への投票。
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	グラフィックデザイン科　昼間部(3年制)	2025年度	1年次 ・後期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	ピアワークス1	3	45	
教科書・教材等	講師作成の資料・課題			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
河村　一孝	有り(グラフィックデザイナー・チーフデザイナー)		河村 一孝	

授業の特徴・テーマ

1年生と2年生合同でグループワークを行う。グループでの作業を通じてコミュニケーション力や制作マネージメント力、デザイン力の向上を目指す。

到達目標

グループでの作業で、メンバーとしっかりとしたコミュニケーションがとれ、自分の役割を全うするスキルや責任感を身につける。卒業後に社会で働くためのよい経験とする。

授業概要

グループごとに2年生を中心として自分たちで制作物の方向性や進め方を決め、上手に役割分担を行いながら質の高い制作を目指す。

成績評価方法	◆作文・課題　60%　◆定期試験 0%　◆平常点 0%　◆授業への参加姿勢　40% ＊平常点には小テスト等を含む 上記の割合に基づき総合的に評価する。 ＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	オリエンテーション	授業内容と目標を説明。グループ分け、顔合わせ。
2回	打ち合わせ、制作	各グループ、デザインテーマと方向性を話し合い。
3回	打ち合わせ、制作	各グループ、デザインテーマと方向性を話し合い。
4回	デザインプラン発表	デザインプランの発表。質疑応答。
5回	打ち合わせ、制作	各グループ、デザイン制作。
6回	打ち合わせ、制作	各グループ、デザイン制作。
7回	第一次中間発表	途中経過を発表。質疑応答。
8回	打ち合わせ、制作	各グループ、デザイン制作。
9回	打ち合わせ、制作	各グループ、デザイン制作。
10回	打ち合わせ、制作	各グループ、デザイン制作。
11回	第二次中間発表	ほぼ完成形を発表。質疑応答。
12回	打ち合わせ、制作	各グループ、デザイン修正作業、プレゼン準備。
13回	最終プレゼン、提出	デザイン提案最終プレゼンテーション。質疑応答。提出。
14回	総括	デザイン提案投票結果発表。総括。
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	グラフィックデザイン科　昼間部(3年制)	2025年度	2年次 ・後期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	グラフィック表現1	3	45	
教科書・教材等	講師作成の資料・課題			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
武川　健司	グラフィックデザイナー・Webデザイナー		河村 一孝	

授業の特徴・テーマ

グラフィックで表現できる幅を広げ、各々が異なる結果が出る作品制作を行う

到達目標

幅の広いテーマを与え自らが決められた納期までに自主的に計画を練り完了するプロセスを管理できるスキルを養う

授業概要

広告・販売促進・CI/VI・ブランディング全般をテーマに自らが表現したいものを決定し、講師が定めた納期を目標に作品制作を行う

成績評価方法　◆作文・課題　0%　◆定期試験 0%　◆平常点 0%　◆授業への参加姿勢　0%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	オリエンテーション: 課題1:3つのツール展開①	グラフィック表現の授業趣旨・方針の徹底。 課題1:自分の個展/オリジナル商品/メッセージ広告　など講師が複数のテーマを与えその中から学生が選択する
2回	課題1:3つのツール展開②	3つのツール展開(ポスター・DM・POP・中吊り)など自らがテーマに基づいた媒体を選択肢デザイン制作を行う:アイデアスケッチ
3回	課題1:3つのツール展開③	選択したテーマに従ったデザインのアイデアスケッチとツール展開を講師と相談～制作
4回	課題1:3つのツール展開④	選択したテーマに従ったデザインのアイデアスケッチとツール展開を講師と相談～制作
5回	課題1:3つのツール展開⑤	選択したテーマに従ったデザインのアイデアスケッチとツール展開を講師と相談～制作
6回	課題1:3つのツール展開⑥	紙もしくはデータでの提出を行い提出
7回	課題2:ツール展開応用①	自分の個展/オリジナル商品/メッセージ広告　など講師が複数のテーマを与えその中から学生が選択する
8回	課題2:ツール展開応用②	3つのツール展開(ポスター・DM・POP・中吊り)など自らがテーマに基づいた媒体を選択肢デザイン制作を行う アイデアスケッチ
9回	課題2:ツール展開応用③	選択したテーマに従ったデザインのアイデアスケッチとツール展開を講師と相談～制作
10回	課題2:ツール展開応用④	選択したテーマに従ったデザインのアイデアスケッチとツール展開を講師と相談～制作
11回	課題2:ツール展開応用⑤	選択したテーマに従ったデザインのアイデアスケッチとツール展開を講師と相談～制作
12回	課題2:ツール展開応用⑥	紙もしくはデータでの提出を行い提出
13回	総合プレゼンテーション	課題1・2をプレゼンテーションし提出とする
14回	総合演習/総復習	グラフィック表現の後期総合演習
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	グラフィックデザイン科　昼間部(3年制)	2025年度	2年次・後期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	ピアワークス2	3	45	
教科書・教材等	講師作成の資料・課題			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
河村　一孝	有り(グラフィックデザイナー・チーフデザイナー)		河村 一孝	

授業の特徴・テーマ

1年生と2年生合同でグループワークを行う。グループでの作業を通じてコミュニケーション力や制作マネージメント力、デザイン力の向上を目指す。

到達目標

グループでの作業で、メンバーとしっかりとしたコミュニケーションがとれ、自分の役割を全うするスキルや責任感を身につける。卒業後に社会で働くためのよい経験とする。

授業概要

グループごとに2年生を中心として自分たちで制作物の方向性や進め方を決め、上手に役割分担を行いながら質の高い制作を目指す。

成績評価方法	◆作文・課題　60%　◆定期試験 0%　◆平常点 0%　◆授業への参加姿勢　40% ＊平常点には小テスト等を含む 上記の割合に基づき総合的に評価する。 ＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	オリエンテーション	授業内容と目標を説明。グループ分け、顔合わせ。
2回	打ち合わせ、制作	各グループ、デザインテーマと方向性を話し合い。
3回	打ち合わせ、制作	各グループ、デザインテーマと方向性を話し合い。
4回	デザインプラン発表	デザインプランの発表。質疑応答。
5回	打ち合わせ、制作	各グループ、デザイン制作。
6回	打ち合わせ、制作	各グループ、デザイン制作。
7回	第一次中間発表	途中経過を発表。質疑応答。
8回	打ち合わせ、制作	各グループ、デザイン制作。
9回	打ち合わせ、制作	各グループ、デザイン制作。
10回	打ち合わせ、制作	各グループ、デザイン制作。
11回	第二次中間発表	ほぼ完成形を発表。質疑応答。
12回	打ち合わせ、制作	各グループ、デザイン修正作業、プレゼン準備。
13回	最終プレゼン、提出	デザイン提案最終プレゼンテーション。質疑応答。提出。
14回	総括	デザイン提案投票結果発表。総括。
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	グラフィックデザイン科　昼間部（ 3年制 ）	2025年度	2年次・後 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	ポートフォリオリサーチ	3	45	
教科書・教材等				
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
河村　一孝	有り（グラフィックデザイナー・チーフデザイナー）		河村　一孝	

授業の特徴・テーマ

就職活動に向けて、過去作品のブラッシュアップ・自主制作作品の制作を進めながら、自身のポートフォリオを作成する。

到達目標

掲載作品10点以上のポートフォリオ（PDF）を完成させる。WEB制作会社志望の学生、余裕のある学生はWEBポートフォリオサイトも作成する。

授業概要

デザイン課題ブラッシュアップの指導を行いながら、より良いポートフォリオを作成するためのレクチャーを行う。

成績評価方法　◆作文・課題　100%　◆定期試験　%　◆平常点　%　◆授業への参加姿勢　%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	オリエンテーション	授業内容と目標を説明。ポートフォリオ用の作品に関するアンケート配布。
2回	作品準備	アンケートの回収と個人面談
3回	作品準備	個人面談、作品のブラッシュアップ
4回	作品準備	個人面談、作品のブラッシュアップ
5回	作品準備	個人面談、作品のブラッシュアップ
6回	作品準備	作品チェック
7回	作品準備	作品チェック
8回	ポートフォリオデザイン	ポートフォリオデザイン案作成
9回	ポートフォリオデザイン	ポートフォリオデザイン案チェック、制作
10回	ポートフォリオデザイン	WEBポートフォリオサイト説明
11回	ポートフォリオデザイン	ポートフォリオ制作
12回	ポートフォリオデザイン	ポートフォリオ制作
13回	ポートフォリオデザイン	ポートフォリオ制作
14回	ポートフォリオデザイン	ポートフォリオチェック
15回	総合演習	

町田デザイン＆建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	グラフィックデザイン科　昼間部（ 3年制）	2025年度	2年次・後期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	ポートフォリオ指導1	3	45	
教科書・教材等				
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
河村　一孝	有り（グラフィックデザイナー・チーフデザイナー	河村　一孝		

授業の特徴・テーマ

3年次より開始される就職活動に向けて、ポートフォリオ制作を進める。

到達目標

就職活動で活用できるポートフォリオを完成させる

授業概要

ポートフォリオの意味や目的・制作方法などを講義しながら、作品を揃えてポートフォリオとして完成を目指す。

成績評価方法　◆作文・課題　70%　◆定期試験　0%　◆平常点　10%　◆授業への参加姿勢　20%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	オリエンテーション	ポートフォリオ制作の趣旨・授業評価基準などを徹底。　講義：ポートフォリオとは
2回	講義：ポートフォリオの考え方・就活への活用	ポートフォリオの表現方法・考え方～企業側目線でのポートフォリオとは
3回	ポートフォリオの見直し・再企画	ポートフォリオをどう表現したいかを自由な視点でアイデア出しを行う・テーマなどを抽出する
4回	ポートフォリオページ制作	ポートフォリオの台割など具体的な設計計画を練る：後日自らのデザインをプレゼン
5回	ポートフォリオ制作①	ファイル・紙質などポートフォリオに必要な材料を揃え具体的な制作に入る
6回	ポートフォリオ制作②	課題・自主制作作品などポートフォリオに入れるための作品を選定
7回	ポートフォリオ制作③	課題・自主制作作品などポートフォリオに入れるための作品を選定
8回	中間チェック	ポートフォリオの企画及び選定作品を講師とチェック
9回	ポートフォリオ制作④-1	ポートフォリオとして閲覧できる状態に完成させる
10回	ポートフォリオ制作④-2	ポートフォリオとして閲覧できる状態に完成させる
11回	ポートフォリオプレゼンテーション	完成したポートフォリオをプレゼンテーションする
12回	ポートフォリオ修正①	プレゼンの結果の反省点や修正箇所を確認し修正する
13回	ポートフォリオ修正②	プレゼンの結果の反省点や修正箇所を確認し修正する
14回	ポートフォリオ修正③	プレゼンの結果の反省点や修正箇所を確認し修正する
15回	最終チェック・提出	ポートフォリオ完成版の提出

町田デザイン＆建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	グラフィックデザイン科　昼間部（３年制）	2025年度	2年次・後期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	就職指導	1	15	
教科書・教材等	内定獲得ブック			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
井比　敏紀			河村　一孝	

授業の特徴・テーマ

就職活動の準備をし、学生一人一人が円滑に就職活動を行えるよう、講義と個別2Wayでの指導

到達目標

希望職種での内定獲得

授業概要

就職活動を行いながら、社会人になるための準備をする

成績評価方法　◆作文・課題　0%　◆定期試験　0%　◆平常点　30%　◆授業への参加姿勢　70%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	オリエンテーション	就職活動に向けたキックオフ
2回	個別面談①	希望分野・業種・職種の決定
3回	個別面談②	希望分野・業種・職種の決定
4回	個別企業説明会Ⅰ	各学科にて個別企業説明会　※企業見学及び選考企業の決定
5回	個別企業説明会Ⅱ	各学科にて個別企業説明会　※企業見学及び選考企業の決定
6回	個別企業説明会Ⅲ	各学科にて個別企業説明会　※企業見学及び選考企業の決定
7回	個別企業説明会Ⅳ	各学科にて個別企業説明会　※企業見学及び選考企業の決定
8回	個別指導❶	模擬面接・履歴書作成の再確認　※学生一人ひとりが面接や履歴書に対して自信を持つ
9回	個別指導❷	模擬面接・履歴書作成の再確認　※学生一人ひとりが面接や履歴書に対して自信を持つ
10回	個別面談③	就職活動状況及び進路状況の確認　※学生一人ひとりが考えや思いを明確にする
11回	個別面談④	就職活動状況及び進路状況の確認　※学生一人ひとりが考えや思いを明確にする
12回	個別指導❸	最終的な就職活動状況(内定者と進路未決定者)確認と最終決定をする
13回	個別指導❹	最終的な就職活動状況(内定者と進路未決定者)確認と最終決定をする
14回	まとめ	就職指導授業の振り返りと社会人になる前の心得について学ぶ
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	グラフィックデザイン科　昼間部(3年制)	2025年度	2年次・後期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	文字とレイアウトの基礎	3	45	
教科書・教材等	ノート型パソコン＋講師オリジナル教材(classroomにて公開)			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
近藤　忠	実務経験:有り　職種:アートディレクター・グラフィックデザイナー		河村　一孝	

授業の特徴・テーマ

特徴:作品制作中心　テーマ:文字力とレイアウト力の基礎を身につける

到達目標

課題をとおして、今後のデザインに生かす

授業概要

2年生対象の基本課題から3年次の前半応用課題へと進む授業構成●短い座学も開講

成績評価方法

◆作文・課題　60 %◆定期試験　0%◆平常点　0%◆授業への参加姿勢　40%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	課題①:基本形態の構成-1「点・円・線」	課題説明
2回	課題①:基本形態の構成-1「点・円・線」	提出/講評
3回	課題②:視覚調整	課題説明
4回	課題②:視覚調整	制作
5回	課題②:視覚調整	提出/講評
6回	課題③:「美術館カタログ表紙」	課題説明
7回	課題③:「美術館カタログ表紙」	制作
8回	課題③:「美術館カタログ表紙」	提出/講評
9回	課題④:「お店のチラシカタログ」	課題説明
10回	課題④:「お店のチラシカタログ」	制作
11回	課題④:「お店のチラシカタログ」	提出/講評
12回	課題⑤:「コラムを読み、デザインする」	課題説明
13回	課題⑤:「コラムを読み、デザインする」	制作
14回	課題⑤:「コラムを読み、デザインする」	提出/講評
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	グラフィックデザイン科　昼間部（ 3年制 ）	2025年度	2年次 ・後期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	WEBシステムとサイト構築	3	45	
教科書・教材等	講師のオリジナル資料・教材			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
箕輪吉修／箕輪吉修	システムエンジニア・プログラマー		河村 一孝	

授業の特徴・テーマ

JavaScriptプログラミングの基礎

到達目標

JavaScriptの基本的な概念を理解する。JavaScriptを用いて、Webページに動的な動作を追加する方法を学ぶ。
JavaScriptの一般的な機能とライブラリ・プラグインについて学ぶ。
自作またはサービスを活用したポートフォリオサイトの立ち上げができる

授業概要

JavaScriptプログラミングの基礎を学習します。JavaScriptの歴史や基本的な構成要素から始まり、Webページに動的な動作を追加する方法や一般的な機能とライブラリ・プラグインについて学びます。最後にはライブラリを使ってコンテンツ制作方法を学び、実践します。

成績評価方法

◆作文・課題 70% ◆定期試験 0% ◆平常点 20% ◆授業への参加姿勢 10%
＊平常点には小テスト等を含む
上記の割合に基づき総合的に評価する。
＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	JavaScriptの概要	JavaScriptの基本構成要素の紹介 JavaScriptを使用する目的や利点の解説
2回	変数とデータ型	変数の概念と宣言方法 文字列、数値、ブール値のデータ型と変換方法
3回	制御フローと関数	if文、forループ、whileループなどの制御フロー 関数の定義と呼び出し
4回	HTMLとの連携	HTMLフォームからのデータ取得HTMLページにJavaScriptを埋め込む方法
5回	イベント処理	イベント処理の概要クリック、マウスオーバー、キーボード入力などのイベントの処理方法
6回	jQueryの利用	jQueryの概要と利用方法jQueryを使ったDOM操作とイベント処理の方法
7回	プラグイン習得	jQueryプラグインの利用とWEBサイトへの組み込み
8回	プラグイン習得	jQueryプラグインの利用とWEBサイトへの組み込み
9回	プラグイン習得	jQueryプラグインの利用とWEBサイトへの組み込み
10回	プラグイン習得	jQueryプラグインの利用とWEBサイトへの組み込み
11回	プラグイン実践	jQueryプラグインを利用したコンテンツの制作
12回	プラグイン実践	jQueryプラグインを利用したコンテンツの制作
13回	プラグイン実践	jQueryプラグインを利用したコンテンツの制作
14回	プラグイン実践	jQueryプラグインを利用したコンテンツの制作
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン 専門課程	グラフィックデザイン科　昼間部(3年制)	2025年度	2年次・ 後期	必須
講義形態	授業科目名	単位数	時間数	
講義・実習	Webデザイン2	3	45	
教科書・教材等	mac book			
担当教員／作成者	実務経験の有無・職種		確認者	
仲谷　みづき	有　webデザイナー/グラフィックデザイナー		学科長/河村 一孝	

授業の特徴・テーマ

ウェブデザインの基礎を知り、課題を通して作り方を習得する。
webデザイン基礎の講義や課題を通して、時代に求められているwebサイトのあり方を学ぶ。

到達目標

目的に沿ったwebサイトのデザインを制作できるようになる。
ポートフォリオに入れられる作品を完成させる

授業概要

まずは実技を中心に授業を行い、基礎的な講義も取り入れる。ただ制作するだけではなく、制作するwebサイトによってどのような課題を解決するのか意識しながら課題制作を行う。

成績評価方法	◆作文・課題　50%　◆定期試験　%　◆出席点　40%　◆授業への参加姿勢　10%
	＊平常点には小テスト等を含む 上記の割合に基づき総合的に評価する。 ＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	オリエンテーション	授業概要の説明/自己紹介シートの記入/課題①の説明(ヒアリングシート・サイトマップ・ワイヤーフレームの説明)
2回	課題①制作	課題①デザイン制作
3回	課題①制作	課題①デザイン制作
4回	課題①講評	課題①の講評
5回	課題②制作	課題②説明/ヒアリングシート制作
6回	課題②制作	課題②デザイン制作
7回	課題②制作	課題②デザイン制作　ミニ講義①
8回	課題②制作/講評	課題②デザイン制作/講評
9回	課題③制作	課題③説明/ヒアリングシート制作
10回	課題③制作	課題③デザイン制作
11回	課題③制作	課題③デザイン制作　バナー制作
12回	課題③制作講評	課題③デザイン制作
13回	課題④制作	課題③デザイン制作/講評
14回	課題④制作	ポートフォリサイトの作成
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	グラフィックデザイン科　昼間部(3年制)	2025年度	2年次・後期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	アドバタイジング1	3	45	
教科書・教材等	講師作成の資料・課題			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
黒川 栄治	広告会社にて30年の実務、クリエイティブディレクター		学科長:河村一孝	

授業の特徴・テーマ

広告の構造から、ターゲット・媒体(メディア)・タッチポイントなどを理解し、広告表現の考え方、デザイン技法を学習。ポートフォリオ制作に向けて各々の作品アイテムを丁寧に制作

到達目標

伝えるき情報を、伝えるべきターゲットに注目されるアイデアで表現する、広告デザインの基礎の習得から、作品制作に臨む

授業概要

さまざまな広告の種類や、その役割の理解から、時代、社会を意識した表現を自分で考え、創造、制作するように指導、各々のポートフォリオ掲載の完成度を高めた作品を制作指導

成績評価方法　◆出席　30%　◆課題提出 30%　◆課題作品　20%　◆授業への参加姿勢　20%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	オリエンテーション・講義・	前期アドバタイジングの復習、夏季研修中の課題のレヴュー、課題①のオリエンテーション:雑誌広告制作
2回	課題①：広告表現・制作	雑誌広告制作:広告の構造、役割を学習、課題②の広告コンセプトを考える
3回	課題①：広告表現・制作	雑誌広告制作：広告の構造、役割を学習、課題②のビジュアル、コピーを考え創る
4回	課題①：広告表現・制作	雑誌広告制作:広告の構造、役割を学習、課題②の広告を完成して、期限内に提出
5回	課題②：オリエン・制作	バナー広告制作:広告の構造、役割を学習、課題②のオリエンテーション、広告コンセプトを考える
6回	課題②：広告表現・制作	バナー広告制作:与えられた課題②から3種のバナー広告を制作、コンセプトを考えビジュアルを考え創る
7回	課題②：広告表現・制作	バナー広告制作:与えられた課題②からバナー広告を制作、ビジュアル、コピーを考え創る
8回	課題②：広告表現・制作	バナー広告制作:与えられた課題②からバナー広告を制作、ビジュアル、コピーを創る。期限内に課題提出
9回	課題③：オリエン・制作	ブックレット制作:小冊子の構造、役割を学習、課題③のオリエンテーション、コンセプトを考える
10回	課題③：広告表現・制作	ブックレット制作:与えられた課題③からブックレットを制作、コンセプトを考えビジュアルを考え創る
11回	課題③：広告表現・制作	ブックレット制作：与えられた課題③からブックレットを制作、ビジュアルコピーを考え制作
12回	課題③：広告表現・制作	ブックレット制作、与えられた課題から、完成をめざす。期限内に課題提出
13回	課題④：広告表現・制作	ポートフォリオ制作:前期・後期の復習からポートフォリオ掲載のデザインアイテムを整える
14回	課題④：広告表現・制作	ポートフォリオ制作:前期・後期の復習からポートフォリオ掲載のアイテム整理、完成度アップ
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	グラフィックデザイン科　昼間部(3年制)	2025年度	2年次・後期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	エディトリアル2	3	45	
教科書・教材等				
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
吉永昌生	有・グラフィックデザイナー／イラストレーター		河村　一孝	

授業の特徴・テーマ

エディトリアルデザインの基礎知識と基礎テクニックを身につける。整理整頓されたレイアウトの基本を意識して、ページデザインを行う。

到達目標

インデザインを使用したページデザインの基礎から応用まで

授業概要

全14回にて、インデザインを使用した
エディトリアルデザインの基礎知識と組版を学ぶ

成績評価方法　◆作文・課題80%　◆定期試験10%　◆平常点　　%　◆授業への参加姿勢10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	講義	エディトリアルデザインの基礎知識
2回	講義・実習	インデザインのツールの基本的な付き合い方
3回	講義・実習	課題：テーマ自由、5ページ程度のデザイン
4回	講義・実習	授業中に課題を進めつつ、質疑応答
5回	講義・実習	課題提出及びプレゼン
6回	講義・実習	写真やイラストと文字のバランスを意識したページデザインを学ぶ
7回	講義・実習	課題：テーマ自由、7ページ程度のデザイン・前回よりクオリティの高いものを目指す
8回	講義・実習	授業中に課題を進めつつ、質疑応答
9回	講義・実習	授業中に課題を進めつつ、質疑応答
10回	講義・実習	課題提出及びプレゼン・組版をする上で、より早くよりキレイな技術を学ぶ
11回	講義・実習	課題：テーマ自由、8～12ページのデザイン・表紙も作り本格的な冊子デザイン
12回	講義・実習	授業中に課題を進めつつ、質疑応答
13回	講義・実習	授業中に課題を進めつつ、質疑応答
14回	講義・実習	課題提出及びプレゼン・前期学んだことの総括
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	グラフィックデザイン科　昼間部（３年制）	2025年度	３年次・後 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	卒業制作	12	180	
教科書・教材等				
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
河村　一孝	有り（グラフィックデザイナー・チーフデザイナー）		河村　一孝	

授業の特徴・テーマ

卒業制作の指導

到達目標

卒業制作にふさわしいクオリティに仕上げる

授業概要

制作物に対するアドバイス、サポートを行う

成績評価方法　◆作文・課題　90%　◆定期試験　%　◆平常点　%　◆授業への参加姿勢　10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	オリエンテーション	授業内容と目標を説明。卒業制作に対するアンケート。
2回	作品制作	制作物のアイデア検討
3回	作品制作	制作
4回	作品制作	制作
5回	作品制作	制作
6回	作品制作	制作
7回	作品制作	制作
8回	作品制作	制作
9回	作品制作	制作
10回	作品制作	制作
11回	作品制作	制作
12回	作品制作	制作
13回	作品制作	制作
14回	作品制作	制作

15回	総合演習	

町田デザイン＆建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	グラフィックデザイン科　昼間部（3年制）	2025年度	3年次・後期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	就職活動インターンシップ	**3**	**45**	
教科書・教材等	**MacBook、筆記具**			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
河村　一孝	有り（グラフィックデザイナー・チーフデザイナー）		河村　一孝	

授業の特徴・テーマ

就職活動を行うに当たり学生自らが希望する企業と、担任の視点からみた客観的な意見を面談することにより、
自分にあったデザイン企業の就職を目指す　※離職率の低下も含める

到達目標

希望する企業へ適切なアプローチができるよう、
ポートフォリオ・ビジネスマナー・模擬面接などで就活へ挑めるようにする

授業概要

学生が受けたい企業を主体的に選出し、その企業に沿ったアプローチができるような指導を個別に行っていく。
就職内定済みの学生は、自身の作品制作を行う。

成績評価方法　◆作文・課題 0%　◆定期試験 0%　◆平常点 50%　◆授業への参加姿勢 50%

＊平常点には小テスト等を含む
上記の割合に基づき総合的に評価する。

	授業内容	
1回	オリエンテーション	就活活動の趣旨・授業評価基準などを徹底。講義：デザイン企業の話・就活に関する心構え
2回	面談・指導	就職活動状況の共有と指導をしていく
3回	面談・指導	就職活動状況の共有と指導をしていく
4回	面談・指導	就職活動状況の共有と指導をしていく
5回	面談・指導	就職活動状況の共有と指導をしていく
6回	面談・指導	就職活動状況の共有と指導をしていく
7回	面談・指導	就職活動状況の共有と指導をしていく
8回	面談・指導	就職活動状況の共有と指導をしていく
9回	面談・指導	就職活動状況の共有と指導をしていく
10回	面談・指導	就職活動状況の共有と指導をしていく
11回	面談・指導	就職活動状況の共有と指導をしていく
12回	面談・指導	就職活動状況の共有と指導をしていく
13回	面談・指導	就職活動状況の共有と指導をしていく
14回	面談・指導	就職活動状況の共有と指導をしていく
15回	総合演習	

町田デザイン＆建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	グラフィックデザイン科　昼間部（3年制）	2025年度	3年次・後期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	就活総合ワーク	**3**	**45**	
教科書・教材等	**MacBook、筆記具**			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
河村　一孝	有り（グラフィックデザイナー・チーフデザイナー）		河村　一孝	

授業の特徴・テーマ

就職活動を行うに当たり学生自らが希望する企業と、担任の視点からみた客観的な意見を面談することにより、
自分にあったデザイン企業の就職を目指す　※離職率の低下も含める

到達目標

希望する企業へ適切なアプローチができるよう、
ポートフォリオ・ビジネスマナー・模擬面接などで就活へ挑めるようにする

授業概要

学生が受けたい企業を主体的に選出し、その企業に沿ったアプローチができるような指導を個別に行っていく。
就職内定済みの学生は、自身の作品制作を行う。

成績評価方法　◆作文・課題 0%　◆定期試験 0%　◆平常点 50%　◆授業への参加姿勢 50%

＊平常点には小テスト等を含む
上記の割合に基づき総合的に評価する。

	授業内容	
1回	オリエンテーション	就活総合ワークの趣旨・授業評価基準などを徹底。講義：デザイン企業の話・就活に関する心構え
2回	企業選定・個別面談	希望する企業・職種をまとめポートフォリオの見直しを行う
3回	企業選定・個別面談	希望する企業・職種をまとめポートフォリオの見直しを行う
4回	ポートフォリオチェック	希望する企業に沿ったポートフォリオになっているかをチェック
5回	ポートフォリオチェック	希望する企業に沿ったポートフォリオになっているかをチェック
6回	企業選定・個別面談	希望する企業・職種をまとめポートフォリオの見直しを行う
7回	企業選定・個別面談	希望する企業・職種をまとめポートフォリオの見直しを行う
8回	履歴書添削	自己PRの書き方 志望動機の書き方などをチェック
9回	履歴書添削	自己PRの書き方 志望動機の書き方などをチェック
10回	企業選定・個別面談	希望する企業・職種をまとめポートフォリオの見直しを行う
11回	企業選定・個別面談	希望する企業・職種をまとめポートフォリオの見直しを行う
12回	企業選定・個別面談	希望する企業・職種をまとめポートフォリオの見直しを行う
13回	企業選定・個別面談	希望する企業・職種をまとめポートフォリオの見直しを行う
14回	ポートフォリオチェック	希望する企業に沿ったポートフォリオになっているかをチェック
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	グラフィックデザイン科　昼間部（ 3年制 ）	2025年度	3年次・後 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	卒業制作ゼミ	3	45	
教科書・教材等	ノート型パソコン＋講師オリジナル教材（classroomにて公開）			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
近藤　忠	実務経験：有り　職種：アートディレクター・グラフィックデザイナー		河村 一孝	

授業の特徴・テーマ

個人指導中心

到達目標

3年間の集大成

授業概要

個人指導中心＋進捗報告（中間発表）＋講義

成績評価方法　◆作文・課題　80%　◆定期試験　%　◆平常点　%　◆授業への参加姿勢　20%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	卒業制作指導	プレゼン　アンケート　個人面談
2回	卒業制作指導	個人面談
3回	卒業制作指導	「企画書」説明　制作
4回	卒業制作指導	「企画書」提出、プレゼンその後、講評
5回	卒業制作指導	個人面談　制作
6回	卒業制作指導	座学①：1時間ほどのデザイン講義　個人面談　制作
7回	卒業制作指導	個人面談　制作
8回	卒業制作指導	第1回　進捗報告（中間発表）＋講評
9回	卒業制作指導	座学②：1時間ほどのデザイン講義　個人面談　制作
10回	卒業制作指導	個人面談　制作
11回	卒業制作指導	第2回　進捗報告（中間発表）＋講評
12回	卒業制作指導	個人面談　制作
13回	卒業制作指導	個人面談　制作
14回	卒業制作指導	第3回　最終報告　仕上がったデータか現物をプレゼンシミュレーション
15回	卒業制作最終発表	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	建築設計科　昼間部（２年制）	2025年度	3年次・後 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	卒業制作ゼミ	3	42	
教科書・教材等				
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
黒川 栄治	広告会社にて30年の実務、クリエイティブディレクター		学科長:河村 一孝	

授業の特徴・テーマ

3年間の集大成として、また学生自身の未来像につながる卒業作品を、丁寧に制作指導

到達目標

自己満足にならず、グラフィックデザインが現代社会にさまざまに貢献することを意識して、観る人の心を揺さぶる作品制作をめざす

授業概要

ゼミ学生の主体性を尊重して、制作モチベーションを保てるように、さらに作品の質、量を高めるように制作指導

成績評価方法　◆出席　20%　◆課題提出 30%　◆課題作品　30%　◆授業への参加姿勢　20%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	卒制講義・制作指導	卒制を創る意味の解説、それぞれゼミ学生の制作指導　作品企画、コンセプト、アイデアの考察
2回	制作指導	それぞれ学生の制作指導　作品企画を聞き取り、コンセプト、アイデアの方向性を指導
3回	制作指導	それぞれ学生の制作指導　作品企画、コンセプト、アイデアの考察、資料収集を指導
4回	制作指導	それぞれ学生の制作指導　作品企画、コンセプト、アイデアの考察、資料収集を指導
5回	制作指導	それぞれ学生の制作指導　作品表現、制作スケジュールの管理を指導
6回	制作指導	それぞれ学生の制作指導　作品表現、制作スケジュールの管理を指導
7回	制作指導	それぞれ学生の制作指導　作品表現、制作スケジュールの管理を指導
8回	制作指導	それぞれ学生の作品指導　細部にこだわる作品の完成度を指導
9回	制作指導	それぞれ学生の作品指導　細部にこだわる作品の完成度を指導
10回	制作指導	それぞれ学生の作品指導　細部にこだわる作品の完成度を指導
11回	制作指導	それぞれ学生の作品指導　感動を呼ぶ完成度アップを目指すよう指導
12回	制作指導	それぞれ学生の作品指導　感動を呼ぶ完成度アップを目指すよう指導
13回	制作指導	それぞれ学生の作品指導　プレゼンテーション、展示を考えるよう指導
14回	制作指導	それぞれ学生の作品指導　プレゼンテーション、展示を考え完成に向けて指導
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
専門課程	グラフィックデザイン科　昼間部(3年制)	2025年度	3年次・　後期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	卒業制作ゼミ	3	45	
教科書・教材等				
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
船山幸夫	有り・デザイン		河村 一孝	

授業の特徴・テーマ

グラフィックデザインの3年間の集大成として、社会との繋がりを意識しグラフィック表現をおこなう。

到達目標

社会とのつながりを意識して、リサーチ・分析・アイデア出し～グラフィックデザインの企画・制作をおこない
最終的に卒業制作での発表・展示ができる。

授業概要

卒業制作全般を自ら進め、講師や仲間の助言を取り入れてブラッシュアップする。

成績評価方法　◆作文・課題　70%　◆定期試験　%　◆平常点　10%　◆授業への参加姿勢　20 %

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	卒業制作の注意点	昨年・それ以前の卒業制作の再確認。 卒業制作の分析とポイントの確認。
2回	アイデア出し	アイデア出しとチェック。
3回	仮アイデアでの展開を検討する	仮アイデアを展開した場合の全体の構想を検討する。
4回	仮アイデアでの展開を検討する	仮アイデアを展開した場合の全体の構想をビジュアル化して再検討する。
5回	方向性を決定 リサーチ	自分の課題を決定して、全体の構想をまとめる。 課題に合わせたリサーチと分析をおこなう。
6回	リサーチ 構想をビジュアル化	リサーチと分析をおこなう。 課題の制作。
7回	構想をビジュアル化 (ラフデザイン)	リサーチと分析をおこなう。 課題の制作。
8回	作品制作	作品制作
9回	作品制作	作品制作
10回	作品制作	作品制作
11回	作品制作	作品制作
12回	作品制作	作品制作
13回	大判出力・作品制作	大判出力や細かい備品等の制作。
14回	発表リハーサル 展示品の最終チェック	発表のリハーサルと展示の備品等のチェックをして不足分は制作する。
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン 専門課程	グラフィックデザイン科　昼間部(3年制)	2025年度	3年次・ 後期	必須
講義形態	授業科目名	単位数	時間数	
講義・実習	卒業制作ゼミ	3	45	
教科書・教材等	mac book			
担当教員／作成者	実務経験の有無・職種		確認者	
仲谷　みづき	有　webデザイナー/グラフィックデザイナー		学科長/河村 一孝	

授業の特徴・テーマ

3年間の集大成として主体的にテーマを決定し、それについてのリサーチ・市場調査を行いグラフィックデザインとしての作品を仕上げる。または自らのアート表現としてメッセージ性の強い作品を仕上げる。

到達目標

3年間の授業及び経験を活かし、自らのアイデアを外部へ発信していく説得力のあるグラフィック作品・アーチ作品を収め、プロの基盤となる人間力・技術力を養う

授業概要

前期卒業制作企画のテーマをもとにリサーチ・市場調査・取材を独自に行い主観的な作品作りにならないよう助言を行う、また最終的な作品のボリュームやスケジューリングなどに関しても個別指導を行う。

成績評価方法	◆作文・課題　50%　◆定期試験　%　◆出席点　40%　◆授業への参加姿勢　10%
	＊平常点には小テスト等を含む 上記の割合に基づき総合的に評価する。 ＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	オリエンテーション	オリエンテーション・個別 指導卒業制作の授業趣旨・授業評価基準などを徹底。 個別指導開始：企画の絞り込み
2回	課題制作	個別指導①企画チェック企画の絞り込み・企画自体が視野の狭いものである場合は再立案
3回	課題制作	個別指導②企画チェック企画の絞り込み～確立 確立後に市場調査・リサーチ・取材を行う
4回	課題制作	個別指導③取材チェック取材など外部の意見・調査結果をチェック～どのような作品に落とし込むかのチェック及びスケジューリング
5回	課題制作	個別指導④取材チェック取材など外部の意見・調査結果をチェック～どのような作品に落とし込むかのチェック及びスケジューリング
6回	課題制作	制作チェック中間制作・企画チェック
7回	課題制作	個別指導⑤モックアップ企画に基づいたモックアップを作成
8回	課題制作	個別指導⑥モックアップ企画に基づいたモックアップを作成
9回	課題制作	制作チェック中間制作・企画チェック
10回	課題制作	個別指導⑦作品制作具体的な作品制作期間
11回	課題制作	個別指導⑧作品制作具体的な作品制作期間
12回	課題制作	個別指導⑨作品制作具体的な作品制作期間
13回	課題制作	中間制作・企画チェック：展示方法などの決定
14回	課題制作	個別指導⑩作品制作作品完成~提出及びプレゼンテーション準備
15回	プレゼンテーション	プレゼンテーションプレゼンテーション・審査

イラスト
レーション科
前期シラバス

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	イラストレーション科　昼間部（２年制）	2025年度	１年次・前 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	デッサン	3	45	
教科書・教材等				
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
三輪奈月	有り　／　パブリックアート制作		髙須大地	

授業の特徴・テーマ

基礎描画力の向上と観察眼を養う。

到達目標

形の正確性を判断する目を養い、自身の作品と長時間向き合う忍耐力を身に着ける。

授業概要

対面実技。授業毎に作品を提出。

成績評価方法　◆作文・課題50%　◆定期試験0%　◆平常点30%　◆授業への参加姿勢20%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	初回説明と実技	道具、取り組みの手順についてのガイダンス。残りの時間で配布したモチーフを描く。
2回	実技	野菜または果物。モチーフをよく観察して描く。
3回	基本図形①	立方体・直方体の陰影をよく観察して描く。配布した包装紙と組み合わせて自由な構図を考える。
4回	基本図形②	縦の円柱・横の円柱を、陰影をよく観察して描く。複数のモチーフが関わって出来た現象を観察し、捉える。
5回	基本図形③	個有色に差のある一つの球体を描く。色に惑わされず形の立体感を捉える。
6回	基本図形の応用	複雑な形のモチーフを描く。基本図形の組み合わせを意識して形を捉える。
7回	質感描写①	金属を描く。周囲の物がどのように影響するのかをよく観察する。
8回	質感描写②	ガラス、透明なもの、水の屈折を描く。周囲の物との影響をよく観察する。
9回	質感描写③	特徴的な質感の単体モチーフをよく見て描く。一歩踏み込んだリアルな描写を目指す。
10回	質感描写の応用①	質感の異なるモチーフを組み合わせて描く。
11回	質感描写の応用②	第10回の続き。
12回	身体描写	自分の手、または靴。身体に関係するものを描く。
13回	自画像①	鏡を配布。自分自身を描く。
14回	自画像②	第13回の続き。
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	イラストレーション科　昼間部（２年制）	2025年度	１年次・前 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	Illustrator	3	45	
教科書・教材等	デザイナーズハンドブック			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
中村麻衣子	有り/グラフィックデザイナー		高須　大地	

授業の特徴・テーマ

講義と実習を通し、クリエイティブ業界における標準アプリケーションであるIllustratorをマスターする。
制作を繰り返すトレーニングにより作品クオリティの認識を高めていく。

到達目標

Illustratorを使用しベジェ曲線によるイラストレーションを制作することができる。

授業概要

キャラクターデザイン、ロゴデザイン、ベジェ曲線の描画トレーニングを行う。

成績評価方法

◆作文・課題 70% ◆定期試験 0% ◆平常点 20% ◆授業への参加姿勢 10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	ガイダンス・初期操作	授業説明、オリエンテーション（自己紹介表に記入）アプリケーションについて
2回	ベジェ曲線	基礎であるベジェ曲線を練習し身につける
3回	練習課題	ツール基礎・文章を打つなどの7項目、ロゴトレースを行い、ベジェ曲線に慣れていく
4回	練習課題	Illustrator04.ai～Illustrator06.ai
5回	課題①	「キャラデザイン」ラフ制作/ライブペイントツールについて
6回	課題①	「キャラデザイン」イラレでの制作開始
7回	課題①	「キャラデザイン」完成
8回	課題②	「自分の好きなもの表」の制作Photoshopを組み合わせての制作or キャラデザイン(パーツ分けをして動かせるデザインに)
9回	課題②	「自分の好きなもの表」の制作Photoshopを組み合わせての制作or キャラデザイン(パーツ分けをして動かせるデザインに)
10回	課題②	「自分の好きなもの表」の制作Photoshopを組み合わせての制作or キャラデザイン(パーツ分けをして動かせるデザインに)
11回	課題②	「自分の好きなもの表」の制作Photoshopを組み合わせての制作or キャラデザイン(パーツ分けをして動かせるデザインに)
12回	課題③	「リアルイラスト」写真をそのままIllustratorで描く
13回	課題③	「リアルイラスト」写真をそのままIllustratorで描く
14回	課題③	「リアルイラスト」写真をそのままIllustratorで描く
15回	担任指導	授業開始にあたり必要に応じ担任が基礎説明や指導を行なう。

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	イラストレーション科　昼間部（２年制）	2025年度	1年次・前 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義･実習	Photoshop	3	45	
教科書･教材等	デザイナーズハンドブック			
担当教員／作成者	**実務経験の有無･職種**		**確認者**	
髙須大地	有・グラフィックデザイナー		髙須　大地	

授業の特徴･テーマ

イラストレーターやグラフィックデザイナーが自分を表現するために必要なAdobeソフト･Photoshopの使い方を学び、スキルを高める

到達目標

画像加工･イラスト制作や文字のカーニングやトンボを配置し、レイアウトしたポスターやチラシ、キャラクターデザインが制作できるようにする。入社後に操作方法を覚える必要がなく、デザインを考えることに集中できるよう、基礎を学ぶ。

授業概要

講義形式を基本とし、次の講義始めに前回の復習を行う。

成績評価方法　◆作文・課題 70% ◆定期試験 0% ◆平常点 20% ◆授業への参加姿勢 10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	ガイダンス・初期操作	授業説明、オリエンテーション（自己紹介表に記入）アプリケーションについて
2回	PSレクチャー①	Photoshopのショートカットキーと色調補正
3回	PSレクチャー②	「産学ネットワーク展」ポスター制作
4回	PSレクチャー③	ドロップシャドウにテクスチャをかける
5回	PS練習課題①	画像加工・色塗り
6回	PS練習課題②	「自分の好きなもの表」の制作Photoshopを組み合わせての制作/ラフチェック
7回	PS練習課題③	「自分の好きなもの表」の制作Photoshopを組み合わせての制作/印刷し提出
8回	PS練習課題④	「コラージュ」制作(指定された写真で組み合わせる)
9回	PS練習課題⑤	「コラージュ」制作(自分で撮影した写真を組み合わせる)
10回	PS練習課題⑥	「コラージュ」制作(自分で撮影した写真を組み合わせる)
11回	PS練習課題⑦	「リアルイラスト」写真をそのままPhotoshopで描く
12回	PS練習課題⑧	「リアルイラスト」写真をそのままPhotoshopで描く
13回	PS練習課題⑨	キャラクターコンペティション参加
14回	PS練習課題⑩	キャラクターコンペティション参加
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	イラストレーション科　昼間部 （ 2 年制 ）	2025年度	1 年次 ・ 前 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	Webデザイン1	3	45	
教科書・教材等	MacBook			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
粉奈　里衣	有 / グラフィック・WEB制作		髙須大地	

授業の特徴・テーマ

WEBデザイナーとして必要な基本的なスキルを学ぶ。

到達目標

バナー制作などの基本スキル、デザインからHTML・CSSのコーディングまでの基礎知識を学ぶ。

授業概要

WEBデザイナーの基本的なスキルを年間を通して体験し、WEBの分野への可能性を感じ取り、自ら興味を持てるようなきっかけを与える授業。

成績評価方法　◆作文・課題60%　◆定期試験　%　◆平常点 %　◆授業への参加姿勢40%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	オリエンテーション	担当講師の自己紹介｜WEBの歴史と現在のトレンド
2回	講義・実習	IllustratprとPhotoshopの違いの説明｜リンクボタン制作の講義｜Illustratprでリンクボタンを作る
3回	実習・課題	バナー制作の講義１｜Photoshopでバナーを作る｜基本キットの配布
4回	実習・課題	バナー制作の講義２｜Photoshopでバナーを作る｜２つのテーマから自由に選択してバナーの制作
5回	講義	4回目バナー制作の添削｜WEB制作の流れ｜WEBデザインのコツ
6回	講義・実習	HTMLの基本
7回	実習	HTMLの基本
8回	講義・実習	CSSの基本
9回	実習	CSSの基本
10回	講義・実習	WEBデザイン（1ページ）｜ワイヤーフレームを学ぶ｜基本キットの配布
11回	実習・課題	WEBデザイン（1ページ）
12回	実習・課題	WEBデザイン｜６～９回目でコーディングしたページのデザインを下層ページとして追加
13回	実習・課題	コーディング｜基本キットの配布
14回	実習・課題	コーディング｜基本キットの配布
15回	総合演習	

町田デザイン＆建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	イラストレーション科　昼間部（2年制）	2025年度	1年次・前期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
実習	イラストコンペ1	**3**	**45**	
教科書・教材等	**各種画材**			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
高須大地	**有 / 画家・イラストレーター**		髙須大地	

授業の特徴・テーマ

自身の作品を他者に見せることを意識する。手を休めることのないよう、常に何らかのコンペティションに向けて作品制作に取り組む。

到達目標

入選・落選を繰り返し体験する事で喜びや悔しさを感じ、忍耐力・粘り強さをを身に付けると共に
自身の作品を他者に見せることへの抵抗感を無くす。

授業概要

各自の実力を知る手だてとして公募展へ応募し、作品を発表する習慣を身に付ける。
修正を繰り返しベストな状態で出品出来るようにする。

成績評価方法　◆作文・課題 70%　◆定期試験 0%　◆平常点 20%　◆授業への参加姿勢 10%

＊平常点には小テスト等を含む
上記の割合に基づき総合的に評価する。

	授業内容	
1回	オリエンテーション	授業の概要・方針の説明、作品紹介などを行い授業内容の理解を深める。
2回	コンペ①選定・企画	複数のコンペティションの中から取り組む物を決め、アイディアの企画に入る。
3回	コンペ①企画・制作	ラフスケッチを多く制作し、講師と相談しながら作品の方向性を定めながら制作する。
4回	コンペ①制作・追求	ラフスケッチを元に制作。少しでも作品のクオリティを上げることを意識して制作し各自応募する。
5回	コンペ②選定・企画	複数のコンペティションの中から取り組む物を決め、アイディアの企画に入る。
6回	コンペ②企画・制作	ラフスケッチを多く制作し、講師と相談しながら作品の方向性を定めながら制作する。
7回	コンペ②制作・追求	ラフスケッチを元に制作。少しでも作品のクオリティを上げることを意識して制作し各自応募する。
8回	コンペ③選定・企画	複数のコンペティションの中から取り組む物を決め、アイディアの企画に入る。
9回	コンペ③企画・制作	ラフスケッチを多く制作し、講師と相談しながら作品の方向性を定めながら制作する。
10回	コンペ③制作・追求	ラフスケッチを元に制作。少しでも作品のクオリティを上げることを意識して制作し各自応募する。
11回	企業連携コンペ①・探究	秋に行われる企業連携コンペに向けて、作品の方向性などを各自探究する。
12回	企業連携コンペ①・企画①	講師と相談しながら作品アイディアを複数企画。ラフスケッチを多く制作する。
13回	企業連携コンペ①・企画②	徐々にアイディアを絞り洗練させる。制作スケジュールなども各自計画する。（夏期研修期間中も制作する）
14回	企業連携コンペ①・制作①	各自画材などを準備し、制作を開始する。デジタル、アナログどちらでも可。
15回	企業連携コンペ①・制作②	スケジュール通りに制作を進め、制作期間を守り提出する。

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	イラストレーション科　昼間部（ 2年制 ）	2025年度	1年次・前 期	必須
講義形態	授業科目名	単位数	時間数	
講義・実習	イラスト演習	3	45	
教科書・教材等				
担当教員／作成者	実務経験の有無・職種		確認者	
本田亮	有り／イラストレーター		学科長　高須大地	

授業の特徴・テーマ

商業イラストを制作するための基礎力を身に付け、自由創作ではないイラスト制作を心掛ける。

到達目標

与えられたテーマを理解・解釈し、商業目的を意識しながら自身のイラストで表現できるようにする。

授業概要

イラストレーションに必要なスキルを身に付けるために、テーマに沿ったイラスト制作を繰り返し行う。

成績評価方法	◆作文・課題　60%　◆定期試験　0%　◆平常点　30%　◆授業への参加姿勢　10%
	＊平常点には小テスト等を含む 上記の割合に基づき総合的に評価する。 ＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	「広大なヘアブラシ」①	与えられた条件を元にイラストレーションを完成させる。着手から完成に至るまでの思考＆描画プロセスも念頭に取り組む。
2回	「広大なヘアブラシ」②	1回目に引き続き。この週では講師とラフチェック予定。
3回	「広大なヘアブラシ」③	講評会を行い、自分の作品について説明する力を付け、他の人の作品から違う視点を知る。
4回	「YES or NO」①	与えられた条件を元にイラストレーションを完成させる。商業目的を意識する。完成までのプロセスも念頭に取り組む。
5回	「YES or NO」②	1回目に引き続き。この週では講師とラフチェック予定。
6回	「YES or NO」③	2回目に引き続き。この週では講師とラフチェック予定。
7回	「YES or NO」④	講評会を行い、自他の作品や考えを知る。
8回	「動物の乗り方」①	前もって与えられたテーマに沿ってイラストを完成させる。
9回	「動物の乗り方」②	1回目に引き続き。この週では講師とラフチェック予定。
10回	「動物の乗り方」③	講評会を行い、自分の作品について説明する力を付け、他の人の作品から違う視点を知る。
11回	「ストーリーとストリート」①	街にある空間から連想と発想を膨らませ、イラストレーションを完成させる。そこに至るプロセスも念頭に取り組む。
12回	「ストーリーとストリート」②	1回目に引き続き。この週では講師とラフチェック予定。
13回	「ストーリーとストリート」③	2回目に引き続き。この週では講師とラフチェック予定。
14回	「ストーリーとストリート」④	講評会を行い、自分の作品について説明する力を付け、他の人の作品から違う視点を知る。
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	イラストレーション科　昼間部　（ ２年制 ）	2025年度	１年次 ・ 前 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	イラスト表現	3	45	
教科書・教材等	画材			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
髙橋今日子	あり／イラストレーター		高須大地	

授業の特徴・テーマ

アナログ制作中心。画材を使って、絵の表現の仕方を伝えつつ、自分の発想力・創造力でイラスト制作。

到達目標

画材の使い方を覚え、絵の表現・構成の仕方を認識してもらう。

授業概要

決められた条件・テーマに沿ってイラスト制作。

成績評価方法　◆作文・課題　50%　◆定期試験　%　◆平常点　40%　◆授業への参加姿勢　10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	自己紹介	１枚のA4画用紙に自画像＋自己紹介文を書き込む（画材自由）
2回	線のバリエーションと鉛筆画	線の模様のバリエーションを数パターン案出し。案を出し終えたら、その線を使ってモチーフ画を描く（リアルに描く必要はない）。
3回	線のバリエーションと鉛筆画	上記と同じ作業
4回	点描	１枚のケント紙とミリペンを使用して、テーマに沿った絵を点描で表現する
5回	点描	上記と同じ作業
6回	パターンと風景画	パターン（模様）を8案を案出しをし、事前にこちらで用意したフォーマットにアクリルガッシュで描いていく。課題説明の時、アクリル・アクリルガッシュの違いも説明。
7回	パターンと風景画	上記と同じ作業
8回	パターンと風景画	フォーマットに描き終わった人から、風景写真を探す工程に入る。探し終えたら、その風景写真を元にパターンを使って、風景画を描いていく。
9回	パターンと風景画	上記と同じ作業
10回	パターンと風景画	上記と同じ作業
11回	パターンと風景画	上記と同じ作業
12回	「春夏秋冬」のイラスト表現	「春」「夏」「秋」「冬」の文字を使ってそれぞれの季節のイメージのイラスト表現。 漢字・ひらがな・カタカナ・英語、「春夏秋冬」を意味する文字であれば使用可能。A5画用紙４枚使用。
13回	「春夏秋冬」のイラスト表現	上記と同じ作業
14回	「春夏秋冬」のイラスト表現	上記と同じ作業
15回	総合演習	

町田デザイン＆建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	イラストレーション科 昼間部（2年制）	2025年度	1年次・前期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
実習	クリエイティブワーク1	**3**	**45**	
教科書・教材等	**各種画材**			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
高須大地	**有 / 画家・イラストレーター**		髙須大地	

授業の特徴・テーマ

通常授業の課題とは別に自主制作を主に行い、定期的に制作（活動）報告をする。

到達目標

与えられる課題に取り組むだけではなく、自ら考え制作することで自主性を身に付け、ものづくりの楽しさを再認識する。

授業概要

自らがテーマと目標を設定し自主制作を行い、イラストレーションとしての作品のクオリティをあげる為の演習。

成績評価方法　◆作文・課題 100%　◆定期試験 0%　◆平常点 0%　◆授業への参加姿勢 0%

＊平常点には小テスト等を含む
上記の割合に基づき総合的に評価する。

	授業内容	
1回	クリエイティブワーク1-① オリエンテーション	授業の概要・方針の説明、作品紹介などを行い授業内容の理解を深める。
2回	クリエイティブワーク1-② 自己紹介作品制作①	自己紹介として、自らが自信を持っている手法で自由制作をする。
3回	クリエイティブワーク1-③ 自己紹介作品制作②	自己紹介として、自らが自信を持っている手法で自由制作をする。
4回	クリエイティブワーク1-④ 定期報告	制作物と活動報告を担任に提出する。
5回	クリエイティブワーク1-⑤ 自主制作企画	自由制作、コンペ活動、画材探究など各自が活動テーマを企画する。
6回	クリエイティブワーク1-⑥ 自主制作①	自らが設定したテーマに沿って自主制作を行う。
7回	クリエイティブワーク1-⑦ 自主制作②	自らが設定したテーマに沿って自主制作を行う。
8回	クリエイティブワーク1-⑧ 定期報告	制作物と活動報告を担任に提出する。
9回	クリエイティブワーク1-⑨ 自主制作企画	自由制作、コンペ活動、画材探究など各自が活動テーマを企画する。
10回	クリエイティブワーク1-⑩ 自主制作①	自らが設定したテーマに沿って自主制作を行う。
11回	クリエイティブワーク1-⑪ 自主制作②	自らが設定したテーマに沿って自主制作を行う。
12回	クリエイティブワーク1-⑫ 定期報告	制作物と活動報告を担任に提出する。
13回	クリエイティブワーク1-⑬ 自主制作企画	自由制作、コンペ活動、画材探究など各自が活動テーマを企画する。
14回	クリエイティブワーク1-⑭ 自主制作	自らが設定したテーマに沿って自主制作を行う。
15回	クリエイティブワーク1-⑮ 定期報告	制作物と活動報告を担任に提出する。

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	イラストレーション科　昼間部(2年制)	2025年度	2年次 ・前期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	表現研究	3	45	
教科書・教材等				
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
吉永昌生	有・グラフィックデザイナー／イラストレーター		髙須大地	

授業の特徴・テーマ

デジタルだけでなく、アナログの手法も駆使し、奥行きあるデザイン及びイラスト制作を目指す

到達目標

デザイン・イラスト表現の幅を広げ、より深みのある技術とセンスを身につける。

授業概要

全14回にて、デジタル・アナログ表現を組み合わせて、文字やイラストを作成し、最終的に一つのデザイン作品を作り上げる

成績評価方法　◆作文・課題80 %　◆定期試験　　%　◆平常点10%　◆授業への参加姿勢10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	講義	この授業の方向性を説明
2回	講義・実習	デザインやイラストを作成する手法の具体例を説明。
3回	講義・実習	課題:アナログとデジタルを組み合わせた文字デザインを作成。
4回	講義・実習	授業中に課題を進めつつ、質疑応答
5回	講義・実習	課題提出
6回	講義・実習	課題:アナログとデジタルを組み合わせたイラストを作成。
7回	講義・実習	授業中に課題を進めつつ、質疑応答
8回	講義・実習	授業中に課題を進めつつ、質疑応答
9回	講義・実習	授業中に課題を進めつつ、質疑応答
10回	講義・実習	課題提出
11回	講義・実習	課題:これまで課題で作成したものを組み合わせたデザインを作成。
12回	講義・実習	授業中に課題を進めつつ、質疑応答
13回	講義・実習	授業中に課題を進めつつ、質疑応答
14回	講義・実習	課題提出
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	イラストレーション科　昼間部（２年制）	2025年度	２年次・前 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	DTP	3	45	
教科書・教材等	デザイナーズハンドブック			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
中村麻衣子	有り/グラフィックデザイナー		髙須　大地	

授業の特徴・テーマ

Adobe・Illustrator/Photoshopを使い、レイアウトデザインを学ぶ

到達目標

Adobe・Illustrator/Photoshpを使い、デザインにどういった意味を持って制作をしているかを明確化し、学生自身がしっかりと表現を説明する能力を身につける。レイアウトデザインを学ぶ(チラシ・ポスターなど)

授業概要

講義形式を基本とし、課題を制作する。

成績評価方法

◆作文・課題 70% ◆定期試験 0% ◆平常点 20% ◆授業への参加姿勢 10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	ガイダンス/課題①	ショップのチラシ制作
2回	課題①	ショップのチラシ制作
3回	課題①	ショップのチラシ制作
4回	課題①	ショップのチラシ制作/印刷して提出
5回	課題②	「見開き特集2ページ」レシピ特集制作
6回	課題②	「見開き特集2ページ」レシピ特集制作
7回	課題②	「見開き特集2ページ」レシピ特集制作
8回	課題②	「見開き特集2ページ」レシピ特集制作/印刷して提出
9回	課題③	「個展チラシ及びチケットorハガキ」の制作
10回	課題③	「個展チラシ及びチケットorハガキ」の制作
11回	課題③	「個展チラシ及びチケットorハガキ」の制作
12回	課題③	「個展チラシ及びチケットorハガキ」の制作
13回	課題③	「個展チラシ及びチケットorハガキ」の制作
14回	課題④	「オリジナル雑誌ロゴタイトル」制作
15回	担任指導	授業開始にあたり必要に応じ担任が基礎説明や指導を行なう。

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン 専門課程	イラストレーション科　昼間部（2年制）	2025年度	2年次・　前期	必須選択
講義形態	授業科目名	単位数	時間数	
講義・実習	Webデザイン2	3	45	
教科書・教材等	mac book			
担当教員／作成者	実務経験の有無・職種		確認者	
仲谷　みづき	有　webデザイナー/グラフィックデザイナー		高須大地	

授業の特徴・テーマ

ウェブデザインの基礎を知り、課題を通して作り方を習得する。
webデザイン基礎の講義や課題を通して、時代に求められているwebサイトのあり方を学ぶ。

到達目標

目的に沿ったwebサイトのデザインを制作できるようになる。
ポートフォリオに入れられる作品を3つ以上完成させる。
簡易ホームページ作成ツールを使い、自分のポートフォリオサイトの作成・公開・QRコードの発行までおこなう。

授業概要

まずは実技を中心に授業を行い、基礎的な講義も取り入れる。ただ制作するだけではなく、制作するwebサイトによってどのような課題を解決するのか意識しながら課題制作を行う。

成績評価方法	◆作文・課題　50%　◆定期試験　%　◆出席点　40%　◆授業への参加姿勢　10%
	＊平常点には小テスト等を含む 上記の割合に基づき総合的に評価する。 ＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	オリエンテーション	授業概要の説明/自己紹介シートの記入/課題①の説明（ヒアリングシート・サイトマップ・ワイヤーフレームの説明）
2回	課題①制作	課題①mdcカフェのwebデザイン　既存のワイヤーフレームをもとにフォーマットを講義形式で作成
3回	課題①制作	課題①のフォーマットへの肉付け、デザインを各自制作
4回	課題①講評	課題①の講評
5回	課題②制作	課題②説明/ヒアリングシート制作（ポートフォリオサイト）
6回	課題②制作	課題②デザイン制作
7回	課題②制作	課題②デザイン制作　ミニ講義①
8回	課題②制作/講評	課題②デザイン制作/講評
9回	課題③制作	課題③説明/ヒアリングシート制作（ECサイトorエンターテイメント系）
10回	課題③制作	課題③デザイン制作
11回	課題③制作	課題③デザイン制作　ミニ講義②
12回	課題③制作講評	課題③デザイン制作/講評
13回	課題④制作	簡易ホームページツールにてポートフォリサイトの作成
14回	課題④制作	オプション授業Photoshopでのwebデザインの基礎を習得/動画をみながらフォーマットの制作
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	イラストレーション科　昼間部　（ ２年制 ）	2025年度	２年次 ・ 前 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	アート&イラスト2	3	45	
教科書・教材等	画材			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
髙橋今日子	あり／イラストレーター		高須大地	

授業の特徴・テーマ

アナログorデジタル制作。自由に自分の今持っている発想力・創造力でイラスト制作。

到達目標

型にはまりすぎないで、表現の視野を広めてもらう。

授業概要

基本的に課題の条件を満たしていれば制作は自由。のびのびと制作をしてもらって、創造力を培っていく。

成績評価方法

◆作文・課題　50%　◆定期試験　%　◆平常点　40%　◆授業への参加姿勢　10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

＊平常点には小テスト等を含む

	授業内容	授業計画
1回	自分とは	「自分」をテーマに自己表現アート制作。「好きなもので埋め尽くす」「自分がいつも考えていること」「自分の理想」などを絵として表現。
2回	自分とは	上記と同じ作業
3回	自分とは	上記と同じ作業
4回	自分とは	上記と同じ作業
5回	だまし絵（平面の正則分割）	だまし絵の巨匠・画家のエッシャーのことを教えつつ、エッシャーの表現方法「平面の正則分割」でアート制作。ひらめきと構成力が必要なる課題。
6回	だまし絵（平面の正則分割）	上記と同じ作業
7回	だまし絵（平面の正則分割）	上記と同じ作業
8回	だまし絵（平面の正則分割）	上記と同じ作業
9回	音楽のイメージアート	音楽を1つ選んで、その曲をイメージしたアート制作。
10回	音楽のイメージアート	上記と同じ作業
11回	音楽のイメージアート	上記と同じ作業
12回	モンスターアート	自分の個性を充分に発揮してもらう課題。幅広く表現しやすいテーマが「モンスター」。
13回	モンスターアート	上記と同じ作業
14回	モンスターアート	上記と同じ作業
15回	総合演習	

町田デザイン＆建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	イラストレーション科	2025年度	2年次・前期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	イラストコンペ2	**3**	**45**	
教科書・教材等	**各種画材**			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
髙須大地	**有 / 画家・イラストレーター**		髙須　大地	

授業の特徴・テーマ

自身の作品を他者に見せることを意識する。手を休めることのないよう、常に何らかのコンペティションに向けて作品制作に取り組む。1年次の継続として、よりレベルの高いコンペティションに取り組む。

到達目標

入選・落選を繰り返し体験する事で喜びや悔しさを感じ、忍耐力・粘り強さをを身に付けると共に
自身の作品を他者に見せることへの抵抗感を無くす。

授業概要

各自の実力を知る手だてとして公募展へ応募し、作品を発表する習慣を身に付ける。修正を繰り返しベストな状態で出品出来るようにする。

成績評価方法　◆作文・課題 70%　◆定期試験 0%　◆平常点 20%　◆授業への参加姿勢 10%

＊平常点には小テスト等を含む
上記の割合に基づき総合的に評価する。

	授業内容	
1回	コンペ⑤選定・企画	自身で複数のコンペティション情報を用意し、講師と相談のうえ選定する。
2回	コンペ⑤制作・追求	ラフスケッチを多く制作し、講師と相談しながら作品の方向性を定めながら制作する。
3回	コンペ⑤制作・追求	ラフスケッチを元に制作。複数のバリエーションから制作し、徐々に洗練させていく。
4回	コンペ⑤制作・追求	少しでも作品のクオリティを上げることを意識して制作し各自応募する。
5回	コンペ⑥企画	メジャーコンペに取り組む。ラフスケッチを多く制作する。
6回	コンペ⑥企画・制作	講師との相談を繰り返し、様々なアイディアを出す。
7回	コンペ⑥制作・追求	ラフスケッチを元に制作開始。資料収集などの下準備を行う。
8回	コンペ⑥制作・追求	丁寧に制作する事を意識し、作品のクオリティを重視する。
9回	コンペ⑥制作・追求	講師と相談しながらブラッシュアップを行う。
10回	コンペ⑥制作・追求	少しでも作品のクオリティを上げることを意識して制作し各自応募する。
11回	企業連携コンペ②・探究	秋に行われる企業連携コンペに向けて、作品の方向性などを各自探究する。
12回	企業連携コンペ②・企画①	講師と相談しながら作品アイディアを複数企画。ラフスケッチを多く制作する。
13回	企業連携コンペ②・企画②	徐々にアイディアを絞り洗練させる。制作スケジュールなども各自計画する。（夏期研修期間中も制作する）
14回	企業連携コンペ②・制作①	各自画材などを準備し、制作を開始する。デジタル、アナログどちらでも可。
15回	企業連携コンペ②・制作②	スケジュール通りに制作を進め、制作期間を守り提出する。

町田デザイン＆建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	イラストレーション科　昼間部（2年制）	2025年度	2年次・前期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
実習	クリエイティブワーク2	**3**	**45**	
教科書・教材等	**各種画材**			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
髙須大地	**有 / イラストレーター**		髙須　大地	

授業の特徴・テーマ

通常授業の課題とは別に自主制作を主に行い、定期的に制作（活動）報告をする。
ポートフォリオに使用できる作品制作を目指す。

到達目標

与えられる課題に取り組むだけではなく、自ら考え制作することで自主性を身に付け、ものづくりの楽しさを再認識する。
卒業後もイラストレーションやものづくりを継続するための力を身に付ける。

授業概要

自らがテーマと目標を設定し自主制作を行い、１年次よりも高いレベルのイラストレーション制作を目指す。

成績評価方法　◆作文・課題 100%　◆定期試験 0%　◆平常点 0%　◆授業への参加姿勢 0%

＊平常点には小テスト等を含む
上記の割合に基づき総合的に評価する。

	授業内容	
1回	クリエイティブワーク2-① 自主制作企画	自由制作、コンペ活動、画材探究など各自が活動テーマを企画する。
2回	クリエイティブワーク2-② 自主制作	自らが設定したテーマに沿って自主制作を行う。
3回	クリエイティブワーク2-③ 自主制作	自らが設定したテーマに沿って自主制作を行う。
4回	クリエイティブワーク2-④ 定期報告	制作物と活動報告を担任に提出する。
5回	クリエイティブワーク2-⑤ 自主制作企画	自由制作、コンペ活動、画材探究など各自が活動テーマを企画する。
6回	クリエイティブワーク2-⑥ 自主制作	自らが設定したテーマに沿って自主制作を行う。
7回	クリエイティブワーク2-⑦ 自主制作	自らが設定したテーマに沿って自主制作を行う。
8回	クリエイティブワーク2-⑧ 定期報告	制作物と活動報告を担任に提出する。
9回	クリエイティブワーク2-⑨ 自主制作企画	自由制作、コンペ活動、画材探究など各自が活動テーマを企画する。
10回	クリエイティブワーク2-⑩ 自主制作	自らが設定したテーマに沿って自主制作を行う。
11回	クリエイティブワーク2-⑪ 自主制作	自らが設定したテーマに沿って自主制作を行う。
12回	クリエイティブワーク2-⑫ 定期報告	制作物と活動報告を担任に提出する。
13回	クリエイティブワーク2-⑬ 自主制作企画	自由制作、コンペ活動、画材探究など各自が活動テーマを企画する。
14回	クリエイティブワーク2-⑭ 自主制作	自らが設定したテーマに沿って自主制作を行う。
15回	クリエイティブワーク2-⑮ 定期報告	制作物と活動報告を担任に提出する。

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	イラストレーション科　昼間部（ 2年制 ）	2025年度	2年次・前 期	必須
講義形態	授業科目名	単位数	時間数	
講義・実習	コマーシャルアート2	3	45	
教科書・教材等	オリジナル教材・各種画材			
担当教員／作成者	実務経験の有無・職種		確認者	
本田　亮	有り／イラストレーター		学科長　高須大地	

授業の特徴・テーマ

実践的なテーマの課題を繰り返し行い、イラストレーションの意味を理解する。
作品の展開など後期に取り組む卒業制作に向けての下準備をする。

到達目標

出題テーマを掘り下げて考え、クライアントの依頼内容を正しく理解・解釈できるようにする。

授業概要

イラストレーションの本来の役割として、商用目的を意識しながら条件やテーマに沿ったイラスト制作を学ぶ。
1年次の継続として、更にステップアップした作品制作に取り組む。

成績評価方法	◆作文・課題　%　◆定期試験　%　◆平常点　%　◆授業への参加姿勢　%
	＊平常点には小テスト等を含む 上記の割合に基づき総合的に評価する。 ＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	MAPイラストレーション①	イラストレーターの定番の仕事でもあるMAPのイラストの作成をする。
2回	MAPイラストレーション②	1回目に引き続き作業。講師がグループごとにクリット（現状報告会）を行う。出来なかった分は次週に持ち越し。
3回	MAPイラストレーション③	2回目に引き続き、クリットを行う。
4回	MAPイラストレーション④	前回に引き続き作業、最終追い込み。
5回	MAPイラストレーション⑤	講評会を行う。
6回	雑誌カバーイラストレーション①	与えられた条件で、コンセプトと内容、ターゲット層を理解し、雑誌の表紙イラストレーションを作成する。
7回	雑誌カバーイラストレーション②	1回目に引き続き作業。講師がグループごとにクリット（現状報告会）を行う。出来なかった分は次週に持ち越し。
8回	雑誌カバーイラストレーション③	2回目に引き続き、クリットを行う。
9回	雑誌カバーイラストレーション④	講評会を行う。自分の作品について説明する力を付け、他の人の作品から新たな視点を知る。
10回	「TSUTAYAポップ」①	実践的な課題としてTUSTAYAの商品ラックに掲示されるポップをイラストデザインする。
11回	「TSUTAYAポップ」②	教員がグループごとにクリットを行い経過を知る。出来なかった分は次週に持ち越し。
12回	「TSUTAYAポップ」③	クリットを行う。
13回	「TSUTAYAポップ」④	引き続き作業を続ける。
14回	「TSUTAYAポップ」⑤	講評会を行う。クライアントであるTSUTAYA関係者も交え作品を選出し、実際にポップとして使用する。
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	イラストレーション科　昼間部（２年制）	2025年度	２年次・前 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	デザインワーク	3	45	
教科書・教材等	デザイナーズハンドブック			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
中村麻衣子	有り/グラフィックデザイナー		高須　大地	

授業の特徴・テーマ

Adobe・Illustrator/Photoshopを使い、SP及びレイアウトデザインを学ぶ

到達目標

Adobe・Illustrator/Photoshpを使い、全15 回にて、ターゲット・コンセプトなどを確実に設定しプロモーション展開が理解できる作品作りを行う。

授業概要

講義形式を基本とし、課題を制作する。

成績評価方法

◆作文・課題 70% ◆定期試験 0% ◆平常点 20% ◆授業への参加姿勢 10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	課題①	新商品・販促什器製作
2回	課題①	新商品・販促什器製作
3回	課題①	新商品・販促什器製作
4回	課題①	新商品・販促什器製作
5回	課題①	新商品・販促什器製作
6回	課題①	新商品・販促什器製作・プレゼンテーション
7回	課題①	新商品・販促什器製作・プレゼンテーション
8回	課題②	動物キャラクター制作(1年次の復習)
9回	課題②	動物キャラクター制作(1年次の復習)
10回	課題②	動物キャラクター制作(1年次の復習)・印刷して提出
11回	課題③	コンペティション作品制作
12回	課題③	コンペティション作品制作
13回	課題③	コンペティション作品制作
14回	課題④	夏季研修課題ガイダンス
15回	担任指導	授業開始にあたり必要に応じ担任が基礎説明や指導を行なう。

町田デザイン＆建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	イラストレーション科　昼間部（2年制）	2025年度	2年次・前期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	ポートフォリオ	**3**	**45**	
教科書・教材等	**MacBook**			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
高須大地	**有 / 画家・イラストレーター**		高須　大地	

授業の特徴・テーマ

就職活動および自身の学習成果として各自ポートフォリオ（作品集）を制作する。

到達目標

自身の得意分野など自己PRとしての効果的な見せ方、見せる相手に合わせた工夫の仕方などを学ぶ。
イラストレーターとして日頃からポートフォリオを持ち歩き、常に自身の作品をPR出来るようにする。

授業概要

就職活動やイラストの営業活動に使用するためのポートフォリオ制作を行う。
常に見やすさ・伝わりやすさを意識する。

成績評価方法　◆作文・課題 70%　◆定期試験 0%　◆平常点 20%　◆授業への参加姿勢 10%

＊平常点には小テスト等を含む
上記の割合に基づき総合的に評価する。

	授業内容	
1回	オリエンテーション	授業の概要・方針の説明、作品紹介などを行い授業内容の理解を深める。
2回	ポートフォリオ企画	過去の卒業生のポートフォリオを参考にしながら、自身のポートフォリオを企画する。 講師と相談しながら、方向性や作品の見せ方を練る。
3回		
4回		
5回	ポートフォリオ制作	見やすさ・伝わりやすさ・個性（自分らしさ）を意識しながら、ページをデザイン・構成する。
6回		
7回		
8回	課題制作	ポートフォリオに掲載できるような作品を制作して増やす。 広告デザイン、書籍の装丁デザインなど。
9回		
10回		
11回		
12回	ポートフォリオ制作	前期終了を一区切りとして、1冊のポートフォリオを完成させる。 各自、最低20ページ程度を目指す。
13回		
14回		
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	イラストレーション科昼間部（２年制）	2025年度	2年次・前 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	絵本制作	3	45	
教科書・教材等	macbook その他製本材料			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
三宅和歌子	有り ビジュアルデザイン DTP 商品企画 臨床美術士		高須大地	

授業の特徴・テーマ

各自のイラストレーションを使用して出版物として通用する絵本を制作する。

到達目標

16ページ中綴じ製本の絵本の制作。 24ページ～36ページの無線綴じハードカバーの絵本の制作。

授業概要

出版物として通用する絵本を制作するための、企画及び、手作業での美しい仕上がりの本製本を指導する。

成績評価方法　◆作文・課題 60% ◆定期試験 %◆平常点 20%◆授業への参加姿勢 20%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	授業概要	絵本の成り立ち。 制作物の提示。
2回	中綴じ製本絵本の制作	16ページ中綴じ製本の絵本 企画 ページ構成 ラフ制作。
3回	中綴じ製本絵本の制作	原画制作 個別に対応
4回	中綴じ製本絵本の制作	原画制作 個別に対応
5回	中綴じ製本絵本の制作	原画制作 個別に対応
6回	データー提出	データーチェック
7回	データーチェック	データーチェック後プリントアウト。
8回	製本作業	プリントアウト後 中綴じ製本。
9回	製本作業	プリントアウト後 中綴じ製本。
10回	製本作業	制作過程の表示 個別にデータチェック 解像度/モード/保存形式
11回	無線綴じ製本の絵本の制作	24ページ～36ページ 無線綴じハードカバー絵本 企画 ページ構成 ラフ制作。
12回	無線綴じ製本の絵本の制作	個別に対応
13回	無線綴じ製本の絵本の制作	個別に対応
14回	無線綴じ製本の絵本の制作	個別に対応
15回	総合演習	

町田デザイン＆建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	イラストレーション科科　昼間部（2年制）	2025年度	2年次・前期	講義
講義形態	**授業科目名**	**単位数**		
講義・実習	一般教養2	1	15	
教科書・教材等	内定獲得ブック			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
井比　敏紀	無		高須大地	

授業の特徴・テーマ

就職活動の準備をし、学生一人一人が円滑に就職活動を行えるよう、講義と個別2Wayでの指導

到達目標

希望職種での内定獲得

授業概要

就職活動を行いながら、社会人になるための準備をする

成績評価方法　◆作文・課題　0%　◆定期試験　0%　◆平常点　30%　◆授業への参加姿勢　70%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	到達目標
1回	オリエンテーション	就職活動に向けたキックオフ
2回	個別面談①	希望分野・業種・職種の決定
3回	個別面談②	希望分野・業種・職種の決定
4回	個別企業説明会Ⅰ	各学科にて個別企業説明会　※企業見学及び選考企業の決定
5回	個別企業説明会Ⅱ	各学科にて個別企業説明会　※企業見学及び選考企業の決定
6回	個別企業説明会Ⅲ	各学科にて個別企業説明会　※企業見学及び選考企業の決定
7回	個別企業説明会Ⅳ	各学科にて個別企業説明会　※企業見学及び選考企業の決定
8回	個別指導❶	模擬面接・履歴書作成の再確認　※学生一人ひとりが面接や履歴書に対して自信を持つ
9回	個別指導❷	模擬面接・履歴書作成の再確認　※学生一人ひとりが面接や履歴書に対して自信を持つ
10回	個別面談③	就職活動状況及び進路状況の確認　※学生一人ひとりが考えや思いを明確にする
11回	個別面談④	就職活動状況及び進路状況の確認　※学生一人ひとりが考えや思いを明確にする
12回	個別指導❸	最終的な就職活動状況(内定者と進路未決定者)確認と最終決定をする
13回	個別指導❹	最終的な就職活動状況(内定者と進路未決定者)確認と最終決定をする
14回	まとめ	就職指導授業の振り返りと社会人になる前の心得について学ぶ
15回	総合演習	

イラスト
レーション科
後期シラバス

町田デザイン＆建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	イラストレーション科　昼間部（2年制）	2025年度	1年次・後期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
実習	クリエイティブワーク1	**3**	**45**	
教科書・教材等	**各種画材**			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
高須大地	**有 / 画家・イラストレーター**		高須　大地	

授業の特徴・テーマ

通常授業の課題とは別に自主制作を主に行い、定期的に制作（活動）報告をする。

到達目標

与えられる課題に取り組むだけではなく、自ら考え制作することで自主性を身に付け、ものづくりの楽しさを再認識する。

授業概要

自らがテーマと目標を設定し自主制作を行い、イラストレーションとしての作品のクオリティをあげる為の演習。

成績評価方法　◆作文・課題 100%　◆定期試験 0%　◆平常点 0%　◆授業への参加姿勢 0%

＊平常点には小テスト等を含む
上記の割合に基づき総合的に評価する。

	授業内容	
1回	クリエイティブワーク1-① 自主制作企画	自由制作、コンペ活動、画材探究など各自が活動テーマを企画する。
2回	クリエイティブワーク1-② 自主制作①	自らが設定したテーマに沿って自主制作を行う。
3回	クリエイティブワーク1-③ 自主制作②	自らが設定したテーマに沿って自主制作を行う。
4回	クリエイティブワーク1-④ 定期報告	制作物と活動報告を担任に提出する。
5回	クリエイティブワーク1-⑤ 自主制作企画	自由制作、コンペ活動、画材探究など各自が活動テーマを企画する。
6回	クリエイティブワーク1-⑥ 自主制作①	自らが設定したテーマに沿って自主制作を行う。
7回	クリエイティブワーク1-⑦ 自主制作②	自らが設定したテーマに沿って自主制作を行う。
8回	クリエイティブワーク1-⑧ 定期報告	制作物と活動報告を担任に提出する。
9回	クリエイティブワーク1-⑨ 自主制作企画	自由制作、コンペ活動、画材探究など各自が活動テーマを企画する。
10回	クリエイティブワーク1-⑩ 自主制作	自らが設定したテーマに沿って自主制作を行う。
11回	クリエイティブワーク1-⑪ 定期報告	制作物と活動報告を担任に提出する。
12回	クリエイティブワーク1-⑫ 進級ワーク①企画	1年次の集大成としての作品を企画する。ラフスケッチを多く制作する。
13回	クリエイティブワーク1-⑬ 進級ワーク②制作	ラフスケッチを元に自主制作を行う。
14回	クリエイティブワーク1-⑭ 進級ワーク③制作	ラフスケッチを元に自主制作を行う。
15回	クリエイティブワーク1-⑮ 進級ワーク④制作・発表	完成した作品は学内にて展示・発表を行う。

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	イラストレーション科　昼間部（ 2年制 ）	2025年度	1年次・後 期	必須
講義形態	授業科目名	単位数	時間数	
講義・実習	コマーシャルアート1	3	45	
教科書・教材等	オリジナル教材・各種画材			
担当教員／作成者	実務経験の有無・職種		確認者	
本田亮	有り／イラストレーター		学科長　高須大地	

授業の特徴・テーマ

実践的なテーマの課題を繰り返し行い、イラストレーションとイラストレーターの仕事の意味を理解する。

到達目標

出題テーマを掘り下げて考え、クライアントの依頼内容を正しく理解・解釈・対応できるようにする。

授業概要

イラストレーションの本来の役割として、商用目的を意識しながら、条件やテーマに沿ったイラスト制作を学ぶ。

成績評価方法	◆作文・課題　60%　◆定期試験　0%　◆平常点　30%　◆授業への参加姿勢　10%
	＊平常点には小テスト等を含む 上記の割合に基づき総合的に評価する。 ＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	挿絵イラスト制作①	与えられた物語に挿絵を付ける実践的なイラスト制作。文章を読み解き、サイズや読者を意識して作成する。
2回	挿絵イラスト制作①	講師とラフチェックを行う。内容に応じて修正を施す。
3回	挿絵イラスト制作①	講師とラフチェックを行う。内容に応じて修正を施す。
4回	挿絵イラスト制作①	講評会を行う。自分の作品について説明する力をつけ、他の人の作品から別の視点を学ぶ。
5回	WEBサイトイラスト制作①	与えられたウェブサイトのイラストレーションを作成する。クライアントの需要や条件に合わせてイラスト制作をする。
6回	WEBサイトイラスト制作②	各自作業。講師とラフチェックを行う。内容に応じて修正を施す。
7回	WEBサイトイラスト制作③	講師とラフチェックを行う。内容に応じて修正を施す。
8回	WEBサイトイラスト制作④	講評会を行う。自分の作品について説明する力をつけ、他の人の作品から別の視点を学ぶ。
9回	ショップサインイラスト制作①	町田の書店の看板となるイラストレーションを作成する。最終的に選別されたものは実際に使用されることになる。
10回	ショップサインイラスト制作②	各自作業。講師とラフチェックを行う。内容に応じて修正
11回	ショップサインイラスト制作③	講師とラフチェックを行う。内容に応じて修正を施す。
12回	ショップサインイラスト制作④	作品提出日。書店に作品を渡し、書店、学校での投票期間に入る。
13回	人のために描こう①	与えられた人物の壁の為に絵を描くという課題。大きな相手だけではなく、一個人のことを思って絵を描く課題。
14回	人のために描こう②	課題提出。講評会。
15回	総合演習	

町田デザイン＆建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	イラストレーション科　昼間部（２年制）	2025年度	1年次・後期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	一般教養	1	15	
教科書・教材等	内定獲得ブック			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
井比　敏紀			髙須　大地	

授業の特徴・テーマ

次年度の就職活動に向けて、基礎的な知識や心構え、書類の書き方、面接・試験対策など学び、内定を獲得するための講義とする

到達目標

学生一人一人が就職活動に必要なスキルを身につけ、希望職種でのを内定獲得を目指す

授業概要

就職意義と目的を理解し、基礎から学びながら就活の流れを把握して、必要な知識と力を身につける

成績評価方法　◆作文・課題　0%　◆定期試験　0%　◆平常点　30%　◆授業への参加姿勢　70%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	就職する意義・目的	就職する意義と目的をきちんと認識し、就職意識を高める
2回	会社・業種・職種について	会社・業種・職種の違いについて理解する
3回	求人票について ※求人の探し方について	求人票の見方、求人検索のコツについて理解する
4回	自己分析(過去・現在・未来)の自分史について	自分自身と向き合い、自分史を作成する
5回	自己分析(成長できたこと) ※肯定的な自己分析	自分史を元に肯定的な自己分析をする
6回	自己PRについて	履歴書・面接時に有利な自己PRを作成する
7回	志望動機について① ※自己PR返却	志望動機について理解する
8回	志望動機について②	志望動機の書き方をマスターし作成する
9回	履歴書の書き方	履歴書の書き方をマスターし作成する
10回	求める人物像(具体的に)と人間力について	企業が求める人物像を理解し、必要な人間力を学ぶ
11回	面接に臨む姿勢・心得 ※動画視聴含む	面接試験の種類や流れを知り、面接試験時の姿勢や心得を学ぶ
12回	模擬面接①	実践的な模擬面接を行い、面接におけるスキルを身につける
13回	模擬面接②	実践的な模擬面接を行い、面接におけるスキルを身につける
14回	まとめ	本格的な就職活動に向けての最終確認をする
15回	総合演習	

町田デザイン＆建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	イラストレーション科　昼間部(2年制)	2025年度	1年次・後期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	画材技法研究	**6**	**90**	
教科書・教材等	**オリジナル教材、各種画材**			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
高須大地	**有 / 画家・イラストレーター**		高須　大地	

授業の特徴・テーマ

時代的にはデジタルでの制作が多いが、デジタル技法を活かすために、その基礎となるアナログ技法や知識を身に付ける。

到達目標

鉛筆、色鉛筆、水彩絵具、アクリル絵具、シルクスクリーン など、様々なアナログ技法を学び、制作技法の選択肢を広げる。

授業概要

様々な画材・技法を体験し、自らのイラストレーションの幅を広げ実践に活用できるスキルを学ぶ。

成績評価方法　◆作文・課題 70%　◆定期試験 0%　◆平常点 20%　◆授業への参加姿勢 10%

＊平常点には小テスト等を含む
上記の割合に基づき総合的に評価する。

	授業内容	
1回	印刷概論	印刷に関する歴史、基礎知識を講義する。
2回	シルクスクリーン体験	シルクスクリーン技法を用いて、印刷や版画の体験をする。
3回		
4回	テクスチャ素材活用	布、紙など様々なアナログ素材をスキャン/撮影し、オリジナルのテクスチャ素材を収集する。 自身のイラストにテテクスチャ素材を用いて作品を制作する。
5回		
6回		
7回	写真とイラスト	自身で撮影した写真とイラストを融合させて作品を制作する。 イラストだけではできない表現手法や画像加工技術の修得。
8回		
9回		
10回		
11回	着せ替えイラスト	春夏秋冬のファッションをテーマに、着せ替えイラストを制作する。 アナログ画材からデジタルスキルまで、これまで身に付けた技法を活かすことを意識する。
12回		
13回		
14回		
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	イラストレーション科　昼間部（２年制）	2025年度	１年次・後 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	写真撮影	3	45	
教科書・教材等	講師作成資料、カメラ			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
海保竜平	有・フォトグラファー		高須大地	

授業の特徴・テーマ

カメラの構造への理解　使いこなすための撮影実習　好奇心と観察力を養う

到達目標

カメラを使えるようになる　光源と陰影の理解　イメージした構図を写真に落とし込む　組み写真の作成

授業概要

カメラへの理解　フォトグラファーの目線・デザイナーの目線でみる被写体の捉え方

成績評価方法　◆作文・課題　％　◆定期試験　％　◆平常点　％　◆授業への参加姿勢　％

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	オリエンテーション	講師紹介　カメラについて（フィルムとデジタル）　カメラの構造　写真の読み方
2回	撮影基礎　1	撮影感度　F値（絞り）とシャッタースピード　グループ撮影
3回	撮影基礎　2	レンズについて　構図の作り方　グループ撮影
4回	撮影基礎　3	商品（ブツ）の見方　レンズの選択　撮り方
5回	撮影基礎　4	ライティングについて　ストロボや光源の種類　Lightroom
6回	撮影実習　1	フード撮影
7回	撮影実習　2	写真集持参（講師）　写真の歴史やジャンル　様々な写真集から写真家を知ってもらう
8回	撮影実習　3	最終課題テーマ決め　ラフ作成
9回	撮影実習　4	ポートレート撮影
10回	撮影実習　5	ブツ撮影
11回	撮影実習　6	最終課題撮影（テーマ決め）
12回	撮影実習　7	最終課題撮影
13回	撮影実習　8	最終課題撮影
14回	最終課題好評	最終課題撮影　提出
15回	総合演習	各自課題発表

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	イラストレーション科　昼間部（２年制）	2025年度	１年次・後 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	描画演習	3	45	
教科書・教材等	各種画材			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
勝亦　勇	有り（グラフィックデザイナー・イラストレーター）		高須　大地	

授業の特徴・テーマ

物の形と構造を把握し、制作に取り組む方法を学ぶ。

到達目標

制作に関する物の形や構造に対する理解度向上を目指す。

授業概要

人物画を中心に描画工程を分解して実習・実践をおこなう。各自で繰り返しおこなえるトレーニング方法も指導する。また、イラストレーション史なども座学として講義をおこなっていく。

成績評価方法　◆作文・課題　40%　◆定期試験　20%　◆平常点　20%　◆授業への参加姿勢　20%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	動物画	動物（猫・犬）の描画実習。
2回	動物画	動物（猫・犬）の描画実習。
3回	動物画	動物（鳥）の描画実習。
4回	動物画	動物（鳥）の描画実習。
5回	動物画	動物（馬）の描画実習。
6回	動物画	動物（馬）の描画実習。
7回	人物画	人物クロッキーによる素描。
8回	人物画	人物クロッキーによる素描。
9回	課題制作	構図の講義と指導、制作テーマの調査。
10回	課題制作	課題のエスキース制作と経過確認。
11回	課題制作	課題制作の下絵制作を目安に実践。
12回	課題制作	課題制作の着彩から完成を目安に実践。
13回	小レポート	期末の授業内レポート。
14回	講評会	後期最終課題の全体講評会。
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	イラストレーション科　昼間部（ 2年制 ）	2025年度	1年次・後 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	Illustrator	3	45	
教科書・教材等	デザイナーズハンドブック			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
中村麻衣子	有り/グラフィックデザイナー		高須　大地	

授業の特徴・テーマ

講義と実習を通し、クリエイティブ業界における標準アプリケーションであるIllustratorをマスターする。
制作を繰り返すトレーニングにより作品クオリティの認識を高めていく。

到達目標

Illustratorを使用しベジェ曲線によるイラストレーションを制作することができる。

授業概要

前期の学習を引き継ぎベジェイラストによるイラスト描画の技術向上を図る。また、A4サイズを対象に、レポートや書類作成時の余白の取り方、文字間・行間の取り方といったレイアウトについても学習する。

成績評価方法

◆作文・課題 70% ◆定期試験 0% ◆平常点 20% ◆授業への参加姿勢 10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	後期課題①	コンペティションに向けた課題の制作(Illustratorのみを使用する)
2回	後期課題①	コンペティションに向けた課題の制作(Illustratorのみを使用する)
3回	後期課題①	コンペティションに実際提出
4回	後期課題②	タイトルロゴ制作・バランスを考える
5回	後期課題②	タイトルロゴ制作・バランスを考える
6回	後期課題②	タイトルロゴ制作・バランスを考える
7回	後期課題③	季節のハガキ制作（ラフ制作）
8回	後期課題③	季節のハガキ制作（Illustratorのみで制作）
9回	後期課題③	季節のハガキ制作（提出）
10回	後期課題④	アイコン制作or紹介表の制作
11回	後期課題④	アイコン制作or紹介表の制作
12回	後期課題④	アイコン制作or紹介表の制作
13回	後期課題⑤	特集ページ制作orキャラクターデザインⅡ
14回	後期課題⑤	特集ページ制作orキャラクターデザインⅡ

15回	担任指導	授業開始にあたり必要に応じ担任が基礎説明や指導を行なう。

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	イラストレーション科　昼間部（２年制）	2025年度	1年次・後 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	Photoshop	3	45	
教科書・教材等	デザイナーズハンドブック			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
髙須大地	有・グラフィックデザイナー		髙須大地	

授業の特徴・テーマ

イラストレーターやグラフィックデザイナーが自分を表現するために必要なAdobeソフト・Photoshop＆Illustratorの使い方を学び、スキルを高める

到達目標

画像加工・イラスト制作や文字のカーニングやトンボを配置し、レイアウトしたポスターやチラシ、キャラクターデザインが制作できるようにする。入社後に操作方法を覚える必要がなく、デザインを考えることに集中できるよう、基礎を学ぶ。

授業概要

講義形式を基本とし、講義の後復習として動画にて用意した課題を行う。

成績評価方法　◆作文・課題 70% ◆定期試験 0% ◆平常点 20% ◆授業への参加姿勢 10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	後期課題練習①	画像加工の練習
2回	後期課題練習②	真似して加工する(指定された画像を使って同じように加工を行う)
3回	後期課題練習③	指定ツールを使って塗り絵練習
4回	後期練習課題④	ハガキサイズのイラスト制作
5回	後期練習課題④	ハガキサイズのイラスト制作
6回	後期練習課題④	ハガキサイズのイラスト制作
7回	テスト	画像加工テスト
8回	後期課題⑤	紹介表の制作(ラフ制作開始)
9回	後期課題⑤	紹介表の制作(実際の制作作業へ)
10回	後期課題⑤	紹介表の制作(制作作業)
11回	後期課題⑤	紹介表の制作(印刷し提出)
12回	後期課題⑥	特集ページ制作
13回	後期課題⑥	特集ページ制作
14回	後期課題⑥	特集ページ制作
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	イラストレーション科　昼間部 （ 2 年制 ）	2025年度	1 年次 ・ 後 期	選択
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	Webデザイン1	3	45	
教科書・教材等	MacBook			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
粉奈　里衣	有 / グラフィック・WEB制作		髙須大地	

授業の特徴・テーマ

Wordpressの機能理解、操作方法・外観制作までを習得する。

到達目標

Wordpressの構造理解・インストール・管理画面の操作～外観の作成の一通りのスキルを身につけ、WordPressの機能を使うことで全てコーディングしなくともWEBサイトを制作できる楽しさを知り、興味をもたせる。

授業概要

全授業でデザインから構築まで、WordPressを使い自身のポートフォリオサイトを制作し、WEB制作の過程を学ぶ。

成績評価方法　◆作文・課題60%　◆定期試験　%　◆平常点　%　◆授業への参加姿勢40%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	前期の復習	前期の授業で学んだHTMLとCSSの復習
2回	講義	WEBサイトを公開するには｜ドメイン・サーバーの役割
3回	講義	CMSとは｜Wordpressとは
4回	講義・実習	Wordpressのローカル環境構築｜Wordpressの基本操作を学ぶ
5回	講義・実習	自身のポートフォリオサイトを企画する｜コンセプト・構造を考える
6回	講義・実習	ワイヤーフレーム制作｜WordPressの指定テーマあり
7回	実習	ワイヤーフレーム制作｜デザインに入る前のチェックとアドバイス
8回	実習課題：自己サイト	各ページのデザイン（Illustrator、Photoshop等）｜WordPressの指定テーマあり
9回	実習課題：自己サイト	各ページのデザイン（Illustrator、Photoshop等）
10回	実習課題：自己サイト	各ページのデザイン（Illustrator、Photoshop等）
11回	実習課題：自己サイト	Wordpressのローカル環境構築にて構築｜WordPressの指定テーマあり
12回	実習課題：自己サイト	Wordpressのローカル環境構築にて構築
13回	実習課題：自己サイト	Wordpressのローカル環境構築にて構築
14回	実習課題：自己サイト	Wordpressのローカル環境構築にて構築｜WordPress以外のノーコードツールの紹介
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	イラストレーション科　昼間部　（ ２年制 ）	2025年度	１年次 ・ 後 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	アート&イラスト	3	45	
教科書・教材等	画材			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
髙橋今日子	あり／イラストレーター		高須大地	

授業の特徴・テーマ

アナログorデジタル制作。自由に自分の今持っている発想力・創造力でイラスト制作。

到達目標

型にはまりすぎないで、表現の視野を広めてもらう。

授業概要

基本的に課題の条件を満たしていれば制作は自由。のびのびと制作をしてもらって、創造力を培っていく。

成績評価方法

◆作文・課題　50%　◆定期試験　%　◆平常点　40%　◆授業への参加姿勢　10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

＊平常点には小テスト等を含む

	授業内容	授業計画
1回	色をテーマにアート制作	5つの色を使って、自由にアート表現。
2回	色をテーマにアート制作	上記と同じ作業
3回	色をテーマにアート制作	上記と同じ作業
4回	色をテーマにアート制作	上記と同じ作業
5回	似顔絵アート制作	著名人を一人選んで、描き方の表現など自由な発想で似顔絵アートを制作。
6回	似顔絵アート制作	上記と同じ作業
7回	似顔絵アート制作	上記と同じ作業
8回	短編小説とミクストメディア	5分～10分くらいで読める短編小説をこちらで準備し、それを読んでもらう。読み終えたら、その小説のワンシーンや全体のメージ、もしくは自分なりに解釈・感じ取ったものをミクストメディアで表現。
9回	短編小説とミクストメディア	上記と同じ作業
10回	短編小説とミクストメディア	上記と同じ作業
11回	短編小説とミクストメディア	上記と同じ作業
12回	短編小説とミクストメディア	上記と同じ作業
13回	1年の振り返り	1年を振り返って、印象的だったことや記憶に残ったことなど、自分なりに絵で表現。
14回	1年の振り返り	上記と同じ作業
15回	総合演習	

町田デザイン＆建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	イラストレーション科　昼間部（2年制）	2025年度	1年次・後期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	イラストコンペ1	**3**	**45**	
教科書・教材等	**各種画材**			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
高須大地	**有 / 画家・イラストレーター**		高須　大地	

授業の特徴・テーマ

自身の作品を他者に見せることを意識する。手を休めることのないよう、常に何らかのコンペティションに向けて作品制作に取り組む。

到達目標

入選・落選を繰り返し体験する事で喜びや悔しさを感じ、忍耐力・粘り強さをを身に付けると共に
自身の作品を他者に見せることへの抵抗感を無くす。

授業概要

各自の実力を知る手だてとして公募展へ応募し、作品を発表する習慣を身に付ける。
修正を繰り返しベストな状態で出品出来るようにする。

成績評価方法　◆作文・課題 70%　◆定期試験 0%　◆平常点 20%　◆授業への参加姿勢 10%

＊平常点には小テスト等を含む
上記の割合に基づき総合的に評価する。

	授業内容	
1回	コンペ④選定・企画	複数のコンペティションの中から取り組む物を決め、アイディアの企画に入る。
2回	コンペ④企画・制作①	ラフスケッチを多く制作し、講師と相談しながら作品の方向性を定めながら制作する。
3回	コンペ④制作・追求①	ラフスケッチを元に制作。少しでも作品のクオリティを上げることを意識する。
4回	コンペ④制作・追求②	最後まで作品のクオリティを追求し、各自応募する。
5回	連携コンペ・概要	グラフィックデザイン科との連携コンペ（グラフィックデザイン科からのイラスト依頼）に取り組む。
6回	連携コンペ・企画①	依頼内容を把握し、アイディア企画を開始する。（グラフィックデザイン科と相談可）
7回	連携コンペ・企画②	ラフスケッチを多く制作し、グラフィックデザイン科に提出。赤字修正を貰う。
8回	連携コンペ・制作①	赤字修正内容を踏まえて制作を開始する。必要であれば複数バリエーションを用意する。
9回	連携コンペ・制作②	作品のクオリティを上げ、ベストな状態で提出。グラフィックデザイン科による選定を待つ。
10回	連携コンペ・選定・講評	選定後、完成された作品の講評会を合同で行う。
11回	企業連携コンペ②・探究	秋に行われる企業連携コンペに向けて、作品の方向性などを各自探究する。
12回	企業連携コンペ②・企画①	講師と相談しながら作品アイディアを複数企画。ラフスケッチを多く制作する。
13回	企業連携コンペ②・企画②	徐々にアイディアを絞り洗練させる。制作スケジュールなども各自計画する。
14回	企業連携コンペ②・制作①	各自画材などを準備し、制作を開始する。デジタル、アナログどちらでも可。
15回	企業連携コンペ②・制作②	スケジュール通りに制作を進め、制作期間を守り提出する。

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	イラストレーション科　昼間部（２年制）	2025年度	２年次・後 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	デザインワーク	3	45	
教科書・教材等	デザイナーズハンドブック			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
中村麻衣子	有り/グラフィックデザイナー		高須　大地	

授業の特徴・テーマ

Adobe・Illustrator/Photoshopを使い、SP及びレイアウトデザインを学ぶ

到達目標

Adobe・Illustrator/Photoshpを使い、全15 回にて、ターゲット・コンセプトなどを確実に設定しプロモーション展開が理解できる作品作りを行う。

授業概要

講義形式を基本とし、課題を制作する。

成績評価方法

◆作文・課題 70% ◆定期試験 0% ◆平常点 20% ◆授業への参加姿勢 10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	後期課題①	雑誌の表紙制作(他のクラスメイトが作成したタイトルロゴを使用する)
2回	後期課題①	雑誌の表紙制作(他のクラスメイトが作成したタイトルロゴを使用する)
3回	後期課題①	雑誌の表紙制作(他のクラスメイトが作成したタイトルロゴを使用する)
4回	後期課題①	雑誌の表紙制作(他のクラスメイトが作成したタイトルロゴを使用する)
5回	後期課題①	雑誌の表紙制作印刷を行い・たち落とし提出
6回	後期課題②	コンペティション
7回	後期課題②	コンペティション
8回	後期課題②	コンペティション
9回	後期課題②	コンペティション実際に提出
10回	後期課題③	ショップロゴマークおよびショップカードの制作
11回	後期課題③	ショップロゴマークおよびショップカードの制作
12回	後期課題③	ショップロゴマークおよびショップカードの制作
13回	後期課題③	ショップロゴマークおよびショップカードの制作
14回	後期課題③	ショップロゴマークおよびショップカードの制作
15回	担任指導	授業開始にあたり必要に応じ担任が基礎説明や指導を行なう。

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	イラストレーション科昼間部（２年制）	2025年度	２年次・後 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義･実習	絵本制作	3	45	
教科書･教材等	macbook その他製本材料			
担当教員／作成者	**実務経験の有無･職種**		**確認者**	
三宅和歌子	有り ビジュアルデザイン DTP 商品企画 臨床美術士		高須大地	

授業の特徴･テーマ

各自のイラストレーションを使用して出版物として通用する絵本を制作する。

到達目標

16ページ中綴じ製本の絵本の制作。 24ページ～36ページの無線綴じハードカバーの絵本の制作。

授業概要

出版物として通用する絵本を制作するための、企画及び、手作業での美しい仕上がりの本製本を指導する。

成績評価方法　◆作文･課題 60% ◆定期試験 %◆平常点 20%◆授業への参加姿勢 20%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	授業概要	後期授業概要 無線綴じ製本絵本の制作
2回	無線綴じ製本絵本の制作	企画 レイアウトラフ 初稿
3回	無線綴じ製本絵本の制作	原画制作 個別に対応
4回	無線綴じ製本絵本の制作	原画制作 個別に対応
5回	無線綴じ製本絵本の制作	原画制作 個別に対応
6回	データー提出	データーチェック
7回	初稿提出	初稿チェック
8回	第二校提出	第二校チェック
9回	最終稿提出	最終稿チェック
10回	本の装丁	個別に対応
11回	無線綴じ製本の仕立て方	24ページ～36ページ 無線綴じハードカバー絵本 制作説明
12回	製本作業	個別に対応
13回	製本作業	製本して提出
14回	プレゼン及び鑑賞会	
15回	総合演習	

町田デザイン＆建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	イラストレーション科　昼間部(2年制)	2025年度	2年次・後期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	就活総合ワーク	**3**	**45**	
教科書・教材等	**MacBook、筆記具**			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
高須大地	**有 / 画家・イラストレーター**		高須　大地	

授業の特徴・テーマ

就職活動を行うに当たり学生自らが希望する企業と、担任の視点からみた客観的な意見を面談することにより、
自分にあったデザイン企業の就職を目指す　※離職率の低下も含める

到達目標

希望する企業へ適切なアプローチができるよう、
ポートフォリオ・ビジネスマナー・模擬面接などで就活へ挑めるようにする

授業概要

学生が受けたい企業を主体的に選出し、その企業に沿ったアプローチができるような指導を個別に行っていく。
就職内定済みの学生は、自身の作品制作を行う。

成績評価方法　◆作文・課題 0%　◆定期試験 0%　◆平常点 50%　◆授業への参加姿勢 50%

＊平常点には小テスト等を含む
上記の割合に基づき総合的に評価する。

	授業内容	
1回	オリエンテーション	就活総合ワークの趣旨・授業評価基準などを徹底。講義：デザイン企業の話・就活に関する心構え
2回	企業選定・個別面談	希望する企業・職種をまとめポートフォリオの見直しを行う
3回	企業選定・個別面談	希望する企業・職種をまとめポートフォリオの見直しを行う
4回	ポートフォリオチェック	希望する企業に沿ったポートフォリオになっているかをチェック
5回	ポートフォリオチェック	希望する企業に沿ったポートフォリオになっているかをチェック
6回	企業選定・個別面談	希望する企業・職種をまとめポートフォリオの見直しを行う
7回	企業選定・個別面談	希望する企業・職種をまとめポートフォリオの見直しを行う
8回	履歴書添削	自己PRの書き方 志望動機の書き方などをチェック
9回	履歴書添削	自己PRの書き方 志望動機の書き方などをチェック
10回	企業選定・個別面談	希望する企業・職種をまとめポートフォリオの見直しを行う
11回	企業選定・個別面談	希望する企業・職種をまとめポートフォリオの見直しを行う
12回	企業選定・個別面談	希望する企業・職種をまとめポートフォリオの見直しを行う
13回	企業選定・個別面談	希望する企業・職種をまとめポートフォリオの見直しを行う
14回	ポートフォリオチェック	希望する企業に沿ったポートフォリオになっているかをチェック
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	イラストレーション科　昼間部（２年制）	2025年度	２年次・後 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	デザインワーク	3	45	
教科書・教材等	デザイナーズハンドブック			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
中村麻衣子	有り/グラフィックデザイナー		髙須　大地	

授業の特徴・テーマ

自身の制作したいものにフォーカスをあて、講師との連携・下準備を徹底して大切に時間の使い方を考える。「イラストレーション」を使ったSP作品を制作することを意識する。

到達目標

講師との連携（人との情報共有）を高め、２年間学んできた成果を発表できるよう、完成させる力を身につける。

授業概要

2年間で学んだ技術を持ちいて渾身の作品を制作する。

成績評価方法

◆作文・課題 70% ◆定期試験 0% ◆平常点 20% ◆授業への参加姿勢 10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	卒業制作企画①	卒制の手順確認・資料収集などの下準備を行う。
2回	卒業制作企画②	制作テーマを定め、具体案を企画する。
3回	卒業制作企画③	テーマ内容の詳細を決め・スケッチなどを行う
4回	卒業制作①	テーマを元に本格的に制作を開始する。
5回	卒業制作②	実際の作品制作の開始
6回	卒業制作③	試作等を行いながら試行錯誤する。
7回	卒業制作④	講師と連携をしながら作品の制作を行う
8回	卒業制作⑤	講師と連携をしながら作品の制作を行う
9回	卒業制作⑥	講師と連携をしながら作品の制作を行う
10回	卒業制作⑦	印刷や色合いの見せ方の確認
11回	卒業制作⑧	小物などの制作
12回	卒業制作⑨	講師と連携をしながら作品の制作を行う
13回	卒業制作⑩	講師と確認を行いながら仕上げ作業などを行う
14回	発表練習	講評会に向け、プレゼンテーションの練習・見せ方の工夫
15回	総合演習	最終発表・展示準備。

町田デザイン＆建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	イラストレーション科　昼間部（2年制）	2025年度	2年次・後期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	卒業制作	**18**	**270**	
教科書・教材等	**各種画材**			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
高須大地	**有 / 画家・イラストレーター**		高須大地	

授業の特徴・テーマ

自身が何を制作したいかをよく考え、下準備を大切にする。「イラストレーション」作品を制作することを意識する。

到達目標

制作テーマ、必要な物、見せ方など、自ら考え制作し完成させる力を訓練する。

授業概要

前期卒業制作研究の課題を自ら発展させ、2年間で学んだことを振り返り
身につけた知識、スキルを活かしながら、自身の想いを一つの作品にする。

成績評価方法　◆作文・課題 70%　◆定期試験 0%　◆平常点 20%　◆授業への参加姿勢 10%

＊平常点には小テスト等を含む
上記の割合に基づき総合的に評価する。

	授業内容	
1-5回	卒業制作企画①	講師と相談しながら制作テーマを定め、具体案を企画する。
6-10回	卒業制作企画②	制作テーマを定め、具体案を企画する。ラフスケッチを多く制作する。
11-15回	卒業制作企画③	制作テーマを定め、具体案を企画する。資料収集などの下準備を行う。
16-20回	卒業制作1期①	テーマを元に本格的に制作を開始する。
21-25回	卒業制作1期②	テーマを元に本格的に制作を開始する。試作等を行いながら試行錯誤する。
26-30回	卒業制作1期③	テーマを元に本格的に制作を開始する。試作等を行いながら試行錯誤する。
31-35回	卒業制作2期①	作品のバリエーションを増やすなど、ボリュームを上げる。
36-40回	卒業制作2期②	作品のバリエーションを増やすなど、ボリュームを上げる。
41-45回	卒業制作2期③	作品のバリエーションを増やすなど、ボリュームを上げる。中間チェック準備。
46-50回	中間チェック	講評会にて中間チェック。意見交換などを行い、修正や仕上げの計画を立てる。
51-55回	卒業制作3期①	修正や追加を加えて完成に向けて作品全体のクオリティを上げる。
56-60回	卒業制作3期②	修正や追加を加えて完成に向けて作品全体のクオリティを上げる。
61-65回	卒業制作3期③	修正や追加を加えて完成に向けて作品全体のクオリティを上げる。
66-70回	卒業制作3期④	講師と相談しながら作品の仕上げを行う。
71-75回	卒業制作3期⑤	講師と相談しながら作品の仕上げを行う。最終発表・展示準備。

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	イラストレーション科　昼間部（２年制）	2025年度	１年次・後 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	アート&イラスト1	3	45	
教科書・教材等	画材			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
髙橋今日子	あり／イラストレーター		髙須大地	

授業の特徴・テーマ

アナログorデジタル制作。自由に自分の今持っている発想力・創造力でイラスト制作。

到達目標

型にはまりすぎないで、表現の視野を広めてもらう。

授業概要

基本的に課題の条件を満たしていれば制作は自由。のびのびと制作をしてもらって、創造力を培っていく。

成績評価方法　◆作文・課題　50%　◆定期試験　%　◆平常点　40%　◆授業への参加姿勢　10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	色をテーマにアート制作	5つの色を使って、自由にアート表現。
2回	色をテーマにアート制作	上記と同じ作業
3回	色をテーマにアート制作	上記と同じ作業
4回	色をテーマにアート制作	上記と同じ作業
5回	似顔絵アート制作	著名人を一人選んで、描き方の表現など自由な発想で似顔絵アートを制作。
6回	似顔絵アート制作	上記と同じ作業
7回	似顔絵アート制作	上記と同じ作業
8回	短編小説とミクストメディア	5分～10分くらいで読める短編小説をこちらで準備し、それを読んでもらう。読み終えたら、その小説のワンシーンや全体のイメージ、もしくは自分なりに解釈・感じ取ったものをミクストメディアで表現。
9回	短編小説とミクストメディア	上記と同じ作業
10回	短編小説とミクストメディア	上記と同じ作業
11回	短編小説とミクストメディア	上記と同じ作業
12回	短編小説とミクストメディア	上記と同じ作業
13回	1年の振り返り	1年を振り返って、印象的だったことや記憶に残ったことなど、自分なりに絵で表現。
14回	1年の振り返り	上記と同じ作業
15回	総合演習	

町田デザイン＆建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	イラストレーション科　昼間部（2年制）	2025年度	2年次・後期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
実習	クリエイティブワーク2	**3**	**45**	
教科書・教材等	**各種画材**			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
高須大地	**有 / イラストレーター**		高須大地	

授業の特徴・テーマ

通常授業の課題とは別に自主制作を主に行い、定期的に制作（活動）報告をする。
ポートフォリオに使用できる作品制作を目指す。

到達目標

与えられる課題に取り組むだけではなく、自ら考え制作することで自主性を身に付け、ものづくりの楽しさを再認識する。
卒業後もイラストレーションやものづくりを継続するための力を身に付ける。

授業概要

自らがテーマと目標を設定し自主制作を行い、1年次よりも高いレベルのイラストレーション制作を目指す。

成績評価方法　◆作文・課題 100%　◆定期試験 0%　◆平常点 0%　◆授業への参加姿勢 0%

＊平常点には小テスト等を含む
上記の割合に基づき総合的に評価する。

	授業内容	
1回	クリエイティブワーク2-⑯ 自主制作企画	自由制作、コンペ活動、画材探究など各自が活動テーマを企画する。
2回	クリエイティブワーク2-⑰ 自主制作	自らが設定したテーマに沿って自主制作を行う。
3回	クリエイティブワーク2-⑱ 自主制作	自らが設定したテーマに沿って自主制作を行う。
4回	クリエイティブワーク2-⑲ 定期報告	制作物と活動報告を担任に提出する。
5回	クリエイティブワーク2-⑳ 自主制作企画	自由制作、コンペ活動、画材探究など各自が活動テーマを企画する。
6回	クリエイティブワーク2-㉑ 自主制作	自らが設定したテーマに沿って自主制作を行う。
7回	クリエイティブワーク2-㉒ 自主制作	自らが設定したテーマに沿って自主制作を行う。
8回	クリエイティブワーク2-㉓ 定期報告	制作物と活動報告を担任に提出する。
9回	クリエイティブワーク2-㉔ 自主制作企画	自由制作、コンペ活動、画材探究など各自が活動テーマを企画する。
10回	クリエイティブワーク2-㉕ 自主制作	自らが設定したテーマに沿って自主制作を行う。
11回	クリエイティブワーク2-㉖ 自主制作	自らが設定したテーマに沿って自主制作を行う。
12回	クリエイティブワーク2-㉗ 定期報告	制作物と活動報告を担任に提出する。
13回	クリエイティブワーク2-㉘ 自主制作企画	自由制作、コンペ活動、画材探究など各自が活動テーマを企画する。
14回	クリエイティブワーク2-㉙ 自主制作	自らが設定したテーマに沿って自主制作を行う。
15回	クリエイティブワーク2-㉚ 定期報告	制作物と活動報告を担任に提出する。

Web・CG
アニメーション科
前期シラバス

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	Web・CGアニメーション科　昼間部（ 3年制 ）	2025年度	1 年次 ・前期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義＋実習	長期研修課題	4	60	
教科書・教材等	MacBookPro / 講師のオリジナル資料・教材 及びフリー素材			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
平井勝人	有り・ゲームクリエイター		学科長　平井勝人	

授業の特徴・テーマ

長期研期間を利用し、課題制作やコンペティション活動を行う。志望によるがシラバスでは静止画作品を前提に記載。

到達目標

外部コンペに参加することで、制作に対する姿勢を考える。学習した専門技術を定着させる。

授業概要

授業課題ではなく、入賞を目指し外部のコンペティションへの応募を行なう。
また、授業の理解が浅い部分の克服や、自主的な研究も行なう。

成績評価方法　◆作文・課題 70% ◆定期試験 0% ◆平常点 20% ◆授業への参加姿勢 10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	アイデアスケッチ	提示されたテーマや条件を元に、頭に浮かんだアイデアをスケッチとして多数描き出していく
2回	デザイン作業	採用するアイデアをまとめ、必要なデザインをしていく
3回	ラフスケッチ	デザインを元に構図を練り、ラフスケッチ＞下絵を描く｜3DCGの場合＝モデリングを開始する
4回	描画｜モデリング	2D＝ドロー系ソフトを用い描画｜3D＝モデリング
5回	描画｜モデリング	2D＝ドロー系ソフトを用い描画｜3D＝モデリング
6回	描画｜モデリング	2D＝ドロー系ソフトを用い描画｜3D＝モデリング
7回	描画｜モデリング	2D＝ドロー系ソフトを用い描画｜3D＝モデリング
8回	描画｜リトポロジーなど	2D＝ドロー系ソフトを用い描画｜3D＝リトポロジー、UV展開
9回	描画｜リトポロジーなど	2D＝ドロー系ソフトを用い描画｜3D＝リトポロジー、UV展開
10回	描画｜リトポロジーなど	2D＝ドロー系ソフトを用い描画｜3D＝リトポロジー、UV展開
11回	描画｜マテリアルなど	2D＝ドロー系ソフトを用い描画｜3D＝マテリアル設定、テクスチャ描画
12回	描画｜マテリアルなど	2D＝ドロー系ソフトを用い描画｜3D＝マテリアル設定、テクスチャ描画
13回	描画｜マテリアルなど	2D＝ドロー系ソフトを用い描画｜3D＝マテリアル設定、テクスチャ描画
14回	描画｜シーン構成	2D＝ドロー系ソフトを用い描画｜3D＝ライティング、シーン構成
15回	描画｜レンダリング	2D＝ドロー系ソフトを用い描画｜3D＝レンダリング

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	Web・CGアニメーション科　昼間部（3年制）	2025年度	1年次・前期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義＋実習	3DCG制作Ⅰ Z-Brush	3	45	
教科書・教材等	MacBookPro / 講師のオリジナル資料・教材 及びフリー素材			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
佐野友城	有り・CG造形師		学科長　平井勝人	

授業の特徴・テーマ

実習を通し、Z-Brushを使用しスカルプトモデリングによる3DCG制作を学習する。

到達目標

Z-Brushを使用しあらゆるものを造形することができる。ポリゴンの認識を持ち、ゲーム・アニメ等で使用するモデルと3DCGプリンター出力のモデルを区別して扱うことができる。

授業概要

簡単なテーマから始め、サブツールや様々なブラシを駆使して複雑な造形までステップ的に身につけていく。

成績評価方法　◆作文・課題 70% ◆定期試験 0% ◆平常点 20% ◆授業への参加姿勢 10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	Zbrushについての説明	ソフトについて、UI、基本操作について学びます。
2回	ブラシの種類	ブラシの種類を体験します。
3回	製作時間	動物の顔を製作します。
4回	ツールの説明	マスク、選択ツールなどを活用して造形を進める方法を学びます。
5回	プリミティブ形状の活用	プリミティブ形状を利用して大まかな形状を作ることを学びます。製作物の目標を設定します。
6回	ブラシのコントロール	ブラシのコントロールを学んでラフ形状を製作します。
7回	ツールの分割結合	ラフ形状から作業しやすいように分割して制作を進めていきます。
8回	ポリゴンの説明	ダイナメッシュ、subdiv、の違いからポリゴンの仕組みについて学びます。
9回	ポリグループの説明	ポリグループを利用して面を意識した造形を学びます。
10回	リメッシュ	データ用のリメッシュ、3Dプリント用のリメッシュについて説明します。
11回	ポリゴンを利用した造形	ポリゴンを利用して身近な物を作成します。
12回	UIのカスタマイズ	自分の使いやすいようにUIをカスタムします。
13回	製作時間	製作物の作成します。製作中に疑問を持った点に答えていきます。
14回	発表会、講評	前期をとおして製作したものの発表を行っていただきます。個別に講評を行います。
15回	担任指導	授業開始にあたり必要に応じ担任が基礎説明や指導を行なう。

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	Web・CGアニメーション科　昼間部(3年制)	2025年度	1年次 ・前期	必選
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義	3DCG制作I	6	90	
教科書・教材等				
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
日下　文孝	有／3DCGテクニカルアーティスト		平井　勝人	

授業の特徴・テーマ

新卒のCG業界即戦力

到達目標

3DCGモデリング、アニメーションの技術力向上

授業概要

3DCGモデリング、アニメーションを学びながらポートフォリオ素材の制作技術を学ぶ

成績評価方法　◆作文・課題　80%　◆定期試験　%　◆平常点　%　◆授業への参加姿勢　20%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	モデリングテクスチャリング	MAYA操作方法習得演習モデル制作1、macbookpro
2回	モデリングテクスチャリング	MAYA操作方法習得演習モデル制作1、macbookpro
3回	モデリングテクスチャリング	MAYA操作方法習得演習モデル制作1、macbookpro
4回	モデリングテクスチャリング	MAYA操作方法習得演習モデル制作1、macbookpro
5回	モデリングテクスチャリング	MAYA操作方法習得演習モデル制作1、macbookpro
6回	モデリングテクスチャリング	MAYA操作方法習得演習モデル制作1、macbookpro
7回	モデリングテクスチャリング	MAYA操作方法習得演習モデル制作1、mouse
8回	モデリングテクスチャリング	MAYA操作方法習得演習モデル制作1、mouse
9回	モデリングテクスチャリング	MAYA操作方法習得演習モデル制作1、mouse
10回	モデリングテクスチャリング	MAYA操作方法習得演習モデル制作1、mouse
11回	モデリングテクスチャリング	substancepainter操作方法習得演習モデル制作1、meetmat
12回	モデリングテクスチャリング	substancepainter操作方法習得演習モデル制作1、meetmat
13回	モデリングテクスチャリング	substancepainter操作方法習得演習モデル制作1、macbook mouse
14回	モデリングテクスチャリング	substancepainter操作方法習得演習モデル制作1、macbook mouse
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	Web・CGアニメーション科　昼間部（3年制）	2025年度	1 年次 ・前期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義＋実習	Illustrator	3	45	
教科書・教材等	MacBookPro / 講師のオリジナル資料・教材 及びフリー素材			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
中村麻衣子	有り・グラフィックデザイナー		学科長　平井勝人	

授業の特徴・テーマ

講義と実習を通し、クリエイティブ業界における標準アプリケーションであるIllustratorをマスターする。
制作を繰り返すトレーニングにより作品クオリティの認識を高めていく。

到達目標

Illustratorを使用しベジェ曲線によるイラストレーションを制作することができる。

授業概要

ゲームアプリのUIアイコンデザイン、ロゴデザイン、ベジェ曲線の描画トレーニングを行う。

成績評価方法　◆作文・課題 70% ◆定期試験 0% ◆平常点 20% ◆授業への参加姿勢 10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
01回	ガイダンス・初期操作	授業説明、オリエンテーション（自己紹介表に記入）アプリケーションについて
02回	ベジェ曲線	基礎であるベジェ曲線を練習し身につける
03回	練習課題	ツール基礎・文章を打つなどの7項目、ロゴトレースを行い、ベジェ曲線に慣れていく
04回	練習課題	Illustrator04.ai～Illustrator06.ai
05回	課題①	「キャラデザイン」ラフ制作/ライブペイントツールについて
06回	課題①	「キャラデザイン」イラレでの制作開始
07回	課題①	「キャラデザイン」完成
08回	課題②	「自分の好きなもの表」の制作Photoshopを組み合わせての制作 orキャラデザイン(パーツ分けをして動かせるデザインに)
09回	課題②	「自分の好きなもの表」の制作Photoshopを組み合わせての制作 orキャラデザイン(パーツ分けをして動かせるデザインに)
10回	課題②	「自分の好きなもの表」の制作Photoshopを組み合わせての制作 orキャラデザイン(パーツ分けをして動かせるデザインに)
11回	課題②	「自分の好きなもの表」の制作Photoshopを組み合わせての制作 orキャラデザイン(パーツ分けをして動かせるデザインに)
12回	課題③	「リアルイラスト」写真をそのままIllustratorで描く
13回	課題③	「リアルイラスト」写真をそのままIllustratorで描く
14回	課題③	「リアルイラスト」写真をそのままIllustratorで描く
15回	担任指導	授業開始にあたり必要に応じ担任が基礎説明や指導を行なう。

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	Web・CGアニメーション科　昼間部（ 3年制 ）	2025年度	1年次 ・前期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義＋実習	Photoshop	3	45	
教科書・教材等	MacBookPro / 講師のオリジナル資料・教材 及びフリー素材			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
小林 早苗	有り/イラストレーター		学科長　平井勝人	

授業の特徴・テーマ

クリエイティブ業界における標準アプリケーションであるPhotoshopを習得する。
科目運営の方向性として、プロの作品に多く触れることで作品クオリティの認識を高め、制作意欲の向上を促進する。

到達目標

柔軟な発想力とそのイメージを形にする技術力を身につける。
また、独りよがりにならない制作スタイルの基礎の定着を目指す。

授業概要

1学年次の前期なので、オペレーションの解説と練習を十分に行なう。
基本的にはティーチング主体で進行し、練習課題や各機能の応用の自己調査をバランス良く取り入れる。

成績評価方法　◆作文・課題 30% ◆出席 42% ◆平常点 20% ◆授業への参加姿勢 8%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	ガイダンス Photoshop基礎	Photoshopについての理解を促すためのソフトウェア概要説明。前期の授業計画の説明を行なう。簡単な写真加工体験と、Photoshopの起動・UIの説明・保存・終了の仕方などについても説明する。
2回	基本操作1	Ph
3回	基本操作2	レイヤー、色調補正など、操作の各セクションから初歩的な機能を身につけさせる。
4回	画像解像度	画像解像度（Pixel per inch）と画像サイズについて学ぶ。
5回	カラーモード	カラーモードについて学び、操作の各セクションから先に進んだ機能を身につけさせる。
6回	チュートリアル1	写真素材の切り抜き方など、実際の作品作りに使える写真加工の小演習×5程度
7回	ラスタとベクタ	ラスタデータとベクタデータについて学び、新しい操作のセクションからさらに先に進んだ機能を身につけさせる。
8回	基本操作3	レイヤー、色調補正など、操作の各セクションから中級程度の機能を身につけさせる。
9回	基本操作4	フィルター、ジェネレーティブなど、操作の各セクションから初歩的な機能を身につけさせる。
10回	表現手法 ② Photoshopミーティング	被写界深度を利用した高度な表現方法について解説する。 写真加工における構図、解像度、マッチングを中心に、これまでの練習課題の講評を行なう。
11回	チュートリアル2	グラフィカル表現、イラスト表現など、実際の作品作りに使える写真加工の小演習×5程度
12回	課題制作 ①	ここまでの学習のまとめとして本課題（写真加工作品）に取り組む。（全2回のうちの1回目） 本課題の評価基準は「完成度、オリジナリティ、サイズなどの提出条件」とする。
13回	課題制作 ②	ここまでの学習のまとめとして本課題（写真加工作品）に取り組む。（全2回のうちの2回目）
14回	講評	提出された本課題の講評会を行なう。
15回	担任指導	全体のまとめとして、必要に応じ担任が指導を行なう。

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	Web・CGアニメーション科　昼間部（3年制）	2025年度	1年次・前期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義＋実習	WEBデザインⅠ	3	45	
教科書・教材等	MacBookPro / 講師のオリジナル資料・教材 及びフリー素材			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
阿部光太郎	有り・WEBデザイナー		学科長　平井勝人	

授業の特徴・テーマ

問いを立てて考える、実践重視のWebデザイン演習で、「なぜそのデザインにするのか」を常に問い直し、実制作を通してプロの視点を身につける

到達目標

Web制作会社でアシスタントとして通用する基礎的なスキルと視点を習得する

授業概要

授業では、Webデザインの基礎理解からツールの習得、実制作までを通して、基礎力を身につけます。
バナーやサムネイル、自己紹介ページの制作を通じて、「考える→作る→振り返る」力を養い、Web業界で活躍する土台を築くことを目指します。

成績評価方法　◆作文・課題 70% ◆定期試験 0% ◆平常点 20% ◆授業への参加姿勢 10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	導入・Webデザイン概要・基礎原則まとめ	講師紹介／Webデザイナーの役割／制作フローとデザイン基礎（余白・配色・タイポ）/作業環境の構築
2回	Illustrator/Photoshopの基本操作（バナー）	IllustratorとPhotoshopの基本操作と課題制作（バナー）
3回	演習：YouTubeサムネイル制作（実践＋講評）	YouTubeサムネイル制作／自由テーマで実践＆講評会
4回	Figmaの基本とUI設計の考え方①	Figmaの基本操作／コンポーネント・UI設計の基本
5回	Figmaの基本とUI設計の考え方②	Figmaを使ったUI設計演習／スマホ表示への応用
6回	演習：Figmaで簡単なLPのパーツ設計①	Figma演習／パーツ設計とデザインカンプ作成①
7回	Figma演習：パーツ設計とインタラクティブ基礎	Figma演習／ホバー・クリック時のプロトタイピング設定／簡単なインタラクティブ操作の体験
8回	ワイヤーフレーム設計と情報設計（PC/SP）	構成要素の洗い出し／PCとスマホの違い／ワイヤーフレーム制作
9回	自己紹介ページ制作①（構成・デザイン）	自己紹介ページ構成の企画・デザインスタート
10回	自己紹介ページ制作②（デザイン＆修正）	自己紹介ページ：ビジュアル設計・レイアウト演習
11回	自己紹介ページ制作③（確認・修正）	自己紹介ページ：デザイン修正
12回	自己紹介ページ制作④（仕上げ・提出）	自己紹介ページ：仕上げ・フィードバックを受けて最終提出
13回	発表準備・ポートフォリオ化の基本	発表用スライド作成／作品プレゼンの構成方法を学ぶ
14回	成果発表・フィードバック	クラス内で成果発表／全体フィードバック・振り返り
15回	担任指導	授業開始にあたり必要に応じ担任が基礎説明や指導を行なう。

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	Web･CGアニメーション科　昼間部(3年制)	2025年度	1 年次 ･前期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義＋実習	アニメーションⅠ	3	45	
教科書･教材等	Mac / 講師のオリジナル資料･教材 及びフリー素材			
担当教員／作成者	**実務経験の有無･職種**		**確認者**	
小野孝彰	有り・映像クリエイター		学科長　平井勝人	

授業の特徴･テーマ

講義と制作を通じ、アニメーションの制作と表現手法について学習する。

到達目標

アニメーションの原理・原則を理解し、自身でオリジナルのアニメーションを制作することができる。

授業概要

前期授業では、アニメーションの原理と原則を解説。さらに中割り動画、ストップモーション、ロトスコープといった様々な手法を体験的に学習する。

成績評価方法　◆作文･課題 70% ◆定期試験 0% ◆平常点 20% ◆授業への参加姿勢 10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
01回	アニメーションとは	オリエンテーション、アニメーション概要、フリップブック作成
02回	コンテ、ツールの操作	絵コンテの作成方法、Photoshopの使用方法、ミニアニメーションの制作
03回	アニメーションの12原	アニメーションの12原則①②③④
04回	アニメーションの12原	アニメーションの12原則⑤⑥⑦⑧
05回	アニメーションの12原	アニメーションの12原則⑨⑩1112
06回	ショートアニメ制作	ショートアニメ制作(個人)
07回	ショートアニメ制作	ショートアニメ制作(個人)
08回	ショートアニメ発表	完成映像発表
09回	ロトスコープ	ロトスコープ制作(チーム)｜ビデオカメラによる素材の映像撮影
10回	ロトスコープ	ロトスコープ制作(チーム)｜ビデオカメラによる素材の映像撮影
11回	ロトスコープ発表	完成映像発表
12回	画面デザインと構図	ショットとアングル、フォーカルポイント、光と影、被写界深度（ビデオカメラによる実演も
13回	動画としての構図	スクリーンディレクション、イマジナリライン、ストーリーボード、シーン
14回	ストーリー設計	ストーリーテリング、ペルソナ設計、ログライン、CQ、ドラマカーブ
15回	担任指導	授業開始にあたり必要に応じ担任が基礎説明や指導を行なう。

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	Web･CGアニメーション科　昼間部（3年制）	2025年度	1 年次 ･前期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義＋実習	コミュニケーションワークⅠ	3	45	
教科書･教材等	MacBookPro / 講師のオリジナル資料･教材 及びフリー素材			
担当教員／作成者	**実務経験の有無･職種**		**確認者**	
平井勝人	有り･ゲームクリエイター		学科長　平井勝人	

授業の特徴･テーマ

他学年と合同で行ない、コミュニケーション力とプレゼンテーション力向上を図る。
グループに別れデザイン作業やディスカッションを行ないグループとしての総意を探っていく。

到達目標

学科内での学年を超えた交流の基盤を作る。
「伝える」ことを目的としたプレゼンテーションの構成を身につける。
共同作業･分担作業のメリット･デメリットを理解する。

授業概要

複数人でグループを作り、決められたストーリーのキャラクターや背景などのデザインを行う。チーフを中心に、グループのデザインの方向性を探っていき、グルーとしてのデザインの着地点を決めていく。グループを変更して2サイクル行なう。

成績評価方法　◆作文･課題 70% ◆定期試験 0% ◆平常点 20% ◆授業への参加姿勢 10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
01回	授業概要説明　課題1	授業内容説明。グループ分け発表。グループ内での自己紹介。ストーリーの発表。 グループディスカッション。
02回	課題1	世界観の決定＞＞デザイン作業（キャラクター、背景、アイテム）
03回	課題1	デザイン作業
04回	課題1	デザイン決定のミーティング。意見交換。デザインの決定。
05回	課題1	作品のブラッシュアップ。清書。
06回	課題1	作品のブラッシュアップ。清書。プレゼン準備。
07回	課題1	プレゼンテーション。デザイン決定の方向性や、決定の理由、魅力について発表する。
08回	課題2	新しいグループ分け発表。グループ内での自己紹介。ストーリーの発表。　グループディス
09回	課題2	世界観の決定＞＞デザイン作業（キャラクター、背景、アイテム）
10回	課題2	デザイン作業
11回	課題2	デザイン決定のミーティング。意見交換。デザインの決定。
12回	課題2	作品のブラッシュアップ。清書。
13回	課題2	作品のブラッシュアップ。清書。プレゼン準備。
14回	課題2	プレゼンテーション。デザイン決定の方向性や、決定の理由、魅力について発表する。
15回	担任指導	授業開始にあたり必要に応じ担任が基礎説明や指導を行なう。

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	Web・CGアニメーション科　昼間部（ 3年制 ）	2025年度	1年次 ・前期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義＋実習	デッサン・造形	7	105	
教科書・教材等	講師のオリジナル資材・鉛筆、スケッチブック等のアナログ教材			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
三輪 奈月	有り/パブリックアート制作		学科長　平井勝人	

授業の特徴・テーマ

基礎描画力と観察眼を養う。

到達目標

形を正確に判断する目を養い、自身の作品と長時間向き合う忍耐力を身につける。

授業概要

対面実技。平面作品と造形作品の提出。

成績評価方法　◆作文・課題 50% ◆定期試験 0% ◆平常点 30% ◆授業への参加姿勢 20%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
01回	担任指導	必要に応じた授業準備を行なう
02回	ガイダンスと実技	使用する画材と取り組みの手順についてのガイダンス。残り時間で配布したモチーフ描画。
03回	実技	野菜または果物の模刻とデッサン。モチーフをよく観察する。
04回	基本図形1	配布した包装紙と組み合わせて、自由な構図を考える。形の陰影をよく観察して描く。 テーマに沿った立体造形。
05回	基本図形2	立っている円柱・横になっている円柱を陰影をよく観察し描く。 テーマに沿った立体造形。
06回	基本図形3	固有色に差のある一つの球体を描く。
07回	基本図形の応用	複雑な形と基本図形を組み合わせた静物デッサンを描く。
08回	生物スケッチ	鳥の剥製を様々な角度から見て描く。立体視の感覚を養う。
09回	剥製の模刻1−1	鳥の剥製の立体造形。
10回	剥製の模刻1−2	第09回の続き。鳥の剥製の立体造形。
11回	質感描写1	金属と1つのモチーフを描く。周囲のものがどのように影響するかをよく観察する。
12回	質感描写2	水の入った透明な器と1つのモチーフを描く。周囲のものがどのように影響するをよく観察する。
13回	質感描写の応用	質感の異なるモチーフを組みあわせて描く。
14回	友人画1−1 /自由造形1−	友人のことをよく見て描く/各自自由にモチーフを決めて模刻、造形する。
15回	友人画1−2 /自由造形1−	第14回の続き。友人のことをよく見て描く/各自自由にモチーフを決めて模刻、造形する。

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	Web・CGアニメーション科　昼間部(3年制)	2025年度	1年次 ・前期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義＋実習	映像	3	45	
教科書・教材等	Mac / ビデオカメラ / 講師のオリジナル資料・教材 及びフリー素材			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
瀬戸和幸	有り/映像クリエイター		学科長　平井勝人	

授業の特徴・テーマ

映像制作プロセスの理解と、映像関連ソフトの操作方法の習得。Premiere、AfterEffectsの基本オペレーションの習得。映像素材は随時ビデオカメラで撮影を行う。

到達目標

映像の基本的な知識や作業の工程・内容について理解し、実際に映像を編集することができる。
シーンの部分的なカット、時間の伸縮、音声の入れ込みなど基本的な編集技術を身につけている。

授業概要

基本的な知識、編集方法を段階的に学習する。時間の伸縮、音声（ME/SE）の使用、トランジションなどの演出効果を学び、映像自体に意味を持たせることを学んでいく。ビデオカメラで撮影した映像を素材として使用。

成績評価方法　◆作文・課題 70% ◆定期試験 0% ◆平常点 20% ◆授業への参加姿勢 10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
01回	担任指導	授業開始にあたり必要に応じ担任が基礎説明や指導を行なう。
02回	オリエンテーション	映像制作のプロセス/アプリケーションの基礎知識/年間スケジュールの説明
03回	撮影の基礎講義	映像フォーマット/ショットの種類/画角の種類/機材の説明/イマジナリーライン
04回	Premiere①	UIの説明/プロジェクト・シーケンスの作成/素材の取り込み/簡単なカット編集
05回	編集の基礎講義	カット編集/インサート編集/モンタージュ
06回	Premiere②	クリップの編集（カット、インサート、削除）/トランジション/映像エフェクト
07回	編集の基礎講義	SE・BGM/音量調整/エフェクト（コンプレッサー・リミッター）/ラウドネス値
08回	Premiere③	調整レイヤー/タイトル入れ/音声の調整/書き出し
09回	課題①	Premiereを使ってショート動画制作
10回	AfterEffects①	UIの説明/プロジェクト・コンポジションの作成/素材の取り込み
11回	AfterEffects②	基本操作/簡単なアニメーション/キーフレームの種類
12回	撮影の基礎講義	カメラの基本構造解説（シャッター/ISO/絞り）グリーンバック撮影実習
13回	AfterEffects③	グリーンバックの基本原理と合成作業/マスキング処理
14回	AfterEffects④	応用編　エクスプレッション/3D空間での合成/Mayaとの連携/Premiereとの連携
15回	課題②	AfterEffectsでタイトルアニメーションの制作

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	Web・CGアニメーション科　昼間部（ 3年制 ）	2025年度	2年次 ・前期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義＋実習	長期研修課題	4	60	
教科書・教材等	MacBookPro / 講師のオリジナル資料・教材 及びフリー素材			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
平井勝人	有り・ゲームクリエイター		学科長　平井勝人	

授業の特徴・テーマ

長期研期間を利用し、課題制作やコンペティション活動を行う。志望によるがシラバスでは静止画作品を前提に記載。

到達目標

外部コンペに参加することで、制作に対する姿勢を考える。学習した専門技術を定着させる。

授業概要

授業課題ではなく、入賞を目指し外部のコンペティションへの応募を行なう。
また、授業の理解が浅い部分の克服や、自主的な研究も行なう。

成績評価方法　◆作文・課題 70% ◆定期試験 0% ◆平常点 20% ◆授業への参加姿勢 10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	アイデアスケッチ	提示されたテーマや条件を元に、頭に浮かんだアイデアをスケッチとして多数描き出していく
2回	デザイン作業	採用するアイデアをまとめ、必要なデザインをしていく
3回	ラフスケッチ	デザインを元に構図を練り、ラフスケッチ＞下絵を描く｜3DCGの場合＝モデリングを開始する
4回	描画｜モデリング	2D＝ドロー系ソフトを用い描画｜3D＝モデリング
5回	描画｜モデリング	2D＝ドロー系ソフトを用い描画｜3D＝モデリング
6回	描画｜モデリング	2D＝ドロー系ソフトを用い描画｜3D＝モデリング
7回	描画｜モデリング	2D＝ドロー系ソフトを用い描画｜3D＝モデリング
8回	描画｜リトポロジーなど	2D＝ドロー系ソフトを用い描画｜3D＝リトポロジー、UV展開
9回	描画｜リトポロジーなど	2D＝ドロー系ソフトを用い描画｜3D＝リトポロジー、UV展開
10回	描画｜リトポロジーなど	2D＝ドロー系ソフトを用い描画｜3D＝リトポロジー、UV展開
11回	描画｜マテリアルなど	2D＝ドロー系ソフトを用い描画｜3D＝マテリアル設定、テクスチャ描画
12回	描画｜マテリアルなど	2D＝ドロー系ソフトを用い描画｜3D＝マテリアル設定、テクスチャ描画
13回	描画｜マテリアルなど	2D＝ドロー系ソフトを用い描画｜3D＝マテリアル設定、テクスチャ描画
14回	描画｜シーン構成	2D＝ドロー系ソフトを用い描画｜3D＝ライティング、シーン構成
15回	描画｜レンダリング	2D＝ドロー系ソフトを用い描画｜3D＝レンダリング

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	Web・CGアニメーション科　昼間部(3年制)	2025年度	2年次 ・前期	必選
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義	3DCG制作II	6	90	
教科書・教材等				
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
日下　文孝	有／3DCGテクニカルアーティスト		平井　勝人	

授業の特徴・テーマ

新卒のCG業界即戦力

到達目標

3DCGモデリング、アニメーションの技術力向上

授業概要

3DCGモデリング、アニメーションを学びながらポートフォリオ素材の制作技術を学ぶ

成績評価方法　◆作文・課題　80%　◆定期試験　%　◆平常点　%　◆授業への参加姿勢　20%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	モデリングアニメーション1	モチーフ制作1、MAYAアニメーション演習1
2回	モデリングアニメーション2	モチーフ制作2、MAYAアニメーション演習2
3回	モデリングアニメーション3	Zbrush、MAYAモデル制作1、MAYAアニメーション演習3
4回	モデリングアニメーション4	Zbrush、MAYAモデル制作2、MAYAアニメーション演習4
5回	モデリングアニメーション5	Zbrush、MAYAモデル制作3、MAYAアニメーション演習5
6回	モデリングアニメーション6	Zbrush、MAYAモデル制作4、MAYAアニメーション演習6
7回	モデリングアニメーション7	Zbrush、MAYAモデル制作5、MAYAアニメーション演習7
8回	モデリングアニメーション1	モチーフ制作1、MAYAアニメーション演習1
9回	モデリングアニメーション2	モチーフ制作2、MAYAアニメーション演習2
10回	モデリングアニメーション3	Zbrush、MAYAモデル制作1、MAYAアニメーション演習3
11回	モデリングアニメーション4	Zbrush、MAYAモデル制作2、MAYAアニメーション演習4
12回	モデリングアニメーション5	Zbrush、MAYAモデル制作3、MAYAアニメーション演習5
13回	モデリングアニメーション6	Zbrush、MAYAモデル制作4、MAYAアニメーション演習6
14回	モデリングアニメーション7	Zbrush、MAYAモデル制作5、MAYAアニメーション演習7
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	Web・CGアニメーション科　昼間部（3年制）	2025年度	2年次・前期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義＋実習	CGイラスト	3	45	
教科書・教材等	MacBookPro / 講師のオリジナル資料・教材 及びフリー素材			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
平井勝人	有り・ゲームクリエイター		学科長　平井勝人	

授業の特徴・テーマ

量産はせず、1作にこだわってクオリティを上げていくことを体験する。一度完成させた作品をプレゼンテーションし、クラスから意見を収集。その意見を自身の判断により反映させて修正を施し再度プレゼンテーションを行う。前回のプレゼンテーションよりも作品の評価が上がることを目指す。

到達目標

クオリティの高いCGイラストを制作することができる。
他者の感想を踏まえ、自身の作品に改良を加えることができる。

授業概要

オリジナルCG作品を制作する。2D、3D、またはその混合手法を用いた静止画に限る。

成績評価方法　◆作文・課題 70% ◆定期試験 0% ◆平常点 20% ◆授業への参加姿勢 10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
01回	授業説明・企画・スケッチ	授業計画解説/課題内容・テーマの説明/アイデアスケッチ/デザインスケッチ/スケジュール作成
02回	制作作業	2D/3Dによって工程が違うので、表現手法に合わせて制作を進める。
03回	制作作業	表現手法にあわせて制作
04回	制作作業	表現手法にあわせて制作
05回	制作作業	表現手法にあわせて制作
06回	制作作業	表現手法にあわせて制作
07回	制作作業	表現手法にあわせて制作
08回	制作作業	表現手法にあわせて制作
09回	制作作業	表現手法にあわせて制作
10回	作品発表・提出	持ち時間５分で作品発表/クラスから感想を収集｜作品提出
11回	修正	集めた感想を参考に作品に手を加える
12回	修正	集めた感想を参考に作品に手を加える
13回	修正	集めた感想を参考に作品に手を加える
14回	修正後 作品発表・提出	持ち時間５分で作品発表/評価｜最終提出
15回	担任指導	必要に応じてまとめ指導

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	Web・CGアニメーション科　昼間部(3年制)	2025年度	2年次・前期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義＋実習	VFX	3	45	
教科書・教材等	Mac / 講師のオリジナル資料・教材 及びフリー素材			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
瀬戸和幸	有り・映像クリエイター		学科長　平井勝人	

授業の特徴・テーマ

スライドを使用した解りやすい操作方法の解説。実習で制作方法を体験する事でVFXの魅力を伝える。素材となる映

到達目標

VFXのプロセスや基本的な表現テクニックの習得・理解することでVFX映像制作の魅力を学んでいく。

授業概要

AfterEffects/Mayaを中心としたVFXシーン制作方法の習得

成績評価方法　◆作文・課題 70% ◆定期試験 0% ◆平常点 20% ◆授業への参加姿勢 10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
01回	担任指導	授業開始にあたり必要に応じ担任が基礎説明や指導を行なう
02回	VFXの歴史	映像やスライドを見ながらVFXの歴史と進化を理解する
03回	基礎；マスク処理	ブルーバック/手動マスク/ロトペイント等のテクニックを解説
04回	基礎；マスク処理	ディファレンシャルマット/MochaAE等のテクニックを解説
05回	実習①	実写から人物を切り抜いて別の空間に合成/携帯画面の合成
06回	基礎：カメラ	パン/ティルト/ズーム/被写界深度/シャッター/マッチムーブ等のテクニックを解説
07回	基礎：カメラ	撮影素材のマッチムーブ作成とMayaへのデータ変換方法
08回	基礎：3D	ポリゴン・モデリング/アセットの購入方法/フォトグラメトリ等のテクニックを解説
09回	実習②	クリーチャーを実写にコンポジットしてみる
10回	基礎：Effects	炎・煙・水の表現（パーティクル/Biforest/実写素材の使用法/ディスプレイメントマ
11回	基礎：Effects	爆発・破壊の表現　（パーティクル/シャッター）
12回	基礎：Effects	光学系エフェクトの解説（レンズフレア/グロウ）
13回	基礎：Effects	ディストーション系エフェクトの解説（タービュレントディスプレイス/ワープ/コー
14回	実習③	ビル崩壊のコンポジット制作
15回	実習③	ビル崩壊のコンポジット制作

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	Web・CGアニメーション科　昼間部（3年制）	2025年度	2年次・前期	必修選択
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義＋実習	WEBシステムⅡ	3	45	
教科書・教材等	MacBookPro / 講師のオリジナル資料・教材 及びフリー素材			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
箕輪吉修	有り・WEBディレクター		学科長　平井勝人	

授業の特徴・テーマ

JavaScriptプログラミングの基礎

到達目標

JavaScriptの基本的な概念を理解する。JavaScriptを用いて、Webページに動的な動作を追加する方法を学ぶ。
JavaScriptの一般的な機能とライブラリ・プラグインについて学ぶ。
自作またはサービスを活用したポートフォリオサイトの立ち上げができる

授業概要

JavaScriptプログラミングの基礎を学習します。JavaScriptの歴史や基本的な構成要素から始まり、Webページに動的な動作を追加する方法や一般的な機能とライブラリ・プラグインについて学びます。最後にはライブラリを使ってコンテンツ制作方法を学び、実践します。

成績評価方法　◆作文・課題 70% ◆定期試験 0% ◆平常点 20% ◆授業への参加姿勢 10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
01回	JavaScriptの概要	JavaScriptの基本構成要素の紹介 JavaScriptを使用する目的や利点の解説
02回	変数とデータ型	変数の概念と宣言方法文字列、数値、ブール値のデータ型と変換方法
03回	制御フローと関数	if文、forループ、whileループなどの制御フロー関数の定義と呼び出し
04回	HTMLとの連携	HTMLフォームからのデータ取得HTMLページにJavaScriptを埋め込む方法
05回	イベント処理	イベント処理の概要 クリック、マウスオーバー、キーボード入力などのイベントの処理方法
06回	jQueryの利用	jQueryの概要と利用方法jQueryを使ったDOM操作とイベント処理の方法
07回	プラグイン習得	jQueryプラグインの利用とWEBサイトへの組み込み
08回	プラグイン習得	jQueryプラグインの利用とWEBサイトへの組み込み
09回	プラグイン習得	jQueryプラグインの利用とWEBサイトへの組み込み
10回	プラグイン習得	jQueryプラグインの利用とWEBサイトへの組み込み
11回	プラグイン実践	jQueryプラグインを利用したコンテンツの制作
12回	プラグイン実践	jQueryプラグインを利用したコンテンツの制作
13回	プラグイン実践	jQueryプラグインを利用したコンテンツの制作
14回	プラグイン実践	jQueryプラグインを利用したコンテンツの制作
15回	担任指導	授業開始にあたり必要に応じ担任が基礎説明や指導を行なう。

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	Web・CGアニメーション科　昼間部（3年制）	2025年度	2年次・前期	必修選択
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義＋実習	WEBデザインⅡ	3	45	
教科書・教材等	MacBookPro / 講師のオリジナル資料・教材 及びフリー素材			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
阿部光太郎	有り・WEBデザイナー		学科長　平井勝人	

授業の特徴・テーマ

ノーコードツール「STUDIO」の基本操作を動画と演習で学び、テンプレートを編集して公開までの流れを体験する。

到達目標

STUDIOの基本操作（レイアウト、テキスト、画像、リンク、アニメーション）の理解

授業概要

ノーコードWeb制作ツール「STUDIO」の基本を動画教材で学びつつ、授業内ではテンプレートを活用して実践的に操作を習得します。

成績評価方法　◆作文・課題 70% ◆定期試験 0% ◆平常点 20% ◆授業への参加姿勢 10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
01回	2年次ガイダンス／STUDIOの学習方法と概要	年間の流れを共有／STUDIOの動画教材の使い方と目的を確認
02回	STUDIO①：基本操作と構造の理解	ボックス構造、マージン・パディング、基本レイアウトを理解
03回	STUDIO②：画像・テキスト・リンク編集	画像・テキスト・リンクの編集方法を学ぶ
04回	STUDIO③：ホバー・アニメーション基礎	ホバー・スクロールアニメーションの基本操作を動画で確認
05回	演習①：テンプレート編集（TOPページ）	テンプレートを使ってTOPページの構成を編集してみる
06回	演習②：テンプレート編集（下層＋リンク構造）	ナビゲーション・下層ページ追加とリンク設定を演習
07回	演習③：CTA設計とレスポンシブ確認	CTAやボタン配置・モバイル表示のチェック方法を学ぶ
08回	演習④：ホバーアニメーション・公開体験	アニメーション追加と仮公開→操作の流れを確認
09回	企画：自由テーマでのテンプレート選定	自分のテーマを決め、適切なテンプレートを選ぶ
10回	演習⑤：テーマ編集（TOPページ）	TOPページを自分のテーマに合わせて編集開始
11回	演習⑥：テーマ編集（下層ページ・微調整）	下層ページ・構成・導線など全体の完成度を上げる
12回	中間チェック・公開・相互レビュー	完成版を仮公開し、チーム内でレビューを実施
13回	演習⑦：フィードバックをもとに改良	講師と仲間からの意見をもとに修正・改善
14回	プレゼン準備・成果の整理	発表用スライド・構成を準備／デザイン意図を整理
15回	担任指導	授業開始にあたり必要に応じ担任が基礎説明や指導を行なう。

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	Web・CGアニメーション科　昼間部（3年制）	2025年度	2年次・前期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義＋実習	アニメーションⅡ	3	45	
教科書・教材等	MacBookPro / 講師のオリジナル資料・教材 及びフリー素材			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
平井勝人	有り・ゲームクリエイター		学科長　平井勝人	

授業の特徴・テーマ

2Dモーション制作ソフトSPINEによるアニメーション制作の学習。

到達目標

SPINEの基本オペレーションの習得。キャラクターのアニメーション制作を身につける。

授業概要

ゲームでの使用を想定し、RPGゲームや格闘ゲームのバトルシーンで使用される全身キャラクターのアクション、またはアドベンチャーゲームのための上半身キャラのモーションなどを制作する。ボーンやウエイトの基礎ワークを学習する。

成績評価方法　◆課題 80%　◆出席時数 10%　◆授業への参加姿勢 10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	授業説明｜素材の制作	授業の趣旨説明｜SPINEと2Dモーションについて｜練習用キャラクターの描画
2回	素材の説明	練習用キャラクターの描画
3回	SPINE機能説明	キャラクターのセッティング（インポート｜ボーン｜UIの解説）
4回	SPINE機能説明	アニメーション機能の説明（ドープシート｜キーのコントロールなど｜プレビュー）
5回	練習課題	オリジナルキャラクターのモーション作成（歩行①/歩行②/走り）
6回	練習課題	オリジナルキャラクターのモーション作成（歩行①/歩行②/走り）
7回	SPINE機能説明	グラフィックの色変更・反転・切り替え｜アタッチメントの新規追加｜IKコンストレイント
8回	SPINE機能説明	メッシュ機能｜ウエイト｜物理コンストレイント
9回	SPINE機能説明	メッシュウエイトとボーンの連携 サンプルを使った体験｜素材の描画
10回	練習課題	キャラクターの角度をボーンによって変更する
11回	課題	オリジナルキャラクターの2Dモーション（バトルキャラ OR アドベンチャーキャラ）
12回	課題	オリジナルキャラクターの2Dモーション（バトルキャラ OR アドベンチャーキャラ）
13回	課題	オリジナルキャラクターの2Dモーション（バトルキャラ OR アドベンチャーキャラ）
14回	課題	オリジナルキャラクターの2Dモーション 完成＞提出
15回	総まとめ	データの確認と評価

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	Web・CGアニメーション科　昼間部（ 3年制 ）	2025年度	2年次 ・前期	必修選択
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義＋実習	クリエイティブワークA	6	90	
教科書・教材等	MacBookPro / 講師のオリジナル資料・教材 及びフリー素材			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
平井勝人	有り・ゲームクリエイター		学科長　平井勝人	

授業の特徴・テーマ

3DCG制作Ⅱとついになる必須選択授業。CG以外の作品制作を行なっていく。
制作した作品はポートフォリオに使用する。

到達目標

ポートフォリオのための作品制作、またはトレーニングのための作品制作を行なう。

授業概要

志望職種に即した作品制作を行なう。3DCGを就職志望しない学生のための作品制作。
作品は提出し、クオリティや量を合わせ評価される。

成績評価方法　◆作文・課題 70% ◆定期試験 0% ◆平常点 20% ◆授業への参加姿勢 10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
01回	作品制作	志望職種に即した作品制作を行なう。
02回	作品制作	志望職種に即した作品制作を行なう。
03回	作品制作	志望職種に即した作品制作を行なう。
04回	作品制作	志望職種に即した作品制作を行なう。
05回	作品制作	志望職種に即した作品制作を行なう。
06回	作品制作	志望職種に即した作品制作を行なう。
07回	作品制作	志望職種に即した作品制作を行なう。
08回	作品制作	志望職種に即した作品制作を行なう。
09回	作品制作	志望職種に即した作品制作を行なう。
10回	作品制作	志望職種に即した作品制作を行なう。
11回	作品制作	志望職種に即した作品制作を行なう。
12回	作品制作	志望職種に即した作品制作を行なう。
13回	作品制作	志望職種に即した作品制作を行なう。
14回	作品制作	志望職種に即した作品制作を行なう。（前期の成果として完成した作品を提出する）
15回	担任指導	必要に応じ担任がまとめの指導を行なう。

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	Web・CGアニメーション科　昼間部（3年制）	2025年度	2年次・前期	必修選択
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義＋実習	クリエイティブワークB	6	90	
教科書・教材等	MacBookPro / 講師のオリジナル資料・教材 及びフリー素材			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
平井勝人	有り・ゲームクリエイター		学科長　平井勝人	

授業の特徴・テーマ

WEBデザイン系科目とついになる必須選択授業。
WEBデザイン以外の作品制作を行なっていく。
制作した作品はポートフォリオに使用する。

到達目標

ポートフォリオのための作品制作、またはトレーニングのための作品制作を行なう。

授業概要

志望職種に即した作品制作を行なう。WEBデザインを就職志望しない学生のための作品制作。
作品は提出し、クオリティや量を合わせ評価される。

成績評価方法　◆作文・課題 70% ◆定期試験 0% ◆平常点 20% ◆授業への参加姿勢 10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
01回	作品制作	志望職種に即した作品制作を行なう。
02回	作品制作	志望職種に即した作品制作を行なう。
03回	作品制作	志望職種に即した作品制作を行なう。
04回	作品制作	志望職種に即した作品制作を行なう。
05回	作品制作	志望職種に即した作品制作を行なう。
06回	作品制作	志望職種に即した作品制作を行なう。
07回	作品制作	志望職種に即した作品制作を行なう。
08回	作品制作	志望職種に即した作品制作を行なう。
09回	作品制作	志望職種に即した作品制作を行なう。
10回	作品制作	志望職種に即した作品制作を行なう。
11回	作品制作	志望職種に即した作品制作を行なう。
12回	作品制作	志望職種に即した作品制作を行なう。
13回	作品制作	志望職種に即した作品制作を行なう。
14回	作品制作	志望職種に即した作品制作を行なう。 （前期の成果として完成した作品を提出する）
15回	担任指導	必要に応じ担任がまとめの指導を行なう。

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	Web・CGアニメーション科　昼間部（3年制）	2025年度	2 年次 ・前期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義＋実習	コミュニケーションワークⅡ	3	45	
教科書・教材等	MacBookPro / 講師のオリジナル資料・教材 及びフリー素材			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
平井勝人	有り・ゲームクリエイター		学科長　平井勝人	

授業の特徴・テーマ

他学年と合同で行ない、コミュニケーション力とプレゼンテーション力向上を図る。
グループに別れデザイン作業やディスカッションを行ないグループとしての総意を探っていく。

到達目標

学科内での学年を超えた交流の基盤を作る。
「伝える」ことを目的としたプレゼンテーションの構成を身につける。
共同作業・分担作業のメリット・デメリットを理解する。

授業概要

複数人でグループを作り、決められたストーリーのキャラクターや背景などのデザインを行う。チーフを中心に、グループのデザインの方向性を探っていき、グルーとしてのデザインの着地点を決めていく。グループを変更して2サイクル行なう。

成績評価方法　◆作文・課題 70% ◆定期試験 0% ◆平常点 20% ◆授業への参加姿勢 10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
01回	授業概要説明　課題1	授業内容説明。グループ分け発表。グループ内での自己紹介。ストーリーの発表。 グループディスカッション。
02回	課題1	世界観の決定＞＞デザイン作業（キャラクター、背景、アイテム）
03回	課題1	デザイン作業
04回	課題1	デザイン決定のミーティング。意見交換。デザインの決定。
05回	課題1	作品のブラッシュアップ。清書。
06回	課題1	作品のブラッシュアップ。清書。プレゼン準備。
07回	課題1	プレゼンテーション。デザイン決定の方向性や、決定の理由、魅力について発表する。
08回	課題2	新しいグループ分け発表。グループ内での自己紹介。ストーリーの発表。　グルー
09回	課題2	世界観の決定＞＞デザイン作業（キャラクター、背景、アイテム）
10回	課題2	デザイン作業
11回	課題2	デザイン決定のミーティング。意見交換。デザインの決定。
12回	課題2	作品のブラッシュアップ。清書。
13回	課題2	作品のブラッシュアップ。清書。プレゼン準備。
14回	課題2	プレゼンテーション。デザイン決定の方向性や、決定の理由、魅力について発表する。
15回	担任指導	授業開始にあたり必要に応じ担任が基礎説明や指導を行なう。

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	Web･CGアニメーション科　昼間部（3年制）	2025年度	2 年次 ･前期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義＋実習	ポートフォリオⅠ	6	90	
教科書･教材等	MacBookPro / 講師のオリジナルデータ			
担当教員／作成者	**実務経験の有無･職種**		**確認者**	
平井勝人｜箕輪吉修	有り・ゲームクリエイター｜WEBディレクター		学科長　平井勝人	

授業の特徴･テーマ

近年の企業に合わせ、デジタルによるポートフォリオ制作を行なっていく。
（WEBサイト&PFDデータ）
QRコードなどを駆使し、デジタルポートフォリオの利点を活用する。

到達目標

前期の時間では志望職種を確定し、ポートフォリオの完成形をイメージすることを行なう。
全体の1/3～1/2程度の完成度を目指す。

授業概要

3年次、就職活動に使用するポートフォリオの制作を行なう。作品制作、及びポートフォリオの編集。

成績評価方法　◆作文･課題 70% ◆定期試験 0% ◆平常点 20% ◆授業への参加姿勢 10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
01週	授業説明	科目内容の説明｜ポートフォリオと就職活動について｜制作の計画
02週	ポートフォリオ制作	作品制作（志望職種に即したオリジナル作品の制作、1年次の作品リメイクなど）
03週	ポートフォリオ制作	作品制作（志望職種に即したオリジナル作品の制作、1年次の作品リメイクなど）
04週	ポートフォリオ制作	作品制作（志望職種に即したオリジナル作品の制作、1年次の作品リメイクなど）
05週	ポートフォリオ制作	作品制作（志望職種に即したオリジナル作品の制作、1年次の作品リメイクなど）
06週	ポートフォリオ制作	作品制作（志望職種に即したオリジナル作品の制作、1年次の作品リメイクなど）
07週	進捗確認	進捗状況のヒアリング
08週	ポートフォリオ制作	作品制作（志望職種に即したオリジナル作品の制作、1年次の作品リメイクなど）
09週	ポートフォリオ制作	作品制作（志望職種に即したオリジナル作品の制作、1年次の作品リメイクなど）
10週	ポートフォリオ制作	作品制作（志望職種に即したオリジナル作品の制作、1年次の作品リメイクなど）
11週	ポートフォリオ制作	作品制作（志望職種に即したオリジナル作品の制作、1年次の作品リメイクなど）
12週	ポートフォリオ制作	作品制作（志望職種に即したオリジナル作品の制作、1年次の作品リメイクなど）
13週	ポートフォリオ制作	作品制作（志望職種に即したオリジナル作品の制作、1年次の作品リメイクなど）
14週	進捗確認	進捗状況のヒアリング｜評価
15週	担任指導	必要に応じまとめの指導を行なう

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	Web・CGアニメーション科　昼間部（3年制）	2025年度	3年次 ・前期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義＋実習	就活総合ワーク	3	45	
教科書・教材等	MacBookPro / 講師のオリジナル資料・教材 及びフリー素材			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
箕輪吉修	有り・WEBディレクター		学科長　平井勝人	

授業の特徴・テーマ

受験する企業探し、エントリー、面接などの就職活動を行う。

到達目標

希望する職種への就職内定。

授業概要

毎週エントリーや企業からの連絡についてヒアリングし状況把握をする。
合わせてキャリアセンターとも連携し、企業求人も提示する。

成績評価方法　◆作文・課題 70% ◆定期試験 0% ◆平常点 20% ◆授業への参加姿勢 10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
01回	授業説明	就職活動の進め方/就職活動による公欠の申請方法 その他
02回	ヒアリング	各学生の活動状況を把握。その上で個人個人にアドバイスを行なう
03回	ヒアリング	各学生の活動状況を把握。その上で個人個人にアドバイスを行なう
04回	ヒアリング	各学生の活動状況を把握。その上で個人個人にアドバイスを行なう
05回	ヒアリング	各学生の活動状況を把握。その上で個人個人にアドバイスを行なう
06回	ヒアリング	各学生の活動状況を把握。その上で個人個人にアドバイスを行なう
07回	ヒアリング	各学生の活動状況を把握。その上で個人個人にアドバイスを行なう
08回	ヒアリング	各学生の活動状況を把握。その上で個人個人にアドバイスを行なう
09回	ヒアリング	各学生の活動状況を把握。その上で個人個人にアドバイスを行なう
10回	ヒアリング	各学生の活動状況を把握。その上で個人個人にアドバイスを行なう
11回	ヒアリング	各学生の活動状況を把握。その上で個人個人にアドバイスを行なう
12回	ヒアリング	各学生の活動状況を把握。その上で個人個人にアドバイスを行なう
13回	ヒアリング	各学生の活動状況を把握。その上で個人個人にアドバイスを行なう
14回	ヒアリング	各学生の活動状況を把握。その上で個人個人にアドバイスを行なう
15回	担任指導	授業開始にあたり必要に応じ担任が基礎説明や指導を行なう。

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	Web・CGアニメーション科　昼間部（ 3年制 ）	2025年度	3年次 ・前期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義＋実習	クリエイティブLAB. Ⅰ	13	192	
教科書・教材等	MacBookPro / 講師のオリジナル資料・教材 及びフリー素材			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
平井｜小林｜箕輪｜日下｜佐野	ゲームクリエイター｜イラストレーター｜WEBディレクター｜CGクリエイター｜CGモデラー		学科長　平井勝人	

授業の特徴・テーマ

受動的な学びではなく能動的な学びを行なう。
社会に出てから必要となる課題発見能力や自己学習能力を身につけるためのカリキュラム。

到達目標

自ら課題を発見する力、自己学習能力、創意工夫の創造力を育む。また、スケジュールの管理能力を身につける。

授業概要

現時点の自分の課題を発見し、自己研鑽のために「トレーニング｜表現研究｜作品制作」を行なう。
2週間に1度の頻度で成果報告会を開き、取り組んだ内容や進捗状況をクラス内で共有する。

成績評価方法　◆作文・課題 70% ◆定期試験 0% ◆平常点 20% ◆授業への参加姿勢 10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1-7回	自主活動	計画に則って「トレーニング｜表現研究｜作品制作」を行なう
8回	成果報告会	前日までの成果を報告（プレゼンテーション形式）
9-15回	自主活動	計画に則って「トレーニング｜表現研究｜作品制作」を行なう
16回	成果報告会	前日までの成果を報告（プレゼンテーション形式）
6-22回	自主活動	計画に則って「トレーニング｜表現研究｜作品制作」を行なう
23回	成果報告会	前日までの成果を報告（プレゼンテーション形式）
4-31回	自主活動	計画に則って「トレーニング｜表現研究｜作品制作」を行なう
32回	成果報告会	前日までの成果を報告（プレゼンテーション形式）

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	Web･CGアニメーション科　昼間部（3年制）	2025年度	3年次・前期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義＋実習	ポートフォリオⅡ	3	45	
教科書･教材等	MacBookPro / 講師のオリジナルデータ			
担当教員／作成者	**実務経験の有無･職種**		**確認者**	
箕輪吉修	有り・WEBディレクター		学科長　平井勝人	

授業の特徴･テーマ

就職活動を行いながら、受験企業に合わせてポートフォリオの内容を整える。

到達目標

希望する職種への就職内定。

授業概要

ポートフォリオのチェックを順に行い、レイアウトやテキストサイズ、作品の提示方法などへの
アドバイスを行う。

成績評価方法　◆作文･課題 70% ◆定期試験 0% ◆平常点 20% ◆授業への参加姿勢 10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
01回	ヒアリング	各学生の活動状況を把握。その上で個人個人にアドバイスを行なう
02回	ヒアリング	各学生の活動状況を把握。その上で個人個人にアドバイスを行なう
03回	ヒアリング	各学生の活動状況を把握。その上で個人個人にアドバイスを行なう
04回	ヒアリング	各学生の活動状況を把握。その上で個人個人にアドバイスを行なう
05回	ヒアリング	各学生の活動状況を把握。その上で個人個人にアドバイスを行なう
06回	ヒアリング	各学生の活動状況を把握。その上で個人個人にアドバイスを行なう
07回	ヒアリング	各学生の活動状況を把握。その上で個人個人にアドバイスを行なう
08回	ヒアリング	各学生の活動状況を把握。その上で個人個人にアドバイスを行なう
09回	ヒアリング	各学生の活動状況を把握。その上で個人個人にアドバイスを行なう
10回	ヒアリング	各学生の活動状況を把握。その上で個人個人にアドバイスを行なう
11回	ヒアリング	各学生の活動状況を把握。その上で個人個人にアドバイスを行なう
12回	ヒアリング	各学生の活動状況を把握。その上で個人個人にアドバイスを行なう
13回	ヒアリング	各学生の活動状況を把握。その上で個人個人にアドバイスを行なう
14回	ヒアリング	各学生の活動状況を把握。その上で個人個人にアドバイスを行なう
15回	担任指導	授業開始にあたり必要に応じ担任が基礎説明や指導を行なう。

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	Web・CGアニメーション科　昼間部（ 3年制 ）	2025年度	3年次 ・前期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義＋実習	企業課題	11	168	
教科書・教材等	MacBookPro / 講師のオリジナル資料・教材 及びフリー素材			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
平井｜小林｜箕輪｜日下｜佐野	ゲームクリエイター｜イラストレーター｜WEBデザイナー｜CGクリエイター｜CGモデラー		学科長　平井勝人	

授業の特徴・テーマ

連携企業から出題された課題を制作する。7週の間に集中的に行なうのもこの科目のポイント。

到達目標

課題の内容から、求められているポイントを判断し、自身の技術と感性を最大限に作品に反映させる

授業概要

学生自身が完全に自力で作品を完成させるステップと、それに対して出された修正指示を反映させた修正ステップに分かれているのが大きなポイント。指示を十分に理解し、どのように改善したかが審査される。

成績評価方法　◆課題 80% ◆授業への参加姿勢 20%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1週	プレワーク	課題説明｜アイデア出し｜アイデアスケッチ｜デザインワーク｜制作 （24時限）
2週	自力版制作	1週目の準備を生かし、自力版の制作を開始する （24時限）
3週	自力版制作	自力版の制作 （24時限）
4週	自力版制作	自力版の制作｜作品の取りまとめ 提出 （24時限）
5週	添削期間	作品の添削期間・修正指示 （24時限）
6週	修正版制作	修正指示に応じて各自修正作業 （24時限）
7週	修正版制作	修正作業｜企業への提出PDF作成（アイデアスケッチ～全データ） （24時限）

Web・CG
アニメーション科
後期シラバス

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	Web・CGアニメーション科　昼間部（3年制）	2025年度	1年次・後期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義＋実習	WEBシステムⅠ	3	45	
教科書・教材等	MacBookPro / 講師のオリジナル資料・教材 及びフリー素材			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
箕輪吉修	有り・WEBサイトディレクター		学科長　平井勝人	

授業の特徴・テーマ

HTMLタグの説明やCSSの機能の説明だけでなく考え方に重点を置き作業の全体像を把握させる

到達目標

レスポンシブWEBデザインに関する知識と記述を習得させ、実際に活用できる能力を身につける

授業概要

Webサイトで自由なレイアウト設計、HTML・CSS基礎を学ぶ

成績評価方法　◆作文・課題 70% ◆定期試験 0% ◆平常点 20% ◆授業への参加姿勢 10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	オリエンテーション HTMLとCSSの基本	WEBシステムの授業趣旨・授業評価基準などを徹底。 HTMLとCSSの概要、HTMLの構造と文法、CSSの構造と文法、テキストの装飾
2回	画像、リンク、リスト	画像の挿入、ハイパーリンクの設定、リストの作成、ボックスモデルの理解
3回	レスポンシブWEBデザイン	レスポンシブWEBデザインの基礎、グリッドシステムの理解、メディアクエリの利用方法
4回	ページの構造化	セマンティックマークアップの基本、ヘッダー、フッター、ナビゲーション、セクションなどのタグ/ ブロックとインライン要素の違い
5回	フレックスボックスと グリッドレイアウト	フレックスボックスの利用方法、グリッドレイアウトの基礎、グリッドアイテムとグリッドコンテナの使い方
6回	フォームの作成	フォームの基礎要素と属性、テキストボックス、チェックボックス、 ラジオボタン、セレクトボックスの使い方、フォームのバリデーション
7回	CSSのセレクター	CSSのセレクターの基礎、クラス、ID、要素セレクター、疑似セレクターの使い方
8回	CSSプロパティと値	CSSのプロパティの基礎、ボックスモデルのプロパティ、レイアウトのプロパティ
9回	CSSレイアウト	floatとclearの使い方、displayプロパティの使い方、positionプロパティの使い方
10回	CSSアニメーション CSSトランジション	CSSのアニメーションの基礎、トランジションの使い方、keyframesを使ったアニメーション
11回	CSS応用テクニック	シャドウ、グラデーション、ボーダーなどのスタイル、レスポンシブ画像の最適化、フォントの使い方
12回	フレームワークの利用	Bootstrapなどのフレームワークの導入、フレームワークのカスタマイズフレームワークを使ったレイアウトの作成
13回	プロジェクトの実践	プロジェクトの計画とデザイン、HTMLとCSSを使った実践的な演習 フレームワークを使った実践的な演習
14回	成果物の発表	プロジェクトの発表と評価、フィードバックの受け取りと反省
15回	担任指導	授業開始にあたり必要に応じ担任が基礎説明や指導を行なう。

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	Web・CGアニメーション科　昼間部（3年制）	2025年度	1年次・後期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義＋実習	Photoshop	3	45	
教科書・教材等	MacBookPro / 講師のオリジナル資料・教材 及びフリー素材			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
小林 早苗	有り/イラストレーター		学科長　平井勝人	

授業の特徴・テーマ

クリエイティブ業界における標準アプリケーションであるPhotoshopを習得する。
科目運営の方向性として、プロの作品に多く触れることで作品クオリティの認識を高め、制作意欲の向上を促進する。

到達目標

柔軟な発想力とそのイメージを形にする技術力を身につける。
また、独りよがりにならない制作スタイルの基礎の定着を目指す。

授業概要

前期での基本操作の習得を受けて、高度な演習とグループワーク進行する。
最終的に課題作品を制作させて1年間の成果を形にし、次年次へのモチベーションへつなげる。

成績評価方法　◆作文・課題 30% ◆出席 42% ◆平常点 20% ◆授業への参加姿勢 8%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	ガイダンス	後期の授業計画の説明を行う。写真加工作品の目標や写真素材の集め方など、根本的なことを確認するミーティングを行う。
2回	基本操作5	色調補正、選択範囲など、操作の各セクションから中～上級程度の機能を身につけさせる。
3回	基本操作6	変形、被写界深度表現など、操作の各セクションから中～上級程度の機能を身につけさせる。
4回	最新機能	ニューラルフィルターなど近年アップデートされた機能を身につけさせる。
5回	基本操作7と グループワーク	ジェネレーティブの分野から中級程度の機能を身につけさせる。グループワークを開始する。
6回	チュートリアル3	自然現象表現やフォトバッシュなど、実際の作品作りに使える写真加工の小演習×5程度
7回	基本操作8	レイヤー、色調補正など、操作の各セクションから上級機能を身につけさせる。
8回	復習とチュートリアル4	事前に今までの授業でわからなかったところを募集しておき、再度授業する。 残りの時間で小演習
9回	チュートリアル5	ブラッシュアップのバリエーションやカラーグレーディングなど、実際の作品作りに 使える写真加工の小演習×5程度
10回	プレゼン 課題作品ガイダンス	グループワークの成果をプレゼン、講評する。次週からの課題制作に向けてガイダンスする。
11回	課題制作 ①	写真加工での課題制作を開始する。
12回	課題制作 ②	写真加工での課題制作を開始する。
13回	課題制作 ③	写真加工での課題制作を開始する。
14回	講評	課題の完成度やオリジナリティについて評価する。
15回		

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	Web・CGアニメーション科　昼間部（3年制）	2025年度	1年次・後期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義＋実習	WEBシステムⅠ	3	45	
教科書・教材等	MacBookPro / 講師のオリジナル資料・教材 及びフリー素材			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
箕輪吉修	有り・WEBサイトディレクター		学科長　平井勝人	

授業の特徴・テーマ

HTMLタグの説明やCSSの機能の説明だけでなく考え方に重点を置き作業の全体像を把握させる

到達目標

レスポンシブWEBデザインに関する知識と記述を習得させ、実際に活用できる能力を身につける

授業概要

Webサイトで自由なレイアウト設計、HTML・CSS基礎を学ぶ

成績評価方法　◆作文・課題 70% ◆定期試験 0% ◆平常点 20% ◆授業への参加姿勢 10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	オリエンテーション HTMLとCSSの基本	WEBシステムの授業趣旨・授業評価基準などを徹底。 HTMLとCSSの概要、HTMLの構造と文法、CSSの構造と文法、テキストの装飾
2回	画像、リンク、リスト	画像の挿入、ハイパーリンクの設定、リストの作成、ボックスモデルの理解
3回	レスポンシブWEBデザイン	レスポンシブWEBデザインの基礎、グリッドシステムの理解、メディアクエリの利用方法
4回	ページの構造化	セマンティックマークアップの基本、ヘッダー、フッター、ナビゲーション、セクションなどのタグ/ ブロックとインライン要素の違い
5回	フレックスボックスと グリッドレイアウト	フレックスボックスの利用方法、グリッドレイアウトの基礎、グリッドアイテムとグリッドコンテナの使い方
6回	フォームの作成	フォームの基礎要素と属性、テキストボックス、チェックボックス、 ラジオボタン、セレクトボックスの使い方、フォームのバリデーション
7回	CSSのセレクター	CSSのセレクターの基礎、クラス、ID、要素セレクター、疑似セレクターの使い方
8回	CSSプロパティと値	CSSのプロパティの基礎、ボックスモデルのプロパティ、レイアウトのプロパティ
9回	CSSレイアウト	floatとclearの使い方、displayプロパティの使い方、positionプロパティの使い方
10回	CSSアニメーション CSSトランジション	CSSのアニメーションの基礎、トランジションの使い方、keyframesを使ったアニメーション
11回	CSS応用テクニック	シャドウ、グラデーション、ボーダーなどのスタイル、レスポンシブ画像の最適化、フォントの使い方
12回	フレームワークの利用	Bootstrapなどのフレームワークの導入、フレームワークのカスタマイズフレームワークを使ったレイアウトの作成
13回	プロジェクトの実践	プロジェクトの計画とデザイン、HTMLとCSSを使った実践的な演習 フレームワークを使った実践的な演習
14回	成果物の発表	プロジェクトの発表と評価、フィードバックの受け取りと反省
15回	担任指導	授業開始にあたり必要に応じ担任が基礎説明や指導を行なう。

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	Web・CGアニメーション科　昼間部（ 3年制 ）	2025年度	1年次 ・後期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義＋実習	WEBデザイン Ⅰ	3	45	
教科書・教材等	MacBookPro / 講師のオリジナル資料・教材 及びフリー素材			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
阿部光太郎	有り・WEBデザイナー		学科長　平井勝人	

授業の特徴・テーマ

複数ページ設計とWeb公開までを体験し、実践力と完成度を高める

到達目標

コーポレートサイトを題材に、企画・設計・制作・発表の全工程を体験し、ポートフォリオにつながる成果物を制作する

授業概要

後期では、前期で培った基礎スキルをもとに、Figmaを用いた複数ページ構成（例：コーポレートサイト）の設計・デザインを行います。
その後、ノーコードツール「STUDIO」を使用し、実際にWebページとして公開するまでの流れを体験します。

成績評価方法　◆作文・課題 70% ◆定期試験 0% ◆平常点 20% ◆授業への参加姿勢 10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	前期振り返りと後期目標／複数ページ構成	前期の制作物を確認／後期は複数ページ構成をテーマに取り組む方針を共有
2回	Figma：情報設計とページ構成の考え方	Figmaでの情報設計、階層構造、ページ構成設計の基礎を理解する
3回	演習：コーポレートサイト構成設計	グループまたは個人でコーポレートサイトの構成・要素を洗い出す
4回	Figma：TOPページデザイン演習①	TOPページのビジュアル設計（レイアウト・配色）を演習形式で作成
5回	Figma：TOPページデザイン演習②	前回のデザインをもとに、訴求力と使いやすさを意識してブラッシュアップ
6回	Figma：下層ページデザイン演習	サービス・会社情報などの下層ページをデザイン／UIの一貫性を意識
7回	Figma：デザイン調整と全体レビュー	全体構成・ユーザー導線を見直し、レビューと改善を行う
8回	Studioの基本操作と公開の仕組み	StudioのUIと基本操作、HTMLを使わずに作れる構造の理解
9回	Studio演習①：自己紹介ページを作る（前期デザイン再構築）	前期の自己紹介ページをベースに、STUDIOで再構築を行う
10回	Studio演習②：ページ遷移・モバイル対応の設定	リンク設定、ページ遷移、レスポンシブ対応の基本を実践
11回	Studio演習③：簡単なアニメーション・公開準備	ホバー、フェードなど基本的なアニメーションを導入／公開準備
12回	演習：完成作品の最終調整	完成サイトを講師と共有／レビューをもとに最終調整
13回	成果発表：コーポレート or 自己紹介サイトのプレゼン	作品プレゼンを実施し、制作の意図と工夫を発表／相互講評
14回	全体振り返り・ポートフォリオの整理	後期全体を振り返り、成果をポートフォリオ形式でまとめる
15回	担任指導	全体のまとめとして、必要に応じ担任が指導を行なう。

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	Web・CGアニメーション科　昼間部(3年制)	2025年度	1 年次 ・後期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義＋実習	アニメーションⅠ	3	45	
教科書・教材等	MacBookPro / 講師のオリジナル資料・教材			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
小野孝彰	有り・映像クリエイター		学科長　平井勝人	

授業の特徴・テーマ

制作作業を通し、アニメーション表現の理解と技術を深める。

到達目標

オリジナルアニメーションにより、テーマやメッセージを表現することができる。

授業概要

主に制作を行う。企画書や設定画、絵コンテを作成した上で、アニメーションを制作する。
AfterEffectsをメインツールとし、音声データの入れ込みも行う。素材としてビデオカメラを用いた撮影も行う。

成績評価方法　◆作文・課題 70% ◆定期試験 0% ◆平常点 20% ◆授業への参加姿勢 10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
01回	企画書	企画書とは、イメージボード、絵コンテ
02回	コンポジット	コンポジット、AfterEffectsの使用方法、エフェクト
03回	後期制作課題	課題制作（企画｜デザイン｜絵コンテ制作）
04回	後期制作課題	課題制作（絵コンテ制作｜ビデオカメラによる素材撮影）
05回	後期制作課題	課題制作（絵コンテ制作｜ビデオカメラによる素材撮影）
06回	中間発表	企画書の発表、映像の中間発表
07回	後期制作課題	課題制作
08回	後期制作課題	課題制作
09回	後期制作課題	課題制作
10回	後期制作課題	課題制作
11回	後期制作課題	課題制作
12回	後期制作課題	課題制作
13回	発表	企画書、完成映像の発表
14回	発表	企画書、完成映像の発表
15回	担任指導	全体のまとめとして、必要に応じ担任が指導を行なう。

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
専門課程	Web・CGアニメーション科　昼間部（3年制）	2025年度	1年次 ・後期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義＋実習	デッサン・造形	7	105	
教科書・教材等	講師のオリジナル資材・鉛筆、スケッチブック等のアナログ教材			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
三輪 奈月	有り/パブリックアート制作		学科長　平井勝人	

授業の特徴・テーマ

基礎描画力と観察眼を養う。

到達目標

形を正確に判断する目を養い、自身の作品と長時間向き合う忍耐力を身につける。

授業概要

対面実技。平面作品と造形作品の提出。

成績評価方法　◆作文・課題 50% ◆定期試験 0% ◆平常点 30% ◆授業への参加姿勢 20%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
01回	初回デッサン /造形1-1	野菜または果物のデッサンと模刻。モチーフをよく観察する。
02回	細密デッサン /造形1-2	季節のモチーフをよく見て描く。/第1回の続き。野菜または果物の模刻。
03回	身体描写1	人物クロッキー/球体を持つ手を描く。
04回	身体描写2	人物クロッキー/靴を描く。
05回	造形2-1 /自画像1-1	身体にまつわるものを造形する。/鏡を配布。自分自身を描く。
06回	造形2-2 /自画像1-2	第5回の続き。身体にまつわるものを造形する。/鏡を配布。自分自身を描く。
07回	石膏デッサン	石膏像をよく見て描く。
08回	静物デッサン1	複数のモチーフを組みあわせ、静物デッサンを描く。
09回	静物デッサン2	複数のモチーフを組みあわせ、静物デッサンを描く。
10回	静物デッサン3	複数のモチーフを組みあわせ、静物デッサンを描く。
11回	細密デッサン /造形3-1	季節のモチーフをよく見て描く。/食べ物の模刻。
12回	有色下地デッサン /造形3-2	色のついた紙に白と黒の画材で描く。/第11回の続き。食べ物の模刻。
13回	静物デッサン4	複数のモチーフを組みあわせ、静物デッサンを描く。
14回	自由造形	各自自由にモチーフを決め、模刻、造形する。
15回	総合演習	担任指導

町田デザイン＆建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	Web･CGアニメーション科　昼間部（３年制）	2025年度	2年次･後期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義･実習	一般教養	1	15	
教科書･教材等	内定獲得ブック			
担当教員／作成者	**実務経験の有無･職種**		**確認者**	
井比　敏紀			平井　勝人	

授業の特徴･テーマ

次年度の就職活動に向けて、基礎的な知識や心構え、書類の書き方、面接･試験対策など学び、内定を獲得するための講義とする

到達目標

学生一人一人が就職活動に必要なスキルを身につけ、希望職種でのを内定獲得を目指す

授業概要

就職意義と目的を理解し、基礎から学びながら就活の流れを把握して、必要な知識と力を身につける

成績評価方法　◆作文･課題　0%　◆定期試験　0%　◆平常点　30%　◆授業への参加姿勢　70%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	就職する意義･目的	就職する意義と目的をきちんと認識し、就職意識を高める
2回	会社･業種･職種について	会社･業種･職種の違いについて理解する
3回	求人票について ※求人の探し方について	求人票の見方、求人検索のコツについて理解する
4回	自己分析(過去･現在･未来)の自分史について	自分自身と向き合い、自分史を作成する
5回	自己分析(成長できたこと) ※肯定的な自己分析	自分史を元に肯定的な自己分析をする
6回	自己PRについて	履歴書･面接時に有利な自己PRを作成する
7回	志望動機について① ※自己PR返却	志望動機について理解する
8回	志望動機について②	志望動機の書き方をマスターし作成する
9回	履歴書の書き方	履歴書の書き方をマスターし作成する
10回	求める人物像(具体的に)と人間力について	企業が求める人物像を理解し、必要な人間力を学ぶ
11回	面接に臨む姿勢･心得 ※動画視聴含む	面接試験の種類や流れを知り、面接試験時の姿勢や心得を学ぶ
12回	模擬面接①	実践的な模擬面接を行い、面接におけるスキルを身につける
13回	模擬面接②	実践的な模擬面接を行い、面接におけるスキルを身につける
14回	まとめ	本格的な就職活動に向けての最終確認をする
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	Web・CGアニメーション科　昼間部(3年制)	2025年度	1年次 ・後期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義＋実習	映像	3	45	
教科書・教材等	Mac / ビデオカメラ / 講師のオリジナル資料・教材 及びフリー素材			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
瀬戸和幸	有・映像クリエイター		学科長　平井勝人	

授業の特徴・テーマ

映像制作プロセスの理解と、映像関連ソフトの操作方法の習得。
Premiere、AfterEffectsの基本オペレーションの習得。著作権にも十分配慮した制作指導を行なう。

到達目標

実際の作品制作を通し、その体験から映像制作のプロセスの理解を深める。
また、現場での作業も想定しグループによる制作も取り入れる。

授業概要

課題提出ごとに講評会を開き、それぞれの良い点・改善すべき点を明確に伝える。
そのような評価を通し、自己満足ではなく公開を前提とした制作姿勢を育てる。

成績評価方法　◆作文・課題 70% ◆定期試験 0% ◆平常点 20% ◆授業への参加姿勢 10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
01回	基礎講義	映像制作のプロセスと役割を説明（台本や絵コンテの描き方）
02回	作品制作①	グループ決め　テーマの決定　テーマの発表と検討
03回	作品制作②	テーマに沿った台本・コンテ作成して制作計画を立てる
04回	作品制作③	台本・コンテ発表会　グループごとのプレゼンテーション＆意見交換
05回	作品制作④	グループごとに実制作（ビデイカメラによる撮影＆素材制作）
06回	作品制作⑤	グループごとに実制作（ビデイカメラによる撮影＆素材制作）
07回	作品制作⑥	グループごとに実制作（ビデイカメラによる撮影＆素材制作）
08回	中間発表会	グループごとに作品をプレゼンテーション＆意見交換
09回	作品制作⑦	グループごとに実制作（ブラッシュアップ作業）
10回	作品制作⑧	グループごとに実制作（ブラッシュアップ作業）
11回	基礎講義	MA作業のプレセス説明とPremiereを使って実際の操作方法解説
12回	作品制作⑨	グループごとに実制作（仕上げ＆MA作業）
13回	作品制作⑩	グループごとに実制作（仕上げ＆MA作業）
14回	作品発表会	グループごとにプレゼンテーション＆意見交換
15回	担任指導	全体のまとめとして、必要に応じ担任が指導を行なう。

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	Web・CGアニメーション科　昼間部（ 3年制 ）	2025年度	1 年次 ・前後期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義＋実習	長期研修課題	4	60	
教科書・教材等	MacBookPro / 講師のオリジナル資料・教材 及びフリー素材			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
平井勝人	有り・ゲームクリエイター		学科長　平井勝人	

授業の特徴・テーマ

長期研期間を利用し、課題制作やコンペティション活動を行う。志望によるがシラバスでは静止画作品を前提に記載。

到達目標

外部コンペに参加することで、制作に対する姿勢を考える。学習した専門技術を定着させる。

授業概要

授業課題ではなく、入賞を目指し外部のコンペティションへの応募を行なう。
また、授業の理解が浅い部分の克服や、自主的な研究も行なう。

成績評価方法　◆作文・課題 70% ◆定期試験 0% ◆平常点 20% ◆授業への参加姿勢 10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	アイデアスケッチ	提示されたテーマや条件を元に、頭に浮かんだアイデアをスケッチとして多数描き出していく
2回	デザイン作業	採用するアイデアをまとめ、必要なデザインをしていく
3回	ラフスケッチ	デザインを元に構図を練り、ラフスケッチ＞下絵を描く｜3DCGの場合＝モデリングを開始する
4回	描画｜モデリング	2D＝ドロー系ソフトを用い描画｜3D＝モデリング
5回	描画｜モデリング	2D＝ドロー系ソフトを用い描画｜3D＝モデリング
6回	描画｜モデリング	2D＝ドロー系ソフトを用い描画｜3D＝モデリング
7回	描画｜モデリング	2D＝ドロー系ソフトを用い描画｜3D＝モデリング
8回	描画｜リトポロジーなど	2D＝ドロー系ソフトを用い描画｜3D＝リトポロジー、UV展開
9回	描画｜リトポロジーなど	2D＝ドロー系ソフトを用い描画｜3D＝リトポロジー、UV展開
10回	描画｜リトポロジーなど	2D＝ドロー系ソフトを用い描画｜3D＝リトポロジー、UV展開
11回	描画｜マテリアルなど	2D＝ドロー系ソフトを用い描画｜3D＝マテリアル設定、テクスチャ描画
12回	描画｜マテリアルなど	2D＝ドロー系ソフトを用い描画｜3D＝マテリアル設定、テクスチャ描画
13回	描画｜マテリアルなど	2D＝ドロー系ソフトを用い描画｜3D＝マテリアル設定、テクスチャ描画
14回	描画｜シーン構成	2D＝ドロー系ソフトを用い描画｜3D＝ライティング、シーン構成
15回	描画｜レンダリング	2D＝ドロー系ソフトを用い描画｜3D＝レンダリング

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	Web･CGアニメーション科　昼間部(3年制)	2025年度	1 年次 ･後期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義＋実習	アニメーションⅠ	3	45	
教科書･教材等	Mac / 講師のオリジナル資料･教材			
担当教員／作成者	**実務経験の有無･職種**		**確認者**	
小野孝彰	有り・映像クリエイター		学科長　平井勝人	

授業の特徴･テーマ

制作作業を通し、アニメーション表現の理解と技術を深める。

到達目標

オリジナルアニメーションにより、テーマやメッセージを表現することができる。

授業概要

主に制作を行う。企画書や設定画、絵コンテを作成した上で、アニメーションを制作する。AfterEffectsを

成績評価方法　◆作文･課題 70% ◆定期試験 0% ◆平常点 20% ◆授業への参加姿勢 10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
01回	企画書	企画書とは、イメージボード、絵コンテ
02回	コンポジット	コンポジット、AfterEffectsの使用方法、エフェクト
03回	後期制作課題	課題制作（企画｜デザイン｜絵コンテ制作）
04回	後期制作課題	課題制作（絵コンテ制作｜ビデオカメラによる素材撮影）
05回	後期制作課題	課題制作（絵コンテ制作｜ビデオカメラによる素材撮影）
06回	中間発表	企画書の発表、映像の中間発表
07回	後期制作課題	課題制作
08回	後期制作課題	課題制作
09回	後期制作課題	課題制作
10回	後期制作課題	課題制作
11回	後期制作課題	課題制作
12回	後期制作課題	課題制作
13回	発表	企画書、完成映像の発表
14回	発表	企画書、完成映像の発表
15回	担任指導	全体のまとめとして、必要に応じ担任が指導を行なう。

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	Web・CGアニメーション科　昼間部（3年制）	2025年度	1年次・後期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義＋実習	3DCG制作Ⅰ Maya	3	45	
教科書・教材等	MacBookPro / 講師のオリジナル資料・教材			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
日下　文孝	有／3DCGテクニカルアーティスト		平井　勝人	

授業の特徴・テーマ

前期に引き続きMayaによる3DCG制作（静止画像）を学習する。後期はリトポロジー、UV展開、テクスチャ制作方法を学習する。それに合わせ、SubstancePainterの基礎も学ぶ。

到達目標

Mayaをメインツールとした3DCG制作の静止画制作をおこなうことができる。ここで習得した技術は、2学年次の「3DCG制作Ⅱ」や「CGイラスト」で生かされる。

授業概要

前期の復習に始まり、リトポロジー、UV展開、SubstancePainterの使用を学習する。
2年次へ続く科目でもあるので、随時 理解確認を行いながら進行する。

成績評価方法　◆作文・課題 70% ◆定期試験 0% ◆平常点 20% ◆授業への参加姿勢 10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	モデリングアニメーショ	モチーフ制作1、MAYAアニメーション演習1
2回	モデリングアニメーショ	モチーフ制作2、MAYAアニメーション演習2
3回	モデリングアニメーショ	Zbrush、MAYAモデル制作1、MAYAアニメーション演習3
4回	モデリングアニメーショ	Zbrush、MAYAモデル制作2、MAYAアニメーション演習4
5回	モデリングアニメーショ	Zbrush、MAYAモデル制作3、MAYAアニメーション演習5
6回	モデリングアニメーショ	Zbrush、MAYAモデル制作4、MAYAアニメーション演習6
7回	モデリングアニメーショ	Zbrush、MAYAモデル制作5、MAYAアニメーション演習7
8回	モデリングアニメーショ	モチーフ制作1、MAYAアニメーション演習1
9回	モデリングアニメーショ	モチーフ制作2、MAYAアニメーション演習2
10回	モデリングアニメーショ	Zbrush、MAYAモデル制作1、MAYAアニメーション演習3
11回	モデリングアニメーショ	Zbrush、MAYAモデル制作2、MAYAアニメーション演習4
12回	モデリングアニメーショ	Zbrush、MAYAモデル制作3、MAYAアニメーション演習5
13回	モデリングアニメーショ	Zbrush、MAYAモデル制作4、MAYAアニメーション演習6
14回	モデリングアニメーショ	Zbrush、MAYAモデル制作5、MAYAアニメーション演習7
15回	担任指導	全体のまとめとして、必要に応じ担任が指導を行なう。

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
ビジュアルデザイン専門課程	Web・CGアニメーション科　昼間部（3年制）	2025年度	1年次・後期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義＋実習	3DCG制作Ⅰ Z-Brush	3	45	
教科書・教材等	MacBookPro / 講師のオリジナル資料・教材 及びフリー素材			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
佐野友城	有り・CG造形師		学科長　平井勝人	

授業の特徴・テーマ

実習を通し、Z-Brushを使用しスカルプトモデリングによる3DCG制作を学習する。
場合によっては3Dプリンターを使用しデータ出力を行う。

到達目標

Z-Brushを使用しあらゆるものを造形することができる。ポリゴンの認識を持ち、ゲーム・アニメ等で使用するモデルと3DCGプリンター出力のモデルを区別して扱うことができる。

授業概要

前期の授業内容を引き継ぎ、モデリングの技術を向上させていく。
サブツールや様々なブラシを駆使し、課題を通してイメージ通りの造形を行う。

成績評価方法　◆作文・課題 70% ◆定期試験 0% ◆平常点 20% ◆授業への参加姿勢 10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	後期目標の設定	前期までの学習をもとに後期の目標を設定します。
2回	様々なポリゴン	ディティール保持の為の様々な手法を学びます。
3回	ブラシのカスタマイズ	より表現力増すために自分でブラシをカスタマイズします。
4回	小物製作	いわゆるハードサーフェスの作成　形状を利用して形をとります。
5回	小物製作	いわゆるハードサーフェスの作成　ポリグループを利用して面をとります。
6回	小物製作	いわゆるハードサーフェスの作成　トポロジーを整えます。
7回	小物製作	いわゆるハードサーフェスの作成　エッジの処理を学びます。
8回	ローポリ製作	zbrushでノーマルマップを作成します。ローポリモデルの準備
9回	UV作成	ノーマルマップを書き出します。
10回	ペイント	ポリペイントで彩色をします。
11回	テクスチャマップ作成	ポリペイントをテクスチャマップとして書き出します。
12回	サーフェスノイズ	ディテールの作成方法を学びます。
13回	エクスポート	形状の書き出し、他ソフトとの連携について学びます。
14回	発表会、講評	後期をとおして製作したものの発表を行っていただきます。個別に講評を行います。
15回	担任指導	全体のまとめとして、必要に応じ担任が指導を行なう。

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	Web・CGアニメーション科　昼間部（3年制）	2025年度	2年次・後期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義＋実習	アニメーションⅡ	3	45	
教科書・教材等	MacBookPro / 講師のオリジナル資料・教材 及びフリー素材			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
平井勝人	有り・CGクリエイター		学科長　平井勝人	

授業の特徴・テーマ

2Dモーション制作ソフトSPINEによるアニメーション制作の学習。

到達目標

SPINEのオペレーションの習得。キャラクターのアニメーション制作を身につける。

授業概要

ゲームでの使用を想定し、RPGゲームや格闘ゲームのバトルシーンで使用される全身キャラクターのアクション、またはアドベンチャーゲームのための上半身キャラのモーションなどを制作する。ボーンやウエイトの基礎ワークを学習する。

成績評価方法　◆作文・課題 70% ◆定期試験 0% ◆平常点 20% ◆授業への参加姿勢 10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
01回	SPINE機能学習 ①	前期で学習したSPINEの機能を活用し、さまざまな表現を行う
02回	SPINE機能学習 ②	前期で学習したSPINEの機能を活用し、さまざまな表現を行う
03回	SPINE機能学習 ③	前期で学習したSPINEの機能を活用し、さまざまな表現を行う
04回	SPINE機能学習 ④	前期で学習したSPINEの機能を活用し、さまざまな表現を行う
05回	SPINE機能学習 ⑤	前期で学習したSPINEの機能を活用し、さまざまな表現を行う
06回	SPINE機能学習 ⑥	前期で学習したSPINEの機能を活用し、さまざまな表現を行う
07回	オリジナル作品制作 ①	フィールドの戦闘キャラを制作、または アドベンチャー用上半身のモーションを作
08回	オリジナル作品制作 ②	フィールドの戦闘キャラを制作、または アドベンチャー用上半身のモーションを作
09回	オリジナル作品制作 ③	フィールドの戦闘キャラを制作、または アドベンチャー用上半身のモーションを作
10回	オリジナル作品制作 ④	フィールドの戦闘キャラを制作、または アドベンチャー用上半身のモーションを作
11回	オリジナル作品制作 ⑤	フィールドの戦闘キャラを制作、または アドベンチャー用上半身のモーションを作
12回	オリジナル作品制作 ⑥	フィールドの戦闘キャラを制作、または アドベンチャー用上半身のモーションを作
13回	オリジナル作品制作 ⑦	フィールドの戦闘キャラを制作、または アドベンチャー用上半身のモーションを作
14回	プレゼンテーション	1人持ち時間5分で作品のプレゼンテーションを行う。まとめの講評会。
15回	担任指導	全体のまとめとして、必要に応じ担任が指導を行なう。

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	Web・CGアニメーション科　昼間部（3年制）	2025年度	2年次・後期	必修選択
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義＋実習	クリエイティブワークA	6	90	
教科書・教材等	MacBookPro / 講師のオリジナル資料・教材 及びフリー素材			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
平井勝人	有り・ゲームクリエイター		学科長　平井勝人	

授業の特徴・テーマ

3DCG制作Ⅱとついになる必須選択授業。CG以外の作品制作を行なっていく。
制作した作品はポートフォリオに使用する。

到達目標

ポートフォリオのための作品制作、またはトレーニングのための作品制作を行なう。

授業概要

志望職種に即した作品制作を行なう。3DCGを就職志望しない学生のための作品制作。
作品は提出し、クオリティや量を合わせ評価される。

成績評価方法　◆作文・課題 70% ◆定期試験 0% ◆平常点 20% ◆授業への参加姿勢 10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
01回	作品制作	志望職種に即した作品制作を行なう。
02回	作品制作	志望職種に即した作品制作を行なう。
03回	作品制作	志望職種に即した作品制作を行なう。
04回	作品制作	志望職種に即した作品制作を行なう。
05回	作品制作	志望職種に即した作品制作を行なう。
06回	作品制作	志望職種に即した作品制作を行なう。
07回	作品制作	志望職種に即した作品制作を行なう。
08回	作品制作	志望職種に即した作品制作を行なう。
09回	作品制作	志望職種に即した作品制作を行なう。
10回	作品制作	志望職種に即した作品制作を行なう。
11回	作品制作	志望職種に即した作品制作を行なう。
12回	作品制作	志望職種に即した作品制作を行なう。
13回	作品制作	志望職種に即した作品制作を行なう。
14回	作品制作	志望職種に即した作品制作を行なう。（後期の成果として完成した作品を提出する）
15回	担任指導	必要に応じ担任がまとめの指導を行なう。

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	Web･CGアニメーション科　昼間部（3年制）	2025年度	2 年次 ･後期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義＋実習	ポートフォリオⅠ	6	90	
教科書･教材等	MacBookPro / 講師のオリジナル資料･教材			
担当教員／作成者	**実務経験の有無･職種**		**確認者**	
平井勝人｜箕輪吉修	有り・ゲームクリエイター｜WEBディレクター		学科長　平井勝人	

授業の特徴･テーマ

近年の企業に合わせ、デジタルによるポートフォリオ制作を行なっていく。
（WEBサイト＆PFDデータ）
QRコードなどを駆使し、デジタルポートフォリオの利点を活用する。後期には企業によるアドバイスも行なう。

到達目標

後期の時間では就職活動ができる状態まで完成度を上げていく。

授業概要

3年次、就職活動に使用するポートフォリオの制作を行なう。作品制作、及びポートフォリオの編集。

成績評価方法　◆作文･課題 70% ◆定期試験 0% ◆平常点 20% ◆授業への参加姿勢 10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
01週	授業説明	科目内容の説明｜ポートフォリオと就職活動について｜制作の計画
02週	ポートフォリオ制作	作品制作（志望職種に即したオリジナル作品の制作、1年次の作品リメイクなど）
03週	ポートフォリオ制作	作品制作（志望職種に即したオリジナル作品の制作、1年次の作品リメイクなど）
04週	ポートフォリオ制作	作品制作（志望職種に即したオリジナル作品の制作、1年次の作品リメイクなど）
05週	ポートフォリオ制作	作品制作（志望職種に即したオリジナル作品の制作、1年次の作品リメイクなど）
06週	ポートフォリオ制作	作品制作（志望職種に即したオリジナル作品の制作、1年次の作品リメイクなど）
07週	進捗確認	進捗状況のヒアリング
08週	ポートフォリオ制作	作品制作（志望職種に即したオリジナル作品の制作、1年次の作品リメイクなど）
09週	ポートフォリオ制作	作品制作（志望職種に即したオリジナル作品の制作、1年次の作品リメイクなど）
10週	ポートフォリオ制作	作品制作（志望職種に即したオリジナル作品の制作、1年次の作品リメイクなど）
11週	ポートフォリオアドバ	企業によるポートフォリオアドバイス
12週	ポートフォリオ制作	作品制作（志望職種に即したオリジナル作品の制作、1年次の作品リメイクなど）
13週	ポートフォリオ制作	作品制作（志望職種に即したオリジナル作品の制作、1年次の作品リメイクなど）
14週	進捗確認	進捗状況のヒアリング｜評価
15週	担任指導	必要に応じまとめの指導を行なう

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	Web・CGアニメーション科　昼間部（ 3年制 ）	2025年度	2年次 ・後期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義＋実習	進級制作	3	45	
教科書・教材等	MacBookPro / 講師のオリジナル資料・教材 及びフリー素材			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
平井勝人｜箕輪吉修	有り・ゲームクリエイター｜WEBディレクター		学科長　平井勝人	

授業の特徴・テーマ

ボリュームの大きい作品制作には欠かすことができないスケジュール管理を体験する。
また、自身の作品にこだわり、クオリティを管理することも学習する。

到達目標

完成作品は講評会で発表し、産学ネットワーク展で一般に公開される。

授業概要

夏期研修期間の課題として立てたオリジナル企画で、通常課題よりも時間をかけて作品制作を行なう。
制作スケジュール表も作り、自身が立てたスケジュールに則り制作進行する。

成績評価方法　◆作文・課題 70% ◆定期試験 0% ◆平常点 20% ◆授業への参加姿勢 10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
01週	制作作業	夏期研修の課題として立てた企画を基に制作を開始する
02週	制作作業	制作作業
03週	制作作業	制作作業
04週	制作作業	制作作業
05週	制作作業	制作作業｜進捗状況のヒアリング
06週	制作作業	制作作業｜進捗状況のヒアリング
07週	制作作業	進捗状況の発表会｜クラスからの意見収集
08週	制作作業	制作作業｜進捗状況のヒアリング
09週	制作作業	制作作業｜進捗状況のヒアリング
10週	制作作業	制作作業｜進捗状況のヒアリング
11週	制作作業	制作作業｜進捗状況のヒアリング
12週	制作作業	制作作業
13週	制作作業	制作作業｜講評会発表準備
14週	制作作業	制作作業｜講評会発表準備
15週	担任指導	全体のまとめとして、必要に応じ担任が指導を行なう。

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	Web・CGアニメーション科　昼間部（ 3年制 ）	2025年度	1 年次 ・前期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義＋実習	長期研修課題	4	60	
教科書・教材等	MacBookPro / 講師のオリジナル資料・教材 及びフリー素材			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
平井勝人	有り・ゲームクリエイター		学科長　平井勝人	

授業の特徴・テーマ

長期研期間を利用し、課題制作やコンペティション活動を行う。志望によるがシラバスでは静止画作品を前提に記載。

到達目標

外部コンペに参加することで、制作に対する姿勢を考える。学習した専門技術を定着させる。

授業概要

授業課題ではなく、入賞を目指し外部のコンペティションへの応募を行なう。
また、授業の理解が浅い部分の克服や、自主的な研究も行なう。

成績評価方法　◆作文・課題 70% ◆定期試験 0% ◆平常点 20% ◆授業への参加姿勢 10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	アイデアスケッチ	提示されたテーマや条件を元に、頭に浮かんだアイデアをスケッチとして多数描き出していく
2回	デザイン作業	採用するアイデアをまとめ、必要なデザインをしていく
3回	ラフスケッチ	デザインを元に構図を練り、ラフスケッチ＞下絵を描く｜3DCGの場合＝モデリングを開始する
4回	描画｜モデリング	2D＝ドロー系ソフトを用い描画｜3D＝モデリング
5回	描画｜モデリング	2D＝ドロー系ソフトを用い描画｜3D＝モデリング
6回	描画｜モデリング	2D＝ドロー系ソフトを用い描画｜3D＝モデリング
7回	描画｜モデリング	2D＝ドロー系ソフトを用い描画｜3D＝モデリング
8回	描画｜リトポロジーなど	2D＝ドロー系ソフトを用い描画｜3D＝リトポロジー、UV展開
9回	描画｜リトポロジーなど	2D＝ドロー系ソフトを用い描画｜3D＝リトポロジー、UV展開
10回	描画｜リトポロジーなど	2D＝ドロー系ソフトを用い描画｜3D＝リトポロジー、UV展開
11回	描画｜マテリアルなど	2D＝ドロー系ソフトを用い描画｜3D＝マテリアル設定、テクスチャ描画
12回	描画｜マテリアルなど	2D＝ドロー系ソフトを用い描画｜3D＝マテリアル設定、テクスチャ描画
13回	描画｜マテリアルなど	2D＝ドロー系ソフトを用い描画｜3D＝マテリアル設定、テクスチャ描画
14回	描画｜シーン構成	2D＝ドロー系ソフトを用い描画｜3D＝ライティング、シーン構成
15回	描画｜レンダリング	2D＝ドロー系ソフトを用い描画｜3D＝レンダリング

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	Web・CGアニメーション科　昼間部(3年制)	2025年度	2年次 ・後期	必選
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義	3DCG制作II	6	90	
教科書・教材等				
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
日下　文孝	有／3DCGテクニカルアーティスト		平井　勝人	

授業の特徴・テーマ

新卒のCG業界即戦力

到達目標

3DCGモデリング、アニメーションの技術力向上

授業概要

3DCGモデリング、アニメーションを学びながらポートフォリオ素材の制作技術を学ぶ

成績評価方法　◆作文・課題　80%　◆定期試験　%　◆平常点　%　◆授業への参加姿勢　20%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	モデリングアニメーション1	モチーフ制作1、MAYAアニメーション演習1
2回	モデリングアニメーション2	モチーフ制作2、MAYAアニメーション演習2
3回	モデリングアニメーション3	Zbrush、MAYAモデル制作1、MAYAアニメーション演習3
4回	モデリングアニメーション4	Zbrush、MAYAモデル制作2、MAYAアニメーション演習4
5回	モデリングアニメーション5	Zbrush、MAYAモデル制作3、MAYAアニメーション演習5
6回	モデリングアニメーション6	Zbrush、MAYAモデル制作4、MAYAアニメーション演習6
7回	モデリングアニメーション7	Zbrush、MAYAモデル制作5、MAYAアニメーション演習7
8回	モデリングアニメーション1	モチーフ制作1、MAYAアニメーション演習1
9回	モデリングアニメーション2	モチーフ制作2、MAYAアニメーション演習2
10回	モデリングアニメーション3	Zbrush、MAYAモデル制作1、MAYAアニメーション演習3
11回	モデリングアニメーション4	Zbrush、MAYAモデル制作2、MAYAアニメーション演習4
12回	モデリングアニメーション5	Zbrush、MAYAモデル制作3、MAYAアニメーション演習5
13回	モデリングアニメーション6	Zbrush、MAYAモデル制作4、MAYAアニメーション演習6
14回	モデリングアニメーション7	Zbrush、MAYAモデル制作5、MAYAアニメーション演習7
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	Web・CGアニメーション科　昼間部（ 3年制 ）	2025年度	2年次 ・後期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義＋実習	CGイラスト	3	45	
教科書・教材等	MacBookPro / 講師のオリジナル資料・教材 及びフリー素材			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
平井勝人	有り・ゲームクリエイター		学科長　平井勝人	

授業の特徴・テーマ

前期に引き続き作品の制作を行う。量産はせず、1作にこだわってクオリティを上げていくことを体験する。一度完成させた作品をプレゼンテーションし、クラスから意見を収集。その意見を自身の判断により反映させて修正を施し再度プレゼンテーションを行う。前回のプレゼンテーションよりも作品の評価が上がることを目指す。

到達目標

クオリティの高いCGイラストを制作することができる。他者の感想を踏まえ、自身の作品に改良を加えることができる。ポートフォリオに掲載できる作品を制作する。

授業概要

オリジナルCG作品を制作する。2D、3D、またはその混合手法を用いた静止画に限る。

成績評価方法　◆作文・課題 70% ◆定期試験 0% ◆平常点 20% ◆授業への参加姿勢 10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
01回	授業説明・企画・スケッチ	授業計画解説/課題内容・テーマの説明/アイデアスケッチ/デザインスケッチ/スケジュール作成
02回	制作作業	2D/3Dによって工程が違うので、表現手法に合わせて制作を進める。
03回	制作作業	表現手法にあわせて制作
04回	制作作業	表現手法にあわせて制作
05回	制作作業	表現手法にあわせて制作
06回	制作作業	表現手法にあわせて制作
07回	制作作業	表現手法にあわせて制作
08回	制作作業	表現手法にあわせて制作
09回	制作作業	表現手法にあわせて制作
10回	作品発表・提出	持ち時間５分で作品発表/クラスから感想を収集｜作品提出
11回	修正	集めた感想を参考に作品に手を加える
12回	修正	集めた感想を参考に作品に手を加える
13回	修正	集めた感想を参考に作品に手を加える
14回	修正後 作品発表・提出	持ち時間５分で作品発表/評価｜最終提出
15回	担任指導	必要に応じてまとめ指導

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	Web・CGアニメーション科　昼間部（ 3年制 ）	2025年度	2年次 ・後期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義＋実習	VFX	3	45	
教科書・教材等	Mac / 講師のオリジナル資料・教材 及びフリー素材			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
瀬戸和幸	有り・映像クリエイター		学科長　平井勝人	

授業の特徴・テーマ

スライドを使用した解りやすい操作方法の解説。実習で制作方法を体験する事でVFXの魅力を伝える。素材となる映

到達目標

VFXのプロセスや基本的な表現テクニックの習得・理解することでVFX映像制作の魅力を学んでいく。

授業概要

AfterEffects/Maya/アンリアル・エンジン/撮影素材を使用したVFXシーン制作方法の習得

成績評価方法　◆作文・課題 70% ◆定期試験 0% ◆平常点 20% ◆授業への参加姿勢 10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
01回	基礎：撮影1	映像制作の現場で使われるビデオカメラの基本的な操作方法
02回	基礎：撮影2	映像制作の現場で使われるビデオカメラの基本的な操作方法
03回	基礎：照明1	映像制作の現場で使われる照明の基本的な操作方法
04回	基礎：照明2	映像制作の現場で使われる照明の基本的な操作方法
05回	実習①	パペットのストップモーション撮影
06回	実習②	パペットのストップモーション撮影
07回	基礎：CG背景制作1	Unreal Engine 5のインストールと設定
08回	基礎：CG背景制作2	Unreal Engine 5の基本的な使い方
09回	基礎：CG背景制作3	Unreal Engine 5ででエフェクトを作成
10回	グループ実習1	1分のSFXシーン制作　コンテ作成
11回	グループ実習2	1分のSFXシーン制作　ビデオカメラによる撮影・CG制作・SE制作
12回	グループ実習3	1分のSFXシーン制作　ビデオカメラによる撮影・CG制作・SE制作
13回	グループ実習4	1分のSFXシーン制作　ビデオカメラによる編集・タイトル制作
14回	プレゼンテーション	1分のSFXシーンの上映とプレゼンテーション
15回	担任指導	全体のまとめとして、必要に応じ担任が指導を行なう。

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	Web・CGアニメーション科　昼間部（3年制）	2025年度	2年次・後期	必修選択
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義＋実習	WEBデザインⅡ	3	45	
教科書・教材等	MacBookPro / 講師のオリジナル資料・教材 及びフリー素材			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
阿部光太郎	有り・WEBデザイナー		学科長　平井勝人	

授業の特徴・テーマ

チームで企画・デザインしたサイトを、Figmaで設計し、STUDIOで共同実装して公開する実践プロジェクト。

到達目標

Figmaで複数ページ構成のサイトをチームで設計・デザインし、STUDIOでプロトタイプ通りの構成・アニメーションを再現できる

授業概要

後期ではFigmaを使ったチームでのWebサイト設計・デザインを行い、前期に学んだSTUDIOを活用して、共同編集で実装・公開まで取り組みます。

成績評価方法　◆作文・課題 70% ◆定期試験 0% ◆平常点 20% ◆授業への参加姿勢 10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
01回	後期ガイダンス／Figma・STUDIOの役割再確認	後期の目標と最終アウトプットを確認／Figma→STUDIOの流れを共有
02回	チーム編成／テーマと制作計画を決定	チームを編成し、制作するサイトのテーマ・方向性を決定
03回	情報設計・ワイヤーフレーム作成（Figma）	情報構造・ページ構成・導線をFigmaでワイヤー化する
04回	ページデザイン①（TOPページ）	TOPページのデザインを開始／役割分担で効率よく進める
05回	ページデザイン②（下層・UI統一）	下層ページ（会社概要・サービス紹介等）をデザイン制作
06回	Figma内レビュー・調整・完成	全ページをレビューし、UIルールの統一とデザイン調整
07回	STUDIOプロジェクト作成・共同編集設定	STUDIOにチームで共同編集できるプロジェクトを作成
08回	STUDIO実装①：TOPページ再現	FigmaのTOPデザインをベースにSTUDIOで構築
09回	STUDIO実装②：下層構築・リンク・ナビ設定	下層ページの追加／ナビゲーションやリンク設定
10回	STUDIO実装③：アニメーション追加・整備	ホバー・フェードインなど簡単なアニメーション設定
11回	レスポンシブ対応・動作チェック	デバイスごとの表示確認とレスポンシブ対応
12回	公開準備と最終調整	細部の見直しと公開に向けた最終調整
13回	発表準備・スライド構成	発表の準備とデザイン背景・工夫のまとめ
14回	成果発表・相互フィードバック	プレゼン形式で発表し、相互講評・質問対応
15回	担任指導	全体のまとめとして、必要に応じ担任が指導を行なう。

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	Web・CGアニメーション科　昼間部（3年制）	2025年度	2年次・後期	必修選択
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義＋実習	クリエイティブワークB	3	45	
教科書・教材等	MacBookPro / 講師のオリジナル資料・教材 及びフリー素材			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
平井勝人	有り・ゲームクリエイター		学科長　平井勝人	

授業の特徴・テーマ

WEBデザイン系科目とついになる必須選択授業。
WEBデザイン以外の作品制作を行なっていく。制作した作品はポートフォリオに使用する。

到達目標

ポートフォリオのための作品制作、またはトレーニングのための作品制作を行なう。

授業概要

志望職種に即した作品制作を行なう。WEBデザインを就職志望しない学生のための作品制作。
作品は提出し、クオリティや量を合わせ評価される。

成績評価方法　◆作文・課題 70% ◆定期試験 0% ◆平常点 20% ◆授業への参加姿勢 10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
01回	作品制作	志望職種に即した作品制作を行なう。
02回	作品制作	志望職種に即した作品制作を行なう。
03回	作品制作	志望職種に即した作品制作を行なう。
04回	作品制作	志望職種に即した作品制作を行なう。
05回	作品制作	志望職種に即した作品制作を行なう。
06回	作品制作	志望職種に即した作品制作を行なう。
07回	作品制作	志望職種に即した作品制作を行なう。
08回	作品制作	志望職種に即した作品制作を行なう。
09回	作品制作	志望職種に即した作品制作を行なう。
10回	作品制作	志望職種に即した作品制作を行なう。
11回	作品制作	志望職種に即した作品制作を行なう。
12回	作品制作	志望職種に即した作品制作を行なう。
13回	作品制作	志望職種に即した作品制作を行なう。
14回	作品制作	志望職種に即した作品制作を行なう。 （前期の成果として完成した作品を提出する）
15回	担任指導	必要に応じ担任がまとめの指導を行なう。

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	Web・CGアニメーション科　昼間部（ 3年制 ）	2025年度	3年次 ・後期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義＋実習	クラスワーク	4	63	
教科書・教材等	MacBookPro / 講師のオリジナル資料・教材 及びフリー素材			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
平井勝人	ゲームクリエイター		学科長　平井勝人	

授業の特徴・テーマ

最後のクラスでの共同作業として設定された科目。
Illustratorを使用しページレイアウトを行ない、在学中の写真や作品など、現在の自分たちを記録する冊子とする。

到達目標

クラスの共同作業としてクラス本を完成させる。印刷製本した本は卒業式で配布される。

授業概要

学生時代を記録として残すためにクラス本を制作する。
作品集や入学時から貯めた記事などを盛り込み、長く見返すことができる本作りを行う。

成績評価方法　◆作文・課題 70% ◆定期試験 0% ◆平常点 20% ◆授業への参加姿勢 10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
01週	企画作業	冊子のタイトル、フリーコーナーの内容などを決定。各担当の決定。
02週	ページ制作作業	ページ制作。企画に沿って素材収集などを行なう。
03週	ページ制作作業	ページ制作。企画に沿って素材収集などを行なう。
04週	ページ制作作業	ページ制作。企画に沿って素材収集などを行なう。
05週	ページ制作作業	ページ制作。企画に沿って素材収集などを行なう。
06週	ページ制作作業	ページ制作。データ書き出しなど。
07週	ページ制作作業	作業完了。担任がデータ確認をし、製本入稿を行なう。
08週	担任指導	全体のまとめとして、必要に応じ担任が指導を行なう。

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	Web・CGアニメーション科　昼間部（ 3年制 ）	2025年度	3年次 ・前期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義＋実習	クリエイティブLAB Ⅰ	13	192	
教科書・教材等	MacBookPro / 講師のオリジナル資料・教材 及びフリー素材			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
平井｜小林｜箕輪｜日下｜佐野	ゲームクリエイター｜イラストレーター｜WEBディレクター｜CGクリエイター｜CGモデラー		学科長　平井勝人	

授業の特徴・テーマ

受動的な学びではなく能動的な学びを行なう。
社会に出てから必要となる課題発見能力や自己学習能力を身につけるためのカリキュラム。

到達目標

自ら課題を発見する力、自己学習能力、創意工夫の創造力を育む。また、スケジュールの管理能力を身につける。

授業概要

現時点の自分の課題を発見し、自己研鑽のために「トレーニング｜表現研究｜作品制作」を行なう。
2週間に1度の頻度で成果報告会を開き、取り組んだ内容や進捗状況をクラス内で共有する。

成績評価方法　◆作文・課題 70% ◆定期試験 0% ◆平常点 20% ◆授業への参加姿勢 10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1-7回	自主活動	計画に則って「トレーニング｜表現研究｜作品制作」を行なう
8回	成果報告会	前日までの成果を報告（プレゼンテーション形式）
9-15回	自主活動	計画に則って「トレーニング｜表現研究｜作品制作」を行なう
16回	成果報告会	前日までの成果を報告（プレゼンテーション形式）
6-22回	自主活動	計画に則って「トレーニング｜表現研究｜作品制作」を行なう
23回	成果報告会	前日までの成果を報告（プレゼンテーション形式）
4-31回	自主活動	計画に則って「トレーニング｜表現研究｜作品制作」を行なう
32回	成果報告会	前日までの成果を報告（プレゼンテーション形式）

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	Web・CGアニメーション科　昼間部（ 3年制 ）	2025年度	3年次 ・後期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義＋実習	クリエイティブLAB Ⅱ	9	126	
教科書・教材等	MacBookPro / 講師のオリジナル資料・教材 及びフリー素材			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
平井｜小林｜箕輪｜日下｜佐野	ゲームクリエイター｜イラストレーター｜WEBディレクター｜CGクリエイター｜CGモデラー		学科長　平井勝人	

授業の特徴・テーマ

クリエイティブLab. I を引き継いで行なう作業。
トレーニングや表現研究は、そもそも公開するために行なうものではないので、一般公開に向けて形を整える。

到達目標

トレーニング、表現研究、作品の産学ネットワーク展での一般公開。
公開前には講評会にてプレゼンテーションを行ない評価を受ける。

授業概要

クリエイティブLab. I で行なったトレーニングや表現研究の成果を産学ネットワーク展で発表する形に整える。
デモリールや3Dプリンターによる出力など。
クリエイティブLab. Ⅱ で作品制作に取り組んだ者は、引き続き制作を行なう。

成績評価方法　◆作文・課題 70% ◆定期試験 0% ◆平常点 20% ◆授業への参加姿勢 10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1-4回	制作作業	デモリール、3DCG作品の3Dプリント、またはクリエイティブLab. I からの作品制作
5-8回	制作作業	デモリール、3DCG作品の3Dプリント、またはクリエイティブLab. I からの作品制作
9-12回	制作作業	デモリール、3DCG作品の3Dプリント、またはクリエイティブLab. I からの作品制作
13-16回	制作作業	デモリール、3DCG作品の3Dプリント、またはクリエイティブLab. I からの作品制作
17-20回	制作作業	デモリール、3DCG作品の3Dプリント、またはクリエイティブLab. I からの作品制作
21-24回	制作作業	デモリール、3DCG作品の3Dプリント、またはクリエイティブLab. I からの作品制作
25-28回	公開準備	講評会発表準備
29-32回	担任指導	全体のまとめとして、必要に応じ担任が指導を行なう。

コミックイラスト・マンガ科

前期シラバス

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	コミックイラスト・マンガ科　昼間部（２年制）	2025年度	１年次・前 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	投稿講義1	1	15	
教科書・教材等	筆記用具、プロジェクトペーパー			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
倉田克己	有／漫画家アシスタント、漫画家、イラストレーター		倉田克己	

授業の特徴・テーマ

学生がプロ作家を目指す上で入れておきたい知識や望ましい姿勢について、経験を元に伝えていく。

到達目標

コンペに向けての作品制作。

授業概要

個人面談等、作品だけではなく学生の生活面も把握し、トータルで本人が希望の進路を目指しやすい環境を整える。

成績評価方法　◆作文・課題　%　◆定期試験　%　◆平常点　50%　◆授業への参加姿勢　50%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	概要説明	作家としての基本姿勢について紹介。
2回	個人面談	それぞれの制作環境把握の為、個人面談。
3回	〃	〃
4回	〃	〃
5回	〃	〃
6回	〃	〃
7回	クラスミーティング	入学から現在までのクラス内問題についての提起や感想など、意見交換。
8回	投稿先リサーチ	具体的な自分の投稿先を各自リサーチ。
9回	〃	〃
10回	〃	〃
11回	〃	〃
12回	個人面談	長期研修期間を控えての心構えと、その後の個人面談。
13回	〃	〃
14回	〃	〃
15回	総合演習	

町田デザイン＆建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	コミックイラスト・マンガ科　昼間部（２年制）	2025年度	１年次・前期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	キャラクター制作１	3	45時間	
教科書・教材等	デジタル環境＋Photoshop クリップスタジオ・プロジェクトペーパー等			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
大友綾子	有り　　漫画家アシスタント、コミックイラストレーター		学科長　倉田克己	

授業の特徴・テーマ

カット系イラストを中心に、イラストの基礎を学ぶ。ミニキャラクターから高頭身（頭身別）の制作ができるようになる。

到達目標

頭身を意識した絵が描けるようになること・クライアントに対し、求められるイラストを的確に表現できる・締め切り、規定、サイズなど、基本的な指示が守れるようになる

授業概要

基本的にはアナログでの実習を中心とする。2年次就職活動に必要なポートフォリオに組み入れることを念頭に置いて、デジタルでの作業も視野に入れたアナログ線を指導する。

成績評価方法　◆作文・課題 60%　◆定期試験 20%　◆平常点 10%　◆授業への参加姿勢 10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	木A	金B	授業内容	到達目標
1回	4月17日	4月18日	コミック業界の基礎と自己PR	自己紹介用紙記入・コミックイラストレーターの仕事について講義(パワーポイントで2時間)
2回	4月24日	4月25日	課題① 頭身理解	課題制作説明、人体の基礎的な筋肉や骨格の描き方レクチャーを行い、ミニキャラクタの描き方も学ぶ
3回	5月1日	5月2日	課題② キャラデザ基本	課題①提出　課題②キャラ制作のための三大要素などの講義、立ち絵練習、1設定から2種類のキャラデザを行う練習課題説明
4回	5月8日	5月9日	課題② 制作進行	課題② １設定から全く違うパターンのキャラ制作練習、デッサンレクチャー
5回	5月22日	5月16日	課題② 制作進行	A4サイズ350dpi　黒主線のレイヤー1枚　提出（2キャラ以上）　終了目処
6回	5月29日	5月23日	課題②提出　課題③説明	課題②提出　課題③顔の角度、表情練習、講義
7回	6月5日	5月30日	課題③　制作進行	課題③仕上げ
8回	6月12日	6月6日	課題③　制作進行	課題③仕上げ
9回	6月19日	6月13日	課題③提出　課題④説明	課題③提出　課題④自分で一から考えるオリジナルキャラクタ(テーマは4)の企画書、ラフチェック
10回	6月26日	6月20日	課題④ 制作進行	課題④企画書チェック　ラフ進行　キャラ表　デッサン直し
11回	7月3日	6月27日	課題④ 制作進行	課題④ キャラの簡単な色決め
12回	7月10日	7月4日	課題④ 制作進行	課題④ 4種たちポーズ完成
13回	7月17日	7月11日	課題④ 制作進行	イラスト（構図、ペン入れまででOK）夏期研修中に色塗り完成できる人は頑張る
14回	7月24日	7月18日	課題④ 制作進行	イラスト線画完成
15回			総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	コミックイラスト・マンガ科　昼間部（２年制）	2025年度	１年次・前 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	クリップスタジオC1	3	45	
教科書・教材等	なし			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
伊藤雪乃	有り/漫画家アシスタント		大友綾子	

授業の特徴・テーマ

クリップスタジオの基本操作を学ぶ。全員が基本操作を理解でき、各自の理解度に合わせて知識を深める。

到達目標

クリップスタジオの基本操作を理解する。様々な使用用途に応じて、規定のサイズ、様式にあったイラストを作成できるようになる。

授業概要

実技による課題制作。基本操作、各レイヤー機能、レイヤー管理、イラストに合わせたブラシの使い方など。

成績評価方法　◆作文・課題　50%　◆定期試験　0%　◆平常点　20%　◆授業への参加姿勢　30%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	基本操作の説明	自己紹介シートを制作。ソフトの起動、ワークスペース、ペン、レイヤー等の基礎ツールに触れる。
2回	基本操作の説明	基本操作に慣れるため簡単なイラストを制作。SNSなどのアイコンを作画。
3回	基本操作の練習1	イラスト制作。課題表を作成し、イラストのテーマを意識し理解を深める。
4回	基本操作の練習2	イラスト制作。各レイヤー効果、レイヤー分けなど解説　★ペン入れ～色塗り
5回	基本操作の練習3	イラスト制作。アニメ塗り、ブラシ塗りの解説　★ペン入れ～色塗り
6回	基本操作の練習4	イラスト制作。自身の作業スピードを知りペース配分を考える　★色塗り～仕上げ
7回	写真をイラストに起こす1	人物写真を参考にキャラクターイラストに描き起こす。対象の観察・デフォルメを学ぶ　★ラフ
8回	写真をイラストに起こす2	人物写真を参考にキャラクターイラストに描き起こす。　★下書き～ペン入れ
9回	写真をイラストに起こす3	人物写真を参考にキャラクターイラストに描き起こす。　★ペン入れ～色塗り
10回	写真をイラストに起こす4	人物写真を参考にキャラクターイラストに描き起こす。　★色塗り～仕上げ
11回	全身イラスト1	ソーシャルゲームやTRPG等で使われる立ち絵を見栄えよく作画する構図・デザイン等のテクニックを学ぶ。
12回	全身イラスト2	見栄えの良い全身イラストを制作。　★下書き～ペン入れ
13回	全身イラスト3	見栄えの良い全身イラストを制作。　★ペン入れ～色塗り
14回	全身イラスト4	見栄えの良い全身イラストを制作。　★色塗り～仕上げ
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	コミックイラスト・マンガ科　昼間部（２年制）	2025年度	１年次・前 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	クリップスタジオM1	3	45	
教科書・教材等	クリップスタジオペイント			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
尾藤敬子	有・漫画家		倉田克己	

授業の特徴・テーマ

クリップスタジオペイントを利用して、漫画の描き方の技術を身につける。
ツールの使い方など、アプリの使用方をメインに進めていく。

到達目標

ツールバー、レイヤーなど、執筆に必要なツールを選択し、絵を描くことができる。

授業概要

ツールの使用方法を説明し、そのツールを使ってテーマに沿った絵を描く。

成績評価方法　◆作文・課題　50%　◆定期試験　0%　◆平常点　20%　◆授業への参加姿勢　30%

＊平常点には小テスト等を含む 上記の割合に基づき総合的に評価する。
＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	基本説明	パソコンの環境を説明する。 クリップスタジオを起動し、液晶タブレットを使用してみる。
2回	キャラクター表情1	キャラクターの表情を6パターン描く。 キャンバスを作成し、下絵レイヤーを作成し、ラフを描く
3回	キャラクター表情2	下絵をペン入れ ペンツールを使用し、下絵を清書する
4回	キャラクター表情3	ベタやトーンなどで仕上げをする
5回	キャラクターイラスト1	キャラクターをデザインする
6回	キャラクターイラスト2	一枚絵としてイラストを描くデコレーションブラシ、図形ツールの説明
7回	キャラクターイラスト3	イラストを仕上げる
8回	背景1	パース定規の説明1点・2点透視定規を使用して、背景を描く
9回	背景2	3点透視定規を使用してビルを描く
10回	3D	3Dデータを利用して、背景や小物を作画する
11回	1ページ仕上げ1	ネームを見て1ページの漫画を仕上げる 下絵
12回	1ページ仕上げ2	コマ割り・ペン入れ1
13回	1ページ仕上げ3	ペン入れ2・背景
14回	1ページ仕上げ4	仕上げ
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	コミックイラスト・マンガ科　昼間部（２年制）	2025年度	１年次・前 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	コミック概論	3	45	
教科書・教材等	映画DVD,,ブルーレイ、マンガ用具一式			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
倉田克己	有／漫画家アシスタント、漫画家、イラストレーター		倉田克己	

授業の特徴・テーマ

様々な娯楽作品を見て、そこから新たに発想を得、自分の作品にフィードバックする方法を知る。視野を広め、自分自身の幅を広める必要性を知る。 また、表現者として知っておかなければならない法律も併せて学ぶ。

到達目標

外に向けての自己表現をためらわない事。著作権原則の知識を覚える事。

授業概要

多角的な視野を持つ為にプレゼン、ディスカッションの時間を多く取る。

成績評価方法　◆作文・課題　20%　◆定期試験　50%　◆平常点　%　◆授業への参加姿勢　30%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	授業説明	
2回	DVD鑑賞	次週から始まるグループ制作の参考品を鑑賞する。
3回	グループ制作①	無作為に組んだメンバーで意見をすり合わせながら、映画の予告編を連作表現する。
4回	グループ制作②	実制作
5回	グループ制作③	〃
6回	グループ制作④	その後提出（場合によってはプレゼンテーション）
7回	著作権	著作権問題の起きた例として古典映画を鑑賞し、その問題点を知る。
8回	著作者人格権	一例となる映画を鑑賞し、実例を知る。
9回	著作権と商標権	参考作品となる映画を鑑賞し、実例を知る。
10回	財産権	参考作品となる映画を鑑賞し、実例を知る。
11回	著作権裁判	実例作品を鑑賞し、 その実態を実感する。
12回	著作物の扱い方	参考作品を鑑賞し、実例を学ぶ。
13回	著作権裁判	参考作品を鑑賞し、問題点を知ると共に犯罪としての意識を高める。
14回	一般常識テスト	ペーパーテストでここまでの内容の理解を確認すると共に、自分の常識力を確認する。
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	コミックイラスト・マンガ科　昼間部（２年制）	2025年度	1年次・前 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	コミック基礎	3	45	
教科書・教材等	自作のプリントなど			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
ひたか　良	有り　／　漫画家		倉田　克己	

授業の特徴・テーマ

アナログ画材の使い方、マンガの描き方の基礎を、実技を交えながら覚えていく

到達目標

アナログでの原稿作成

授業概要

アナルグ画材を扱うテクニックの実技、マンガの基礎、ストーリーの作り方の講義、実習を交互に行い、マンガ原稿として成立するよう教えていく。

成績評価方法　◆作文・課題　50%　◆定期試験　%　◆平常点　20%　◆授業への参加姿勢　30%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	アナログ画材について	マンガ作成に必要な画材を覚える／原稿用紙について（用語テスト）…テクニック系（T）
2回	ストーリーの基本	起承転結／4W1Hを学ぶ「簡単な話を作る」…ストーリー系授業（S）
3回	効果線①	定規を使って効果線を引く「抜き線・集中線」…T
4回	トーンの使い方	スクリーントーンの使い方を覚える…†
5回	4コママンガ	マンガの基本である「4コママンガ」を作成（枠線の引き方を覚える）…S／T
6回	〃	〃
7回	雑誌の形態、コマ割り	漫画雑誌の形態、ストーリーマンガのコマ割りについて「悪いコマ割りの例を直す」…S
8回	コマ割りを直す	悪いコマ割りを直す
9回	話を作る①	「箱」をテーマに短い話を作る…S
10回	効果線②	定規を使った効果線「ベタフラ」、フリーハンドの効果線「カケアミ」…T
11回	話を作る②	「花・鍵」というキーワードを元に、ストーリーを考える…S
12回	原稿作成の手順について	「ミニキャラを使った2Pマンガ」ネーム→原稿作成の手順を覚える…S
13回	〃	〃
14回	〃	トーンを貼って仕上げる
15回	総合演習（担任指導）	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	コミックイラスト・マンガ科　昼間部（２年制）	2025年度	1年次 ・前 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	コミック背景	3	45	
教科書・教材等	オリジナルプリント			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
栗田 みよこ	有 ／ 漫画家・漫画アシスタント		学科長　倉田 克己	

授業の特徴・テーマ

パースの基本の考え方と表現方法を知る

到達目標

パースを使った背景が描けるようになる

授業概要

実習形式／透視図法の解説と課題の指導

成績評価方法　◆作文・課題　80%　◆定期試験　0%　◆平常点　10%　◆授業への参加姿勢　10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	用語の説明	一点透視で立方体を描く
2回	基本パースの説明	分割法と増殖法の基本を理解する
3回	背景をかく ①	一点透視で石だたみ、レンガ柵をかく
4回	〃 ②	資料を参考に柵をかく
5回	〃 ③	石だたみ、レンガを入れ人物を加える
6回	〃 ④	課題制作
7回	室内をかく ①	二点透視で立方体とフローリング床をかく
8回	〃 ②	二種類のテーブルをかく
9回	〃 ③	二種類のソファをかく
10回	〃 ④	戸棚とイスをかく
11回	〃 ⑤	部屋の平面図を作る、資料を探す
12回	〃 ⑥	資料の家具を二点透視の部屋に配置する
13回	〃 ⑦	人物を入れる
14回	〃 ⑧	課題制作
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	コミックイラスト・マンガ科　昼間部（２年制）	2025年度	１年次・前 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	ドローイング	3	45	
教科書・教材等				
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
藤本珠恵	有り／美術教室勤務		輿水正明	

授業の特徴・テーマ

見て描くことを通して、立体表現の知識・技術を身につける。

到達目標

透視法・陰影法により、形を正確に捉え、立体描写ができるようになること。

授業概要

基本形体（直方体・円柱・球）、人物を描く。

成績評価方法　◆作文・課題　70 %　◆定期試験　%　◆平常点　%　◆授業への参加姿勢　30 %

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	ガイダンス	ドローイングの目的を理解し、道具の扱いに慣れる。グラデーション制作。
2回	基本形体「直方体」	モチーフ：ティッシュ箱
3回	：　（講評）	透視図法に基づき、正しいパースをとる。陰影の変化を描くことで立体感を出す。
4回	基本形体「円柱」「球」	モチーフ：筒や芯材、丸みある野菜や果物
5回		視点による楕円の変化・球のもつ陰影を論理的に理解し、立体的に描き表す。
6回	：　（講評）	
7回	手のデッサン	開いた手、握った手の両方を描く。骨格、筋肉など的確にとらえる。
8回	：　（講評）	
9回	人物クロッキー	学生が交替でモデルをつとめる（１８分ポーズ）
10回	：　（講評）	短時間で人物のプロポーションや表情などをとらえる。
11回	人物デッサン	モデル（着衣・固定ポーズ5回）
12回	自画像デッサン	頭から肩まで映る大きさの鏡を持参する。
13回		頭部、首、肩の比率を正確に捉え、リアルに描写する。
14回	：　（講評）	完成後に白黒コピーを取り、上から色鉛筆で彩色。
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	コミックイラスト・マンガ科　昼間部（２年制）	2025年度	１年次・前 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	プレパレーション	3	45	
教科書・教材等	USBメモリ			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
川島 章子	有り／イラストレーター		学科長　倉田 克己	

授業の特徴・テーマ

コンペ活動や就職活動に必要な下準備。コンペチャレンジやポートフォリオ制作。

到達目標

コミックイラストの仕事内容理解。締切に合わせた作品作りが行える。

授業概要

コミックイラストの基礎知識を講義で取り入れ、コンペ形式の実習で求められる作品はどの様な作品かを指導。
Webを活用し、デジタルポートフォリオ作成やイラストレーター登録所等紹介。

成績評価方法　◆作文・課題　60%　◆定期試験　%　◆平常点　30%　◆授業への参加姿勢　10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	授業説明とWeb	4月17日　授業内容理解とネットを使用する際の注意事項及び使用方法
2回	フォトショップ機能説明	4月24日　パスを使用した線画の描き方（練習①）
3回	パス練習	5月1日　パスを使用したアニメ塗りと水彩塗り方法（練習②）
4回	ボードスタンド制作	5月8日　ボードスタンド用のイラスト制作（フォトショップ使用）
5回	ボードスタンド制作	5月22日　フォトショップでカットラインと白版レイヤー作り
6回	ボードスタンド制作	5月29日　プリントアウトをしハレパネに貼り付けてからカット
7回	コンペティション参加	6月5日　コンペ概要説明、解像度と保存形式種類、傾向と対策
8回	コンペティション作品制作	6月12日　多数あるコンペの中から1社を選択、コンペ用作品制作
9回	下描きチェック	6月19日　各自選択したコンペに合わせて指導
10回	カラー塗り（ベタ塗り）	6月26日　光の方向を意識し、陰影を入れるポイント（ハード円ブラシ使用）
11回	カラー塗り（水彩塗り）	7月3日　やわらかくぼかした塗り方法（ソフト円ブラシ使用）
12回	色調補整	7月10日　塗り終えた作品に色調補整をかけ、色バランスを全体的に調整
13回	仕上げ、投稿	7月17日　仕上げと投稿、アナログ作品の場合、スキャナー取り込み方法
14回	プレゼンテーション	7月24日　コンペ用作品をプロジェクターに写してプレゼンテーション
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	コミックイラスト・マンガ科　昼間部（２年制）	2025年度	1年次・前期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	投稿活動1	3	45時間	
教科書・教材等	12色でスタート！はじめてのコピックイラスト公式ガイドブック・コピックセット、プリント等			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
大友綾子	有り　　漫画家アシスタント、コミックイラストレーター		学科長　倉田克己	

授業の特徴・テーマ

デジタル作品が主流になったが、書店、読者プレゼントなどでアナログ直筆の作品を求められる場合も多々あるのが特徴。そのため、最低限のコピックスケッチ使用方法を知っておく必要があるため行う授業である。

到達目標

コピックの基本使用（単色ムラなし塗りあげ＋グラデーションのばし）ができるようになること。

授業概要

コピックスケッチを活用したアナログカラー（実習）

成績評価方法

◆作文・課題　60%　◆定期試験　20%　◆平常点　10%　◆授業への参加姿勢　10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

		授業内容	授業計画
1回	4月17日	練習① コピック基礎練習	コピックの基礎　取扱について…インクの詰め替え、拭き取り方法など 練習/ベタ塗り、混色、グラデーションなど　教科を利用した練習
2回	4月24日	練習② 顔の塗り方	前回の練習を活用して、実際のキャラクターの線画を塗っていく（主に顔と髪の毛）　水彩・アニメ・グリザイユ等
3回	5月1日	練習③ 全身の塗り方	前回の練習を活用して、実際のキャラクターの線画を塗っていく（全身）ぼかし塗り
4回	5月8日	練習③ 全身の塗り方	前回の練習を活用して、実際のキャラクターの線画を塗っていく（全身）ぼかし塗り 継続
5回	5月22日	練習③ 全身の塗り方	前回の練習を活用して、実際のキャラクターの線画を塗っていく（全身）ぼかし塗り　完成
6回	5月29日	練習④ 色紙	色紙の配布、練習塗り
7回	非対面	投稿活動	希望者は色紙制作継続
8回	非対面	投稿活動	希望者はコピック使用継続
9回	非対面	投稿活動	各自自分の投稿先を決定し、投稿活動を行う
10回	非対面	投稿活動	各自自分の投稿先を決定し、投稿活動を行う
11回	非対面	投稿活動	各自自分の投稿先を決定し、投稿活動を行う
12回	非対面	投稿活動	各自自分の投稿先を決定し、投稿活動を行う
13回	非対面	投稿活動	各自自分の投稿先を決定し、投稿活動を行う
14回	非対面	投稿活動	各自自分の投稿先を決定し、投稿活動を行う
15回	非対面	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	コミックイラスト・マンガ科　昼間部（２年制）	2025年度	1年次・前期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	投稿活動1	6	90	
教科書・教材等	12色でスタート！はじめてのコピックイラスト公式ガイドブック・コピックセット、プリント等			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
倉田克己/大友綾子	有り　　漫画家アシスタント、コミックイラストレーター		学科長　倉田克己	

授業の特徴・テーマ

デジタル作品が主流になったが、書店、読者プレゼントなどでアナログ直筆の作品を求められる場合も多々あるのが特徴。そのため、最低限のコピックスケッチ使用方法を知っておく必要があるため行う授業である。

到達目標

コピックの基本使用（単色ムラなし塗りあげ＋グラデーションのばし）ができるようになること。

授業概要

コピックスケッチを活用したアナログカラー（実習）

成績評価方法

◆作文・課題　60%　◆定期試験　20%　◆平常点　10%　◆授業への参加姿勢　10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

		授業内容	授業計画
1回	4月17日	練習① コピック基礎練習	コピックの基礎　取扱について…インクの詰め替え、拭き取り方法など 練習/ベタ塗り、混色、グラデーションなど　教科を利用した練習
2回	4月24日	練習② 顔の塗り方	前回の練習を活用して、実際のキャラクターの線画を塗っていく（主に顔と髪の毛）　水彩・アニメ・グリザイユ等
3回	5月1日	練習③ 全身の塗り方	前回の練習を活用して、実際のキャラクターの線画を塗っていく（全身）ぼかし塗り
4回	5月8日	練習③ 全身の塗り方	前回の練習を活用して、実際のキャラクターの線画を塗っていく（全身）ぼかし塗り　継続
5回	5月22日	練習③ 全身の塗り方	前回の練習を活用して、実際のキャラクターの線画を塗っていく（全身）ぼかし塗り　完成
6回	5月29日	練習④ 色紙	色紙の配布、練習塗り
7回	非対面	投稿活動	希望者は色紙制作継続
8回	非対面	投稿活動	希望者はコピック使用継続
9回	非対面	投稿活動	各自自分の投稿先を決定し、投稿活動を行う
10回	非対面	投稿活動	各自自分の投稿先を決定し、投稿活動を行う
11回	非対面	投稿活動	各自自分の投稿先を決定し、投稿活動を行う
12回	非対面	投稿活動	各自自分の投稿先を決定し、投稿活動を行う
13回	非対面	投稿活動	各自自分の投稿先を決定し、投稿活動を行う
14回	非対面	投稿活動	各自自分の投稿先を決定し、投稿活動を行う
15回	非対面	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	コミックイラスト・マンガ科　昼間部（２年制）	2025年度	２年次・前期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義	投稿講義２	1	15時間	
教科書・教材等				
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
大友綾子	有り　　漫画家アシスタント、コミックイラストレーター		学科長　倉田克己	

授業の特徴・テーマ

投稿活動に関する基礎知識と、クラス内親睦等を行う

到達目標

コミックイラスト業界の基礎知識の理解　　クラス内ピア教育の基礎を作る

授業概要

非対面授業を主とし、投稿活動や就職、または人と関わることへの積極性を胃につける

成績評価方法　◆作文・課題　100%　◆定期試験　　%　◆平常点　　%　◆授業への参加姿勢　　%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	自己紹介①	クラス内自己紹介
2回	自己紹介②	クラス内自己紹介
3回	自己紹介③	クラス内自己紹介
4回	講義①	コミック業界の現状について
5回	講義②	コミック業界の現状について
6回	講義③	社会人基礎力(1)
7回	講義④	社会人基礎力(2)
8回	講義⑤	社会人基礎力(3)
9回	アンケート・レポート	上記講義についてアンケート・レポート調査、提出
10回	アンケート記入	提出
11回	学生調査①	個々の能力、作業環境についての調査、聞き取り、アドバイス
12回	学生調査②	個々の能力、作業環境についての調査、聞き取り、アドバイス
13回	学生調査③	個々の能力、作業環境についての調査、聞き取り、アドバイス
14回	学生調査④	個々の能力、作業環境についての調査、聞き取り、アドバイス
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	コミックイラスト・マンガ科　昼間部（２年制）	2025年度	２年次・前 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	Illustrator	3	45	
教科書・教材等	Adobe illustrator　Adobe Photoshop			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
三宅和歌子	有り ビジュアルデザイン　DTP 商品企画 臨床美術士		大友綾子	

授業の特徴・テーマ

Adobe illustrator をマスターすること。規格サイズの印刷物の制作をすることで、各自のイラストと、文字のレイアウトを考え、作品のクオリティーをあげると共に、デザインレイアウトを理解する。

到達目標

DTPの基礎を習得する。デザインを見る目を養う事で、自らの作品（イラスト）と文字とのバランスを美しく表現できる力を習得する。各自の長所・短所を自覚し、自信を持って自分をアピールできる作品を作り上げること。

授業概要

イラストを実際にページレイアウトすることで、商業イラストの意識や仕上がりイメージを持たせる。ユーザーや投稿先のニーズに対応する制作を指導。

成績評価方法　◆作文・課題　60%　◆定期試験　%　◆平常点　20%　◆授業への参加姿勢　20%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	授業概要	前期課題説明 illustratorとPhotoshop の違い。イラレのツール練習 選択 図形 パス等
2回	ロゴラフ制作	DVD佐藤可士和　文字のアウトライン　パスファインダー　各自のロゴ制作
3回	ロゴ制作　イラレ基本操作	原画制作 個別に対応
4回	イラレ基本操作	イラストレータとフォトショップの連係トリムマーク/配置（復習）
5回	名刺制作	名刺の成り立ち。 デザインとレイアウトの説明　ロゴとロゴタイプの説明。
6回	名刺制作	データーチェック
7回	イベント案内のDM	トンボガイド　郵便番号表　タイポグラフィー
8回	デザインレイアウトのコツ	マージン　ジャンプ率　ホワイトスペース　等
9回	文字組の練習	ダイレクトメールのポストカードを使って文字組みを練習
10回	DMの制作	個別に対応
11回	DMの制作	個別に対応
12回	DM提出	個別に対応
13回	課題3.本の装丁の制作	鈴木誠一DVD鑑賞ラフチェック　各自持参の本のサイズを計り、トンボガイドを制作　本の装丁ラフチェック
14回	装丁ラフチェック	個別に対応
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	コミックイラスト科　昼間部（２年制）	2025年度	２年次・前 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	イラストコンペティション	3	45	
教科書・教材等	USBメモリ			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
川島 章子	有り／イラストレーター		学科長　倉田 克己	

授業の特徴・テーマ

投稿活動を活発にするため、必須コンペと選択コンペを提示。コンペに合わせた傾向と対策を学ぶ。
就職希望者はコンペと共に就職情報を提示。ポートフォリオの強化

到達目標

受賞や仕事を意識した作品作り。指定された締切に合わせ、クオリティーの高い作品を目指す

授業概要

デビューや受賞を目標とした投稿。リサーチや制作活動＋就職希望者への情報提示

成績評価方法　◆作文・課題　60%　◆定期試験　%　◆平常点　30%　◆授業への参加姿勢　10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	デビューと就職	4月17日　デビューするためのセルフプロモーション方法と就職先検索方法とポイント
2回	コンペティション選択	4月24日　出版社リサーチ、各会社に合わせたイラスト制作　ラフチェック
3回	コンペ作品制作①	5月1日　各自で選択したコンペに合わせて指導　下描きチェック
4回	コンペ作品制作②	5月8日　前回の続き　カラーバランスチェック
5回	コンペ作品制作③	5月22日　前回の続き
6回	デジタルポートフォリオ①	5月29日　１年次に登録したポートフォリオサイトの進行状況を個別チェック
7回	デジタルポートフォリオ②	6月5日　前回の続き
8回	コンペ作品制作	6月12日　各自で選択したコンペに合わせて指導
9回	プレゼンテーション①	6月19日　コンペ参加作品及び就職希望者は就職活動をプレゼンテーション
10回	プレゼンテーション②	6月26日　前回の続き
11回	コンペ作品制作①	7月3日　各自で選択したコンペに合わせて指導
12回	コンペ作品制作②	7月10日　前回の続き
13回	コンペ作品制作③	7月17日　前回の続き
14回	簡易プレゼンテーション	7月24日　各自持ち時間を3分以内としたプレゼンテーション
15回	総合演習	

町田デザイン＆建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	コミックイラスト・マンガ科　昼間部（２年制）	2025年度	２年次・前期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	イラストキャラクタ制作２	3	45時間	
教科書・教材等	デジタル環境＋Photoshop クリップスタジオ・プロジェクトペーパー等			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
大友綾子	有り　　漫画家アシスタント、コミックイラストレーター		学科長　倉田克己	

授業の特徴・テーマ

文章からイメージしたキャラクタデザインを行う。ライトノベルの挿絵や表紙デザインを見据えたキャラデザを学ぶ。

到達目標

受注制作～納品の流れを知る。リテイク対応、実務を想定できる。

授業概要

mackintoshを活用して、印刷されることを見据えたデータ制作を行う。ポートフォリオに入れることも想定し、就職活動のサポートも視野に入れた課題制作を行う。

成績評価方法　◆作文・課題　60%　◆定期試験　20%　◆平常点　10%　◆授業への参加姿勢　10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

		授業内容	到達目標
1回	4/14	課題①ライトノベルキャラクタデザイン	4種類のライトノベル文章を読み、1テーマを選ぶ。少女系(コバルト文庫)、少年系（電撃文庫）、青年系（ホワイトハート）、BL系(ルビー文庫)を想定し、文章に合わせたキャラデザを行う。キャラの全身（左斜め前）をキャラ表に入れ込むため、1年次のデッサン復習を行う。
2回	4/21	練習1-①表情差分	素体を一つ描いて表情を変える練習をするため、基本素体(全身)を1体描く（次回までに完成）
3回	4/28	練習1-②表情差分	全身をバストアップに切り、表情差分4体をキャラ表として制作。表情の描き方を再度復習。（喜怒哀楽）やり方の説明
4回	5/12	練習1-②制作進行	表情差分、キャラ4名分のキャラ表を制作。
5回	5/29	練習1-③キャラ表制作	キャラ3名分のキャラ表を制作
6回	5/26	練習1-④表紙デザイン	キャラができたら、文庫の表紙のデザインを行う。帯部分の処理方法、データ制作の方法とレイアウト練習を行う。
7回	6/2	練習1-④制作進行	ラフチェック、作業進行
8回	6/9	練習1-④制作進行	ラフチェック、作業進行
9回	6/16	練習1-④表紙デザイン提出	表紙仕上げ、文字入れ（タイトルロゴ）加工を学ぶ
10回	6/23	課題②タロットカード制作	くじ引きで引いた、アルカナカードの制作を行う。ラフチェック。
11回	6/30	練習2-①データ制作	Macintosh上でサイズ指定に合わせてデータ制作。ラフが通った学生から下書き～仕上げ
12回	7/7	練習2-①データ制作	Macintosh上でサイズ指定に合わせてデータ制作。ラフが通った学生から下書き～仕上げ
13回	7/14	練習2-②枠デザイン	カードの裏面と、飾り枠などの制作を行う
14回	7/21	課題② 提出	出力と張り合わせ作業を行う。
15回		総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	コミックイラスト・マンガ科　昼間部（２年制）	2025年度	２年次・前 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	クリップスタジオC2	3	45	
教科書・教材等	なし			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
月代	有り/商業イラストレーター兼漫画家、漫画アシスタント		学科長　倉田克己	

授業の特徴・テーマ

クリップスタジオの基本操作を学ぶ。全員が基本操作を理解でき、各自の理解度に合わせて知識を深める。

到達目標

クリップスタジオの基本操作を理解する。様々な使用用途に応じて、規定のサイズ、様式にあったイラストを作成できるようになる。

授業概要

実技による課題制作。基本操作、レイヤーマスク、3Dの操作、パース定規、トンボの理解、入稿データの作成など。

成績評価方法　◆作文・課題　50%　◆定期試験　0%　◆平常点　20%　◆授業への参加姿勢　30%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	スマホ映えイラスト1	スマホで見たとき見栄えの良い構図、配色テクニックを学ぶ。 ★ラフ作成
2回	スマホ映えイラスト2	スマホで見たとき見栄えの良い構図、配色テクニックを学ぶ。 ★下描き～ペン入れ
3回	グレーでの塗り	グレーで着彩することで陰影のつけ方を学ぶ。 ★グレーで塗り
4回	グレー塗り＋カラー着彩	グレーで塗ったものをグリザイユ画法で着彩することで新たな表現方法を知る。 ★カラー着彩
5回	仕上げ加工	色調補正、グラデーションマップ等の仕上げ加工を学ぶ。 ★塗り～仕上げ
6回	3Dとモノクロイラスト1	CLIP STUDIOの3Dモデルと定規ツールの基礎練習
7回	3Dとモノクロイラスト2	3Dモデルを使ったモノクロイラスト制作。 3Dプリミティブからパース定規を作成。 ★ラフ～下描き
8回	3Dとモノクロイラスト3	3Dモデルを使ったモノクロイラスト制作。 テキスト、スクリーントーンの使い方　★ペン入れ
9回	3Dとモノクロイラスト4	印刷を前提としたモノクロイラストの知識を学ぶ。 ★モノクロ仕上げ
10回	背景入りイラスト1	3Dからパース定規を作成。印刷を前提としたカラーイラストの作成。★ラフ～下描き、講師チェック
11回	背景入りイラスト2	3Dからパース定規を作成。印刷を前提としたカラーイラストの作成。★下描き～ペン入れ
12回	背景入りイラスト3	3Dからパース定規を作成。印刷を前提としたカラーイラストの作成。★背景の塗りや線の注意点
13回	背景入りイラスト4	3Dからパース定規を作成。印刷を前提としたカラーイラストの作成。★色塗り
14回	背景入りイラスト5	4Dからパース定規を作成。印刷を前提としたカラーイラストの作成。★印刷して提出
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	コミックイラスト・マンガ科　昼間部（ 2年制 ）	2025年度	2年次 ・ 前 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	クリップスタジオM2	3	45	
教科書・教材等	クリップスタジオペイント			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
尾藤敬子	有・漫画家		倉田克己	

授業の特徴・テーマ

プロになるためのクオリティーの高い投稿用作品を執筆する

到達目標

ストーリーを考え、それを作品にする力をつける

授業概要

見開きページや擬音など作品の見せ場の作り方の説明。
各々のオリジナルストーリーを作成し、漫画にする

成績評価方法　◆作文・課題　50%　◆定期試験　0%　◆平常点　20%　◆授業への参加姿勢　30%

＊平常点には小テスト等を含む 上記の割合に基づき総合的に評価する。
＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	ストーリー作成	漫画を描くためのストーリーを考える
2回	見開き1	考えたストーリーの一番の盛り上がり場所を見開きで描く （アイデアを固めていく）
3回	見開き2	
4回	見開き3	
5回	プロット	ストーリーをプロットとして書き出していく
6回	キャラクターデザイン	主人公やその周りのキャラクターを考える
7回	ネーム1	ストーリーやキャラクターが出来上がったら、ネームにする
8回	ネーム2	
9回	ネーム3	
10回	擬音・描き文字	シーン毎の描き文字をデザインし、描く
11回	下書き	ネームから下書きを起こす
12回	ペン入れ1	下書きをペン入れしていく
13回	ペン入れ2	
14回	ペン入れ3	
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	コミックイラスト科　昼間部（２年制）	2025年度	２年次・前 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	コミックイラスト	3	45	
教科書・教材等	USBメモリ			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
川島 章子	有り／イラストレーター		学科長　倉田 克己	

授業の特徴・テーマ

デザイン系会社で有利なフォトショップを活用し、応用力を高める。素材や背景制作。入稿を意識したデータ制作

到達目標

フォトショップを応用し理解力を高める。印刷所の入稿データの仕組み、製本の基礎知識の理解

授業概要

フォトショップを使用したテクスチャ、素材等の制作からデジタル入稿による製本制作。手作りミニ本制作

成績評価方法　◆作文・課題　60%　◆定期試験　%　◆平常点　30%　◆授業への参加姿勢　10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	文字と素材	4月15日　文字、フォントを利用した柄や円形柄テクスチャ制作
2回	宝石と宇宙、星雲	4月22日　パスとフィルターギャラリーを使用した宝石素材と宇宙、星雲制作
3回	魔法陣（線画）	4月29日　基本図形を利用した魔法陣線画制作
4回	魔法陣（光学加工、雷）	5月13日　フィルター効果と描画モード機能を利用した光学加工方法
5回	炎と水中	5月20日　フィルター効果とレイヤーマスクを利用した炎と水中制作
6回	素材、テクスチャまとめ	5月27日　各種素材を使用したイラストへの応用方法、まとめ、データ提出
7回	入稿データ制作①	6月3日　印刷所の入稿を想定した見開き表紙＋裏表紙データ作成
8回	入稿データ制作②	6月17日　印刷所の入稿を想定した本文データ制作
9回	レイアウト	6月24日　本文2Pレイアウト、キャラクタと文字入れ必須、内ワク理解
10回	レイヤースタイル	7月1日　効果的なレイヤースタイルの使用方法
11回	編集作業	7月8日　入稿データ（表紙＋裏表紙と本文2P）完成、データ提出
12回	手作りミニ製本①	7月15日　プリントアウトしたイラストをミニ本に製本、本の仕組み理解
13回	手作りミニ製本②	7月22日　前回の続き
14回	表紙カバー制作	7月29日　ミニ本に合わせた表紙カバー制作、完成、提出
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	コミックイラスト・マンガ科　昼間部（２年制）	2025年度	２年次・前 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	コミックデッサン２	3	45	
教科書・教材等	自作のプリントなど			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
ひたか　良	有り　／　漫画家		倉田　克己	

授業の特徴・テーマ

１年次のコミックイラスト表現としての学びを深めて、感情表現などを加える

到達目標

人体の構成（骨や筋肉）を覚え、様々な動きや、感情を伴った表情を考え、表現する。また、様々な衣服の書き方を覚える。

授業概要

写真やプリントを使い、動きの表現などを実際に描くことで覚えさせる。ただ描くだけではなく、考えることも促す。

成績評価方法　◆作文・課題　60%　◆定期試験　0%　◆平常点　0%　◆授業への参加姿勢　40%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	ヌード	グリッドを使って位置を合わせる方法を知る。アナログでのペン画技術の上達を目指す。
2回	ファッションモデル	雑誌の写真から、中の人体を描き出す
3回	老若男女	年齢による等身の違い
4回	イラスト課題「家族写真」	3世代4~5人家族の集合写真。1人は椅子に座らせ、そのパースと人物の立ち位置を合わせる。
5回	〃	〃
6回	感情表現	「喜・怒」「哀・喜」のように、二つの反対の感情を2コマで表現
7回	〃	ラフチェックから原稿作成
8回	〃	〃
9回	色々な衣装「スーツ」	洋服の構造を知る
10回	〃「着物」「ドレス」	実際の着物をトルソーに着付けして、構造を知る。資料写真からドレスの形を覚える。
11回	イラスト課題２点	「カフェの女給」大正時代。着物にエプロン、背景はカフェの窓（透視図法を使う）
12回	〃	「ワルツ」アナログ原稿での見開きダンスシーン
13回	〃	以上２点を4週間で仕上げる
14回	〃	〃
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	コミックイラスト・マンガ科　昼間部（２年制）	2025年度	２年次・前 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	コミック表現法	3	45	
教科書・教材等	マンガ用具一式			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
倉田克己	有／漫画家アシスタント、漫画家、イラストレーター		倉田克己	

授業の特徴・テーマ

構図、演出力を強化し、より強く自分の作品をアピールできるようラフ制作でのグループ討議を行う。

到達目標

多角的な視野の獲得。

授業概要

DVDを多く鑑賞。実際のポスターの精度や構図を学びながら、習作を多くこなして仕事の認識を深める。

成績評価方法　◆作文・課題　40%　◆定期試験　%　◆平常点　%　◆授業への参加姿勢　60%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	主観・客観	参考作品としてDVD鑑賞→カメラワークの基本を知る。
2回	DVD鑑賞	参考作品としてDVD鑑賞→構図の基礎を確認し、写真の構図を学ぶ。
3回	DVD鑑賞	参考作品としてDVD鑑賞→印象的なポスターラフを作成。
4回	ポスター	プロットから内容を推測し、PRに効果的な構図のポスターラフを作成。
5回	実制作	チェックを原則行い、作り手の考え、アピール方法として成り立っているか考える。
6回	DVD鑑賞	参考作品としてDVD鑑賞→有名なポスターの類似点を知る。
7回	DVD鑑賞	参考作品としてDVD鑑賞→絵画の構図を学ぶ。
8回	DVD鑑賞	参考作品としてDVD鑑賞→特殊な視点を学ぶ。
9回	DVD鑑賞	参考作品としてDVD鑑賞→グループで話し合いながら複数キャラを使ったポスターラフを作成。
10回	実制作①	チェックを必ず行い、作品を制作する。
11回	実制作②	〃
12回	DVD鑑賞	参考作品としてDVD鑑賞→多人数が登場する構図を考え、ポスターラフ制作。
13回	実制作①	チェックを必ず行い、作品を制作する。
14回	実制作②	〃　授業終了時に作品提出。
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	コミックイラスト・マンガ科　昼間部（２年制）	2025年度	２年次・前 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	マンガコンペティション	3	45	
教科書・教材等	マンガ用具一式			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
倉田克己／ひたか良	有／漫画家アシスタント、漫画家、イラストレーター		倉田克己	

授業の特徴・テーマ

構図、演出を強化し、コンペティションに入賞できる力を蓄積する。

到達目標

指定したコンペティションに応募する。

授業概要

学生の個性を最優先した上で、作品に自信が持てるよう、細かく繰り返してチェックを行う。その為に担当教官は2名とし、学生の相談しやすい環境を作る。

成績評価方法　◆作文・課題　60%　◆定期試験　%　◆平常点　10%　◆授業への参加姿勢　30%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	主観・客観	物の見方、構図の基礎を確認する。
2回	絵コンテ	実際の漫画作品を参考に絵コンテの実習をする。
3回	カメラワーク	参考となるDVDを鑑賞。1年次の1P漫画の有り様を考え、構図の多様性を知る。
4回	絵コンテ②	オリジナル発想に基き、動きのあるシーンの絵コンテを習作する。
5回	実習①	出来上がった絵コンテを元に、原稿を制作する。
6回	実習②	実習→提出。
7回	コンペ作品制作①	セリフのないまんがコンペティションに応募する為、作品を制作する。
8回	コンペ作品制作②	チェックを繰り返しながら実制作。ここからはオンライン併用。
9回	コンペ作品制作③	〃
10回	コンペ作品制作④	〃
11回	コンペ作品制作⑤	〃
12回	コンペ作品制作⑥	〃
13回	コンペ作品制作⑦	〃
14回	コンペ作品制作⑧	提出及び応募作業
15回	総合演習	

町田デザイン＆建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	コミックイラスト・マンガ科　昼間部（２年制）	2025年度	2年次・前期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	就職指導	1	15	
教科書・教材等	内定獲得ブック			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
井比　敏紀			倉田　克己	

授業の特徴・テーマ

就職活動の準備をし、学生一人一人が円滑に就職活動を行えるよう、講義と個別2Wayでの指導

到達目標

希望職種での内定獲得

授業概要

就職活動を行いながら、社会人になるための準備をする

成績評価方法　◆作文・課題　0%　◆定期試験　0%　◆平常点　30%　◆授業への参加姿勢　70%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	オリエンテーション	就職活動に向けたキックオフ
2回	個別面談①	希望分野・業種・職種の決定
3回	個別面談②	希望分野・業種・職種の決定
4回	個別企業説明会Ⅰ	各学科にて個別企業説明会　※企業見学及び選考企業の決定
5回	個別企業説明会Ⅱ	各学科にて個別企業説明会　※企業見学及び選考企業の決定
6回	個別企業説明会Ⅲ	各学科にて個別企業説明会　※企業見学及び選考企業の決定
7回	個別企業説明会Ⅳ	各学科にて個別企業説明会　※企業見学及び選考企業の決定
8回	個別指導❶	模擬面接・履歴書作成の再確認　※学生一人ひとりが面接や履歴書に対して自信を持つ
9回	個別指導❷	模擬面接・履歴書作成の再確認　※学生一人ひとりが面接や履歴書に対して自信を持つ
10回	個別面談③	就職活動状況及び進路状況の確認　※学生一人ひとりが考えや思いを明確にする
11回	個別面談④	就職活動状況及び進路状況の確認　※学生一人ひとりが考えや思いを明確にする
12回	個別指導❸	最終的な就職活動状況(内定者と進路未決定者)確認と最終決定をする
13回	個別指導❹	最終的な就職活動状況(内定者と進路未決定者)確認と最終決定をする
14回	まとめ	就職指導授業の振り返りと社会人になる前の心得について学ぶ
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	コミックイラスト・マンガ科　昼間部（２年制）	2025年度	２年次・前期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	投稿活動2	6	90時間	
教科書・教材等				
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
大友綾子	有り　　漫画家アシスタント、コミックイラストレーター		学科長　倉田克己	

授業の特徴・テーマ

学生の自主性を育成するため、自身でスケジューリングをして作業時間を上手に作ることができるようになる

到達目標

LV,1 デビューまたは就職に関する目標立て　LV.2　自己分析、履歴書エントリーシート等へのプロフ記載　LV.3　具体的なエピソードのための行動

授業概要

非対面授業を主とし、部活動、投稿活動、資格、就職、デビュー等の前準備をするための授業。学生の自由に使用して良い時間であり、個々で取り組む内容が変化する。

成績評価方法　◆作文・課題　80%　◆定期試験　20%　◆平常点　%　◆授業への参加姿勢　%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	自己分析チャート表	個々の進路目標に関して必要な、自己PR文を作成するための自己分析チャート表の記入
2回	自己分析チャート表記入	過去の出来事、自身のアピールに繋がるエピソードなどを発掘し、履歴書やエントリシートを埋めるために制作する文章課題
3回	進路面談(1)	学生の進路サポート、キャリアアドバイス等　個人の進路に合わせた指導
4回	進路面談(2)	学生の進路サポート、キャリアアドバイス等　個人の進路に合わせた指導
5回	進路面談(3)	学生の進路サポート、キャリアアドバイス等　個人の進路に合わせた指導
6回	履歴書・エントリーシート	履歴書やエントリーシートの提出、確認
7回	履歴書・エントリーシート	履歴書やエントリーシートの提出、確認
8回	就職希望者指導	受験企業の結果報告、オンライン面談等の練習、今後の対策
9回	デビュー希望者指導	現状の仕事、コンペ参加状況等のスケジュール確認
10回	進路面談(1)	学生の進路サポート、キャリアアドバイス等　個人の進路に合わせた指導
11回	進路面談(2)	学生の進路サポート、キャリアアドバイス等　個人の進路に合わせた指導
12回	進路面談(3)	学生の進路サポート、キャリアアドバイス等　個人の進路に合わせた指導
13回	レポート提出	受験企業、面接結果の報告、反省
14回	レポート提出	デビュー志望のコンペ参加報告、今後の反省等
15回	総合演習	

コミックイラスト・マンガ科

後期シラバス

町田デザイン＆建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	コミックイラスト・マンガ科　昼間部（2年制）	2025度	1年次・後 期	必修
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	ドローイング	3	45	
教科書・教材等	プリント配布　参考作品			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
藤本珠恵	有り／美術教室勤務		倉田克己	

授業の特徴・テーマ

見て描くことを通して、立体表現の知識・技術を身につける。

到達目標

人の骨格、筋肉、プロポーションを正確に捉え、立体描写ができるようになること。

授業概要

人物を中心に、身の回りのものを描く。

成績評価方法　◆作文・課題　70 %　◆定期試験　　%　◆平常点　　%　◆授業への参加姿勢　30 %

＊平常点には小テスト等を含む
上記の割合に基づき総合的に評価する。
＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	男女裸像模写	男女の骨格・筋肉の違いを、模写を通して認識する　※プリント配布
2回	ヌードデッサン（男性）	20分固定ポーズ×5
3回	ヌードデッサン（女性）	20分固定ポーズ×5
4回	5分間クロッキー	学生が交替でモデルをつとめる（5分ポーズ）　手早く人を描く訓練。
5回		（講評）
6回	写真模写	好きな写真（A4・白黒プリント）を模写する　※各自プリント持参
7回		鉛筆のグレートーンを使いこなすことが目的　（講評）
8回	石膏デッサン	青年マルスを描く
9回		
10回		（講評）
11回	静物デッサン	複数のモチーフを組み合わせて描く
12回		
13回		
14回		完成後に白黒コピーを取り、上から色鉛筆で彩色　（講評）
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	コミックイラスト・マンガ科　昼間部（２年制）	2025年度	１年次・後 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	投稿講義1	1	15	
教科書・教材等	筆記用具、プロジェクトペーパー			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
倉田克己	有／漫画家アシスタント、漫画家、イラストレーター		倉田克己	

授業の特徴・テーマ

プロ作家を目指す学生として学校イベントにどのように関わっていくか、その意味を考えながら仲間同士で何事かを成し遂げることの重要性を学ぶ。

到達目標

産学展の成功。

授業概要

イニシャチブはあくまで学生であるので、学生たちのやる事に参考意見は述べても手は貸さず、見守ることに徹する。

成績評価方法　◆作文・課題　%　◆定期試験　%　◆平常点　50%　◆授業への参加姿勢　50%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	クラスミーティング	産学展実行委員選出
2回	研修明け個人面談	後期に向けての学生意識確認
3回	〃	〃
4回	〃	〃
5回	〃	〃
6回	産学展話し合い	学生イベント等のアイディア出し
7回	産学展模擬店	出し物についての話し合い
8回	産学展役割分担	各自役割の振り分け
9回	クラスミーティング	今までの産学展紹介
10回	模擬店準備	スケジュールの確認と調整
11回	〃	〃
12回	〃	〃
13回	〃	準備の具体化
14回	〃	〃
15回	総合演習	

町田デザイン＆建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	コミックイラスト・マンガ科　昼間部（ 2年制）	2025年度	1年次・後期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	キャラクター制作1	3	45時間	
教科書・教材等	デジタル環境＋Photoshop クリップスタジオ・プロジェクトペーパー等			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
大友綾子	有り　　漫画家アシスタント、コミックイラストレーター		学科長　倉田克己	

授業の特徴・テーマ

カット系イラストを中心に、イラストの基礎を学ぶ。ミニキャラクターから高頭身（頭身別）の制作ができるようになる。

到達目標

頭身を意識した絵が描けるようになること・クライアントに対し、求められるイラストを的確に表現できる・締め切り、規定、サイズなど、基本的な指示が守れるようになる

授業概要

基本的にはアナログでの実習を中心とする。2年次就職活動に必要なポートフォリオに組み入れることを念頭に置いて、デジタルでの作業も視野に入れたアナログ線を指導する。

成績評価方法　◆作文・課題　60%　◆定期試験　20%　◆平常点　10%　◆授業への参加姿勢　10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	到達目標
1回	課題① ハロウィンのカットイラスト	カットイラストの主線入れの種類をマスターする（デジタル）練習また、使う人のことを考えてカットイラストを描く技術を身につける。
2回	課題① ハロウィンのカットイラスト続き	前週の制作進行、色付け
3回	課題① ハロウィンのカットイラスト続き	前週の制作進行、色付け、提出等
4回	課題① ハロウィンのカットイラスト続き	前週の制作進行、色付け、提出等
5回	課題② 全身＆4面体	しっぽとツノ（または獣耳）が生えたキャラデザを行い、メインビジュアル、表情差分(喜怒哀楽)4面体作成
6回	課題② 全身＆4面体	ラフチェック、デッサンチェック、制作進行
7回	課題② 全身＆4面体	ラフチェック、デッサンチェック、制作進行
8回	課題② 全身＆4面体	制作進行
9回	課題② 全身＆4面体	制作進行、提出
10回	課題③ 12星座キャラクタ	課題③12星座キャラクタ　ラフ進行
11回	課題③進行	1月提出に向けて制作進行（冬季研修前にラフチェック終了
12回	課題③進行	課題④提出 課題⑤販売促進を目的とした企画書付きキャラデザを行う（アナログ）
13回	課題③進行	ラフチェック～進行
14回	課題③　提出	提出
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	コミックイラスト・マンガ科　昼間部（２年制）	2025年度	１年次・後 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	クリップスタジオC1	3	45	
教科書・教材等	なし			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
伊藤雪乃	有り/漫画家アシスタント		大友綾子	

授業の特徴・テーマ

クリップスタジオの基本操作を学ぶ。全員が基本操作を理解でき、各自の理解度に合わせて知識を深める。

到達目標

クリップスタジオの基本操作を理解する。様々な使用用途に応じて、規定のサイズ、様式にあったイラストを作成できるようになる。

授業概要

実技による課題制作。基本操作、イラストに合わせた塗り、印刷データの作成方法、企業依頼を想定したイラスト制作。

成績評価方法　◆作文・課題　50%　◆定期試験　0%　◆平常点　20%　◆授業への参加姿勢　30%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	連作イラストと感情表現1	同じテーマで2枚のイラスト(連作イラスト)を制作。同テーマで感情の違いを表現する。
2回	連作イラストと感情表現2	イラスト制作。2枚を並行して進め、仕上がりに差が出ないようにする。作業ペースを意識。
3回	連作イラストと感情表現3	イラスト制作。★下書き～ペン入れ
4回	連作イラストと感情表現4	イラスト制作。★色塗り
5回	連作イラストと感情表現5	イラスト制作。★色塗り～仕上げ
6回	連作イラストと感情表現6	イラスト制作。仕上がりに偏りがないよう2枚を比較しながら仕上げる。★色塗り～仕上げ
7回	入稿データ作成1	缶バッジイラストを制作して実際に入稿。仕上がりをイメージして既定サイズに仕上げる。
8回	入稿データ作成2	缶バッジ制作。入稿データ(CMYK、psd形式)へ変換。
9回	カットイラスト1	企業からの依頼を想定し、指定のテンプレートに指定のカットを描く。★ラフ(色付き)チェック
10回	カットイラスト2	クライアントを想定してラフチェック、出来によりリテイクを受けながら進める。★ラフOKが出たら作画へ
11回	カットイラスト3	商品になるイラストを意識して作画を進める。★ペン入れ～色塗り
12回	カットイラスト4	商品になるイラストを意識して作画を進める。★ペン入れ～色塗り
13回	カットイラスト5	商品になるイラストを意識して作画を進める。★色塗り～仕上げ
14回	カットイラスト6	クライアントを想定して完成イラストのチェック。
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	コミックイラスト・マンガ科　昼間部（ 2年制 ）	2025年度	1年次 ・ 後 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	クリップスタジオM1	3	45	
教科書・教材等	クリップスタジオペイント			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
尾藤敬子	有・漫画家		倉田克己	

授業の特徴・テーマ

漫画の描き方を説明する。
実際の漫画投稿サイトの条件に合わせ、作品を作成する（1ページ漫画賞箱庭など短編のもの）

到達目標

モノクロとカラーの漫画を作成できる

授業概要

自分に合ったジャンルを模索し、作品の見せ方や絵のクオリティーを上げていく

成績評価方法　◆作文・課題　50%　◆定期試験　0%　◆平常点　20%　◆授業への参加姿勢　30%

＊平常点には小テスト等を含む 上記の割合に基づき総合的に評価する。
＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	カラー漫画1・キャラデザ	ゆるきゃらをデザインする
2回	カラー漫画2	デザインしたキャラでカラー漫画を描く プロット・ネーム
3回	カラー漫画3	下書き
4回	カラー漫画4	ペン入れ
5回	カラー漫画5	彩色
6回	Webtoon1	ホラー・サスペンスをテーマとした、縦書き漫画を描く キャラクターデザインとプロット（LineマンガインディーズのWebToon投稿でも可）
7回	Webtoon2	ネーム
8回	Webtoon3	下書き
9回	Webtoon4	ペン入れ、彩色
10回	Webtoon5	彩色
11回	1ページ漫画1	箱庭という1ページ漫画賞への投稿作品を描く プロット・ネーム
12回	1ページ漫画2	下書き
13回	1ページ漫画3	ペン入れ
14回	1ページ漫画4	仕上げ
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	コミックイラスト・マンガ科　昼間部（２年制）	2025年度	１年次・後 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	コミック概論	3	45	
教科書・教材等	映画DVD,,ブルーレイ、マンガ用具一式			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
倉田克己	有／漫画家アシスタント、漫画家、イラストレーター		倉田克己	

授業の特徴・テーマ

自分のいる街の有り様を認識し、第三者によく伝わるよう取材を行い、１冊の本として発行する。仲間とディスカッションし、自分たちで立案・実行することを学ぶ。グループ制作を基本とする。

到達目標

ホウレンソウの基本を徹底し、印刷物の版下までを制作する。

授業概要

前期の著作権の知識に基づき、合法的に資料を集め、使用することを学ぶ。

成績評価方法　◆作文・課題　50%　◆定期試験　%　◆平常点　%　◆授業への参加姿勢　50%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	テーマ作成	自分たちでグループを作り、指針を決定する。
2回	取材活動	それぞれのテーマに基づき、街中で取材活動を行う。
3回	グループ制作①	取材または実制作。外出時、帰校時の報告の仕方を覚える。
4回	グループ制作②	〃
5回	グループ制作③	〃
6回	取材報告	取材報告書の書き方を覚え、ホウレンソウをしっかり実施する。
7回	グループ制作④	作品制作進行
8回	グループ制作⑤	〃
9回	グループ制作⑥	〃
10回	グループ制作⑦	〃
11回	グループ制作⑧	〃
12回	版下の注意	編集部の仕事の実例を紹介し、その手法に則って版下作業を行う。
13回	グループ制作⑨	作品制作進行
14回	提出	作品提出前の最終調整。
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	コミックイラスト・マンガ科　昼間部（２年制）	2025年度	１年次・後 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	コミック背景	3	45	
教科書・教材等	オリジナルプリント			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
栗田 みよこ	有 ／ 漫画家・漫画アシスタント		学科長　倉田 克己	

授業の特徴・テーマ

パースを使って描いた背景に人物を入れて作品にする

到達目標

分割法と増殖法の理解を深め応用できるようになる

授業概要

実習形式／背景の描き方を解説し、課題制作の指導をする

成績評価方法　◆作文・課題　80%　◆定期試験　0%　◆平常点　10%　◆授業への参加姿勢　10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	窓とドア　①	一点透視で描く
2回	〃　②	二点透視で描く
3回	家をかく　①	二点透視図で家を描く
4回	〃　②	人物と背景を入れる
5回	〃　③	課題制作
6回	和室をかく　①	和室の造りを理解して一点透視で描く
7回	〃　②	人物を入れる
8回	〃　③	課題制作
9回	階段をかく　①	一点と二点透視図で階段を描く
10回	〃　②	資料写真を参考に階段を描く
11回	〃　③	人物を入れる
12回	〃　④	課題制作
13回	三点透視図　①	ビルの描き方
14回	〃　②	グリッドを使った街の描き方
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	コミックイラスト・マンガ科　昼間部（２年制）	2025年度	１年次・後 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	プレパレーション	3	45	
教科書・教材等	USBメモリ			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
川島 章子	有り／イラストレーター		学科長　倉田 克己	

授業の特徴・テーマ

コンペ活動や就職活動に必要な下準備。コンペチャレンジやポートフォリオ制作。

到達目標

コミックイラストの仕事内容理解。締切に合わせた作品作りが行える。

授業概要

コミックイラストの基礎知識を講義で取り入れ、コンペ形式の実習で求められる作品はどの様な作品かを指導。
Webを活用し、デジタルポートフォリオ作成やイラストレーター登録所等紹介。

成績評価方法　◆作文・課題　60%　◆定期試験　%　◆平常点　30%　◆授業への参加姿勢　10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	コンペティション参加②	9月18日　出版社やコンペ主催リサーチ、各会社に合わせたイラスト制作
2回	ポートフォリオ作品充実	9月25日　コンペ用作品を制作するのと同時にポートフォリオ用作品として意識
3回	コンペティション作品制作	10月2日　ラフチェック + 下描きチェック
4回	全員チェック	10月9日　全員の進行状況チェック
5回	カラー塗り	10月16日　各コンペ会社に合わせた色塗り
6回	仕上げ	10月23日　色調補整や描画モードを利用したイラストの仕上げ
7回	プレゼンテーション ＋ポートフォリオ制作	10月30日　コンペ用作品のプレゼンテーション及びポートフォリオ制作の概要説明
8回	デジタルポートフォリオ登録	11月6日　Web上のポートフォリオサイトに登録し、作品のアップロードと情報入力
9回	ポートフォリオ表紙制作	11月20日　アナログファイル用ポートフォリオの表紙制作
10回	自己PR制作	11月27日　ポートフォリオ用自己PRページをレイアウト（文字とイラスト配置）
11回	イラストページレイアウト	12月4日　イラストとキャプションを入れたページレイアウト制作
12回	編集・レイアウト①	12月11日　前回の続き
13回	編集・レイアウト②	12月18日　前回の続きとファイリング方法
14回	ポートフォリオチェック	1月15日　ポートフォリオの進行状況を個別チェック
15回	総合演習	

町田デザイン＆建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	コミックイラスト・マンガ科　昼間部（２年制）	2025年度	1年次・後期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	一般教養	1	15	
教科書・教材等	内定獲得ブック			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
井比　敏紀			倉田　克己	

授業の特徴・テーマ

次年度の就職活動に向けて、基礎的な知識や心構え、書類の書き方、面接・試験対策など学び、内定を獲得するための講義とする

到達目標

学生一人一人が就職活動に必要なスキルを身につけ、希望職種でのを内定獲得を目指す

授業概要

就職意義と目的を理解し、基礎から学びながら就活の流れを把握して、必要な知識と力を身につける

成績評価方法　◆作文・課題　0%　◆定期試験　0%　◆平常点　30%　◆授業への参加姿勢　70%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	就職する意義・目的	就職する意義と目的をきちんと認識し、就職意識を高める
2回	会社・業種・職種について	会社・業種・職種の違いについて理解する
3回	求人票について ※求人の探し方について	求人票の見方、求人検索のコツについて理解する
4回	自己分析(過去・現在・未来)の自分史について	自分自身と向き合い、自分史を作成する
5回	自己分析(成長できたこと) ※肯定的な自己分析	自分史を元に肯定的な自己分析をする
6回	自己PRについて	履歴書・面接時に有利な自己PRを作成する
7回	志望動機について① ※自己PR返却	志望動機について理解する
8回	志望動機について②	志望動機の書き方をマスターし作成する
9回	履歴書の書き方	履歴書の書き方をマスターし作成する
10回	求める人物像(具体的に)と人間力について	企業が求める人物像を理解し、必要な人間力を学ぶ
11回	面接に臨む姿勢・心得 ※動画視聴含む	面接試験の種類や流れを知り、面接試験時の姿勢や心得を学ぶ
12回	模擬面接①	実践的な模擬面接を行い、面接におけるスキルを身につける
13回	模擬面接②	実践的な模擬面接を行い、面接におけるスキルを身につける
14回	まとめ	本格的な就職活動に向けての最終確認をする
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	コミックイラスト・マンガ科　昼間部（２年制）	2025年度	１年次・後 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	投稿活動1	6	90	
教科書・教材等	マンガ用具一式			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
倉田克己	有／漫画家アシスタント、漫画家、イラストレーター		倉田克己	

授業の特徴・テーマ

コンペティションに応募していく為の資料収集、リサーチ等を個々で行い、実践していく。あるいは思考の幅を広げるために、美術展、映画等、様々な文化に触れてみる。文字を書く機会を増やし、基礎能力を高める。編集部を招き、学生作品の評価をもらう。

到達目標

投稿作品を制作する。専門領域をマンガと定めた者は出張編集部に参加する。

授業概要

原則非対面授業。前期から続く流れをもとにしっかりと作品を構築する。

成績評価方法　◆作文・課題　%　◆定期試験　%　◆平常点　%　◆授業への参加姿勢　100%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	前期活動報告	前期の反省など、報告。
2回	作品制作	出張編集部参加も含め、より多くのコンペティションに参加できるよう作品制作。
3回	〃	〃
4回	〃	〃
5回	〃	〃
6回	〃	〃
7回	〃	〃
8回	〃	〃
9回	〃	〃
10回	〃	〃
11回	〃	〃
12回	〃	〃
13回	〃	〃
14回	総括	ここまでの活動状況を踏まえて卒業後の進路を考える。
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	コミックイラスト・マンガ科　昼間部（２年制）	2025年度	２年次・後期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義	投稿講義２	1	15時間	
教科書・教材等				
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
大友綾子	有り　　漫画家アシスタント、コミックイラストレーター		学科長　倉田克己	

授業の特徴・テーマ

学校行事への積極参加姿勢を育成するとともに、就職活動における実績作りを行う

到達目標

ピア教育、クラス内での助け合い、協力姿勢を作る

授業概要

産学ネットワーク展に向けてクラスでの取り決めや話し合いを行う時間、また担任との面談を行う時間。

成績評価方法　◆作文・課題　100%　◆定期試験　　%　◆平常点　　%　◆授業への参加姿勢　　%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	話し合い	産学展クラスリーダー選出の話し合い、相談
2回	委員会報告	リーダー会内容報告
3回	相談①	役割の話し合い、イベント内容のアンケート調査、クラス模擬店等の相談
4回	相談②	役割の話し合い、イベント内容のアンケート調査、クラス模擬店等の相談
5回	相談③	役割の話し合い、イベント内容のアンケート調査、クラス模擬店等の相談
6回	役割決定	模擬店出店などの確認
7回	役割決定	模擬店出店などの確認
8回	役割決定	模擬店出店などの確認
9回	産学展に向けて	クラス模擬店に向けての話し合い、内容精査、集客等
10回	模擬店準備	クラス模擬店参加者による内容掘り下げ（店舗名、内容決定、役割分担など）
11回	模擬店準備	クラス模擬店参加者による内容掘り下げ
12回	委員会報告	リーダー会内容報告
13回	実働	模擬店ポスター、模擬店カットの作成等の方法、店舗飾りつけ、
14回	今後の行動確認	産学展に向けての具体的な動き、各自の行動等の確認、出席確認
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	コミックイラスト・マンガ科　昼間部（２年制）	2025年度	２年次・後 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	Illustrator	3	45	
教科書・教材等	Adobe illustrator　Adobe Photoshop			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
三宅和歌子	有り ビジュアルデザイン　DTP 商品企画 臨床美術士		大友綾子	

授業の特徴・テーマ

Adobe illustrator をマスターすること。規格サイズの印刷物の制作をすることで、各自のイラストと、文字のレイアウトを考え、作品のクオリティーをあげると共に、デザインレイアウトを理解する。

到達目標

DTPの基礎を習得する。デザインを見る目を養う事で、自らの作品（イラスト）と文字とのバランスを美しく表現できる力を習得する。各自の長所・短所を自覚し、自信を持って自分をアピールできる作品を作り上げること。

授業概要

イラストを実際にページレイアウトすることで、商業イラストの意識や仕上がりイメージを持たせる。ユーザーや投稿先のニーズに対応する制作を指導。

成績評価方法　◆作文・課題　60%　◆定期試験　%　◆平常点　20%　◆授業への参加姿勢　20%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	授業概要 本の装丁	課題及び卒制のスケジュール説明　過去の作品の提示
2回	課題2.本の装丁提出	プレゼン及び鑑賞会　提出課題のデータチェック
3回	雑誌見開きページ	雑誌の体裁　ラフ制作手順 → 1.テーマを決める　2.タイトル サブタイトル リード 画像 等
4回	フォーマット	エリア内文字ツールでの段組　版面作り。
5回	文字組詳細	縦書き文字で詳細設定練習
6回	雑誌見開きページ	レイアウト相談個別に対応　個別にデータチェック
7回	卒業制作ロゴ	ラフチェック　個別に対応
8回	卒業制作ロゴ	個別に対応
9回	雑誌見開きページ	企画　レイアウトラフ　初稿
10回	雑誌見開きページ	個別に対応
11回	雑誌見開きページ	個別に対応　データー提出
12回	雑誌見開きページ	個別に対応　データチェック
13回	雑誌見開きページ	雑誌見開きページプリントアウト提出
14回	雑誌見開きページ	プレゼン及び鑑賞会
15回	総合演習	

町田デザイン＆建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	コミックイラスト科　昼間部（２年制）	2025年度	２年次・後期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	イラストキャラクタ制作２	3	45	
教科書・教材等	デジタル環境＋Photoshop クリップスタジオ・プロジェクトペーパー等			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
大友綾子	有り　　漫画家アシスタント、コミックイラストレーター		学科長　倉田克己	

授業の特徴・テーマ

文章からイメージしたキャラクタデザインを行う。卒業制作に向けたサポート授業。

到達目標

受注制作～納品の流れを知る。リテイク対応、実務を想定できる。

授業概要

Macintoshを活用して、印刷されることを見据えたデータ制作を行う。ポートフォリオに入れることも想定し、就職活動のサポートも視野に入れた課題制作を行う。

成績評価方法　◆作文・課題　60%　◆定期試験　20%　◆平常点　10%　◆授業への参加姿勢　10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

		授業内容	到達目標
1回	9/15	練習①ロゴと配置	絵の中における文字組とレイアウトの復習を行う。ロゴ配置と基礎レイアウト。Photoshop
2回	9/22	練習②スケジュール管理	卒業制作におけるスケジュールとタスク管理を行う。将来仕事をすることを視野に入れての作業。
3回	9/29	練習③ラフチェック	卒業制作の本文レイアウトのラフチェック
4回	10/6	練習③ラフチェック継続	卒業制作の本文レイアウトのラフチェック
5回	10/20	練習③ラフチェック継続	卒業制作の本文レイアウトのラフチェック
6回	10/27	課題①ポスター制作	卒業制作のポスターで、上記①～③の総合演習を行う。
7回	11/3	↓	↓
8回	11/24	↓	↓
9回	12/1	↓	↓
10回	12/8	課題①制作進行	印刷所に入稿する。
11回	12/15	卒業制作サポート	本文、展示物などの制作物指導。
12回	12/22	卒業制作サポート	本文、展示物などの制作物指導。
13回	1/19	卒業制作サポート	本文、展示物などの制作物指導。
14回	1/26	卒業制作サポート	本文、展示物などの制作物指導。
15回		総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	コミックイラスト・マンガ科　昼間部（ 2年制 ）	2025年度	2年次 ・ 後 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	クリップスタジオC2	3	45	
教科書・教材等	なし			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
月代	有り/商業イラストレーター兼漫画家、漫画アシスタント		学科長　倉田克己	

授業の特徴・テーマ

クリップスタジオの基本操作を理解し、イラストを制作できるようになる。

到達目標

基本操作から応用まで、各ツールの使い方への理解を深める。

授業概要

実技による課題制作。講師のチェックを受け、より良い作品へと仕上げていく。

成績評価方法　◆作文・課題　50%　◆定期試験　0%　◆平常点　20%　◆授業への参加姿勢　30%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	総合イラスト1	クラスでイラスト冊子を制作。前期で学んだ機能の復習、応用。★ラフ2案提出
2回	総合イラスト2	テーマに沿ったイラストを制作。★ラフを確認し下書き
3回	総合イラスト3	テーマに沿ったイラストを制作。★下書き～ペン入れ
4回	総合イラスト4	テーマに沿ったイラストを制作。★ペン入れ～色塗り
5回	総合イラスト5	テーマに沿ったイラストを制作。★最終チェック。完成したイラストをまとめてクラス冊子を作成。
6回	卒業制作1	卒業制作　質問や相談に応じながら各自で取り組む。
7回	卒業制作2	
8回	卒業制作3	
9回	卒業制作4	
10回	卒業制作5	
11回	卒業制作6	
12回	卒業制作7	
13回	卒業制作8	
14回	卒業制作9	
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	コミックイラスト・マンガ科　昼間部（ 2年制 ）	2025年度	2年次 ・ 後 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	クリップスタジオM2	3	45	
教科書・教材等	クリップスタジオペイント			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
尾藤敬子	有・漫画家		倉田克己	

授業の特徴・テーマ

クリップスタジオペイントを使用して、モノクロの漫画を描く。

到達目標

16ページ以上の漫画を描く

授業概要

モノクロのストーリー漫画を執筆していく。
ストーリーを考え仕上げまで、通して作品を作成していく

成績評価方法　◆作文・課題　50%　◆定期試験　0%　◆平常点　20%　◆授業への参加姿勢　30%

＊平常点には小テスト等を含む 上記の割合に基づき総合的に評価する。
＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	背景1	漫画に背景を入れる
2回	背景2	
3回	仕上げ1	仕上げをして完成させる
4回	仕上げ2	
5回	仕上げ3	完成したマンガを投稿する
6回	Lineマンガインディーズ1	Lineマンガ　インディーズへの投稿作品を作成する投稿条件を読んで、その通りに執筆する
7回	Lineマンガインディーズ2	
8回	Lineマンガインディーズ3	
9回	Lineマンガインディーズ4	完成させ、投稿する。
10回	卒業制作1	卒業制作のポートフォリオ作成
11回	卒業制作2	
12回	卒業制作3	
13回	卒業制作4	
14回	卒業制作5	
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	コミックイラスト科　昼間部（２年制）	2025年度	２年次・後 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	コミックイラスト、卒業制作	3	45	
教科書・教材等	USBメモリ			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
川島 章子	有り／イラストレーター		学科長　倉田 克己	

授業の特徴・テーマ

写真模写によるデジタル厚塗り技法の習得、卒業制作においてのチェック指導

到達目標

フォトショップ応用、理解。卒業制作完成。

授業概要

フォトショップの理解力を深め、卒業制作に有効利用。入稿データや編集作業での重要性理解

成績評価方法　◆作文・課題　60%　◆定期試験　%　◆平常点　30%　◆授業への参加姿勢　10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	写真模写（厚塗り）	9月16日　厚塗り方法実演説明、光と影の入り方、濃淡理解
2回	写真模写②	9月30日　前回の続き
3回	写真模写③	10月7日　前回の続き（描画モードを使用した厚塗り効果を強化）
4回	レイヤースタイル応用	10月14日　レイヤースタイルを使用し、質感に合わせたテクスチャ、オーバーレイ等効果
5回	仕上げ	10月21日　写真模写完成、データ提出
6回	卒業制作（ポスター）	10月28日　卒業制作へ移行、A1ポスター用ラフチェック
7回	ポスター用ロゴチェック	11月4日　卒業制作用タイトルロゴチェック
8回	ポスター制作①	11月25日　卒業制作用ポスター塗り制作
9回	ポスター制作②	12月2日　前回の続き
10回	ポスターデータ仕上げ	12月9日　印刷所指定の解像度ファイルに変換、eps保存、ポスターデータ提出
11回	レイアウトページチェック	12月16日　卒業制作　レイアウト、デザインチェック
12回	ポスター提出	12月23日　ポスターデータ提出期間
13回	データ入稿期間	1月13日　オンデマンド印刷所に各自でデータ入稿、入稿前のデータ最終チェック
14回	卒業制作提出期間	1月20日　冊子やカード等、完成した作品提出 → 各自保存
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	コミックイラスト・マンガ科　昼間部（２年制）	2025年度	２年次・後 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	コミックデッサン２	3	45	
教科書・教材等	自作プリント			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
ひたか　良	有り　／　漫画家		倉田　克己	

授業の特徴・テーマ

これまでに培ったデッサン力の集大成

到達目標

画面構成を考えて描く

授業概要

最後の課題としてイラスト、マンガの見開きページを作成

成績評価方法　◆作文・課題 80%　◆定期試験　%　◆平常点　%　◆授業への参加姿勢 20%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	童話の挿絵／見開き	イラスト系は「童話の挿絵」3点、マンガ系は「斬る」「突入」の見開き2点を作成、ラフチェックののち、原稿作成
2回	〃	〃
3回	〃	〃
4回	〃	〃
5回	〃	〃
6回	〃	〃
7回	卒業制作作業時間	
8回	↓	
9回		
10回		
11回		
12回		
13回		
14回		
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	コミックイラスト・マンガ科　昼間部（２年制）	2025年度	１年次・後 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	コミック基礎	3	45	
教科書・教材等	自作プリント等			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
ひたか　良	有り　／　漫画家		倉田　克己	

授業の特徴・テーマ

提示したテーマに沿って、物語を作っていく

到達目標

アナログ作画での基礎的な技術を覚え、ストーリー漫画の基本的なページ数を構築できるようにする

授業概要

アナルグ画材を扱うテクニックの実技、マンガの基礎、ストーリーの作り方の講義、実習を交互に行い、マンガ原稿として成立するよう教えていく

成績評価方法　◆作文・課題 70%　◆定期試験　%　◆平常点　%　◆授業への参加姿勢 30%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	4Pマンガ「お届け物」	主人公に「何か」が届くことから始まる4Pマンガのネームを作る…S
2回	〃	チェックを受け、手直し
3回	〃	〃
4回	自然物（木・水）	自然物をペンのラインで表現…T
5回	〃	〃
6回	「マッチ売りの少女」	童話のあらすじをマンガ志望は16Pのネームに、イラスト志望は6Pの絵物語として構築…S
7回	〃	チェックを受け、手直し
8回	〃	〃
9回	〃	〃
10回	16Pマンガ／4Pマンガ	(M)16Pマンガ「肝試し」キャラ・エピソード設定→ネーム／(C)4Pのエッセイマンガ→原稿として仕上げる…S
11回	〃	チェックを受けて直し
12回	〃	〃
13回	〃	〃
14回	〃	〃
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	コミックイラスト・マンガ科　昼間部（２年制）	2025年度	２年次・後 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	コミック表現法	3	45	
教科書・教材等	マンガ用具一式			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
倉田克己	有／漫画家アシスタント、漫画家、イラストレーター		倉田克己	

授業の特徴・テーマ

時代に適応した仕事の幅を増やす為に、マンガ志望であるなしに関わらずSNS対応の作品を制作する。

到達目標

エッセイマンガの投稿並びに後半は卒制ポスターの完成。

授業概要

自作品のテーマに合わせて習作を多く行う。課題制作の後はこれまでの学習を活かして卒制の精度を高める。

成績評価方法　◆作文・課題　70%　◆定期試験　%　◆平常点　%　◆授業への参加姿勢　30%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	エッセイマンガ制作①	SNSに対応できるよう、発表を前提としてエッセイマンガを制作する。
2回	エッセイマンガ制作②	ラフ制作、ネームチェック。
3回	エッセイマンガ制作③	実制作。ここからは自宅制作、オンライン対応を許可。
4回	エッセイマンガ制作④	〃
5回	エッセイマンガ制作⑤	〃
6回	エッセイマンガ制作⑥	提出
7回	卒業制作対応	学生個人の質問、チェックのマンツーマン対応。オンライン併用。
8回	〃	〃
9回	〃	〃
10回	〃	〃
11回	〃	〃
12回	〃	〃
13回	〃	〃
14回	〃	〃
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	コミックイラスト科　昼間部（２年制）	2025年度	２年次・後 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	選択ゼミ、卒業制作	3	45	
教科書・教材等				
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
川島 章子	有り／イラストレーター		学科長　倉田 克己	

授業の特徴・テーマ

卒業制作を通して2年間で学んだ知識と技術を駆使した作品制作

到達目標

卒業制作課題完成、提出

授業概要

卒業最終判断基準としての作品制作、２年間で学んだ集大成

成績評価方法　◆作文・課題　60%　◆定期試験　%　◆平常点　30%　◆授業への参加姿勢　10%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	卒業制作説明	9月18日　卒業制作概要／卒業制作に対する意識と取り組み方講義
2回	卒業制作作業①	9月25日　各自で選択した卒業制作内容に合わせて下描きチェック
3回	卒業制作作業②	10月2日　前回の続き　ページ物はレイアウトチェック、カード類はデザインチェック
4回	卒業制作作業③	10月9日　前回の続き
5回	卒業制作作業④	10月16日　前回の続き
6回	卒業制作ポスター①	10月23日　卒業制作A1ポスターラフチェック
7回	卒業制作ポスター②	10月30日　卒業制作A1ポスター下描きチェック
8回	ポスター用ロゴチェック	12月6日　卒業制作タイトルロゴチェック
9回	A1ポスター制作①	11月20日　卒業制作ポスター塗り制作
10回	A1ポスター制作②	11月27日　前回の続き
11回	A1ポスター制作③	12月4日　前回の続き　色調補整
12回	ポスターデータ提出	12月11日　印刷所用書類記入、プリントアウトした作品とデータ作品と書類提出
13回	データ入稿期間	12月18日　オンデマンド印刷所に各自でデータ入稿、入稿前のデータ最終チェック
14回	卒業制作提出期間	1月15日　冊子やカード等、完成した作品提出 → 各自保存
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	コミックイラスト・マンガ科　昼間部（２年制）	2025年度	２年次・後 期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	選択ゼミ	3	45	
教科書・教材等	マンガ用具一式			
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
倉田克己／ひたか良	有／漫画家アシスタント、漫画家、イラストレーター		倉田克己	

授業の特徴・テーマ

卒業制作の方向性、タスク管理など、すべてをコントロール、決定、実践。

到達目標

卒業制作の完成。

授業概要

指導教官を定め、マンツーマンで徹底指導。制作状況により後半はオンライン併用。

成績評価方法　◆作文・課題　100%　◆定期試験　%　◆平常点　%　◆授業への参加姿勢　%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	卒業制作	担当教官を決め、作品集用のプロットを制作する。
2回	〃	ネーム作成。
3回	〃	〃
4回	〃	〃
5回	〃	実制作。
6回	〃	〃
7回	〃	〃
8回	〃	〃
9回	〃	〃
10回	〃	〃
11回	〃	〃
12回	卒業制作審査会①	作品集用マンが作品審査会
13回	〃	〃
14回	卒業制作審査会②	展示用カラー審査会、卒業判定。
15回	総合演習	

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
デザイン専門課程	コミックイラスト・マンガ科　昼間部（２年制）	2025年度	２年次・前期	必須
講義形態	**授業科目名**	**単位数**	**時間数**	
講義・実習	投稿活動2	6	90時間	
教科書・教材等				
担当教員／作成者	**実務経験の有無・職種**		**確認者**	
大友綾子	有り　　漫画家アシスタント、コミックイラストレーター		学科長　倉田克己	

授業の特徴・テーマ

学生の自主性を育成するため、自身でスケジューリングをして作業時間を上手に作ることができるようになる

到達目標

内定、受賞を目指す

授業概要

非対面授業を主とし、部活動、投稿活動、資格、就職、デビュー等の前準備をするための授業。学生の自由に使用して良い時間であり、個々で取り組む内容が変化する。

成績評価方法　◆作文・課題　80%　◆定期試験　20%　◆平常点　%　◆授業への参加姿勢　%

＊平常点には小テスト等を含む

上記の割合に基づき総合的に評価する。

＊原則として年間850時間以上出席がないと成績評価の対象外となるので注意すること

	授業内容	授業計画
1回	活動報告	夏期研修中の活動（コンペ、就職活動）の報告
2回	進路面談(1)	現状の確認、対策、未内定者、未受賞者への具体的な指導
3回	進路面談(2)	現状の確認、対策、未内定者、未受賞者への具体的な指導
4回	進路面談(3)	現状の確認、対策、未内定者、未受賞者への具体的な指導
5回	個別指導	結果の出ていない学生を中心にした個別指導（コンペ、就職等）
6回	個別指導	結果の出ていない学生を中心にした個別指導（コンペ、就職等）
7回	個別指導	結果の出ていない学生を中心にした個別指導（コンペ、就職等）
8回	個別指導	結果の出ていない学生を中心にした個別指導（コンペ、就職等）
9回	個別指導	結果の出ていない学生を中心にした個別指導（コンペ、就職等）
10回	個別指導	結果の出ていない学生を中心にした個別指導（コンペ、就職等）
11回	個別指導	結果の出ていない学生を中心にした個別指導（コンペ、就職等）
12回	進路面談(1)	現状の確認、対策、未内定者、未受賞者への具体的な指導
13回	進路面談(2)	現状の確認、対策、未内定者、未受賞者への具体的な指導
14回	進路面談(3)	現状の確認、対策、未内定者、未受賞者への具体的な指導
15回	総合演習	

2 級建築士受験科

シラバス

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	通信制　二級建築士受験科（2年制）	2025年度	2年次・前 期	必須

授業科目名	単位数	講義形態
建築製図Ⅱ	2	実習

教科書	教　材
学芸出版社　最端エスキース・コード	映像教材・製図道具一式

担当教員	実務経験の有無・職種	建築士指定科目
戸田　晃	有り／建築士	①建築設計製図

授業概要

授業前半で木造2階建て住宅の図面作成能力を、後半からはRC造の店舗併用住宅の図面を理解し、作成の能力を高めることを主眼にする。

到達目標

設計条件の要望を読み取り、与えられた条件をクリアし、プランを考え図面化する。顧客に提示していくためのプランニング力・作図力を身につける。

成績評価方法

・課題提出　・スクーリング出席率　・eラーニング視聴率　による総合評価

	授業計画・内容	授業方法
1回	授業説明、製図試験における法規等の条件の基礎知識	通信授業
2回	[木造]木造住宅の図面作成手順①　平面図兼配置図作成のポイント	通信授業
3回	[木造]木造住宅の図面作成手順①　平面図兼配置図作成演習	スクーリング
4回	[木造]木造住宅の図面作成手順②　立面図・断面図作成のポイント	通信授業
5回	[木造]木造住宅の図面作成手順②　立面図・断面図作成演習	スクーリング
6回	[木造]木造住宅の図面作成手順③　伏図作成のポイント	通信授業
7回	[木造]木造住宅の図面作成手順③　伏図作成演習	スクーリング
8回	[木造]木造住宅の図面作成手順④　矩計図・部分詳細図作成のポイント	通信授業
9回	[木造]木造住宅の図面作成手順④　矩計図・部分詳細図作成演習	スクーリング
10回	[木造]木造住宅の図面作成手順⑤　計画の要点、面積表、仕上げ表作成のポイント	通信授業
11回	[木造]木造住宅の図面作成手順⑤　計画の要点、面積表、仕上げ表作成、一式図の整え方	スクーリング
12回	[RC]RC造の図面作成手順①　RC造での注意点	通信授業
13回	[RC]RC造の図面作成手順②　平面図兼配置図作成のポイント	通信授業
14回	[RC]RC造の図面作成手順③　平面図作成のポイント	通信授業
15回	[RC]RC造の図面作成手順④　RC造の図面作成手順　平面図兼配置図作成演習	スクーリング

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	通信制　二級建築士受験科（2年制 ）	2025年度	1年次・後 期	必須

授業科目名	単位数	講義形態
建築製図Ⅰ	2	実習

教科書	教　材
学芸出版社　建築製図基本の基本	映像教材・製図道具一式

担当教員	実務経験の有無・職種	建築士指定科目
黒田　幸弘	有り／建築士	①建築設計製図

授業概要

前期に引き続き、木造平家建住宅の矩計図・部分詳細図を扱い、RC造事務所の平面図・立面図・断面図をトレースする。またパースの作図法も学ぶ。建築図面を描く上で必要となる基礎的な知識を身につける。

到達目標

前期に身につけた基本的な製図技法をもとに、木造とRC造の両面にわたって図面化し、建築士の実務に役立つより詳細な知識とテクニックを理解し、製図能力を高めていく。

成績評価方法

・課題提出　・スクーリング出席率　・eラーニング視聴率　による総合評価

	授業計画・内容	授業方法
1回	パース(一点透視図、二点透視図)の描き方	通信授業
2回	パース(一点透視図、二点透視図)の作図演習	スクーリング
3回	木造平家建住宅　矩計図の説明①	通信授業
4回	木造平家建住宅　矩計図の説明②	通信授業
5回	木造平家建住宅　矩計図の作図演習	スクーリング
6回	木造平家建住宅　部分詳細図(窓廻り、建具納まり)の説明①	通信授業
7回	木造平家建住宅　部分詳細図(窓廻り、建具納まり)の説明②	通信授業
8回	木造平家建住宅　部分詳細図(窓廻り、建具納まり)の作図演習	スクーリング
9回	鉄筋コンクリー造図面　作図のポイント	通信授業
10回	鉄筋コンクリート造事務所　1階、2階平面図の説明①	通信授業
11回	鉄筋コンクリート造事務所　1階、3階平面図の説明②	通信授業
12回	鉄筋コンクリート造事務所　1階、2階平面図の作図演習	スクーリング
13回	鉄筋コンクリート造事務所　立面図・断面図の説明①	通信授業
14回	鉄筋コンクリート造事務所　立面図・断面図の説明②	通信授業
15回	鉄筋コンクリート造事務所　立面図・断面図の作図演習　　授業まとめ	スクーリング

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	通信制　二級建築士受験科（2年制 ）	2025年度	1年次・前 期	必須

授業科目名	単位数	講義形態
建築製図 I	2	実習

教科書	教　材
学芸出版社　建築製図基本の基本	映像教材・製図道具一式

担当教員	実務経験の有無・職種	建築士指定科目
黒田　幸弘	有り／建築士	①建築設計製図

授業概要

製図道具の使い方から初め、文字と線の練習、軸側投影図の図法、木造平家建住宅の平面図、屋根伏図、断面図、立面図、伏図をトレースする。線の引き方や図面を描く手順、図面の読み方などの建築図面を描くために必要な知識の基礎を学ぶ。

到達目標

製図道具に慣れるところからはじめ、手足のように使いこなせるようにする。制作のスピードよりも丁寧な作図と手で作り上げる喜びを知ってほしい。線一本の大切さを知る事で、ものづくりの原点としたい。建築士レベルの作図力の基礎を身につける。1年次前期では木造住宅の図面を中心とした作図を通じ、主に木造住宅の構成、作図を理解する。

成績評価方法

・課題提出　・スクーリング出席率　・eラーニング視聴率　による総合評価

	授業計画・内容	授業方法
1回	道具の使い方、線の描き方の説明	通信授業
2回	授業説明（オリエンテーション）、製図道具の使い方、線と文字の練習	スクーリング
3回	木造平家建住宅　平面図、屋根伏図の説明①	通信授業
4回	木造平家建住宅　平面図、屋根伏図の説明②	通信授業
5回	木造平家建住宅　平面図、屋根伏図の作図実習	スクーリング
6回	木造平家建住宅　立面図、断面図の説明	通信授業
7回	木造平家建住宅　立面図、断面図の作図実習	スクーリング
8回	軸側投影図(アイソメトリック、トリメトリック)の説明①	通信授業
9回	軸側投影図(アイソメトリック、トリメトリック)の説明②	通信授業
10回	軸側投影図(アイソメトリック、トリメトリック)の作図演習	スクーリング
11回	木造平家建住宅　配置図の説明①	通信授業
12回	木造平家建住宅　配置図の説明②	通信授業
13回	木造平家建住宅　伏図の説明①	通信授業
14回	木造平家建住宅　伏図の説明②	通信授業
15回	木造平家建住宅　配置図、伏図の作図実習	スクーリング

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	通信制　二級建築士受験科（2年制 ）	2025年度	1年次・後 期	必須

授業科目名	単位数	講義形態
建築計画Ｉb	3	実習

教科書	教　材
学芸出版社　改訂版　図説やさしい建築計画	映像教材・製図道具一式

担当教員	実務経験の有無・職種	建築士指定科目
山本　響	有り/建築士	②建築計画

授業概要

建築計画の内容を理解し、気候や自然条件が人々の生活や建物に与える影響を理解する。住宅を中心とした設計計画ができる基本能力を養う。スクーリングでは、知識の定着度を図るため、セカンドハウスの設計課題を提出する。

到達目標

建築士の実務に必要な建築計画の基礎知識と実例を学ぶ。

成績評価方法

・課題提出　・スクーリング出席率　・eラーニング視聴率　による総合評価

	授業計画・内容	授業方法
1回	【2章】 各種建築物の計画　2-2集合住宅の計画①	通信授業
2回	【2章】 各種建築物の計画　2-2集合住宅の計画②	通信授業
3回	【2章】 各種建築物の計画　2-3小学校の計画　2-4幼稚園・保育所の計画	通信授業
4回	【2章】 各種建築物の計画　2-5図書館の計画　2-6美術館の計画　2-7劇場の計画	通信授業
5回	【2章】 各種建築物の計画　2-8事務所の計画	通信授業
6回	【2章】 各種建築物の計画　2-9ホテルの計画　2-10病院・診療所の計画	通信授業
7回	【2章】 各種建築物の計画　2-11商業建築の計画	通信授業
8回	【2章】 各種建築物の計画　2-12各種建築物の計画	通信授業
9回	【3章】 人と地球にやさしい建築計画　3-1高齢者・障害者に配慮した建築計画	通信授業
10回	【3章】 人と地球にやさしい建築計画　3-2地球環境に配慮した建築計画　3-3建築計画の今後	通信授業
11回	セカンドハウス設計課題①　課題説明、設定条件を理解し、ゾーニング～エスキース作業	スクーリング
12回	セカンドハウス設計課題②　エスキース作業、チェック	スクーリング
13回	セカンドハウス設計課題③　配置図、平面図、立面図、断面図、パースの作成①	スクーリング
14回	セカンドハウス設計課題④　配置図、平面図、立面図、断面図、パースの作成②	スクーリング
15回	セカンドハウス設計課題⑤　プレゼンテーション、授業まとめ	スクーリング

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	通信制　二級建築士受験科（2年制 ）	2025年度	1年次・後 期	必須

授業科目名	単位数	講義形態
建築史	2	講義

教科書	教　材
彰国社　コンパクト版建築史	映像教材

担当教員	実務経験の有無・職種	建築士指定科目
菊池　康弘	有り／建築士	②建築計画

授業概要

西洋建築史(古代～近代)、日本建築史(古代～現代)までを教科書と映像教材を組み合わせて学ぶ。知識の積層としてではなくデザインや世界の流れを掴み、建築デザインの基礎知識として活用できるようにする。

到達目標

世界古代から近代建築史を学び、そのデザインの流れと当時の技術を知る事で、これからの建築物に活かす。

成績評価方法

・定期試験結果　・スクーリング出席率　・eラーニング視聴率　による総合評価

	授業計画・内容	授業方法
1回	西洋建築史　古代（エジプト、ギリシャ、ローマ）	通信授業
2回	西洋建築史　中世	通信授業
3回	西洋建築史　近世	通信授業
4回	西洋建築史　中世～近世まとめ小テスト	通信授業
5回	西洋建築史　近代（19C～20C）、産業革命～	通信授業
6回	西洋建築史　近代、アメリカ建築史	通信授業
7回	西洋建築史　現代　モダニズム建築、ポストモダン	通信授業
8回	中間試験（西洋建築史）	スクーリング
9回	日本建築史　古代（先史時代、神社建築、寺院建築）	通信授業
10回	日本建築史　中世	通信授業
11回	日本建築史　近世	通信授業
12回	日本建築史　古代～近世まとめ小テスト	通信授業
13回	日本建築史　近代　西洋文化の移入～	通信授業
14回	日本建築史　近代～現代へ	通信授業
15回	期末試験（日本建築史）	スクーリング

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	通信制　二級建築士受験科（2年制 ）	2025年度	1年次・後 期	必須

授業科目名	単位数	講義形態
建築環境	2	講義

教科書	教　材
学芸出版社　基礎講座　建築環境工学	映像教材

担当教員	実務経験の有無・職種	建築士指定科目
山本　響	有り／建築士	③建築環境工学

授業概要

熱・空気・光・音のほか都市環境について、身近な自然現象から建築計画への応用まで、環境工学の基礎を学ぶ。

到達目標

建築環境に関する基礎知識を映像教材や教科書を通じて学習し、建築デザインに活かせるようにする。試験を通じて知識の定着を図る。

成績評価方法

・定期試験結果　・スクーリング出席率　・eラーニング視聴率　による総合評価

	授業計画・内容	授業方法
1回	1章　建築環境①　建築環境の概要	通信授業
2回	1章　建築環境②　外部気候、室内気候　1章小テスト	通信授業
3回	2章　熱環境①　熱貫流、断熱、蓄熱	通信授業
4回	2章　熱環境②　湿気、結露　2章小テスト	通信授業
5回	3章　空気環境①　室内換気、換気計画	通信授業
6回	3章　空気環境②　換気対策、通気　3章小テスト	通信授業
7回	中間試験（建築環境、熱環境、空気環境）	スクーリング
8回	4章　光環境①　日照と日影	通信授業
9回	4章　光環境②　日射、採光	通信授業
10回	4章　光環境③　照明、色彩　4章小テスト	通信授業
11回	5章　音環境①　音の性質、室内音環境	通信授業
12回	5章　音環境②　騒音と振動、室内音響	通信授業
13回	6章　都市環境①　都市の空気環境、熱環境、光環境	通信授業
14回	6章　都市環境②　都市の風環境、音環境、水環境、緑環境	通信授業
15回	期末試験（光環境、音環境、都市環境）	スクーリング

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	通信制　二級建築士受験科（2年制 ）	2025年度	2年次・前 期	必須

授業科目名	単位数	講義形態
建築設備	2	講義

教科書	教　材
学芸出版社　図説　やさしい建築設備	映像教材

担当教員	実務経験の有無・職種	建築士指定科目
菊池　康弘	有り／建築士	④建築設備

授業概要

設備とは空調・換気、給排水・衛生、電力・情報の各設備が相互連携して生活環境を良好に整えるものであり、建築物・都市計画におけるライフラインとも呼べる。各設備の基礎知識を習得し、また、省エネルギーについても学ぶ。

到達目標

教科書と映像教材での講義授業を通して建築設備全般にわたり基礎を理解させる。試験を通して知識の定着度を図る。

成績評価方法

・定期試験結果　・スクーリング出席率　・eラーニング視聴率　による総合評価

	授業計画・内容	授業方法
1回	1章　建築設備の概要	通信授業
2回	2章　給排水・衛生設備①　定義、給水設備	通信授業
3回	2章　給排水・衛生設備②　給湯設備	通信授業
4回	2章　給排水・衛生設備③　排水設備、ガス設備	通信授業
5回	3章　空気調和設備①　概要、空調負荷、空調方式	通信授業
6回	3章　空気調和設備②　空調熱源、熱搬送設備	通信授業
7回	3章　空気調和設備③　自動制御設備、換気設備	通信授業
8回	中間試験	スクーリング
9回	4章　電気設備①　電力設備	通信授業
10回	4章　電気設備②　電源引込、動力設備、照明設備	通信授業
11回	4章　電気設備③　通信情報設備、エレベーター等設備	通信授業
12回	5章　防災設備①　防災設備、非常用発電	通信授業
13回	5章　防災設備②　消火設備	通信授業
14回	6章　省エネルギー　省エネルギー設計	通信授業
15回	期末試験	スクーリング

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	通信制　二級建築士受験科（2年制 ）	2025年度	2年次・後 期	必須

授業科目名	単位数	講義形態
構造力学Ⅰ	2	講義

教科書	教　材
学芸出版社　図説　やさしい構造力学	映像教材

担当教員	実務経験の有無・職種	建築士指定科目
山本　響	有り／建築士	⑤構造力学

授業概要

構造は建築の空間構成にとって重要な役割を果たす。構造力学の基礎知識、静定ばり、静定ラーメン、静定トラス等を学習し、構造の基本を学ぶ。

到達目標

教科書と映像教材での講義授業を通して力学の基礎から断面モーメントまでを理解させる。試験を通して知識の定着度を図る。

成績評価方法

・定期試験結果　・スクーリング出席率　・eラーニング視聴率　による総合評価

	授業計画・内容	授業方法
1回	・科目説明　荷重について　地盤	通信授業
2回	・力の単位・表示・三要素　・ 力の合成	通信授業
3回	・力の分解　図式解法　算式解法　モーメント	通信授業
4回	試験Ⅰ	スクーリング
5回	・支点の種類　力の符号　片持ちばりの反力	通信授業
6回	・単純ばりの反力	通信授業
7回	・① 応力の種類　② 応力図の書き方	通信授業
8回	・③片持ち梁の等分布荷重応力	通信授業
9回	・④単純梁の等分布荷重応力	通信授業
10回	・ラーメン構造の反力　・ラーメン構造の応力	通信授業
11回	試験Ⅱ	スクーリング
12回	・トラス	通信授業
13回	・断面の性質	通信授業
14回	・応力度	通信授業
15回	試験Ⅲ	スクーリング

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	通信制　二級建築士受験科（2年制 ）	2025年度	1年次・前 期	必須

授業科目名	単位数	講義形態
一般構造 I	3	講義/実習

教科書	教　材
学芸出版社　図説 やさしい建築一般構造	映像教材・模型制作道具一式

担当教員	実務経験の有無・職種	建築士指定科目
黒田　幸弘	有り／建築士	⑥建築一般構造

授業概要

建築士として必要な一般構造おける、木構造や鉄骨造について基礎知識を学び、身に付ける。又、木構造の組立てを理解するため、木造の軸組模型を作成する。

到達目標

建築の一般構造分野における基礎知識を基礎、木構造、RC構造、鉄骨構造等の基本的な枠組みでとらえ、映像教材や教科書を通して学ぶ。適宜、試験を行うことで、建築士として必要な一般構造の知識の定着を図る。

成績評価方法

・定期試験結果　・課題提出　・スクーリング出席率　・eラーニング視聴率　による総合評価

	授業計画・内容	授業方法
1回	木造平屋建て　軸組模型制作	スクーリング
2回	建築構造と構造計画　　建物に働く力、地震対策、構造計画	通信授業
3回	木構造①　木材の特徴	通信授業
4回	木構造②　基礎構造	通信授業
5回	木構造③　軸組①（土台・柱・横架材など）	通信授業
6回	木構造④　軸組②（壁・耐力壁など）	通信授業
7回	木構造⑤　階段、接合部	通信授業
8回	木構造⑥　床組・小屋組	通信授業
9回	中間試験	スクーリング
10回	木構造⑦　その他の木質構造（枠組み壁工法他）	通信授業
11回	鉄骨造①　鋼材の特徴、鋼材の形状	通信授業
12回	鉄骨造②　鉄骨造の特徴、構造形式	通信授業
13回	鉄骨造③　鉄骨構造（接合、部材の設計）	通信授業
14回	鉄骨造④　鉄骨構造（各部の構造、床板等）	通信授業
15回	期末試験	スクーリング

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	通信制　二級建築士受験科（2年制 ）	2025年度	1年次・後 期	必須

授業科目名	単位数	講義形態
一般構造Ⅱ	2	講義

教科書	教　材
学芸出版社　図説 やさしい建築一般構造	映像教材

担当教員	実務経験の有無・職種	建築士指定科目
黒田　幸弘	有り／建築士	⑥建築一般構造

授業概要

建築士として必要な一般構造おける、木構造や鉄骨造について基礎知識を学び、身に付ける。

到達目標

建築の一般構造分野における基礎知識を基礎、木構造、RC構造、鉄骨構造等の基本的な枠組みでとらえ、映像教材や教科書を通して学ぶ。適宜、試験を行うことで、建築士として必要な一般構造の知識の定着を図る。

成績評価方法

・定期試験結果　・スクーリング出席率　・eラーニング視聴率　による総合評価

	授業計画・内容	授業方法
1回	鉄筋コンクリート造①　コンクリートと鉄筋の特徴	通信授業
2回	鉄筋コンクリート造②　鉄筋コンクリート造の特徴と原理	通信授業
3回	鉄筋コンクリート造③　鉄筋コンクリート構造（鉄筋の配筋計画）	通信授業
4回	鉄筋コンクリート造④　壁式鉄筋コンクリート構造、補強コンクリートブロック造	通信授業
5回	鉄筋コンクリート造⑤　SRC造、プレストレストコンクリート造	通信授業
6回	SRC造、プレストレストコンクリート造	通信授業
7回	中間試験に向けて、チャレンジテスト	通信授業
8回	中間試験	スクーリング
9回	各部工法①　壁	通信授業
10回	各部工法③　床	通信授業
11回	各部工法④　天井	通信授業
12回	各部工法⑤　開口部	通信授業
13回	各部工法⑥　和室	通信授業
14回	期末試験に向けて、チャレンジテスト	通信授業
15回	期末試験	スクーリング

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	通信制　二級建築士受験科（2年制 ）	2025年度	1年次・後 期	必須

授業科目名	単位数	講義形態
建築材料	2	講義

教科書	教　材
図説 やさしい建築材料	映像教材

担当教員	実務経験の有無・職種	建築士指定科目
菊池　康弘	有り／建築士	⑦建築材料

授業概要

主に建築士の実務において必要な木材、コンクリート、鋼材をはじめ焼成品、ガラスなど建築材料の基礎知識全般について、教科書を中心に理解する。

到達目標

教科書および映像教材を使用し、建築・インテリアに関する主な材料について、解説・指導するとともに、適宜試験を行い知識の定着を図る。

成績評価方法

・定期試験結果　・スクーリング出席率　・eラーニング視聴率　による総合評価

	授業計画・内容	授業方法
1回	授業ガイダンス、建築材料の概要	通信授業
2回	木材① 木材の種類、木材の特徴	通信授業
3回	木材② 木材の強度、木材の構造、木材の規格・等級	通信授業
4回	コンクリート① コンクリートとは（セメント、骨材、水、混和材料）	通信授業
5回	コンクリート② コンクリートの性質、コンクリートの調合設計	通信授業
6回	コンクリート③ コンクリートの種類	通信授業
7回	中間試験	スクーリング
8回	鋼材①　鋼材とは、製鋼の歴史、鋼材の特徴、鉄鋼の種類	通信授業
9回	鋼材①　鋼材の性質、鋼材の腐食と防食、鋼材の規格	通信授業
10回	焼成品　タイル、レンガ、瓦、衛生陶器	通信授業
11回	ガラス・石　ガラスの歴史、ガラスの特徴、ガラスの種類、石材の特徴、石材の種類	通信授業
12回	左官材料　左官の特徴、左官の種類、ボード類	通信授業
13回	その他の材料　プラスチック材料、塗料、接着剤	通信授業
14回	部位別・性能別の材料 床仕上げ材、壁仕上げ材、防水材料、耐火材料、断熱材料	通信授業
15回	期末試験	スクーリング

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	通信制　二級建築士受験科（2年制 ）	2025年度	2年次・後 期	必須

授業科目名	単位数	講義形態
建築施工	2	講義

教科書	教　材
図説 やさしい建築施工	映像教材

担当教員	実務経験の有無・職種	建築士指定科目
佐々木　俊一郎	有／建築士	⑧建築施工

授業概要

建築士として必要な建築施工の基礎知識を施工計画・仮設工事・躯体工事・仕上げ・設備工事と実務の流れに即して教科書および問題演習を通して身につける。スクーリングでは、RC造の建設現場の映像を見ながら、講師が解説し、施工の流れを知る。

到達目標

建築施工の基本知識を教科書・映像教材を通して解説していくとともに、各項目ごとに確認テストを行い知識の定着を図る。定期試験を通じて建築施工の基本的事項の知識の定着度を確認していく。

成績評価方法

・定期試験結果　・スクーリング出席率　・eラーニング視聴率　による総合評価

	授業計画・内容	授業方法
1回	DVD資料を使用し、鉄筋コンクリート工事の施工の流れ解説	スクーリング
2回	建築施工の概要、工事契約	通信授業
3回	積算、施工計画、施工管理、地盤調査	通信授業
4回	測量、仮設工事、土工事	通信授業
5回	基礎地業工事、鉄筋コンクリート工事①	スクーリング
6回	鉄筋コンクリート工事②	通信授業
7回	鉄筋コンクリート工事③	通信授業
8回	中間試験	スクーリング
9回	鉄骨工事	通信授業
10回	コンクリートブロック工事、木工事	通信授業
11回	防水工事、屋根工事、左官工事	通信授業
12回	タイル工事、張り石工事、塗装工事	通信授業
13回	建具工事、ガラス工事、内装断熱工事、ユニットその他工事	通信授業
14回	外装工事、設備工事、施工機械、維持管理	通信授業
15回	期末試験	スクーリング

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	通信制　二級建築士受験科（2年制 ）	2025年度	2年次・前 期	必須

授業科目名	単位数	講義形態
建築法規 I	2	講義

教科書	教　材
学芸出版社　図説　やさしい建築法規　、建築基準法関係法令集	映像教材

担当教員	実務経験の有無・職種	建築士指定科目
菊池　康弘	有り／建築士	⑨建築法規

授業概要

建築士の業務に必要な建築関係の法令知識について、建築基準法を中心に、基本項目を網羅しながら習得する。
併せて、問題演習を行い、建築士実務に役立つよう知識の定着を図っていく。

到達目標

建築関係法規が容易に参照できるように、該当する法令を指摘しながら学習を進めていく。
身につけた知識が定着するように、映像教材を通じて基本項目の講義を行うとともに、項目ごとに問題演習・試験を行い、学習効果の定着度を図る。

成績評価方法

・定期試験結果　・スクーリング出席率　・eラーニング視聴率　による総合評価

	授業計画・内容	授業方法
1回	法令集の使い方、法令用語 建築基準法の体系、建築物の定義	通信授業
2回	用語の定義 建築設備、主要構造部、耐火建築物、防火など	通信授業
3回	建築基準法に関する手続き 確認申請、中間検査、完了検査	通信授業
4回	敷地・面積・高さ 敷地面積、建築面積、延べ面積、建築物の高さ、道路の定義など	通信授業
5回	採光に関する基準 居室の採光、有効採光面積	通信授業
6回	中間試験	スクーリング
7回	換気・構造に関する基準 換気の種類、シックハウス、天井の高さ、共同住宅の界壁、階段など	通信授業
8回	面積に関する基準① 容積率の算定、緩和措置、容積率の規制など	通信授業
9回	面積に関する基準② 建蔽率の算定、建蔽率の限度、建蔽率の緩和措置など	通信授業
10回	高さの制限① 高さの制限、道路斜線	通信授業
11回	高さの制限② 隣地斜線	通信授業
12回	高さの制限③ 北側斜線	通信授業
13回	防火地域、準防火地域 防火制限、内装制限、設備に関する基準など	通信授業
14回	防火地域、準防火地域 防火制限、内装制限、設備に関する基準など	通信授業
15回	期末試験	スクーリング

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	通信制　二級建築士受験科（2年制 ）	2025年度	1年次・前 期	必須

授業科目名	単位数	講義形態
カラーコーディネート	3	実習

教科書	教　材
色彩検定公式テキスト　3級編	映像教材・着彩道具(色鉛筆・コピック等)

担当教員	実務経験の有無・職種	建築士指定科目
福島圭子	有/カラーコンサルタント	⑩複合関連科目

授業概要

色彩学の基本を理解し、生活環境の色彩に応用できる力をつける。
建築計画、室内計画に応用する力を身につける。

到達目標

配色効果を知り、建築やインテリアの色彩計画を可能にする。色彩に関する教材（配色カード）の理解を養う。

成績評価方法

・課題提出　・スクーリング出席率　・eラーニング視聴率　による総合評価

	授業計画・内容	授業方法
1回	建築と色彩について インテリアの色彩、エクステリアの色彩など	スクーリング
2回	PCCS① 色相、明度、彩度の理解	通信授業
3回	PCCS② 等色相面、色立体、トーンの分類・理解、トーンの持つイメージ	通信授業
4回	色彩心理① 色の心理的効果（暖色と寒色など）	通信授業
5回	PCCSの色相を使って色相環作成	スクーリング
6回	色彩心理② 色の連想と象徴、イメージカラー、色の視覚効果、知覚効果	通信授業
7回	色彩調和① 配色の考え方（色相による配色）	通信授業
8回	色彩調和② 配色の考え方（トーンによる配色）	通信授業
9回	室内の色彩計画・配色演習	スクーリング
10回	建物の外観と色彩 建物の形態と色彩効果	通信授業
11回	リビングダイニングルームの色彩計画 広さや室内調度品による色彩の効果	通信授業
12回	街並みにおける色彩計画 建築物における色彩計画事例	通信授業
13回	店舗の色彩計画・配色演習	スクーリング
14回	建築士試験における色彩 表色系、色彩と心理、色彩による環境調整	通信授業
15回	店舗の色彩計画講評会、授業まとめ	スクーリング

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	通信制　二級建築士受験科（2年制 ）	2025年度	2年次・前 期	必須

授業科目名	単位数	講義形態
設計演習 I	3	実習

教科書	教　材
	映像教材・製図道具一式

担当教員	実務経験の有無・職種	建築士指定科目
戸田　晃	有／建築士	⑩複合関連科目

授業概要

二階建ての木造住宅を題材に、建築士の実務に対応できるようなプランニング力、設計能力を身につけるとともに、作成した図面を通してプレゼン力も合わせて身につける。

到達目標

木造二階建て住宅のプランニングについて、敷地の読み方、ゾーニングなど必要なポイントを映像教材とスクーリング時に解説を行い、1年次の建築概論および建築計画から、ステップアップさせた設計能力を身につける。
あわせて、外観および内観パース等の表現力も身につけ、最終的に図面として設計物を表現する能力を身につける。

成績評価方法

・課題提出　・スクーリング出席率　・eラーニング視聴率　による総合評価

	授業計画・内容	授業方法
1回	課題解説①設計条件・敷地の検討 配布資料を基に条件・敷地の制限等を読み解く	通信授業
2回	課題解説②設計計画の手順とポイント 建築士製図試験にも役立つようにポイントを解説	通信授業
3回	提出課題のパースの描き方について解説① 実際例を使いながらポイントを解説。建物外観	通信授業
4回	提出課題のパースの描き方について解説② 実際例を使いながらポイントを解説。エレメント	通信授業
5回	図面の描き方①　平面図、立面図	通信授業
6回	図面の描き方②　断面図、構造　・構造、法規チェック	通信授業
7回	図面を描くポイント①　作図上の注意を解説	通信授業
8回	図面を描くポイント②　仕上げと素材について	通信授業
9回	授業ガイダンス、住宅計画、室内計画、課題説明	スクーリング
10回	エスキスチェック①　課題についての初期エスキスをポイントごとにチェック。修正指示。	スクーリング
11回	エスキスチェック②　最終形までもっていけるように指導を行う。	スクーリング
12回	各種図面の作図作業（配置図、平面図）	スクーリング
13回	各種図面の作図作業（立面図、断面図）	スクーリング
14回	各種図面の作図作業（立体表現）	スクーリング
15回	課題提出、プレゼンテーション	スクーリング

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	通信制　二級建築士受験科（2年制 ）	2025年度	1年次・前 期	必須

授業科目名	単位数	講義形態
建築計画Ⅰa	2	実習

教科書	教　材
学芸出版社　改訂版　図説やさしい建築計画	映像教材・製図道具一式・着彩道具

担当教員	実務経験の有無・職種	建築士指定科目
山本　響	有り/建築士	⑩複合関連科目

授業概要

映像教材、レポート課題、演習課題を通じて建築デザイン全般の基本的な知識を身につけていく。演習課題では、設計条件をもとに、エスキス、図面作成、模型作成、プレゼンテーションの基礎技術を身につける。

到達目標

これから専門的に建築デザインを学び始める方のために、建築士に関連する項目を中心に、建築全般について基本的な知識を身につける。併せて、後半のスクーリング演習で、小スペースの部屋を題材に、基本的な設計の考え方を身につける。

成績評価方法

・課題提出　・スクーリング出席率　・eラーニング視聴率　による総合評価

	授業計画・内容	授業方法
1回	授業概要等説明、レポート課題「好きな建築物・デザインの紹介」	通信授業
2回	建築概論	通信授業
3回	【1章】 建築計画の基本　1-1建築計画の基本知識①	通信授業
4回	【1章】 建築計画の基本　1-1建築計画の基本知識②	通信授業
5回	【1章】 建築計画の基本　1-2各部および単位空間の計画①	通信授業
6回	【1章】 建築計画の基本　1-2各部および単位空間の計画②	通信授業
7回	【2章】 各種建築物の計画　2-1独立住宅の計画①	通信授業
8回	【2章】 各種建築物の計画　2-1独立住宅の計画②	通信授業
9回	【2章】 各種建築物の計画　2-1独立住宅の計画③	通信授業
10回	演習課題「12㎡のワークスペース」 課題説明、エスキス作成	スクーリング
11回	模型制作の手順（ ⓪イントロダクション「模型の役割」、①道具紹介、②切断）	通信授業
12回	模型制作の手順（ ③加工（1枚残し）、④接着・窓枠、⑤組立・完成）	通信授業
13回	演習課題「12㎡のワークスペース」 模型制作	スクーリング
14回	演習課題「12㎡のワークスペース」 プレゼンテーション	スクーリング
15回	小テスト（冒頭にペーパーテスト、答え合わせを兼ねながら講義・後期の建築計画Ⅰbに繋げる）	スクーリング

1 級建築士受験科

シラバス

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	通信制　一級建築士受験科（ 3年制 ）	2025年度	2年次・前 期	必須

授業科目名	単位数	講義形態
建築製図Ⅱ	2	実習

教科書	教　材
学芸出版社　最端エスキース・コード	映像教材・製図道具一式

担当教員	実務経験の有無・職種	建築士指定科目
戸田　晃	有り／建築士	①建築設計製図

授業概要

授業前半で木造2階建て住宅の図面作成能力を、後半からはRC造の店舗併用住宅の図面を理解し、作成の能力を高めることを主眼にする。

到達目標

設計条件の要望を読み取り、与えられた条件をクリアし、プランを考え図面化する。顧客に提示していくためのプランニング力・作図力を身につける。

成績評価方法

・課題提出　・スクーリング出席率　・eラーニング視聴率　による総合評価

	授業計画・内容	授業方法
1回	授業説明、製図試験における法規等の条件の基礎知識	通信授業
2回	[木造]木造住宅の図面作成手順①　平面図兼配置図作成のポイント	通信授業
3回	[木造]木造住宅の図面作成手順①　平面図兼配置図作成演習	スクーリング
4回	[木造]木造住宅の図面作成手順②　立面図・断面図作成のポイント	通信授業
5回	[木造]木造住宅の図面作成手順②　立面図・断面図作成演習	スクーリング
6回	[木造]木造住宅の図面作成手順③　伏図作成のポイント	通信授業
7回	[木造]木造住宅の図面作成手順③　伏図作成演習	スクーリング
8回	[木造]木造住宅の図面作成手順④　矩計図・部分詳細図作成のポイント	通信授業
9回	[木造]木造住宅の図面作成手順④　矩計図・部分詳細図作成演習	スクーリング
10回	[木造]木造住宅の図面作成手順⑤　計画の要点、面積表、仕上げ表作成のポイント	通信授業
11回	[木造]木造住宅の図面作成手順⑤　計画の要点、面積表、仕上げ表作成、一式図の整え方	スクーリング
12回	[RC]RC造の図面作成手順①　RC造での注意点	通信授業
13回	[RC]RC造の図面作成手順②　平面図兼配置図作成のポイント	通信授業
14回	[RC]RC造の図面作成手順③　平面図作成のポイント	通信授業
15回	[RC]RC造の図面作成手順④　RC造の図面作成手順　平面図兼配置図作成演習	スクーリング

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	通信制　一級建築士受験科（3年制 ）	2025年度	1年次・後 期	必須

授業科目名	単位数	講義形態
建築製図Ⅰ	2	実習

教科書	教　材
学芸出版社　建築製図基本の基本	映像教材・製図道具一式

担当教員	実務経験の有無・職種	建築士指定科目
黒田　幸弘	有り／建築士	①建築設計製図

授業概要

前期に引き続き、木造平家建住宅の矩計図・部分詳細図を扱い、RC造事務所の平面図・立面図・断面図をトレースする。またパースの作図法も学ぶ。建築図面を描く上で必要となる基礎的な知識を身につける。

到達目標

前期に身につけた基本的な製図技法をもとに、木造とRC造の両面にわたって図面化し、建築士の実務に役立つより詳細な知識とテクニックを理解し、製図能力を高めていく。

成績評価方法

・課題提出　・スクーリング出席率　・eラーニング視聴率　による総合評価

	授業計画・内容	授業方法
1回	パース(一点透視図、二点透視図)の描き方	通信授業
2回	パース(一点透視図、二点透視図)の作図演習	スクーリング
3回	木造平家建住宅　矩計図の説明①	通信授業
4回	木造平家建住宅　矩計図の説明②	通信授業
5回	木造平家建住宅　矩計図の作図演習	スクーリング
6回	木造平家建住宅　部分詳細図(窓廻り、建具納まり)の説明①	通信授業
7回	木造平家建住宅　部分詳細図(窓廻り、建具納まり)の説明②	通信授業
8回	木造平家建住宅　部分詳細図(窓廻り、建具納まり)の作図演習	スクーリング
9回	鉄筋コンクリー造図面　作図のポイント	通信授業
10回	鉄筋コンクリート造事務所　1階、2階平面図の説明①	通信授業
11回	鉄筋コンクリート造事務所　1階、3階平面図の説明②	通信授業
12回	鉄筋コンクリート造事務所　1階、2階平面図の作図演習	スクーリング
13回	鉄筋コンクリート造事務所　立面図・断面図の説明①	通信授業
14回	鉄筋コンクリート造事務所　立面図・断面図の説明②	通信授業
15回	鉄筋コンクリート造事務所　立面図・断面図の作図演習　　授業まとめ	スクーリング

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	通信制　一級建築士受験科（3年制 ）	2025年度	1年次・前 期	必須

授業科目名	単位数	講義形態
建築製図 I	2	実習

教科書	教　材
学芸出版社　建築製図基本の基本	映像教材・製図道具一式

担当教員	実務経験の有無・職種	建築士指定科目
黒田　幸弘	有り／建築士	①建築設計製図

授業概要

製図道具の使い方から初め、文字と線の練習、軸側投影図の図法、木造平家建住宅の平面図、屋根伏図、断面図、立面図、伏図をトレースする。線の引き方や図面を描く手順、図面の読み方などの建築図面を描くために必要な知識の基礎を学ぶ。

到達目標

製図道具に慣れるところからはじめ、手足のように使いこなせるようにする。制作のスピードよりも丁寧な作図と手で作り上げる喜びを知ってほしい。線一本の大切さを知る事で、ものづくりの原点としたい。建築士レベルの作図力の基礎を身につける。1年次前期では木造住宅の図面を中心とした作図を通じ、主に木造住宅の構成、作図を理解する。

成績評価方法

・課題提出　・スクーリング出席率　・eラーニング視聴率　による総合評価

	授業計画・内容	授業方法
1回	道具の使い方、線の描き方の説明	通信授業
2回	授業説明（オリエンテーション）、製図道具の使い方、線と文字の練習	スクーリング
3回	木造平家建住宅　平面図、屋根伏図の説明①	通信授業
4回	木造平家建住宅　平面図、屋根伏図の説明②	通信授業
5回	木造平家建住宅　平面図、屋根伏図の作図実習	スクーリング
6回	木造平家建住宅　立面図、断面図の説明	通信授業
7回	木造平家建住宅　立面図、断面図の作図実習	スクーリング
8回	軸側投影図(アイソメトリック、トリメトリック)の説明①	通信授業
9回	軸側投影図(アイソメトリック、トリメトリック)の説明②	通信授業
10回	軸側投影図(アイソメトリック、トリメトリック)の作図演習	スクーリング
11回	木造平家建住宅　配置図の説明①	通信授業
12回	木造平家建住宅　配置図の説明②	通信授業
13回	木造平家建住宅　伏図の説明①	通信授業
14回	木造平家建住宅　伏図の説明②	通信授業
15回	木造平家建住宅　配置図、伏図の作図実習	スクーリング

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	通信制　一級建築士受験科（３年制）	2025年度	３年次・前 期	必須

授業科目名	単位数	講義形態
建築計画Ⅱ	2	講義

教科書	教　材
学芸出版社　改訂版　図説やさしい建築計画	映像教材

担当教員	実務経験の有無・職種	建築士指定科目
伊東　達三	有/建築士	②建築計画

授業概要

建築計画Ⅰに続き、計画論の分野で建築士に必要な集合住宅や公共建築等の知識全般を学ぶ

到達目標

住宅・学校・施設・病院等の計画論の基礎知識を習得するとともに、定期試験において知識の定着度を確認する。

成績評価方法

・試験結果　・スクーリング出席率　・eラーニング視聴率　による総合評価

	授業計画・内容	授業方法
1回	建築計画の考え方とその範囲 ・各建築物に求められる計画の要点、扱う範囲の明確化	通信授業
2回	戸建住宅・集合住宅の計画 ・各室の基本計画、集合住宅の共用部、環境に配慮した計画	通信授業
3回	小学校・幼稚園・保育所の計画 ・幼稚園、小学校の配置計画、教室・各室の計画、運動場の計画	通信授業
4回	図書館の計画 ・全体計画、規模計画、各スペースの面積配分と各部計画、地域図書館と広域図書館	通信授業
5回	美術館・博物館の計画 ・全体計画、展示部門・収蔵部門等の計画、管理部門の計画	通信授業
6回	劇場の計画 ・全体計画、舞台と客席の計画、各ゾーンの諸室	通信授業
7回	中間試験	スクーリング
8回	事務所の計画 ・レンタブル比、コアプラン（コアタイプ）の把握、細部の計画（机の配置等）	通信授業
9回	病院・診療所の計画 ・診療所と病院の違い、各部門（診療部門・病棟部門等）の計画	通信授業
10回	商業施設の計画 ・商業建築の形式・種類、飲食店の計画、物品販売店の計画	通信授業
11回	環境に配慮した建築・ユニバーサルデザイン ・環境問題の概要、資源循環型住宅と環境共生住宅、ユニバーサルデザイン・バリアフリー	通信授業
12回	都市計画・住宅地計画 ・都市の基本計画、住宅地計画、公園緑地計画	通信授業
13回	建築マネージメント、建築積算 ・建築マネージメント手法、プロジェクトの実施、設計管理と工事管理	通信授業
14回	環境・設備計画 ・建築環境負荷低減の設備手法、建築環境負荷低減の建築的手法	通信授業
15回	期末試験	スクーリング

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	通信制　一級建築士受験科（ 3年制 ）	2025年度	1年次・後 期	必須

授業科目名	単位数	講義形態
建築史	2	講義

教科書	教　材
彰国社　コンパクト版建築史	映像教材

担当教員	実務経験の有無・職種	建築士指定科目
菊池　康弘	有り／建築士	②建築計画

授業概要

西洋建築史(古代～近代)、日本建築史(古代～現代)までを教科書と映像教材を組み合わせて学ぶ。知識の積層としてではなくデザインや世界の流れを掴み、建築デザインの基礎知識として活用できるようにする。

到達目標

世界古代から近代建築史を学び、そのデザインの流れと当時の技術を知る事で、これからの建築物に活かす。

成績評価方法

・定期試験結果　・スクーリング出席率　・eラーニング視聴率　による総合評価

	授業計画・内容	授業方法
1回	西洋建築史　古代（エジプト、ギリシャ、ローマ）	通信授業
2回	西洋建築史　中世	通信授業
3回	西洋建築史　近世	通信授業
4回	西洋建築史　中世～近世まとめ小テスト	通信授業
5回	西洋建築史　近代（19C～20C）、産業革命～	通信授業
6回	西洋建築史　近代、アメリカ建築史	通信授業
7回	西洋建築史　現代　モダニズム建築、ポストモダン	通信授業
8回	中間試験（西洋建築史）	スクーリング
9回	日本建築史　古代（先史時代、神社建築、寺院建築）	通信授業
10回	日本建築史　中世	通信授業
11回	日本建築史　近世	通信授業
12回	日本建築史　古代～近世まとめ小テスト	通信授業
13回	日本建築史　近代　西洋文化の移入～	通信授業
14回	日本建築史　近代～現代へ	通信授業
15回	期末試験（日本建築史）	スクーリング

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	通信制　一級建築士受験科（３年制）	2025年度	1年次・後 期	必須

授業科目名	単位数	講義形態
建築環境	2	講義

教科書	教　材
学芸出版社　基礎講座　建築環境工学	映像教材

担当教員	実務経験の有無・職種	建築士指定科目
山本　響	有り／建築士	③建築環境工学

授業概要

熱・空気・光・音のほか都市環境について、身近な自然現象から建築計画への応用まで、環境工学の基礎を学ぶ。

到達目標

建築環境に関する基礎知識を映像教材や教科書を通じて学習し、建築デザインに活かせるようにする。試験を通じて知識の定着を図る。

成績評価方法

・定期試験結果　・スクーリング出席率　・eラーニング視聴率　による総合評価

	授業計画・内容	授業方法
1回	1章　建築環境①　建築環境の概要	通信授業
2回	1章　建築環境②　外部気候、室内気候　1章小テスト	通信授業
3回	2章　熱環境①　熱貫流、断熱、蓄熱	通信授業
4回	2章　熱環境②　湿気、結露　2章小テスト	通信授業
5回	3章　空気環境①　室内換気、換気計画	通信授業
6回	3章　空気環境②　換気対策、通気　3章小テスト	通信授業
7回	中間試験（建築環境、熱環境、空気環境）	スクーリング
8回	4章　光環境①　日照と日影	通信授業
9回	4章　光環境②　日射、採光	通信授業
10回	4章　光環境③　照明、色彩　4章小テスト	通信授業
11回	5章　音環境①　音の性質、室内音環境	通信授業
12回	5章　音環境②　騒音と振動、室内音響	通信授業
13回	6章　都市環境①　都市の空気環境、熱環境、光環境	通信授業
14回	6章　都市環境②　都市の風環境、音環境、水環境、緑環境	通信授業
15回	期末試験（光環境、音環境、都市環境）	スクーリング

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	通信制　一級建築士受験科（３年制）	2025年度	2年次・前 期	必須

授業科目名	単位数	講義形態
建築設備	2	講義

教科書	教　材
学芸出版社　図説　やさしい建築設備	映像教材

担当教員	実務経験の有無・職種	建築士指定科目
菊池　康弘	有り／建築士	④建築設備

授業概要

設備とは空調・換気、給排水・衛生、電力・情報の各設備が相互連携して生活環境を良好に整えるものであり、建築物・都市計画におけるライフラインとも呼べる。各設備の基礎知識を習得し、また、省エネルギーについても学ぶ。

到達目標

教科書と映像教材での講義授業を通して建築設備全般にわたり基礎を理解させる。試験を通して知識の定着度を図る。

成績評価方法

・定期試験結果　・スクーリング出席率　・eラーニング視聴率　による総合評価

	授業計画・内容	授業方法
1回	1章　建築設備の概要	通信授業
2回	2章　給排水・衛生設備①　定義、給水設備	通信授業
3回	2章　給排水・衛生設備②　給湯設備	通信授業
4回	2章　給排水・衛生設備③　排水設備、ガス設備	通信授業
5回	3章　空気調和設備①　概要、空調負荷、空調方式	通信授業
6回	3章　空気調和設備②　空調熱源、熱搬送設備	通信授業
7回	3章　空気調和設備③　自動制御設備、換気設備	通信授業
8回	中間試験	スクーリング
9回	4章　電気設備①　電力設備	通信授業
10回	4章　電気設備②　電源引込、動力設備、照明設備	通信授業
11回	4章　電気設備③　通信情報設備、エレベーター等設備	通信授業
12回	5章　防災設備①　防災設備、非常用発電	通信授業
13回	5章　防災設備②　消火設備	通信授業
14回	6章　省エネルギー　省エネルギー設計	通信授業
15回	期末試験	スクーリング

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	通信制　一級建築士受験科（３年制）	2025年度	2年次・後 期	必須

授業科目名	単位数	講義形態
構造力学Ⅰ	2	講義

教科書	教　材
学芸出版社　図説　やさしい構造力学	映像教材

担当教員	実務経験の有無・職種	建築士指定科目
山本　響	有り／建築士	⑤構造力学

授業概要

構造は建築の空間構成にとって重要な役割を果たす。構造力学の基礎知識、静定ばり、静定ラーメン、静定トラス等を学習し、構造の基本を学ぶ。

到達目標

教科書と映像教材での講義授業を通して力学の基礎から断面モーメントまでを理解させる。試験を通して知識の定着度を図る。

成績評価方法

・定期試験結果　・スクーリング出席率　・eラーニング視聴率　による総合評価

	授業計画・内容	授業方法
1回	・科目説明　荷重について　地盤	通信授業
2回	・力の単位・表示・三要素　・ 力の合成	通信授業
3回	・力の分解　図式解法　算式解法　モーメント	通信授業
4回	試験Ⅰ	スクーリング
5回	・支点の種類　力の符号　片持ちばりの反力	通信授業
6回	・単純ばりの反力	通信授業
7回	・① 応力の種類　② 応力図の書き方	通信授業
8回	・③片持ち梁の等分布荷重応力	通信授業
9回	・④単純梁の等分布荷重応力	通信授業
10回	・ラーメン構造の反力　・ラーメン構造の応力	通信授業
11回	試験Ⅱ	スクーリング
12回	・トラス	通信授業
13回	・断面の性質	通信授業
14回	・応力度	通信授業
15回	試験Ⅲ	スクーリング

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	通信制　一級建築士受験科（3年制 ）	2025年度	3年次・後 期	必須

授業科目名	単位数	講義形態
構造力学Ⅱ	2	講義

教科書	教　材
学芸出版社　改訂版　やしい構造設計、図説　建築構造力学	映像教材

担当教員	実務経験の有無・職種	建築士指定科目
山本　響	有／建築士	⑤構造力学

授業概要

2年次の静定構造に引き続き、一級建築士の業務に必須の不静定構造物の力学の基礎を学習するとともに、構造設計の基礎を学ぶ。

到達目標

不静定構造物（不静定梁、不静定ラーメン）塑性解析の基礎知識を例題を通して習得し、合わせて構造設計の考え方、流れについても理解する。

成績評価方法

・定期試験　・スクーリング出席率　・eラーニング出席率　による総合評価

	授業計画・内容	授業方法
1回	たわみ・たわみ角	通信授業
2回	不静定構造物：固定梁の解法①	通信授業
3回	不静定構造物：固定梁の解法②	通信授業
4回	不静定ラーメンの解法①有効剛比による解放と固定モーメント法	通信授業
5回	不静定ラーメンの解法②基本例題の解説	通信授業
6回	不静定ラーメンの解法③応用例題の解説	通信授業
7回	中間試験	スクーリング
8回	水平剛性・層間変位	通信授業
9回	塑性解析・全塑性モーメント	通信授業
10回	振動	通信授業
11回	構造設計①荷重設計等構造設計の考え方	通信授業
12回	構造設計②一次設計・二次設計、構造計算の基礎	通信授業
13回	構造設計③限界耐力計算、超高層建築物の構造計算	通信授業
14回	期末試験	スクーリング

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	通信制　一級建築士受験科（ 3年制 ）	2025年度	1年次・前 期	必須

授業科目名	単位数	講義形態
一般構造 I	3	講義/実習

教科書	教　材
学芸出版社　図説 やさしい建築一般構造	映像教材・模型制作道具一式

担当教員	実務経験の有無・職種	建築士指定科目
黒田　幸弘	有り／建築士	⑥建築一般構造

授業概要

建築士として必要な一般構造おける、木構造や鉄骨造について基礎知識を学び、身に付ける。又、木構造の組立てを理解するため、木造の軸組模型を作成する。

到達目標

建築の一般構造分野における基礎知識を基礎、木構造、RC構造、鉄骨構造等の基本的な枠組みでとらえ、映像教材や教科書を通して学ぶ。適宜、試験を行うことで、建築士として必要な一般構造の知識の定着を図る。

成績評価方法

・定期試験結果　・課題提出　・スクーリング出席率　・eラーニング視聴率　による総合評価

	授業計画・内容	授業方法
1回	木造平屋建て　軸組模型制作	スクーリング
2回	建築構造と構造計画　　建物に働く力、地震対策、構造計画	通信授業
3回	木構造①　木材の特徴	通信授業
4回	木構造②　基礎構造	通信授業
5回	木構造③　軸組①（土台・柱・横架材など）	通信授業
6回	木構造④　軸組②（壁・耐力壁など）	通信授業
7回	木構造⑤　階段、接合部	通信授業
8回	木構造⑥　床組・小屋組	通信授業
9回	中間試験	スクーリング
10回	木構造⑦　その他の木質構造（枠組み壁工法他）	通信授業
11回	鉄骨造①　鋼材の特徴、鋼材の形状	通信授業
12回	鉄骨造②　鉄骨造の特徴、構造形式	通信授業
13回	鉄骨造③　鉄骨構造（接合、部材の設計）	通信授業
14回	鉄骨造④　鉄骨構造（各部の構造、床板等）	通信授業
15回	期末試験	スクーリング

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	通信制　一級建築士受験科（ 3年制 ）	2025年度	1年次・後 期	必須

授業科目名	単位数	講義形態
一般構造Ⅱ	2	講義

教科書	教　材
学芸出版社　図説 やさしい建築一般構造	映像教材

担当教員	実務経験の有無・職種	建築士指定科目
黒田　幸弘	有り／建築士	⑥建築一般構造

授業概要

建築士として必要な一般構造おける、木構造や鉄骨造について基礎知識を学び、身に付ける。

到達目標

建築の一般構造分野における基礎知識を基礎、木構造、RC構造、鉄骨構造等の基本的な枠組みでとらえ、映像教材や教科書を通して学ぶ。適宜、試験を行うことで、建築士として必要な一般構造の知識の定着を図る。

成績評価方法

・定期試験結果　・スクーリング出席率　・eラーニング視聴率　による総合評価

	授業計画・内容	授業方法
1回	鉄筋コンクリート造①　コンクリートと鉄筋の特徴	通信授業
2回	鉄筋コンクリート造②　鉄筋コンクリート造の特徴と原理	通信授業
3回	鉄筋コンクリート造③　鉄筋コンクリート構造（鉄筋の配筋計画）	通信授業
4回	鉄筋コンクリート造④　壁式鉄筋コンクリート構造、補強コンクリートブロック造	通信授業
5回	鉄筋コンクリート造⑤　SRC造、プレストレストコンクリート造	通信授業
6回	SRC造、プレストレストコンクリート造	通信授業
7回	中間試験に向けて、チャレンジテスト	通信授業
8回	中間試験	スクーリング
9回	各部工法①　壁	通信授業
10回	各部工法③　床	通信授業
11回	各部工法④　天井	通信授業
12回	各部工法⑤　開口部	通信授業
13回	各部工法⑥　和室	通信授業
14回	期末試験に向けて、チャレンジテスト	通信授業
15回	期末試験	スクーリング

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	通信制　一級建築士受験科（ 3年制 ）	2025年度	1年次・後 期	必須

授業科目名	単位数	講義形態
建築材料	2	講義

教科書	教　材
図説 やさしい建築材料	映像教材

担当教員	実務経験の有無・職種	建築士指定科目
菊池　康弘	有り／建築士	⑦建築材料

授業概要

主に建築士の実務において必要な木材、コンクリート、鋼材をはじめ焼成品、ガラスなど建築材料の基礎知識全般について、教科書を中心に理解する。

到達目標

教科書および映像教材を使用し、建築・インテリアに関する主な材料について、解説・指導するとともに、適宜試験を行い知識の定着を図る。

成績評価方法

・定期試験結果　・スクーリング出席率　・eラーニング視聴率　による総合評価

	授業計画・内容	授業方法
1回	授業ガイダンス、建築材料の概要	通信授業
2回	木材① 木材の種類、木材の特徴	通信授業
3回	木材② 木材の強度、木材の構造、木材の規格・等級	通信授業
4回	コンクリート① コンクリートとは（セメント、骨材、水、混和材料）	通信授業
5回	コンクリート② コンクリートの性質、コンクリートの調合設計	通信授業
6回	コンクリート③ コンクリートの種類	通信授業
7回	中間試験	スクーリング
8回	鋼材①　鋼材とは、製鋼の歴史、鋼材の特徴、鉄鋼の種類	通信授業
9回	鋼材①　鋼材の性質、鋼材の腐食と防食、鋼材の規格	通信授業
10回	焼成品　タイル、レンガ、瓦、衛生陶器	通信授業
11回	ガラス・石　ガラスの歴史、ガラスの特徴、ガラスの種類、石材の特徴、石材の種類	通信授業
12回	左官材料　左官の特徴、左官の種類、ボード類	通信授業
13回	その他の材料　プラスチック材料、塗料、接着剤	通信授業
14回	部位別・性能別の材料 床仕上げ材、壁仕上げ材、防水材料、耐火材料、断熱材料	通信授業
15回	期末試験	スクーリング

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	通信制　一級建築士受験科（3年制 ）	2025年度	3年次・前 期	必須

授業科目名	単位数	講義形態
建築製図Ⅲ	2	実習

教科書	教　材
学芸出版社　ステップで攻略する　エスキース	製図道具一式

担当教員	実務経験の有無・職種	建築士指定科目
薗田　貞美	有り／建築士	①建築設計製図

授業概要

一級建築士の業務に不可欠な大規模のRC造建築物の設計に必要な知識・作図能力を１年を通して身につける。

到達目標

RC造の設計課題３点を通して、一級建築士業務の設計・製図に役立てるためにエスキス作成能力を養うとともに、作図能力の向上を図る。

成績評価方法

・課題提出　　・スクーリング出席率による総合評価

	授業計画・内容	授業方法
1回	授業説明、大規模RC造における法規等の条件の基礎知識	通信授業
2回	大規模RC造の設計にあたって基本事項の確認、建築法規解説講義	スクーリング
3回	大規模RC造設計に必要なポイントの学習	通信授業
4回	大規模RC造設計に必要なポイントの学習	通信授業
5回	設計課題「コミュニティーセンター」課題の出題趣旨等解説、エスキス実習	スクーリング
6回	設計課題「コミュニティーセンター」課題読み取りとエスキス実習	通信授業
7回	設計課題「コミュニティーセンター」エスキス完成、作図実習	スクーリング
8回	設計課題「コミュニティーセンター」作図実習	通信授業
9回	設計課題「コミュニティーセンター」作図実習	通信授業
10回	設計課題「コミュニティーセンター」作図完成・講評	スクーリング
11回	設計課題「集合住宅」課題出題趣旨等解説、エスキス実習	スクーリング
12回	設計課題「集合住宅」課題読み取りとエスキス実習	通信授業
13回	設計課題「集合住宅」課題読み取りとエスキス実習	通信授業
14回	設計課題「集合住宅」エスキス完成、作図実習	スクーリング
15回	設計課題「集合住宅」作図実習	通信授業

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	通信制　一級建築士受験科（3年制）	2025度	1年次・後 期	必須

授業科目名	単位数	講義形態
建築計画Ⅰb	3	実習

教科書	教　材
学芸出版社　改訂版　図説やさしい建築計画	映像教材・製図道具一式

担当教員	実務経験の有無・職種	建築士指定科目
山本　響	有り/建築士	②建築計画

授業概要

建築計画の内容を理解し、気候や自然条件が人々の生活や建物に与える影響を理解する。住宅を中心とした設計計画ができる基本能力を養う。スクーリングでは、知識の定着度を図るため、セカンドハウスの設計課題を提出する。

到達目標

建築士の実務に必要な建築計画の基礎知識と実例を学ぶ。

成績評価方法

・課題提出　・スクーリング出席率　・eラーニング視聴率　による総合評価

	授業計画・内容	授業方法
1回	【2章】 各種建築物の計画　2-2集合住宅の計画①	通信授業
2回	【2章】 各種建築物の計画　2-2集合住宅の計画②	通信授業
3回	【2章】 各種建築物の計画　2-3小学校の計画　2-4幼稚園・保育所の計画	通信授業
4回	【2章】 各種建築物の計画　2-5図書館の計画　2-6美術館の計画　2-7劇場の計画	通信授業
5回	【2章】 各種建築物の計画　2-8事務所の計画	通信授業
6回	【2章】 各種建築物の計画　2-9ホテルの計画　2-10病院・診療所の計画	通信授業
7回	【2章】 各種建築物の計画　2-11商業建築の計画	通信授業
8回	【2章】 各種建築物の計画　2-12各種建築物の計画	通信授業
9回	【3章】 人と地球にやさしい建築計画　3-1高齢者・障害者に配慮した建築計画	通信授業
10回	【3章】 人と地球にやさしい建築計画　3-2地球環境に配慮した建築計画　3-3建築計画の今後	通信授業
11回	セカンドハウス設計課題①　課題説明、設定条件を理解し、ゾーニング～エスキース作業	スクーリング
12回	セカンドハウス設計課題②　エスキース作業、チェック	スクーリング
13回	セカンドハウス設計課題③　配置図、平面図、立面図、断面図、パースの作成①	スクーリング
14回	セカンドハウス設計課題④　配置図、平面図、立面図、断面図、パースの作成②	スクーリング
15回	セカンドハウス設計課題⑤　プレゼンテーション、授業まとめ	スクーリング

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	通信制　一級建築士受験科（ 3年制 ）	2025年度	2年次・後 期	必須

授業科目名	単位数	講義形態
建築施工	2	講義

教科書	教　材
図説 やさしい建築施工	映像教材

担当教員	実務経験の有無・職種	建築士指定科目
佐々木　俊一郎	有／建築士	⑧建築施工

授業概要

建築士として必要な建築施工の基礎知識を施工計画・仮設工事・躯体工事・仕上げ・設備工事と実務の流れに即して教科書および問題演習を通して身につける。スクーリングでは、RC造の建設現場の映像を見ながら、講師が解説し、施工の流れを知る。

到達目標

建築施工の基本知識を教科書・映像教材を通して解説していくとともに、各項目ごとに確認テストを行い知識の定着を図る。定期試験を通じて建築施工の基本的事項の知識の定着度を確認していく。

成績評価方法

・定期試験結果　・スクーリング出席率　・eラーニング視聴率　による総合評価

	授業計画・内容	授業方法
1回	DVD資料を使用し、鉄筋コンクリート工事の施工の流れ解説	スクーリング
2回	建築施工の概要、工事契約	通信授業
3回	積算、施工計画、施工管理、地盤調査	通信授業
4回	測量、仮設工事、土工事	通信授業
5回	基礎地業工事、鉄筋コンクリート工事①	スクーリング
6回	鉄筋コンクリート工事②	通信授業
7回	鉄筋コンクリート工事③	通信授業
8回	中間試験	スクーリング
9回	鉄骨工事	通信授業
10回	コンクリートブロック工事、木工事	通信授業
11回	防水工事、屋根工事、左官工事	通信授業
12回	タイル工事、張り石工事、塗装工事	通信授業
13回	建具工事、ガラス工事、内装断熱工事、ユニットその他工事	通信授業
14回	外装工事、設備工事、施工機械、維持管理	通信授業
15回	期末試験	スクーリング

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	通信制　一級建築士受験科（ 3年制 ）	2025年度	2年次・後 期	必須

授業科目名	単位数	講義形態
建築法規Ⅱ	2	講義

教科書	教　材
学芸出版社　図説　やさしい建築法規　、建築基準法関係法令集	映像教材

担当教員	実務経験の有無・職種	建築士指定科目
菊池　康弘	有り／建築士	⑨建築法規

授業概要

前期の建築法規Ⅰに続き建築士の業務に必要な建築関係の法令知識について、建築基準法を中心に基本項目を網羅しながら習得する。併せて、問題演習を行い、建築士実務に役立つよう知識の定着を図っていく。

到達目標

建築関係法規が容易に参照できるように、該当する法令を指摘しながら学習を進めていく。
身につけた知識が定着するように、映像教材を通じて基本項目の講義を行うとともに、項目ごとに問題演習・試験を行い、学習効果の定着度を図る。

成績評価方法

・定期試験結果　・スクーリング出席率　・eラーニング視聴率　による総合評価

	授業計画・内容	授業方法
1回	防火制限と内装制限① 防火区画、防火壁	通信授業
2回	防火制限と内装制限② 防火区画、防火壁	通信授業
3回	防火制限と内装制限③ 内装制限	通信授業
4回	避難施設① 避難経路（廊下・階段・敷地内通路）	通信授業
5回	避難施設② 非常用の避難施設	通信授業
6回	中間試験	スクーリング
7回	構造強度① 構造計算	通信授業
8回	構造強度② 構造規定（木造、組積造）	通信授業
9回	構造強度③ 構造規定（鉄骨造、鉄筋コンクリート造）	通信授業
10回	都市計画区域等による建築物の形態制限 用途地域による建築制限	通信授業
11回	建築基準法のその他の規定 建築協定、許可と同意、罰則	通信授業
12回	その他の法律① 建築士法	通信授業
13回	その他の法律② 消防法	通信授業
14回	その他の法律③ 都市計画法、品確法	通信授業
15回	期末試験	スクーリング

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	通信制　一級建築士受験科（3年制 ）	2025年度	3年次・後 期	必須

授業科目名	単位数	講義形態
建築演習	2	講義

教科書	教　材
図説やさしい建築法規、基礎講座建築環境工学、図説やさしい建築設備等	法令集、配布プリント

担当教員	実務経験の有無・職種	建築士指定科目
伊東　達三	有り／建築士	⑩複合関連科目

授業概要

2年次までに学習した二級建築士業務に必要な知識に加え、一級建築士業務に必要な基礎知識を修得するために、問題演習と解説を通して基礎知識のを学ぶ。

到達目標

一級建築士業務に必要な基礎知識を重要なポイントに絞って身につける。

成績評価方法

・試験　・スクーリング出席率による総合評価

	授業計画・内容	授業方法
1回	・建築演習の講義について・問題演習（建築法規、建築環境）	スクーリング
2回	・第1回スクーリング内容の復習を通して一級建築士の業務内容の知識の習得	通信授業
3回	・第2回スクーリング内容についてテキストを通しての予習	通信授業
4回	・第2回スクーリング内容についてテキストを通しての予習	通信授業
5回	・問題演習（建築計画、建築設備）	スクーリング
6回	・第2回スクーリング内容の復習を通して一級建築士の業務内容の知識の習得	通信授業
7回	・第3回スクーリング内容についてテキストを通しての予習	通信授業
8回	・第3回スクーリング内容についてテキストを通しての予習	通信授業
9回	・問題演習（建築法規、建築環境）	スクーリング
10回	・第3回スクーリング内容の復習を通して一級建築士の業務内容の知識の習得	通信授業
11回	・第4回スクーリング内容についてテキストを通しての予習	通信授業
12回	・第4回スクーリング内容についてテキストを通しての予習	通信授業
13回	・問題演習（構造、建築施工）	スクーリング
14回	・第4回スクーリング内容の復習	通信授業
15回	・修了試験（一級建築士の業務全般についての基礎知識の確認試験）	スクーリング

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	通信制　一級建築士受験科（ 3年制 ）	2025年度	1年次・前 期	必須

授業科目名	単位数	講義形態
建築計画Ⅰa	2	実習

教科書	教　材
学芸出版社　改訂版図説やさしい建築計画	映像教材・製図道具一式・着彩道具

担当教員	実務経験の有無・職種	建築士指定科目
山本　響	有り/建築士	⑩複合関連科目

授業概要

映像教材、レポート課題、演習課題を通じて建築デザイン全般の基本的な知識を身につけていく。演習課題では、設計条件をもとに、エスキス、図面作成、模型作成、プレゼンテーションの基礎技術を身につける。

到達目標

これから専門的に建築デザインを学び始める方のために、建築士に関連する項目を中心に、建築全般について基本的な知識を身につける。併せて、後半のスクーリング演習で、小スペースの部屋を題材に、基本的な設計の考え方を身につける。

成績評価方法

・課題提出　・スクーリング出席率　・eラーニング視聴率　による総合評価

	授業計画・内容	授業方法
1回	授業概要等説明、レポート課題「好きな建築物・デザインの紹介」	通信授業
2回	建築概論	通信授業
3回	【1章】 建築計画の基本　1-1建築計画の基本知識①	通信授業
4回	【1章】 建築計画の基本　1-1建築計画の基本知識②	通信授業
5回	【1章】 建築計画の基本　1-2各部および単位空間の計画①	通信授業
6回	【1章】 建築計画の基本　1-2各部および単位空間の計画②	通信授業
7回	【2章】 各種建築物の計画　2-1独立住宅の計画①	通信授業
8回	【2章】 各種建築物の計画　2-1独立住宅の計画②	通信授業
9回	【2章】 各種建築物の計画　2-1独立住宅の計画③	通信授業
10回	演習課題「12㎡のワークスペース」 課題説明、エスキス作成	スクーリング
11回	模型制作の手順（ ⓪イントロダクション「模型の役割」、①道具紹介、②切断）	通信授業
12回	模型制作の手順（ ③加工（1枚残し）、④接着・窓枠、⑤組立・完成）	通信授業
13回	演習課題「12㎡のワークスペース」 模型制作	スクーリング
14回	演習課題「12㎡のワークスペース」 プレゼンテーション	スクーリング
15回	小テスト（冒頭にペーパーテスト、答え合わせを兼ねながら講義・後期の建築計画Ⅰbに繋げる）	スクーリング

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	通信制　一級建築士受験科（ 3年制 ）	2024年度	2年次・前 期	必須

授業科目名	単位数	講義形態
設計演習 I	3	実習

教科書	教　材
	映像教材・製図道具一式

担当教員	実務経験の有無・職種	建築士指定科目
戸田　晃	有／建築士	⑩複合関連科目

授業概要

二階建ての木造住宅を題材に、建築士の実務に対応できるようなプランニング力、設計能力を身につけるとともに、作成した図面を通してプレゼン力も合わせて身につける。

到達目標

木造二階建て住宅のプランニングについて、敷地の読み方、ゾーニングなど必要なポイントを映像教材とスクーリング時に解説を行い、1年次の建築概論および建築計画から、ステップアップさせた設計能力を身につける。
あわせて、外観および内観パース等の表現力も身につけ、最終的に図面として設計物を表現する能力を身につける。

成績評価方法

・課題提出　・スクーリング出席率　・eラーニング視聴率　による総合評価

	授業計画・内容	授業方法
1回	課題解説①設計条件・敷地の検討 配布資料を基に条件・敷地の制限等を読み解く	通信授業
2回	課題解説②設計計画の手順とポイント 建築士製図試験にも役立つようにポイントを解説	通信授業
3回	提出課題のパースの描き方について解説① 実際例を使いながらポイントを解説。建物外観	通信授業
4回	提出課題のパースの描き方について解説② 実際例を使いながらポイントを解説。エレメント	通信授業
5回	図面の描き方①　平面図、立面図	通信授業
6回	図面の描き方②　断面図、構造　・構造、法規チェック	通信授業
7回	図面を描くポイント①　作図上の注意を解説	通信授業
8回	図面を描くポイント②　仕上げと素材について	通信授業
9回	授業ガイダンス、住宅計画、室内計画、課題説明	スクーリング
10回	エスキスチェック①　課題についての初期エスキスをポイントごとにチェック。修正指示。	スクーリング
11回	エスキスチェック②　最終形までもっていけるように指導を行う。	スクーリング
12回	各種図面の作図作業（配置図、平面図）	スクーリング
13回	各種図面の作図作業（立面図、断面図）	スクーリング
14回	各種図面の作図作業（立体表現）	スクーリング
15回	課題提出、プレゼンテーション	スクーリング

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	通信制　一級建築士受験科（３年制）	2024年度	３年次・前 期	必須

授業科目名	単位数	講義形態
設計演習Ⅱ	3	実習

教科書	教　材
	映像教材・製図道具一式

担当教員	実務経験の有無・職種	建築士指定科目
黒田　幸弘	有／建築士	⑩複合関連科目

授業概要

RC造建築物の計画・設計・提案力を身につけるとともに、RC造の建築物を設計するうえでの計画に必要な知識を学ぶ。

到達目標

RC造の建築物について、地域交流館をテーマにプラン作成能力、作図能力を身につける。
合わせて、学校建築、図書館などのRC建築物に特有の建築計画について、必要な知識も学んでいく。

成績評価方法

・課題提出　・スクーリング出席率　・eラーニング視聴率　による総合評価

	授業計画・内容	授業方法
1回	各種建築物の計画（RC造）① RC造の公共建築全般に共通する考え方	通信授業
2回	各種建築物の計画（RC造）② 学校建築	通信授業
3回	各種建築物の計画（RC造）③ 幼稚園・保育所	通信授業
4回	各種建築物の計画（RC造）④ 図書館	通信授業
5回	各種建築物の計画（RC造）⑤ 博物館・美術館	通信授業
6回	各種建築物の計画（RC造）⑥ 病院・診療所	通信授業
7回	各種建築物の計画（RC造）⑦ コミュニティーセンター	通信授業
8回	各種建築物の計画（RC造）⑦ RC造設計計画のポイント①	通信授業
9回	各種建築物の計画（RC造）⑧ RC造設計計画のポイント②	通信授業
10回	授業の流れ、課題 「地域交流館の計画」説明	スクーリング
11回	地域交流館のプランの立て方	スクーリング
12回	地域交流館のプランチェック	スクーリング
13回	地域交流館の図面作成 ①	スクーリング
14回	地域交流館の図面作成 ②	スクーリング
15回	課題提出とプレゼンテーション	スクーリング

町田デザイン&建築専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	講義区分
建築専門課程	通信制　一級建築士受験科（ 3年制 ）	2025年度	1年次・前 期	必須

授業科目名	単位数	講義形態
カラーコーディネート	3	実習

教科書	教　材
色彩検定公式テキスト　3級編	映像教材・着彩道具(色鉛筆・コピック等)

担当教員	実務経験の有無・職種	建築士指定科目
福島圭子	有/カラーコンサルタント	⑩複合関連科目

授業概要

色彩学の基本を理解し、生活環境の色彩に応用できる力をつける。
建築計画、室内計画に応用する力を身につける。

到達目標

配色効果を知り、建築やインテリアの色彩計画を可能にする。色彩に関する教材（配色カード）の理解を養う。

成績評価方法

・課題提出　・スクーリング出席率　・eラーニング視聴率　による総合評価

	授業計画・内容	授業方法
1回	建築と色彩について インテリアの色彩、エクステリアの色彩など	スクーリング
2回	PCCS① 色相、明度、彩度の理解	通信授業
3回	PCCS② 等色相面、色立体、トーンの分類・理解、トーンの持つイメージ	通信授業
4回	色彩心理① 色の心理的効果（暖色と寒色など）	通信授業
5回	PCCSの色相を使って色相環作成	スクーリング
6回	色彩心理② 色の連想と象徴、イメージカラー、色の視覚効果、知覚効果	通信授業
7回	色彩調和① 配色の考え方（色相による配色）	通信授業
8回	色彩調和② 配色の考え方（トーンによる配色）	通信授業
9回	室内の色彩計画・配色演習	スクーリング
10回	建物の外観と色彩 建物の形態と色彩効果	通信授業
11回	リビングダイニングルームの色彩計画 広さや室内調度品による色彩の効果	通信授業
12回	街並みにおける色彩計画 建築物における色彩計画事例	通信授業
13回	店舗の色彩計画・配色演習	スクーリング
14回	建築士試験における色彩 表色系、色彩と心理、色彩による環境調整	通信授業
15回	店舗の色彩計画講評会、授業まとめ	スクーリング